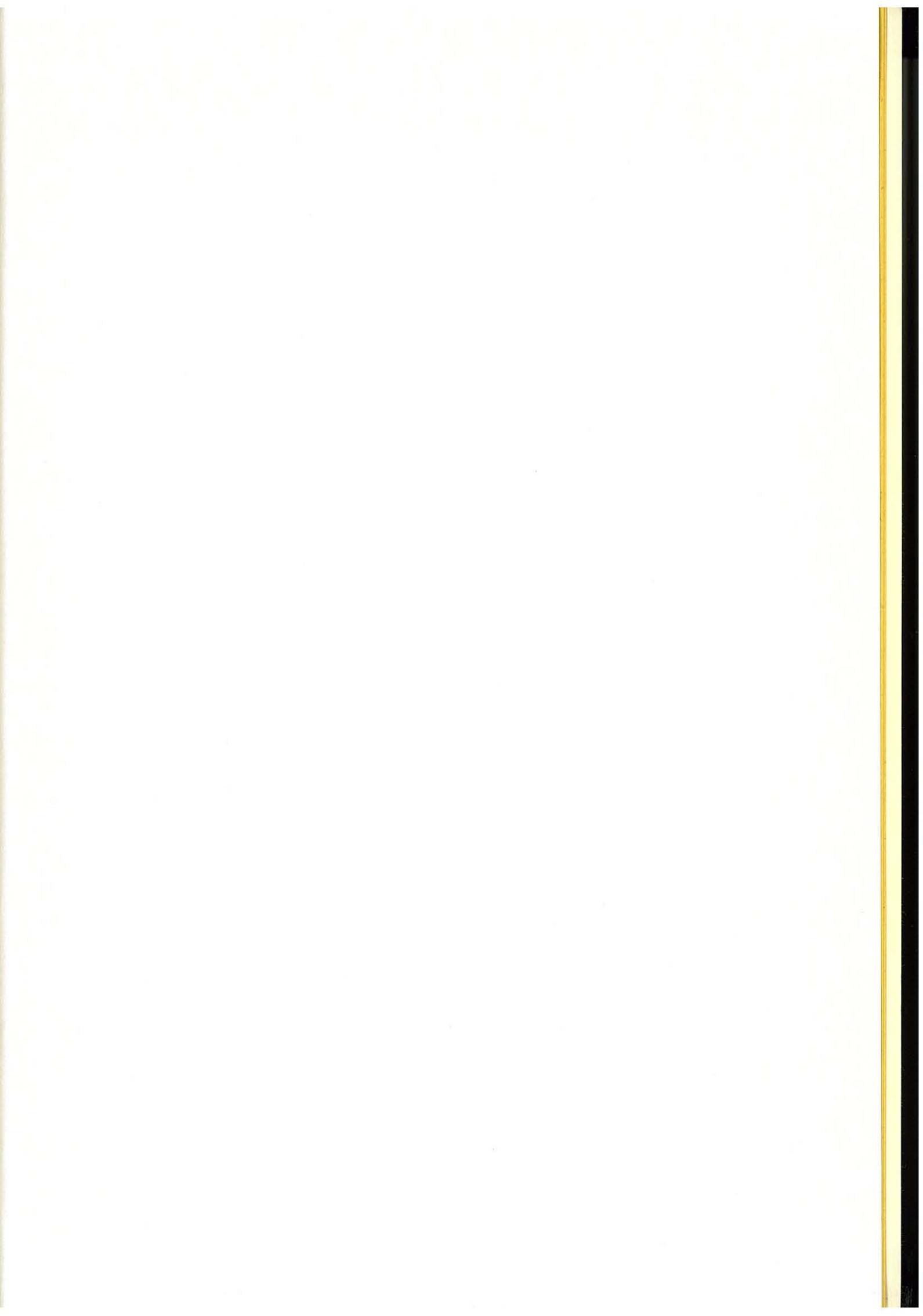


# 横浜の町名

平成三年三月 横浜市民局



## あいさつ

江戸時代、海辺の一寒村にすぎなかった横浜は、安政六年（一八五九年）の開港によって広く世界に門戸を開き、国際文化都市としての第一歩を踏み出しました。

市制施行当時の明治二十二年（一八八九年）、横浜の町は百三十八か町でありましたが、その後、周辺町村との合併や埋め立てによる地域の拡張、郊外の開発などにより町の数は増加を続け、現在横浜は一千か町を超える我が国第二の大都市に発展いたしました。

これらの町は、それぞれにみな個性的であり、その名前は古くから続いているもの、地形や風土を表しているもの、土地にゆかりのある人の名前から取ったものなど、名づけられた時代・自然を反映し、名づけた人々の思いが込められています。また、町の名前はそこに住む人や訪れた人にとっても特別な意味を持つようになっていきます。

このように町の名前は場所を表すだけでなく、その土地の歴史や文化、人々の生活などが刻み込まれているものでもあります。

この本は、横浜の町名について市民のみなさんにその由来と沿革を知っていただき、ふるさと横浜への理解をさらに深めていただきたいと考えて発行するものです。

原著は、おもに行政資料として作成したものでありますが、今回の改訂にあたりましては内容をより分かりやすいものにするともに、現在の町の姿を表すため写真や地図などを取入れ、親しみのもてる内容にしました。

今、二十一世紀をまじかにひかえ、横浜市では、市民一人ひとりがあたたかい人間関係と思いやりにつつまれ、快適な生活ができる地域社会の創出を市政の重要な柱の一つとしています。

この本を通し、市民のみなさんがなお一層地域社会へ目を向け、心豊かなうるおいのある町づくりのためのよりどころとしていただけるよう心から願っております。



平成三年三月

横浜市長

**高秀信**



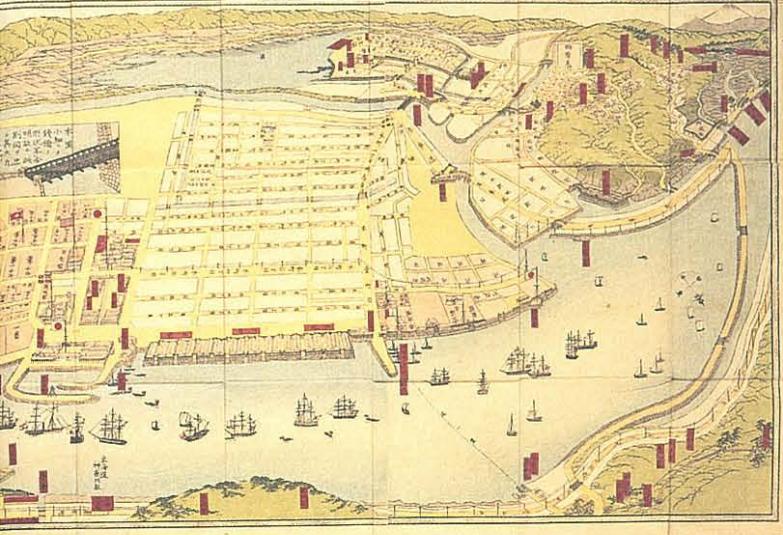
于時安政六己未春三月  
武州橫濱開港見分之圖

應帝 五庚



「武州横濱開港見分之圖」安政 6 年 (1859)

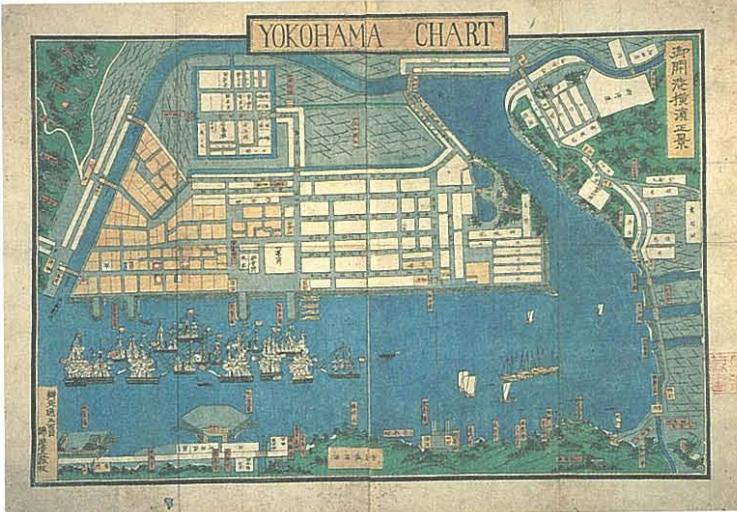
橫濱明細全圖



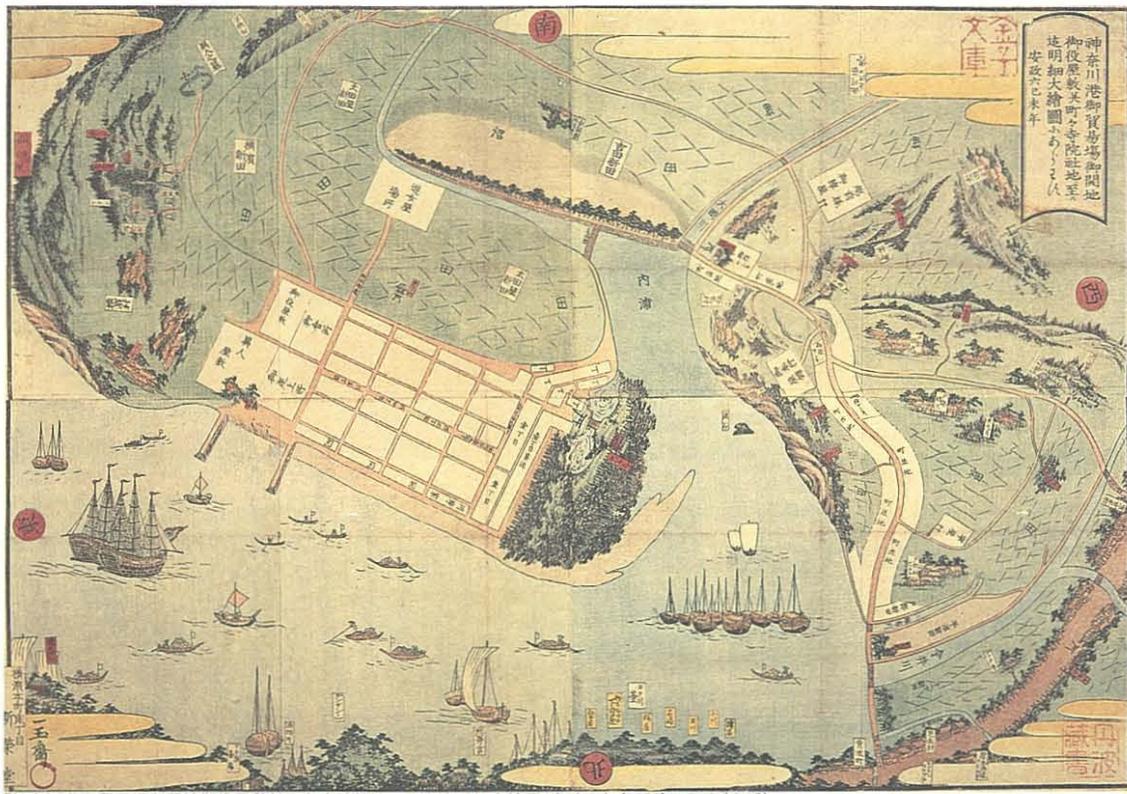
# 錦 と 絵 図



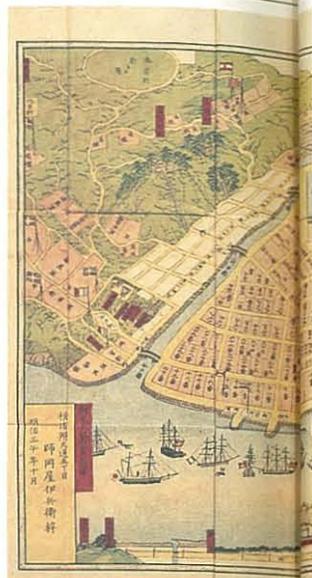
「橫濱吉田橋通繁昌之圖弁天通弁天通外國館遠景」明治3年(1870)一曜齋國輝



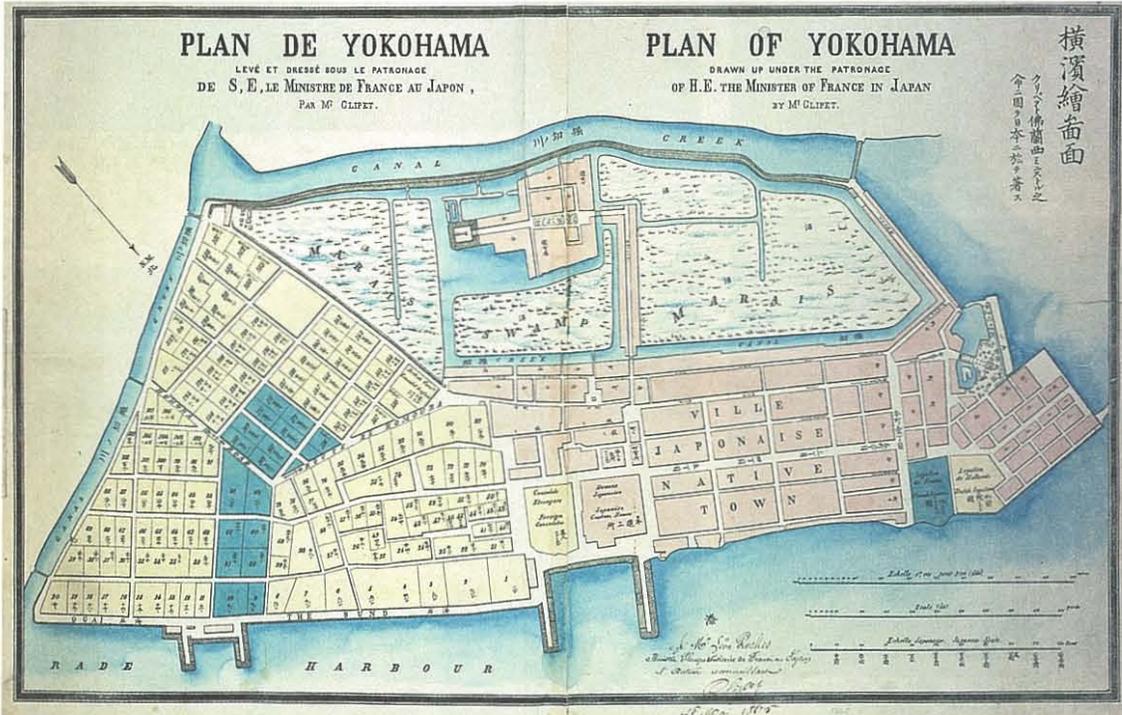
「御開港橫濱正景 YOKOHAMA CHART」文久3年(1863)頃



「神奈川港御貿易場御開地御役屋敷井町々寺院社地二至儿通明細大絵圖」安政6年(1859)一玉齋(貞秀)



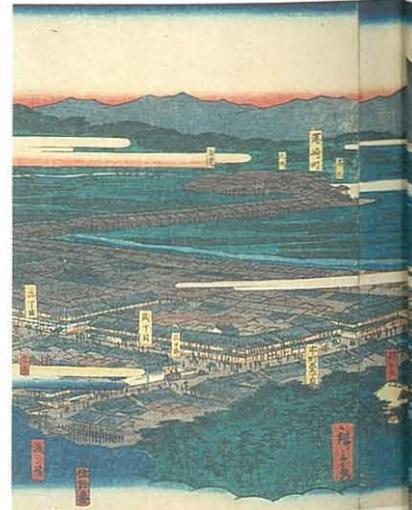
「横浜明細之全圖」明治3年(1870)



「横浜絵圖面 PLAN OF YOKOHAMA」慶応元年(1865)M・クリベット



「横浜風景一覽」文久元年(1861)二代広重



「神奈川 野毛 横浜」文久元年(1861)二代広重

# 町の



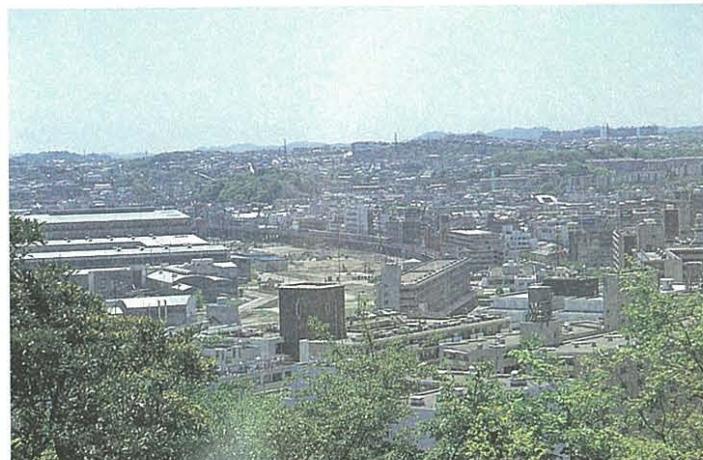
屏風ヶ浦周辺(昭和20年代)

磯子区



新横浜駅周辺(昭和40年)

港北区



屏風ヶ浦周辺(平成3年)

磯子区



新横浜駅周辺(平成3年)

港北区



青葉台駅周辺(昭和41年)

緑区



青葉台駅周辺(平成3年)

緑区

# 今 昔



横浜駅西口(昭和32年頃)

西区



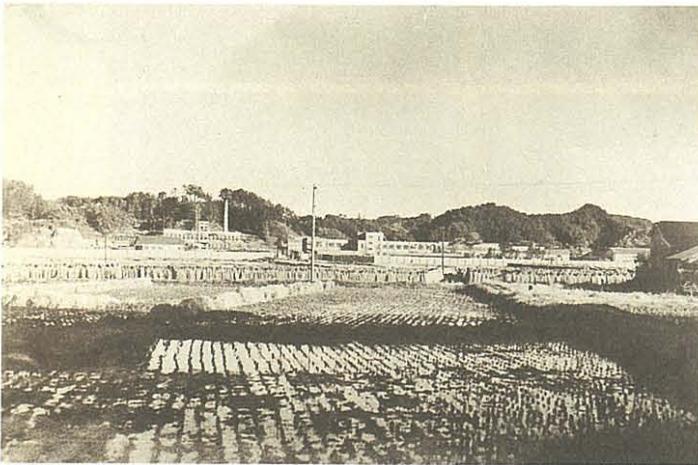
横浜駅西口(平成3年)

西区



吉田橋より伊勢佐木町を望む(昭和初期)

中区



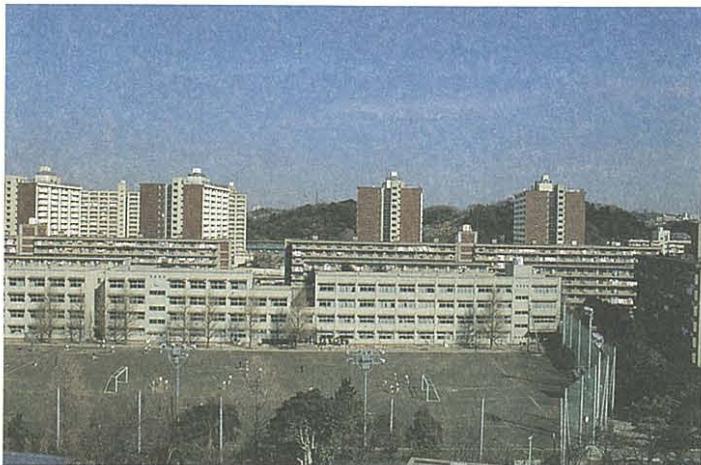
本郷台駅周辺(昭和30年代)

栄区



吉田橋より伊勢佐木町を望む(平成3年)

中区

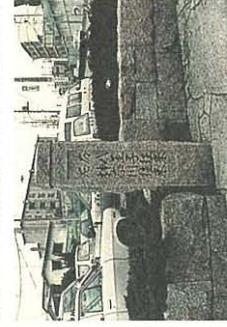
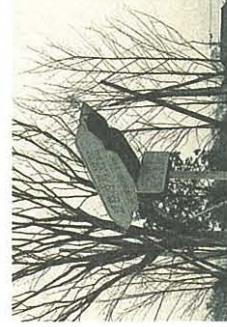
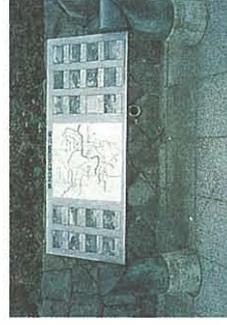
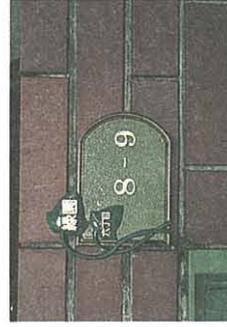
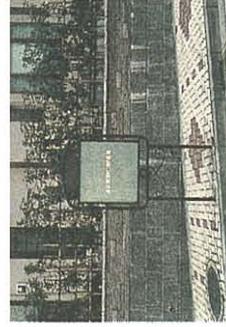
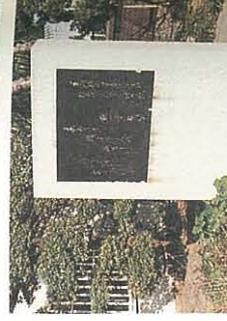
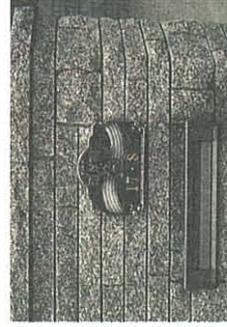


本郷台駅周辺(平成3年)

栄区

# 町の の か 入 し





寄進 藥師堂

美州久良郡横濱村藥師  
 堂免田畠木事一田大二百又  
 高二百一任由結依三瀬儀  
 距永代寄進可也此後任  
 由結一上は傳也一代理者  
 及是此一河内以の執事等係

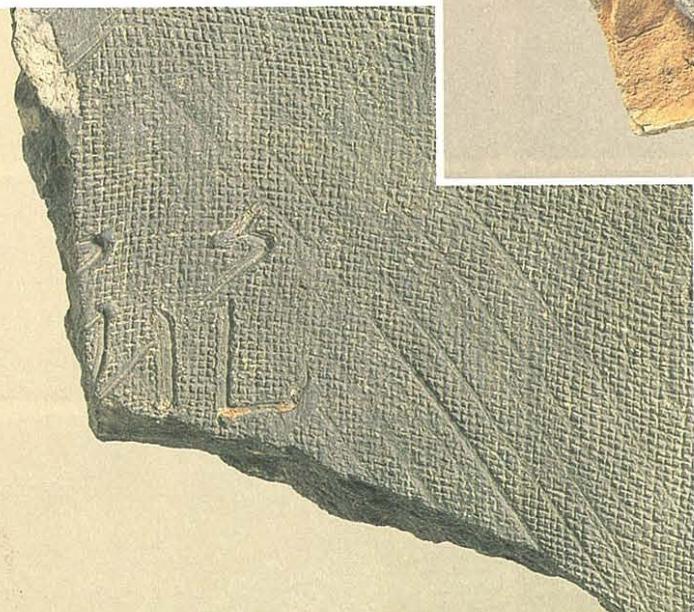
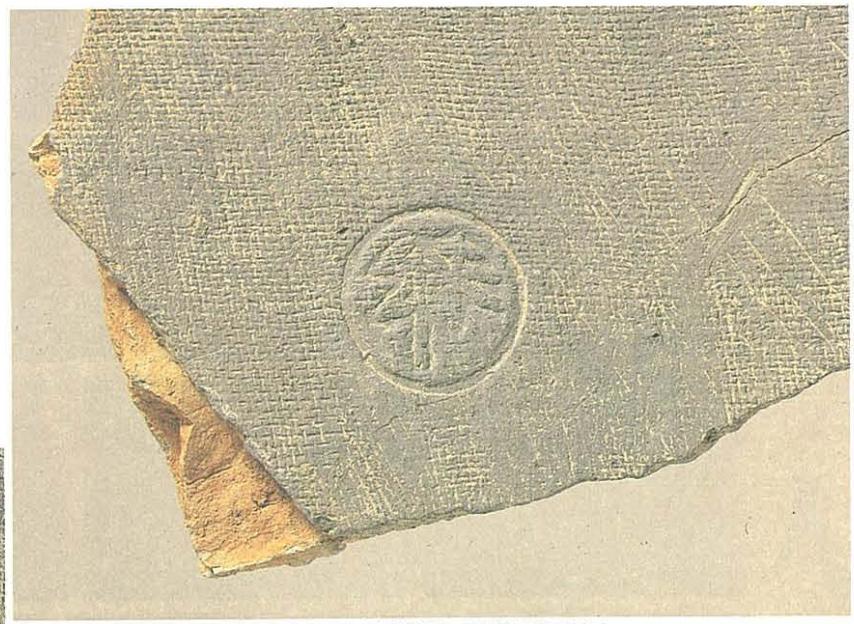
嘉吉貳年<sup>辛</sup>卯月廿六日

比留間範數

市河季氏

石河資金剛院

比留間範數・市河季氏寄進状 嘉吉2.4.26(1442年)  
「横浜」という地名が文書に載っている最初のものである



瓦にきざまれた「都」「筑」8世紀に建てられた  
 武蔵国分寺の瓦には、国内各都の名が刻印され  
 ている。写真は南多摩摩崖址群を構成する大丸窯  
 址(東京都稲城市)から出土したものである  
 ※現在、旧都筑郡域は、緑区・旭区・港北区・保  
 土ヶ谷区となっている

# 凡例

鶴見中央一丁目～五丁目

〔昭和五十五年七月二十八日〕(注)

—— 鶴見中央について ——

町名の読み方は『横浜市町区域要覧』横浜市市民局住居表示課編（横浜市役所 昭和六十二年刊）による。ただし、その後に新設された町については県告示による。

—— 一丁目～五丁目について ——

鶴見中央一丁目、鶴見中央二丁目、鶴見中央三丁目、鶴見中央四丁目、鶴見中央五丁目まで、五か町あることを意味する。なお、アラビア数字で表記している字名としての丁目は、この標題に記載しない。

—— 「昭和五十五年七月二十八日」について ——

横浜市内の行政区域名（町名）となった年月日。または、町を新設した年月日。

—— (注) について ——

住居表示が施行されたことを意味する。

【例一】市場上町「昭和四十三年七月一日」(注)

これは昭和四十三年七月一日に住居表示施行にともない町を設定したことを意味する。

【例二】菅沢町「昭和二年四月一日」△昭和四十三年七月一日(注)▽

これは昭和二年四月一日に町を設定し、その後、昭和四十三年七月一日に住居表示を施行したことを意味する。

—— 横浜市における「丁目」について ——

横浜市内の「丁目」を使用している町は、漢数字とアラビア数字とに分けて記載している。原則として、漢数字の「丁目」は町の区域を表現し、アラビア数字の「丁目」は小字の区域を表現している。

【例一】大岡一丁目～六丁目

これは一丁目から六丁目までが、それぞれひとつの独立した町の区域という意味で固有名詞としての町名である。

【例二】伊勢佐木町一丁目～七丁目

これは一丁目から七丁目までを含んだもの全部でひとつの町の区域という意味である。

したがって、漢数字は町単位を表わし、アラビア数字は小字単位を表わす。ただし、例外として旭区一保川一丁目・二丁目は、アラビア数字の「丁目」で表記しているが、小字ではなく町の単位である。

本書で、町名の次に「○丁目×丁目」と記載しているものは独立した町単位を表わし、文章中の小字区域に相当するものはアラビア数字で「丁目」を記載した。

こうした本市の方針は、住居表示に関する法律が施行され、すでにある小字に相当する丁目と区別するため、昭和三十九年四月以来実施しているものである。

—— 引用文献について ——

本文中の引用文献は『』に書名を入れ、引用文は原文の表記のまま「」に包んで引用した。したがって、歴史仮名遣いの文章を含んでいる。

参考文献は資料編の中に刊行された年度順に一覧表とし

て載せたが、そのうち主な引用文献は次のものである。

『和名抄』

わが国最初の分類体の漢和辞書で、承平（九三二～九三八）年中に醍醐天皇の皇女勤子内親王の命により源順が編集した。『倭名抄』ともいうが、『倭名類聚抄』が正式の書名である。このなかに古い地名を記録している。

『小田原衆所領役帳』

戦国大名後北条氏の一門・家臣の諸役賦課の基準となる役高を記した帳簿で、北条氏康が作らせたもので、永禄二年（一五五九）二月十二日の奥書がある。『小田原分限帳』、『小田原北条諸領役帳』ともいい、後北条時代の地名を記録している。

『新篇武蔵風土記稿』

徳川幕府の命で林衡（述斎）が総裁となって編集した武蔵国の地誌である。文化七年（一八一〇）に起稿し、文政十一年（一八二八）に終わり、天保元年（一八三〇）に幕府に上呈した。江戸時代の村名、小名を記録している。

『横濱沿革誌』

森田友昇が編集した安政六年から明治期までの横濱歴史年表で、幕末から明治期にかけて新設した横濱の町の新設、廃町を記録している。

『横濱市町名沿革誌』

横濱史料調査委員会の嘱託、弦間冬樹が調査した横濱市の町名沿革である。史料は『新篇武蔵風土記稿』、『横濱沿革誌』、『神奈川県公報』、『横濱市報』から採っている。横濱市が昭和十四年に発行した。

# 横浜の町名

## ●目次●

市長あいさつ……………3

クラビア……………5

凡例……………13

目次……………14

横浜の地名と横浜市のあゆみ……………16

鶴見区……………17

鶴見区の区名とそのあゆみ……………21

町名の由来と沿革……………21

神奈川区……………31

神奈川区の区名とそのあゆみ……………35

町名の由来と沿革……………35

西区……………47

西区の区名とそのあゆみ……………51

町名の由来と沿革……………51

中区……………59

中区の区名とそのあゆみ……………63

町名の由来と沿革……………63

南区……………79

南区の区名とそのあゆみ……………83

町名の由来と沿革……………83

港南区……………93

港南区の区名とそのあゆみ……………97

町名の由来と沿革……………97

保土ヶ谷区……………101

保土ヶ谷区の区名とそのあゆみ……………105

町名の由来と沿革……………105

旭区……………113

旭区の区名とそのあゆみ……………117

町名の由来と沿革……………117

磯子区……………125

磯子区の区名とそのあゆみ……………129

町名の由来と沿革……………129

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 町名の由来と沿革            | 135 |
| 金沢区                 | 139 |
| 町名の由来と沿革            | 139 |
| 港北区                 | 145 |
| 港北区の区名とそのあゆみ        | 149 |
| 町名の由来と沿革            | 149 |
| 緑区                  | 157 |
| 緑区の区名とそのあゆみ         | 161 |
| 町名の由来と沿革            | 161 |
| 戸塚区                 | 175 |
| 戸塚区の区名とそのあゆみ        | 179 |
| 町名の由来と沿革            | 179 |
| 栄区                  | 185 |
| 栄区の区名とそのあゆみ         | 189 |
| 町名の由来と沿革            | 189 |
| 泉区                  | 193 |
| 泉区の区名とそのあゆみ         | 197 |
| 町名の由来と沿革            | 197 |
| 瀬谷区                 | 201 |
| 瀬谷区の区名とそのあゆみ        | 205 |
| 町名の由来と沿革            | 205 |
| 資料                  | 209 |
| 「横浜」町の年表            | 210 |
| 「横浜」の区系図            | 211 |
| 新旧変遷図               | 212 |
| 事業別新町設定一覧図          | 216 |
| 住居表示整備事業と町界町名地番整理事業 | 218 |
| 行政区界図               | 219 |
| 市域拡張沿革図             | 221 |
| 参考文献・協力機関一覧         | 223 |
| 町名索引                | 228 |

## 横浜の地名と横浜市のおゆみ

横浜市の名称は中世以来の横浜村の村名によるものである。横浜村の名が見られる最古の文献は南区の宝生寺に伝わる中世古文書で、平子郷（今の本牧、磯子、根岸、石川一帯）の領主であった平子氏の家臣、比留間範数と市河季氏の二人が、横浜村薬師堂免田畠の寄進を宝生寺に申し出した文書で、嘉吉二年（一四四二）四月二十六日の日付けがある。「横浜」という地名の起源はつまびらかでないが、中区の本牧岬から流れ出た土砂が象の鼻に似た砂州を形成していたところから「横浜」の地名が生まれたであろうと考えられている。江戸時代中期の地形を見ても、大部分が砂州になっている。一説には、「浜の横」、つまり浜のそばにある村という意味だという。

横浜村は半農半漁村で、海を隔てて東海道の道筋に神奈川宿、保土ヶ谷宿、戸塚宿が賑わっていた。安政六年（一八五九）に開港場となって半農半漁村から都市化の道を進み、横浜町、さらに横浜区を経て、明治二十二年四月一日に市制を施行して、横浜市が誕生した。その市域は現在の中区のうち、本牧、根岸を除いた狭い区域であり、人口は約十二万人であった。

明治三十四年に第一次市域拡張を行い久良岐郡戸太町、本牧村、中村、根岸村、橋樹郡神奈川町、保土ヶ谷町の一部を合併し、明治四十四年に第二次市域拡張を行い橋樹郡保土ヶ谷町の一部、子安村の一部、久良岐郡屏風浦村の一部、大岡川村の一部を合併し、昭和二年四月一日に第三次市域拡張を行い、橋樹郡鶴見町、旭村、大綱村、城郷村、保土ヶ谷町、西谷村、久良岐郡大岡川村、目下村、屏風浦村を合併した。同年十月一日に区制を施行し、鶴見区、神

奈川区、中区、保土ヶ谷区、磯子区の五区を設置した。

その後、昭和十一年十月一日に第四次市域拡張を行い久良岐郡金沢町、六浦荘村、鎌倉郡永野村を合併し、昭和十二年四月一日に第五次市域拡張を行い橋樹郡日吉村の一部を合併した。昭和十四年四月一日に第六次市域拡張を行い都筑郡新治村、田奈村、中里村、川和町、新田村、中川村、山内村、都岡村、二俣川村、鎌倉郡戸塚町、川上村、豊田村、大正村、中和田村、中川村、瀬谷村、本郷村を合併して、港北区と戸塚区を新設した。その結果、七区制となり、人口は約九十五万人、市域はほぼ現在の区域となった。

また、昭和十八年十二月一日に中区の区域を変更して南区を、昭和十九年四月一日に中区の区域を変更して西区を新設した。さらに、昭和二十三年五月十五日に磯子区の区域を変更して金沢区を新設して十区制となった。

その後、人口が飛躍的に増加し、昭和二十三年当時八十六万人であったものが、昭和四十三年には二百万人を越える大都市へと発展し、都市構造自体も大きく変貌した。

このため、昭和四十四年十月一日に周辺四区について行政区再編成を行い、南区から港南区、保土ヶ谷区から旭区、港北区から緑区、戸塚区から瀬谷区を分区し、十四区制となった。

都心部にある鶴見区、神奈川区、西区、中区の人口は昭和四十四年の行政区再編成以後減少の傾向に転じたが、郊外区では引き続いて増加の傾向にあり、昭和六十一年十一月三日に行政区再編成を行い戸塚区から栄区、泉区を分区し、十六区制となった。

Y O K O H A M A

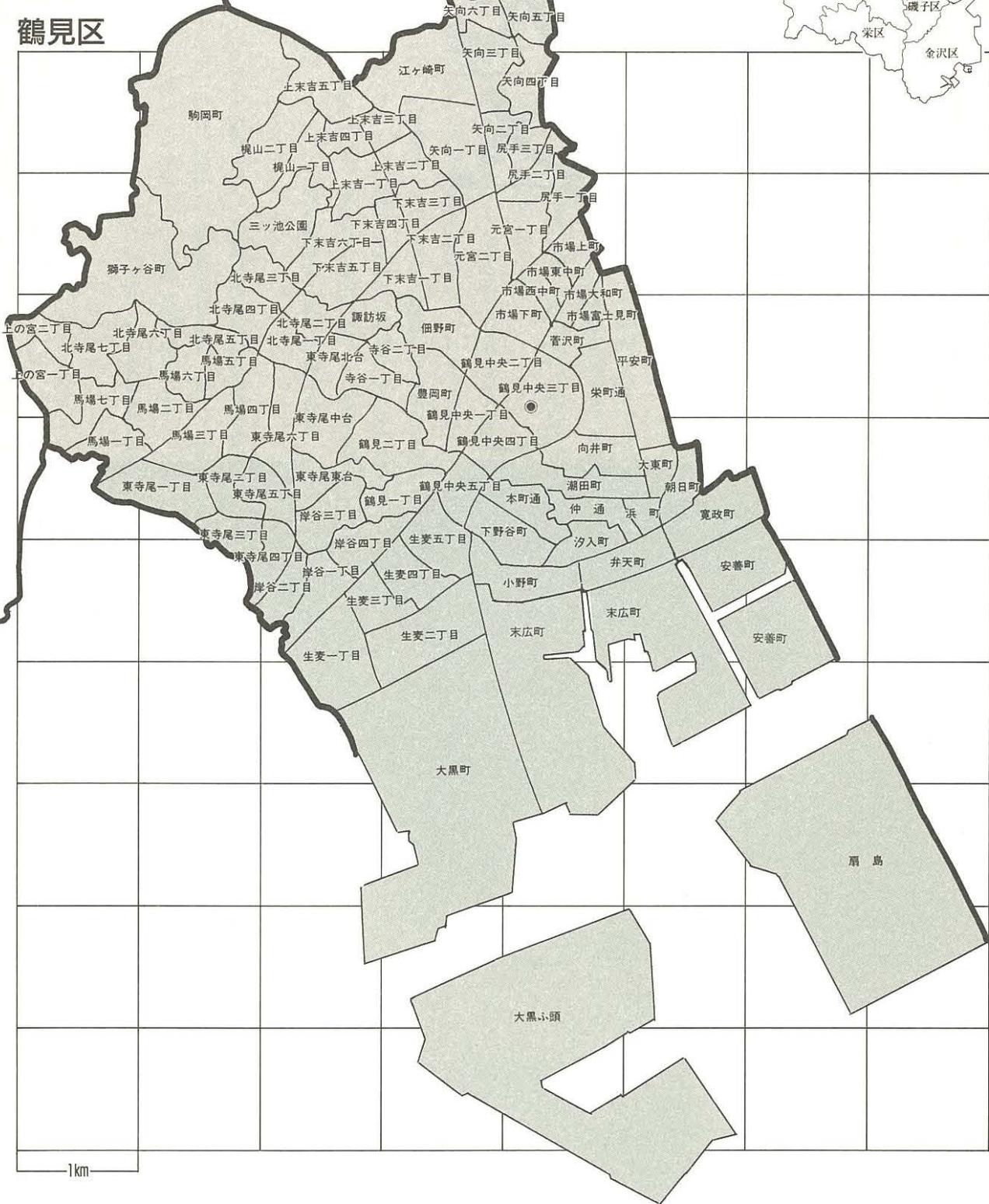
# 鶴見区

三ツ池公園



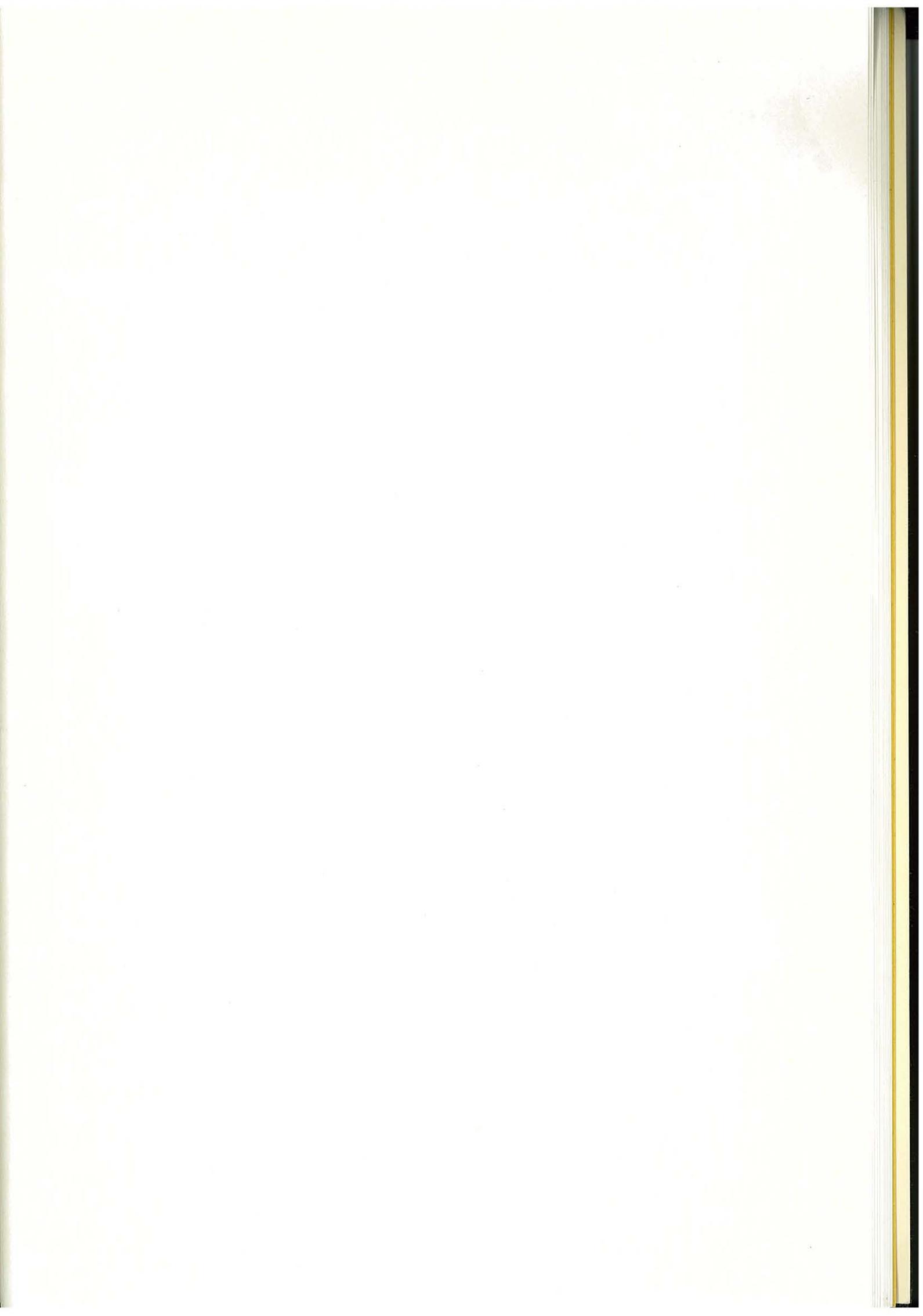


# 鶴見区



鶴見区 (32.402km<sup>2</sup>)

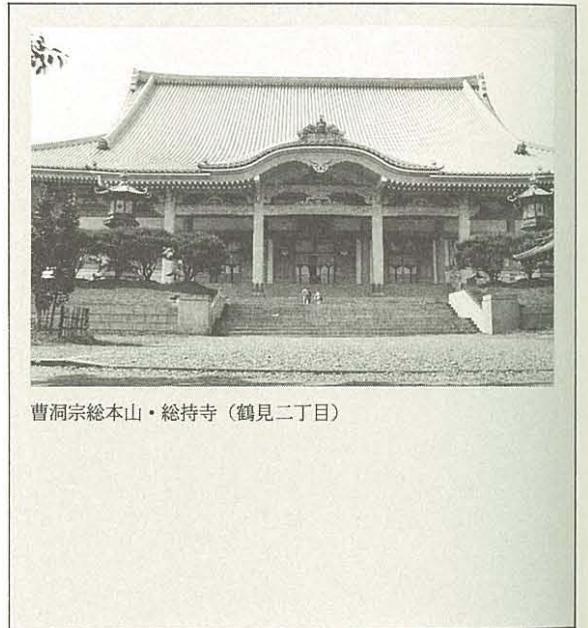
| 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名      | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|--------|-----------------------|---------|-----------------------|----|-----------------------|
| 朝日町    | 0.133                 | 大東町     | 0.094                 |    |                       |
| 安善町    | 0.917                 | 佃野町     | 0.223                 |    |                       |
| 市場上町   | 0.123                 | 鶴見一丁目   | 0.174                 |    |                       |
| 市場下町   | 0.215                 | 鶴見二丁目   | 0.334                 |    |                       |
| 市場西中町  | 0.068                 | 鶴見中央一丁目 | 0.142                 |    |                       |
| 市場東中町  | 0.069                 | 鶴見中央二丁目 | 0.245                 |    |                       |
| 市場富士見町 | 0.060                 | 鶴見中央三丁目 | 0.337                 |    |                       |
| 市場大和町  | 0.085                 | 鶴見中央四丁目 | 0.190                 |    |                       |
| 潮田町    | 0.244                 | 鶴見中央五丁目 | 0.172                 |    |                       |
| 江ヶ崎町   | 0.479                 | 寺谷一丁目   | 0.165                 |    |                       |
| 扇島     | 2.759                 | 寺谷二丁目   | 0.117                 |    |                       |
| 小野町    | 0.272                 | 豊岡町     | 0.252                 |    |                       |
| 梶山一丁目  | 0.179                 | 仲通      | 0.150                 |    |                       |
| 梶山二丁目  | 0.282                 | 生麦一丁目   | 0.438                 |    |                       |
| 上末吉一丁目 | 0.199                 | 生麦二丁目   | 0.357                 |    |                       |
| 上末吉二丁目 | 0.154                 | 生麦三丁目   | 0.181                 |    |                       |
| 上末吉三丁目 | 0.095                 | 生麦四丁目   | 0.213                 |    |                       |
| 上末吉四丁目 | 0.102                 | 生麦五丁目   | 0.243                 |    |                       |
| 上末吉五丁目 | 0.255                 | 馬場一丁目   | 0.193                 |    |                       |
| 上の宮一丁目 | 0.219                 | 馬場二丁目   | 0.232                 |    |                       |
| 上の宮二丁目 | 0.141                 | 馬場三丁目   | 0.260                 |    |                       |
| 寛政町    | 0.310                 | 馬場四丁目   | 0.220                 |    |                       |
| 岸谷一丁目  | 0.184                 | 馬場五丁目   | 0.116                 |    |                       |
| 岸谷二丁目  | 0.135                 | 馬場六丁目   | 0.127                 |    |                       |
| 岸谷三丁目  | 0.217                 | 馬場七丁目   | 0.213                 |    |                       |
| 岸谷四丁目  | 0.189                 | 浜町      | 0.067                 |    |                       |
| 北寺尾一丁目 | 0.141                 | 東寺尾一丁目  | 0.302                 |    |                       |
| 北寺尾二丁目 | 0.118                 | 東寺尾二丁目  | 0.146                 |    |                       |
| 北寺尾三丁目 | 0.159                 | 東寺尾三丁目  | 0.140                 |    |                       |
| 北寺尾四丁目 | 0.200                 | 東寺尾四丁目  | 0.151                 |    |                       |
| 北寺尾五丁目 | 0.118                 | 東寺尾五丁目  | 0.174                 |    |                       |
| 北寺尾六丁目 | 0.194                 | 東寺尾六丁目  | 0.246                 |    |                       |
| 北寺尾七丁目 | 0.222                 | 東寺尾北台   | 0.134                 |    |                       |
| 駒岡町    | 1.755                 | 東寺尾中台   | 0.287                 |    |                       |
| 柴町通    | 0.280                 | 東寺尾東台   | 0.164                 |    |                       |
| 汐入町    | 0.150                 | 平安町     | 0.396                 |    |                       |
| 獅子ヶ谷町  | 1.059                 | 弁天町     | 0.214                 |    |                       |
| 下野谷町   | 0.230                 | 本町通     | 0.182                 |    |                       |
| 尻手一丁目  | 0.152                 | 三ッ池公園   | 0.312                 |    |                       |
| 尻手二丁目  | 0.137                 | 向井町     | 0.255                 |    |                       |
| 尻手三丁目  | 0.111                 | 元宮一丁目   | 0.171                 |    |                       |
| 下末吉一丁目 | 0.131                 | 元宮二丁目   | 0.351                 |    |                       |
| 下末吉二丁目 | 0.252                 | 矢向一丁目   | 0.421                 |    |                       |
| 下末吉三丁目 | 0.157                 | 矢向二丁目   | 0.135                 |    |                       |
| 下末吉四丁目 | 0.090                 | 矢向三丁目   | 0.240                 |    |                       |
| 下末吉五丁目 | 0.214                 | 矢向四丁目   | 0.184                 |    |                       |
| 下末吉六丁目 | 0.251                 | 矢向五丁目   | 0.132                 |    |                       |
| 末広町    | 2.305                 | 矢向六丁目   | 0.144                 |    |                       |
| 菅沢町    | 0.135                 |         |                       |    |                       |
| 諏訪坂    | 0.143                 |         |                       |    |                       |
| 大黒町    | 2.155                 |         |                       |    |                       |
| 大黒ふ頭   | 3.122                 |         |                       |    |                       |



## 鶴見区の区名とそのあゆみ

鶴見区は、昭和二年十月一日に区制を施行し、区名は、この区の中央に位置する鶴見町の名を採ったものである。横浜市の北東部に位置し、北西部の丘陵地、鶴見川流域の低地、臨海部の埋立地から形成され、その大部分は既成市街地である。鶴見川流域の農業が発達し、東海道を中心とした生活が営まれ、海岸沿いに漁業が盛んであったが、明治末期からの埋め立てと工場進出によって農漁業は徐々に衰え、京浜工業地帯を中心として栄えるようになった。工業都市・商業都市・住宅都市の三つの顔を持ち、「うるおいとにぎわいの街・つるみ」の街づくりが進められている。平成元年九月に横浜ベイブリッジとスカイウォーク・首都高速大黒線等が完成し、新しい区の魅力となっている。

鶴見の名は鎌倉時代の文献にも見られる。鶴見区の町名は、鶴見川と、その背後の丘陵地に囲まれた谷戸、東京湾沿いの埋立地に因むものが多い。また、古代の師岡保などの荘園があった所で、末吉などの中世の名の名残と思われる地名も残っている。海岸沿いを埋め立てて京浜工業地帯として造成された地域には、安善町、末広町、扇島など開発に尽くした人物に因む町名が多く付けてある。



曹洞宗総本山・総持寺（鶴見二丁目）

### 朝日町「昭和十六年四月一日」

昭和十六年に潮田町、平安町の一部から新設した町。西側を流れていた旭運河の名をとって命名したという。町は1丁目と2丁目の字区域があり、大東町、浜町、寛政町、川崎市に接する。町の東南側を首都高速横羽線が通る。

### 安善町「昭和二年四月一日」

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡鶴見町大字安善町から新設した町。この地域は大正五年頃に、浅野総一郎の計画で東京湾埋立会社（現東亜建設工業）が潮田地先の海岸を埋め立てた土地で、安田善次郎が資金を調達して完成したことから、安田善次郎の「安」と「善」の二文字をとって町名を付けた。町は1丁目と2丁目の字区域があり、寛政町、末広町、川崎市に接する。北西側に鶴見線安善町駅があり、京浜運河、安善運河、境運河で海面と接する。町内にはガス工場や油槽所施設が集中する。

### 市場上町「昭和四十三年七月一日」(注)

昭和四十三年の住居表示施行にともない市場町の一部から新設した町。古くは橋樹郡市場村で、明治二十二年の市町村制施行の際、市場村、江ヶ崎村、矢向村、潮田村、菅沢村、小野新田、小田村飛地を合併して町田村を立てその大字市場となり、大正十四年に鶴見町へ合併して鶴見町大字市場となる。昭和二年の横浜市編入の際、市場町となる。町名は通称として地元に着していた名称を採った。この地区を旧東海道が通り、熊野神社沿革によると「此地方は往古からの海辺で漁・塩の利が共に豊富であって、天文の頃には魚介の市を開設して利を獲た者が多く、遂に村名とした」の記録がある。市場は市場下町から元宮にかけてあ

たという。また、豊田武の『中世日本商業史の研究』は、  
応安四年（一三七二）武蔵国鶴見郷内に新市があったこと  
を明らかにした。町は尻手一丁目、市場東中町、市場大和  
町、川崎市に接する。北西側を東海道本線、南東側を京浜  
急行本線が通る。町内に市場商店街がある。

### 市場下町〔昭和四十三年七月一日〕(注)

昭和四十三年の住居表示施行にともない市場町の一部よ  
り新設した町。江戸時代にこの市場下町から元宮にかけて  
魚介市があったという。町名は通称として地元に着して  
いる名称を採った。町は市場西中町、元宮二丁目、菅沢町、  
鶴見中央二丁目に接する。北西側を東海道本線、南東側を  
京浜急行本線が通り、南西側を鶴見川が流れる。

### 市場西中町〔昭和四十三年七月一日〕(注)

昭和四十三年の住居表示施行にともない市場町の一部よ  
り新設した町。町名は通称として地元に着している名称  
を採った。町は市場東中町、市場下町、市場大和町、元宮  
一丁目・二丁目、菅沢町に接する。北西側を東海道本線、  
南東側を京浜急行本線が通る。町内に東海道一里塚の記念  
碑がある。

### 市場東中町〔昭和四十三年七月一日〕(注)

昭和四十三年の住居表示施行にともない市場町の一部よ  
り新設した町。町名は通称として地元に着している名称  
を採った。町は市場上町、市場西中町、市場大和町、元宮  
一丁目に接する。北西側を東海道本線、南東側を京浜急行  
本線が通る。町内は市場銀座商店街が続き、京浜急行の鶴  
見市場駅がある。

### 市場富士見町〔昭和四十三年七月一日〕(注)

昭和四十三年の住居表示施行にともない市場町、平安町、  
菅沢町の一部より新設した町。町名は通称として地元に着  
している字名「富士見」を採った。富士山が見えたこと  
ろからついた名称という。町は市場大和町、菅沢町、平安  
町に接する。三角形の町区域で、西北側を第一京浜（国道  
15号）、東側をゴム通りが通り、中央に市場公園がある。

### 市場大和町〔昭和四十三年七月一日〕(注)

昭和四十三年の住居表示施行にともない市場町、平安町  
の一部より新設した町。町名は通称として地元に着して  
いる名称を採った。「大和」の意味は不明であるが、地名  
研究では「日本」を意味する。町は市場上町、市場東中町、  
市場西中町、市場富士見町、菅沢町、川崎市に接する。北  
西側の京浜急行の鶴見市場駅に面して商店が集中している。  
東南側を第一京浜（国道15号）が通る。

#### 市場村一里塚

一里塚は、慶長九年（一六〇四年）、徳川家康が江戸日本橋を起点  
として東海道・中山道・北陸道の三街道に築かせた路程標である。塚  
の大きさは五間四方（間は約一・八メートル）と、かなり大きめで  
あり、旅人はそれを里程の目安として旅をした。江戸日本橋から京都  
までの東海道全体の里程は、約一二五里（約五〇〇キロメートル）に  
及んでいる。

市場の一里塚は、「武州橋樹郡市場村一里塚」といい江戸日本橋か  
ら五つめの一里塚である。塚に生える榎は、夏になるとよく繁り旅人  
の絶好の休息場所となっていた。秋になると、その実で一時期肌えをし  
のぐこともでき、また、人夫の賃金を計る基準ともなっていたといわ  
れる。

当時の様子を今に伝える一里塚碑が、鶴見区市場西中町にある。

### 潮田町〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡鶴見町大字潮田から  
新設した町。古くは橋樹郡潮田村といい、丸子ノ庄に属し  
たともいうが、『小田原衆役帳』には「小机の内」とある。  
明治二十二年の市町村制施行の際、町田村大字潮田となり、  
大正十二年四月一日に潮田町と改め、大正十四年四月一日  
に潮田町と鶴見町を廃し、新たに鶴見町を立て、その大字  
潮田となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「潮田」  
とは「海水の入ってくる田」、「海水の来る所」の意味と  
いう。町は1丁目から4丁目の字区域があり、向井町、本  
町通、仲通、浜町、大東町に接する。潮田町1丁目と2丁  
目を三十六米道路が通る。

### 江ヶ崎町〔昭和二年四月一日〕

△昭和四十三年七月一日(注)▽

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡鶴見町大字江ヶ崎か  
ら新設した町。古くは橋樹郡江ヶ崎村といい、明治十二  
年の市町村制施行の際、町田村大字江ヶ崎となり、大正十  
二年四月一日に潮田町と改め、大正十四年四月一日の鶴見  
町合併によって鶴見町大字江ヶ崎となる。『武蔵風土記稿』  
の「江ヶ崎村」の項に「矢向は村の形鏡の如く圓く、此村  
はかの鏡の柄の如くなる處なれば江ヶ崎と名付なといへば、  
柄を江と書きかへたつにや覚束なき説なり」の記録がある。  
地名研究で「江ヶ崎」とは「川に面した所」の意味という。  
鶴見側に突き出した所と考えられている。町は矢向一丁目・  
三丁目・六丁目、川崎市に接する。東側は横須賀線・東海  
道貨物線と接し、西側は鶴見川を隔てて上末吉三丁目・五  
丁目と接する。工場が多く、中央部には東京電力の京南変  
電所がある。

おおきしま  
扇島〔昭和三十九年二月二十一日〕

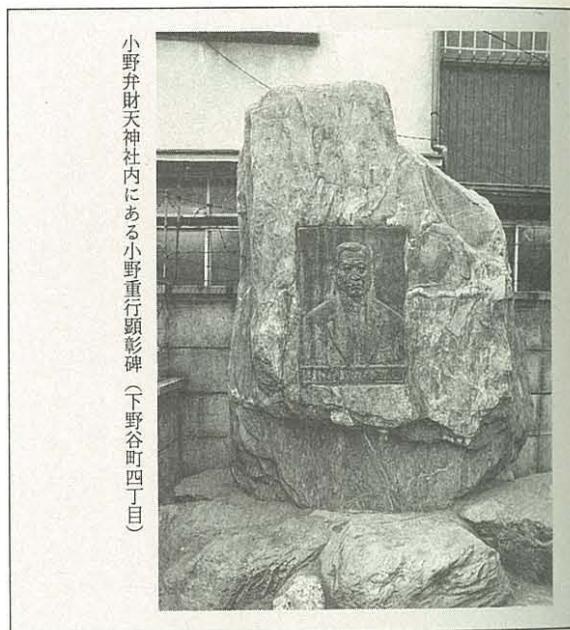
昭和三十九年の埋め立てにともない新設した町。川崎市扇町の対岸にあることから扇島と命名した。「扇」の文字は埋め立てに尽力した浅野総一郎の扇形の末広紋にちなんだという。町は北西側を京浜運河を隔てて末広町、安善町と接し、東側は川崎市川崎区扇島に接する。日本鋼管京浜製鉄所と昭和シェル石油の貯油所がある。

おのちよう  
小野町〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡鶴見町大字小野町から新設した町。この地域は江戸時代末期から明治初期に小野家が埋め立てた新田で、小野新田と呼ばれた。明治二十二年の市町村制施行の際、町田村大字小野となり、大正二年ごろ、浅野総一郎の援助を受けた小野重行が宅地化した。大正十二年に潮田町と改称し、大正十四年に鶴見町と合併して鶴見町大字小野となる。町名は開拓者「小野」の姓を採った。町は下野谷町、汐入町、弁天町、末広町、生麦二丁目・五丁目に接する。西側を鶴見川が流れ、町の中央を鶴見産業道路、鶴見線が通る。鶴見線の鶴見小野駅があり、町内に小野重行の顕彰碑が建っている。

かじやま  
梶山一丁目・二丁目〔昭和四十四年六月一日〕(注)

昭和四十四年の住居表示施行にともない上末吉町、下末吉町、駒岡町の一部から新設した町。町名は字名から採った。『新篇武蔵風土記稿』の「上末吉村」の項に「梶山谷同じ方にて村境なり」の記録がある。「梶」とはクワ科の落葉高木「カジノキ(梶木)」の古名である。町は駒岡町、上末吉一丁目・四丁目・五丁目、下末吉六丁目、三ッ池公園に接する。一丁目と二丁目の境を環状2号が通る。



小野弁財天神社内にある小野重行顕彰碑(下野谷町四丁目)

かみすえし  
上末吉一丁目・五丁目〔昭和四十四年六月一日〕(注)

昭和四十四年の住居表示施行にともない上末吉町等の一部より新設した町。古くは橋樹郡上末吉村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、上末吉村、下末吉村、獅子ヶ谷村、師岡村、駒岡村、馬場村、北寺尾村、西寺尾村、東寺尾村飛地を合併して旭村を立て、その大字上末吉となり、昭和二年に横浜市に編入して上末吉町となる。町名は旧村名を採った。『小田原衆所領役帳』に「末吉」の記録がある。町は駒岡町、梶山一丁目・二丁目、下末吉三丁目・四丁目・六丁目に接する。北東側を鶴見川が流れる。町名に由来する愛称道路「末吉大通り」が通る。町内に末吉地区センターがある。

かみみや  
上の宮一丁目・二丁目〔昭和四十九年八月十九日〕(注)

昭和四十九年の住居表示施行にともない北寺尾町、馬場町の一部から新設した町。町名は地元の要望により通称と

して定着していた字名を採った。上の宮は町内の八幡神社に由来する。町は獅子ヶ谷町、北寺尾七丁目、馬場七丁目、港北区菊名四丁目・五丁目、大豆戸町、師岡町に接する。南西側を綱島街道が通る。

かんせいちよう  
寛政町〔昭和十六年四月一日〕  
〱昭和五十三年七月十七日(注)〱

昭和十六年に潮田町、安善町の一部から新設した町。この地域は宝暦十四年(一七六四)から開発された荒井新田の西側部分で、天明八年(一七八八)に検地され、寛政元年(一七八九)から年貢を取り立てられたことから寛政耕地と呼ばれた。町は旭町、弁天町、安善町、川崎市に接する。北西側を首都高速横羽線が通る。また、安善町側に鶴見線の安善駅がある。

かみや  
岸谷一丁目・四丁目〔昭和四十二年五月一日〕(注)

昭和四十二年の住居表示施行にともない生麦町他の一部から新設した町。町名は地元の要望により字名を採用した。地名研究で「キシヤ」とは「山側の谷戸」あるいは「山手の谷」の意味という。町は鶴見一丁目、生麦一丁目・三丁目・四丁目・五丁目、東寺尾四丁目・五丁目、東寺尾東白神奈川区子安台一丁目・二丁目に接する。北西側を第二京浜(国道1号)が通る。また、生麦側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線が通る。

きたてらお  
北寺尾一丁目・二丁目〔昭和四十七年六月五日〕(注)  
きたてらお  
北寺尾三丁目・七丁目〔昭和四十九年八月十九日〕(注)

昭和四十七、四十九年の住居表示施行にともない北寺尾町他一部より新設した町。古くは橋樹郡北寺尾村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、旭村大字北寺尾となり、

昭和二年の横浜市編入の際に北寺尾町となった。町名は旧村名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「西寺尾村」の項に、「村名を寺尾と云ふ事其初めを詳にせず、按に東寺尾村の内仙鶴 松蔭寺に蔵する建武元年の寺地の圖あり、其頃は此寺は正統庵とて殊の外大伽藍にて寺領も廣かりしと見ゆ、されは此寺の尾に續きし地なれば、かく寺尾といひしにやあらずや」の記録がある。町は上の宮一丁目・二丁目、獅子ヶ谷町、三ッ池公園、下末吉五丁目・六丁目、諏訪坂、東寺尾六丁目、馬場二丁目・四丁目〱七丁目に接する。南東側を第二京浜（国道1号）が通る。

#### 駒岡町こまおかしやう〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡旭村大字駒岡から新設した町。もと橋樹郡駒岡村といひ、上・中・下の三村に分かれたという。明治二十二年の市町村制施行の際、旭村大字駒岡となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「コマオカ」とは「駒形の岡」あるいは「谷戸の発達した岡」を意味するという。町は上末吉五丁目、梶山二丁目、三ッ池公園、獅子ヶ谷町、港北区師岡町、樽町三丁目・四丁目に接する。北側を鶴見川が流れ、鷹野大橋を渡って、川崎市に接する。町内に二ッ池があり、末吉大通り、鶴見獅子ヶ谷通り、環状2号が通る。

#### 栄町通さかえちやうどおり〔昭和十六年四月一日〕

昭和十六年に潮田町の一部から新設した町。古くは橋樹郡潮田村の一部で、昭和二年の横浜市編入の際、潮田町となる。地名研究で「栄」とは、土地が栄えるようにとの願いを込めて名付けたものが多いという。町は1丁目から4丁目の字区域があり、菅沢町、平安町、向井町に接する。西側を鶴見川が流れ、芦穂橋を渡って、鶴見中央三丁目に

接する。東側をゴム通りが通る。

#### 汐入町しおいりちやう〔昭和十六年四月一日〕

昭和十六年に潮田町の一部から新設した町。古くは橋樹郡潮田村の一部で、昭和二年の横浜市編入の際、潮田町となる。地名研究で「汐（潮）入り」とは「池や沼に海水の通うこと」の意味という。町は1丁目から3丁目の字区域があり、下野谷町、本町通、仲通、弁天町、小野町に接する。1丁目と2丁目の間を三十六米道路が通り、南東側を首都高速横羽線が通る。

#### 獅子ヶ谷町ししがやちやう〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡旭村大字獅子ヶ谷から新設した町。古くは橋樹郡獅子ヶ谷村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、旭村大字獅子ヶ谷となる。町名は旧村名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「獅子ヶ谷村」の項に「文禄三年中（一五九四）に記せし物には師岡の内

#### 浅野総一郎の埋め立て

鶴見区の臨海部では江戸時代から新田などの開発が行われていたが、工業地帯造成のための大規模な埋め立てが行われることとなったのは大正時代に入ってからである。そして、その事業は実業家の浅野総一郎によって始められた。

彼は、明治二十九年（一八九六年）に欧米の港湾都市の視察を行い、日本経済を発展させるために臨海部に工業地帯を造成し、工業を振興する必要があると痛感したのであった。

そして彼は、金融界の安田善二郎の賛同を得て、「鶴見埋立組合」を組織。大正二年（一九一三年）に町田村潮田地先（現鶴見区）から田島町（現川崎市）にかけて、約四五七ヘクタールの埋立事業に着手し、十六年の工事の後、完成させたのであった。

この埋立地は、浅野総一郎の家族に因んで「末広町」、安田善二郎の名前に因み「安善町」の町名がつけられた。その後埋立地には、日本石油・日本鋼管・旭硝子等の工場が進出し工業地帯が形成されていったのである。

鹿谷と書せり」の記録がある。この地で師岡村の熊野三社大権現の獅子舞の道具を受け持ったことから村名が付いたという説がある。「シシ」は、猪や鹿の意味もある。また地名研究で「シシ」とは谷を形容する言葉で、「せばまった地形の谷」の意味という。町は駒岡町、三ッ池公園、北寺尾三丁目〱七丁目、上の宮二丁目、港北区師岡町に接する。町内に獅子ヶ谷市民の森や二ッ池があり、鶴見獅子ヶ谷通りが通る。

#### 下野谷町したのやちやう〔昭和十六年四月一日〕

昭和十六年に潮田町の一部から新設した町。古くは橋樹郡潮田村の一部で、昭和二年の横浜市編入の際に潮田町となる。町名は字名から採った。町は1丁目から4丁目の字区域があり、本町通、汐入町、小野町に接する。西側を鶴見川が流れ、臨港鶴見川橋を渡って、鶴見中央五丁目に接する。また、南西を鶴見線が通る。

#### 尻手一丁目〱三丁目しって〔昭和四十三年七月一日〕(注)

昭和四十三年の住居表示施行にともない市場町・矢向町の一部から新設した町。地元の通称を町名に採った。地名研究で「シッテ」とは「ある地域の後方にある土地」の意味という。町は市場上町、元宮一丁目、矢向二丁目・四丁目、川崎市に接する。尻手二丁目と三丁目の間を第二京浜（国道1号）が通る。東を南武線が通り、川崎市側に尻手駅がある。また、市場上町側を東海道本線、京浜東北線が通る。

#### 下末吉一丁目〱六丁目しもすえし〔昭和四十四年六月一日〕(注)

昭和四十四年の住居表示施行にともない下末吉町の一部から新設した町。古くは橋樹郡下末吉村といひ、明治二十

二年の市町村制施行の際、旭村大字下末吉となり、昭和二年の横浜市編入に際して下末吉町となる。町名は旧村名を採った。上末吉の南側に位置し、鶴見川の下手に位置する関係から名付けられた。町は上末吉一丁目・二丁目、梶山一丁目、三ツ池公園、北寺尾二丁目・三丁目、諏訪坂、佃野町に接する。東側を鶴見川が流れ、新鶴見橋、森永橋を渡って元宮二丁目、矢向一丁目に接する。町の中央を第二京浜(国道1号)が通る。下末吉二丁目には森永製菓がある。町名に由来する愛称道路「末吉大通り」が通る。

### 末広町すえひろちょう

〔昭和二年四月一日〕

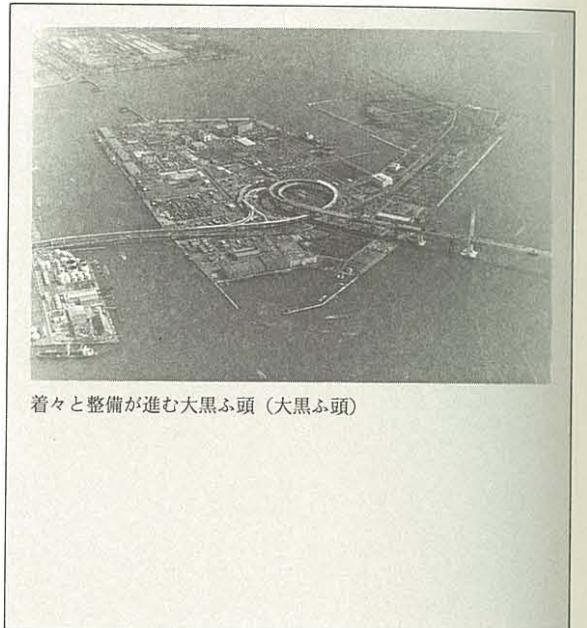
昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡鶴見町大字末広町から新設した町。一丁目、二丁目を置く。大正三、四年の頃、東京湾埋立会社(現、東亜建設工業)が潮田地先を埋め立て、大正五年十月十五日に町田村の区域として末広の字名を付け、大正十二年に潮田町と改称し、大正十四年に鶴見町と合併して鶴見町大字末広町となる。「末広」は東京湾埋立会社社長、浅野総一郎の家紋末広から採った。町は1丁目と2丁目の字区域があり、小野町、弁天町に接し、東側の京浜運河を隔てて安善町に接する。北側を鶴見線が通り、弁天橋駅、浅野駅、海芝浦駅がある。町内に日本鋼管鶴見製作所、東芝、東京ガス、旭硝子、鶴見曹達、北部第二下水処理場がある。

### 菅沢町すがさわちよう

〔昭和二年四月一日〕

△昭和四十二年七月一日(注)▽

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡鶴見町大字菅沢から新設した町。古くは橋樹郡菅沢村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、町田村大字菅沢となり、大正十二年に潮田町と改称し、大正十四年四月一日の鶴見町への合併に



際して鶴見町大字菅沢となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「菅沢」とは「鶴見川沿いの沢でカヤツリグサ科の多年草、菅の生えている所」を意味するという。町は市場下町、市場西中町、市場大和町、市場富士見町、平安町、栄町通に接する。南西側を鶴見川が流れ、鶴見橋を渡って鶴見中央三丁目に接する。町の中央を第一京浜(国道15号)が通る。また、市場下町側を京浜急行本線が通る。

### 諏訪坂すわさか

〔昭和四十七年六月五日〕(注)

昭和四十七年の住居表示施行にともない東寺尾町、鶴見町、北寺尾町の一部から新設した町。町名は地元の通称を採った。戦国時代の寺尾城主であった諏訪氏、あるいは諏訪社に因んで名付けられたという。文政四年(一八二二)の『鶴見社絵図』に「諏訪社」の記録がある。町は下末吉一丁目・五丁目、佃野町、寺谷二丁目、東寺尾北台、東寺尾二丁目に接する。北西側を第二京浜(国道1号)が通る。町名に由来する愛称道路「諏訪坂」が通る。

### 大黒町だいこくちよう

〔昭和十二年三月十二日〕

△昭和四十二年五月一日(注)▽

昭和十二年の生麦町地先埋め立てにともない新設した町。隣接する神奈川区の恵比須町、宝町とともに七福神に因んで命名した。町は北西側の大黒運河を隔てて生麦一丁目・二丁目に、北東側は鶴見川を隔てて末広町に、北西側は寿老橋を渡って宝町に、南東側は大黒大橋を渡って大黒ふ頭に接する。町の中央を首都高速大黒線が通る。町内に中央卸売市場食肉市場、日産自動車横浜工場、日東化学工業、東京電力横浜火力発電所、保土谷化学工業などがある。

### 大黒ふ頭だいこくふとう

〔昭和五十三年四月七日〕

昭和五十三年の大黒町地先埋め立てにともない新設した町。工事からの「大黒ふ頭」という名が定着していたため、そのまま町名に採った。町は北西側の大黒大橋を渡って大黒町に接する。町内に大黒ふ頭倉庫や大黒ふ頭中央公園、首都高速大黒線の大黒ランプがあり、横浜ベイブリッジに通じている。

### 大東町だいてうちよう

〔昭和十六年四月一日〕

昭和十六年に潮田町、平安町の一部から新設した町。この地域にある大日本塗料の「大」と東亜科学の「東」に因んで大東と名付けたという。町は平安町、朝日町、浜町、潮田町、向井町、川崎市に接する。西側をゴム通りが通る。

### 佃野町つくのちよう

〔昭和五十四年七月二十三日〕(注)

昭和五十四年の住居表示の施行にともない鶴見町、元宮二丁目の一部から新設した町。古くは橋樹郡鶴見村の一部で、昭和二年の横浜市編入に際して鶴見町となる。町名は

地元の通称を採った。「佃」とは「作り田」の意味であり、荘園領主が直接経営する田である。町は末吉町一丁目・二丁目、諏訪坂、寺谷二丁目、豊岡町、鶴見中央二丁目、元宮二丁目に接する。北東側を鶴見川が流れる。また、鶴見中央二丁目側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線が通る。

### 鶴見一丁目・二丁目「昭和四十七年六月五日」(注)

昭和四十七年の住居表示施行にともない鶴見町他一部から新設した町。古くは橋樹郡鶴見村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、鶴見村、生麦村、東寺尾村、馬場村飛地を合併して生見尾村を立て、その大字鶴見となり、大正十年四月一日に鶴見町と改称する。大正十四年四月一日に鶴見町と潮田町を廃して、新たに鶴見町を立て、昭和二年に横浜市に編入して鶴見区鶴見町となる。『鶴岡八幡宮文書』の延久三年(一〇七二)の項に「武蔵國鶴見郷」の記録があり、『吾妻鏡』の仁治二年(一二四一)の項に「武蔵國鶴見別荘」の記録がある。中島利一郎は『日本地名学研究』の「神奈川雑記」に鶴見の由来について、鶴見の名は鎌倉時代から現れ、源頼朝がここで鶴を放ったからという伝説もあるが、その地名の本義は、鶴と関係なしに、荒地の義から起こった名であろうという。地名研究で「ツル」とは、水路や河川の周辺の地という地形地名で全国に分布している。また、「鶴見のミ」とは、「まわり、めぐり」を意味する語の「廻」であり、主に出入り変曲した地形を表す語に接した接尾語的にのみ使われる語という。町は鶴見中央五丁目、豊岡町、寺谷一丁目、東寺尾中台、東寺尾東台、岸谷三丁目・四丁目、生麦五丁目に接する。南

東の鶴見中央五丁目、生麦五丁目側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線、鶴見線が通る。町内に総持寺、鶴見大学、鶴見大学女子短期大学、花月園競輪場などがある。

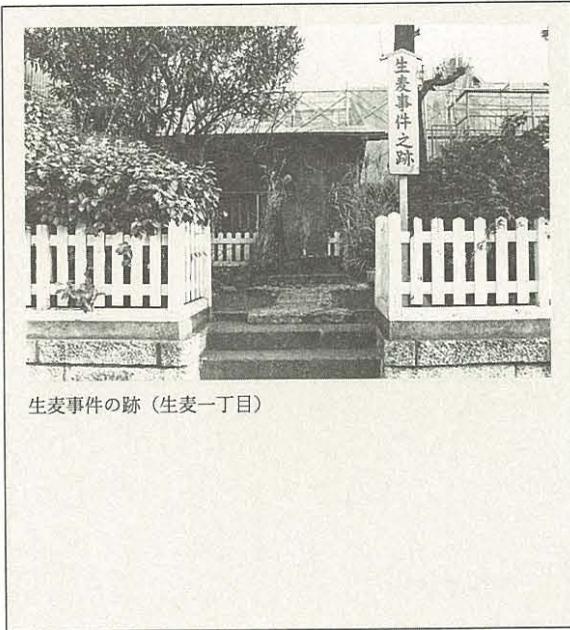
### 鶴見中央一丁目〜五丁目

「昭和五十五年七月二十八日」(注)

昭和五十五年の住居表示施行にともない鶴見町他一部から新設した町。町名は地元の通称を採った。町は佃野町、豊岡町、鶴見一丁目・二丁目、生麦五丁目に接する。東側から南東側を鶴見川が流れ、鶴見川橋を渡って市場下町、鶴見橋を渡って菅沢町、芦穂橋を渡って栄町通、潮鶴橋を渡って向井町や本町通、潮見橋を渡って潮田町や本町通、臨海鶴見川橋を渡って下野谷町に接する。西北側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線、鶴見線が通り、鶴見駅、国道駅がある。町の中央を第一京浜(国道15号)と京浜急行本線が通り、京急鶴見駅がある。町内に鶴見区役所などの官庁が集中して鶴見の中心地になっている。

### 寺谷一丁目・二丁目「昭和四十七年六月五日」(注)

昭和四十七年の住居表示施行にともない東寺尾町、鶴見



生麦事件の跡(生麦一丁目)

町の一部から新設した町。町名は地元の通称を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「東寺尾村」の項に「寺谷 これも同じ邊を云」の記録がある。「寺谷」とは松蔭寺の谷戸を意味するという。町は東寺尾北台、東寺尾中台、鶴見二丁目、豊岡町、佃野町に接する。

### 豊岡町「昭和五十四年七月十三日」(注)

昭和五十四年の住居表示施行にともない鶴見町他一部から新設した町。古くは鶴見村の一部で昭和二年の横浜市編入に際して鶴見町となる。商店街の名称などとして地元に着している字名を町名に採った。町は鶴見中央一丁目、佃野町、寺谷一丁目・二丁目、鶴見二丁目に接する。字名に由来する愛称道路「豊岡通り」が通る。

### 仲通「昭和十六年四月一日」

昭和十六年に潮田町から新設した町。古くは橋樹郡潮田村の一部で、昭和二年の横浜市編入に際して潮田町となる。隣に位置する「本町通」と対に「仲通」と名付けた。町は1丁目から3丁目の字区域があり、潮田町、浜町、汐入町、本町通に接する。町を三十六米道路と町名に由来する愛称道路「仲通り」が通る。

### 生麦一丁目〜五丁目「昭和四十二年五月一日」(注)

昭和四十二年の住居表示施行にともない生麦町他一部から新設した町。古くは橋樹郡生麦村といい、明治十一年十一月二十日に鶴見村に合併し、さらに明治二十二年の市町村制施行の際、生見尾村大字生麦となる。大正十年に鶴見町と改称、大正十四年四月一日に鶴見町と潮田町を廃して新たに鶴見町を立て、その大字生麦となり、昭和二年の横浜市編入に際して生麦町となる。町名は旧村名を採った。

『新篇武蔵風土記稿』の「生麦村」の項に「當村昔は貴志村と號せしよし村内養安寺の過去帳にあり或は岸村ともか

けり、今の村名の起りしはかりそのものにて、御入國の頃生麥を茹とりて海道を開かれしゆへ生麥と號すと云」と記録している。地元の言い伝えでは「二代將軍徳川秀忠が

ここを差し掛かると、道路一面に水が湛えて通ることが出来ない。その時、村の名主がとっさの機転で急場を繕おう

と、海道脇の生麥を刈り取って道に敷き、何事もなく行列が過ぎた。この行為に將軍が大いに感じいって、以来村の名を生麥と呼ぶように、その方らに内海を遣わそうとい

た。それは、このへん一帯が多く漁場である所から、内海の漁業を許すという意味なのであった。それを名主は内海の姓を賜ったものと早合点して、それから内海と名乗った

という。地名研究では「砂丘のむき出しになっている地形」を意味するという。町は鶴見中央五丁目、鶴見一丁目、岸

谷一丁目・四丁目、南東側の黒運河を隔てて大黒町、神奈川区子安通、守屋町に接し、鶴見川を隔てて小野町、末

広町に接する。北西側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線、京浜急行本線が通り、京急の生麦駅、花月園前駅があり、北東側に鶴見線の国道駅がある。町の中央を第一京浜

(国道15号)、首都高速横羽線・大黒線が通り、生麦ランプがある。町内の旧東海道は生麦魚河岸通りとなり、朝市

が開かれている。町内に生麦地区センターのほか、キリンビール、日産自動車、日本石油などの工場がある。

**馬場一丁目〜四丁目**〔昭和四十七年六月五日〕(注)

**馬場五丁目〜七丁目**〔昭和四十九年八月十九日〕(注)

昭和四十七、四十九年の住居表示施行にともない馬場町他一部から新設した町。古くは橘樹郡馬場村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、旭村大字馬場となり、昭和

#### 御菜八カ浦と生麦

現在の浦賀水道から北の東京湾は、江戸時代当時、内海といわれていた。そして、この内海には「御菜八カ浦」と呼ばれる八つの專業漁業村落があった。

この「御菜八カ浦」は、江戸城の御菜御着を定期的に献上するともに、御用船の曳舟などの船役を勤め、その見返りとして内海での漁業に特権が認められていた。

「御菜八カ浦」には芝町・品川漁師町(現東京都)などの五浦と、神奈川漁師町・新宿村(現神奈川区)・生麦村(現鶴見区)の三浦を合わせた八浦があった。生麦では、現在、漁業活動は行われていないが、京浜間の寿司種の仕入れ地として、また、ある種のもは築地市場をもしのごと定評ある朝市が賑わいを見せている。この朝市は、かつての生麦浦のなごりである。

二年の横浜市編入に際して馬場町となる。町名は旧村名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「馬場村」の項に「村名の起は小田原北条に属せし諏訪三河守が、此地に居城を構

へし時の馬場ありし跡なるによりかく呼べりと、今に村の東境より東寺尾村にかゝりて其跡残り、されど正保の頃迄も當村は分らざりに、其後よりして今の如く村名に呼

びしとみゆ」の記録がある。地名研究で「ハバ」(山上の平坦地)という地形用語が「馬場」という字にあてられて

いるという。町は上の宮一丁目、北寺尾一丁目・四丁目・七丁目、東寺尾一丁目・二丁目・六丁目、神奈川区松見町、

港北区菊名四丁目に接する。町内に寺尾地区センター、鶴見配水池があり、水道道が通る。

**浜町**〔昭和十六年四月一日〕

昭和十六年に潮田町の一部から新設した町。古くは橘樹郡潮田村といい、昭和二年の横浜市編入に際して潮田町となる。京浜電気鉄道によって埋め立てられた地域で、川崎

寄りを「京町」、横浜寄りを「浜町」としたという。町は1丁目と2丁目の字区域があり、潮田町、大東町、朝日町、弁天町、仲通に接する。町内をゴム通り、仲通りが通る。

**東寺尾一丁目〜六丁目**〔昭和四十七年六月五日〕(注)

昭和四十七年の住居表示施行にともない東寺尾町他一部から新設した町。古くは橘樹郡東寺尾村といい、明治二十

二年市町村制施行の際、生見尾村大字東寺尾となり、大正十年に鶴見町と改称、大正十四年四月一日に鶴見町と潮田町を廃して新たに鶴見町を立て、鶴見町大字東寺尾となり、

昭和二年の横浜市編入に際して東寺尾町となる。『新篇武蔵風土記稿』の「西寺尾村」の項に、「村名を寺尾と云ふ事其初めを詳にせず、按に東寺尾村の内仙鶴 松蔭寺に蔵

する建武元年の寺地の圖あり、其頃は此寺は正統庵とて殊の外大伽藍にて寺領も廣かりしと見ゆ、されは此寺の尾に

續きし地なれば、かく寺尾といひしにやあらずや」の記録がある。この松蔭寺は東寺尾一丁目にある。町名は神奈川

区の「西寺尾」と対にして名付けた。町は北寺尾一丁目、東寺尾中台、東寺尾東台、岸谷二丁目・三丁目、馬場一丁

目・三丁目・四丁目、神奈川区西寺尾一丁目・二丁目・四丁目、子安台二丁目に接する。南東側を第二京浜(国道1号)が通る。

**東寺尾北台**〔昭和四十七年六月五日〕(注)

昭和四十七年の住居表示施行にともない東寺尾町、馬場町、北寺尾町の一部から新設した町。第二京浜(国道1号)を境に東寺尾と別の町区域として東寺尾北台、東寺尾中台、東寺尾東台を設定した。町は東寺尾中台、北寺尾一丁目・

二丁目、諏訪坂、寺谷一丁目に接する。北西側を第二京浜(国道1号)が通る。

### 東寺尾 中台ひがししろおなかだい〔昭和四十七年六月五日〕(註)

昭和四十七年の住居表示施行にともない東寺尾町の一部から新設した町。古くは橋樹郡東寺尾村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、生見尾村大字東寺尾となり、昭和二年の横浜市編入に際して東寺尾町となる。「東寺尾北台」と「東寺尾東台」の中央にあることから「中台」と名付けた。町は東寺尾北台、東寺尾東台、東寺尾六丁目、鶴見二丁目、寺谷一丁目に接する。北西側を第二京浜(国道1号)が通る。

### 東寺尾 東台ひがししろおひがしだい〔昭和四十七年六月五日〕(註)

昭和四十七年の住居表示の施行にともない東寺尾町、鶴見町の一部から新設した町。東寺尾の東側に位置することから「東台」と名付けた。町は東寺尾中台、東寺尾五丁目・六丁目、鶴見一丁目・二丁目、岸谷三丁目に接する。北西側を第二京浜(国道1号)が通る。

### 平安町へいあんちやう〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡鶴見町大字浜町から新設した町。川崎市の田島村と潮田町に接する地で、菅沢町の地内であったが、大正十五年十二月に区画整理を行い、浜町一丁目・二丁目を置く。「平安」の由来は明かでないが、川崎市の「京町」と関連して名付けたと考えられる。町は1丁目と2丁目の字区域があり、市場富士見町、菅沢町、栄町通、向井町、大東町、川崎市に接する。西側をゴム通りが通る。

### 弁天町べんてんちやう〔昭和十六年四月一日〕

昭和十六年に潮田町、末広町の一部から新設した町。宝

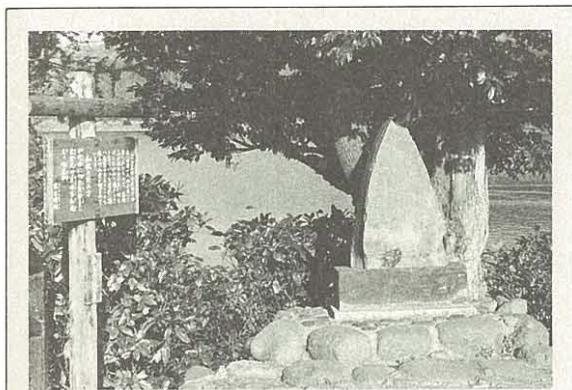
暦十四年(一七六四)に橋樹郡潮田村の地先を開発して「弁天下新田」と呼んでいたことに因んで名付けたという。町は浜町、仲通、汐入町、小野町、寛政町、末広町に接する。北西側を首都高速横羽線が通り、町内に入船公園がある。鶴見線が通り、鶴見線弁天橋駅・浅野駅がある。

### 本町通ほんちやうどおり〔昭和十六年四月一日〕

昭和十六年に潮田町の一部から新設した町。古くは橋樹郡潮田村の一部で、昭和二年の横浜市編入に際して潮田町となる。潮田町の「本町通」という意味で名付けた。町は1丁目から4丁目の字区域があり、潮田町、仲通、汐入町、下野谷町に接する。北西側を鶴見川が流れ、潮見橋を渡って鶴見中央四丁目・五丁目に接する。町名に由来する愛称道路「本町通り」が通る。

### 三ツ池公園みついけこうえん〔昭和四十四年六月一日〕(註)

昭和四十四年の住居表示施行にともない上末吉町、下末



灌漑用水池の当時をしのぶ歌碑(三ツ池公園)

吉町、北寺尾町の一部から新設した町。地元の要望により公園だけで一つの町を設定して新町名とした。「上之池」、「中之池」、「下之池」の溜池があることから「三ツ池」と呼ばれる。町は梶山一丁目、下末吉六丁目、北寺尾三丁目、獅子ヶ谷町、駒岡町に接する。町内にテレビ神奈川無線中継所がある。

### 向井町むかいちやう〔昭和十六年四月一日〕

昭和十六年に潮田町から新設した町。古くは橋樹郡潮田村の一部で、昭和二年の横浜市編入に際して潮田町となる。町名の由来は不明であるが、地名研究では「鶴見川の向こう側にある」、あるいは「水路の面している」という意味だという。町は1丁目から4丁目の字区域があり、栄町通、平安町、大東町、潮田町に接する。北西側を鶴見川が流れ、潮見橋を渡って鶴見中央四丁目・五丁目に接する。北東側をゴム通りが通る。

### 元宮一丁目・二丁目もとみや〔昭和四十三年七月一日〕(註)

昭和四十三年の住居表示施行にともない市場町他一部から新設した町。町名は地元の要望により通称名を採った。この地に熊野神社があったが、鶴見川の改修工事で鉄道線路へ、さらに、市場東中町へ遷座したため、「元宮」というようになった。町は矢向一丁目、尻手一丁目・二丁目、市場上町、市場東中町、市場西中町、市場下町に接する。西側を鶴見川が流れ、森永橋を渡って下末吉二丁目に接している。一丁目と二丁目の間を横須賀線が通る。町内に北部第一下水処理場がある。

### 矢向一丁目・六丁目やこう〔昭和四十三年七月一日〕(註)

昭和四十三年の住居表示施行にともない矢向町他一部か

ら新設した町。古くは橘樹郡矢向村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、町田村大字矢向となり、大正十二年四月一日に潮田町と改称し、大正十四年四月一日に鶴見町へ合併して鶴見町大字矢向となる。昭和二年の横浜市編入に際して矢向町となる。町名は旧村名を採った。最願寺の宝永七年（一七一〇）銘の鐘に「橘樹郡稲毛庄矢向郷」、『小田原衆所領役帳』に「稲毛矢向」の記録がある。地元では、むかし最願寺の祐源上人が夜中光明の輝く所を訪ね

て行くと光り輝く白衣の観音を見つけ、それを山王権現（現、日枝神社）に祀ったことから、「夜光村」と称えたという。その後の伝説で、新田義貞が矢口の渡しの戦いで、日頃念ずる地藏菩薩の名号を書いた矢を射ると、その矢は川崎の塚越を越えて、この地に飛び、老松に刺さり、それを矢止めの松というようになって、その下に矢止め地藏を祀ったという。それから「夜光」を「矢向」と呼ぶようになったという。地名研究で「矢向」とは「川口（川の合流

する所）」の意味という。町は江ヶ崎町、尻手二丁目・三丁目、元宮二丁目、川崎市に接する。西側を鶴見川が流れ、水道橋を渡って上末吉二丁目・三丁目、新鶴見橋を渡って下末吉三丁目に接する。町内を南北に横須賀線と南武線が並行して通る。川崎市側に南武線の矢向駅があり、川崎市の尻手駅に面している。また、尻手側を第二京浜（国道1号）が通る。

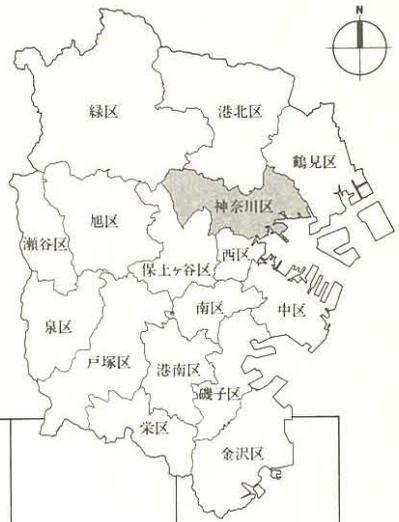


Y O K O H A M A

# 神奈川区

アメリカ領事館跡・本覚寺(高島台)





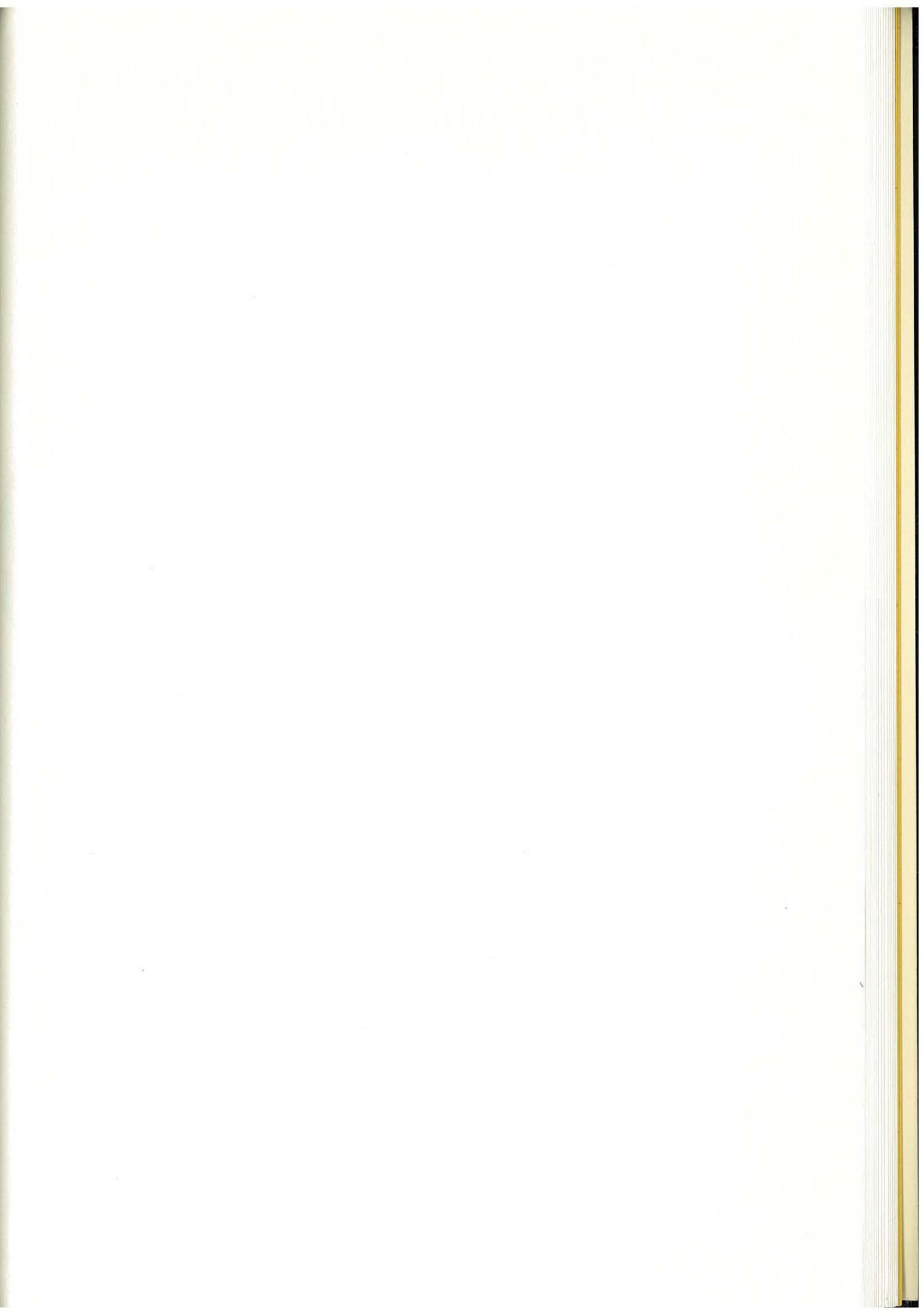
# 神奈川区



1km

神奈川県 (23.377km<sup>2</sup>)

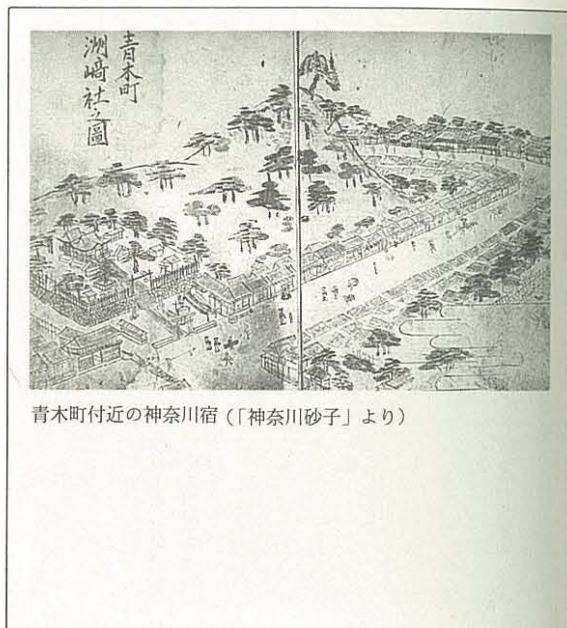
| 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名      | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|--------|-----------------------|---------|-----------------------|----|-----------------------|
| 青木町    | 0.067                 | 立町      | 0.050                 |    |                       |
| 旭ヶ丘    | 0.111                 | 反町      | 0.115                 |    |                       |
| 泉町     | 0.031                 | 千若町     | 0.419                 |    |                       |
| 出田町    | 0.161                 | 鶴屋町     | 0.138                 |    |                       |
| 入江一丁目  | 0.204                 | 富家町     | 0.051                 |    |                       |
| 入江二丁目  | 0.121                 | 鳥越      | 0.082                 |    |                       |
| 浦島丘    | 0.091                 | 中丸      | 0.083                 |    |                       |
| 浦島町    | 0.059                 | 七島町     | 0.190                 |    |                       |
| 恵比須町   | 0.428                 | 西大口     | 0.186                 |    |                       |
| 大口通    | 0.211                 | 西神奈川一丁目 | 0.105                 |    |                       |
| 大口仲町   | 0.206                 | 西神奈川二丁目 | 0.027                 |    |                       |
| 大野町    | 0.044                 | 西神奈川三丁目 | 0.055                 |    |                       |
| 片倉一丁目  | 0.234                 | 西寺尾一丁目  | 0.155                 |    |                       |
| 片倉町    | 0.842                 | 西寺尾二丁目  | 0.207                 |    |                       |
| 神奈川一丁目 | 0.084                 | 西寺尾三丁目  | 0.213                 |    |                       |
| 神奈川二丁目 | 0.098                 | 西寺尾四丁目  | 0.165                 |    |                       |
| 神奈川本町  | 0.076                 | 二本榎     | 0.069                 |    |                       |
| 上反町    | 0.064                 | 白楽      | 0.186                 |    |                       |
| 神之木台   | 0.167                 | 羽沢町     | 3.100                 |    |                       |
| 神之木町   | 0.109                 | 橋本町     | 0.128                 |    |                       |
| 亀住町    | 0.078                 | 東神奈川一丁目 | 0.082                 |    |                       |
| 神大寺一丁目 | 0.181                 | 東神奈川二丁目 | 0.202                 |    |                       |
| 神大寺二丁目 | 0.287                 | 平川町     | 0.128                 |    |                       |
| 神大寺三丁目 | 0.228                 | 広台太田町   | 0.044                 |    |                       |
| 神大寺四丁目 | 0.240                 | 二ツ谷町    | 0.061                 |    |                       |
| 桐畑     | 0.061                 | 星野町     | 0.061                 |    |                       |
| 金港町    | 0.163                 | 松ヶ丘     | 0.157                 |    |                       |
| 栗田谷    | 0.206                 | 松見町     | 0.667                 |    |                       |
| 幸ヶ谷    | 0.109                 | 松本町     | 0.118                 |    |                       |
| 子安台一丁目 | 0.154                 | 三ツ沢上町   | 0.313                 |    |                       |
| 子安台二丁目 | 0.047                 | 三ツ沢下町   | 0.295                 |    |                       |
| 子安通    | 0.377                 | 三ツ沢中町   | 0.233                 |    |                       |
| 斎藤分町   | 0.227                 | 三ツ沢西町   | 0.461                 |    |                       |
| 栄通     | 0.160                 | 三ツ沢東町   | 0.116                 |    |                       |
| 沢渡     | 0.184                 | 三ツ沢南町   | 0.200                 |    |                       |
| 三枚町    | 0.873                 | 瑞穂町     | 0.309                 |    |                       |
| 白幡上町   | 0.188                 | 守屋町     | 0.673                 |    |                       |
| 白幡町    | 0.032                 | 山内町     | 0.123                 |    |                       |
| 白幡仲町   | 0.154                 | 六角橋一丁目  | 0.093                 |    |                       |
| 白幡西町   | 0.127                 | 六角橋二丁目  | 0.146                 |    |                       |
| 白幡東町   | 0.113                 | 六角橋三丁目  | 0.107                 |    |                       |
| 白幡南町   | 0.098                 | 六角橋四丁目  | 0.187                 |    |                       |
| 白幡向町   | 0.136                 | 六角橋五丁目  | 0.215                 |    |                       |
| 新浦島町   | 0.145                 | 六角橋六丁目  | 0.191                 |    |                       |
| 新子安一丁目 | 0.211                 |         |                       |    |                       |
| 新子安二丁目 | 0.076                 |         |                       |    |                       |
| 新町     | 0.073                 |         |                       |    |                       |
| 菅田町    | 3.079                 |         |                       |    |                       |
| 鈴繁町    | 0.302                 |         |                       |    |                       |
| 台町     | 0.079                 |         |                       |    |                       |
| 高島台    | 0.169                 |         |                       |    |                       |
| 宝町     | 0.506                 |         |                       |    |                       |



## 神奈川区の区名とそのあゆみ

神奈川区は、昭和二年十月一日に区制を施行し、区名は、その中心である神奈川町の名を採った。横浜市のほぼ中心部に位置し、大きな広がりを見せる台地、内陸部の低地、ほぼ南北に細長く伸びる沿岸低地と臨海部の埋立地からなり、都心と第二都心新横浜に隣接している。神奈川は古くから交通の要衝地として発展し、江戸時代には東海道五十三次の宿場、神奈川宿として栄えた。日米修好通商条約の締結によって開港場と定められ、区内の寺院に外国の領事館が設置された。海面の埋め立てにより工場が進出し、京浜工業地帯の中核となった。昭和二十四年に貿易博覧会が反町で開催され、昭和三十四年まで市役所が置かれていた。「活力に満ち、魅力にあふれる快適な街」で、臨海産業地域、住宅地域、都市型農業地域という地域特性を生かしつつ、「海と緑と丘の街」の街づくりを行っている。

神奈川区の町名は、神奈川、斎藤分などの古い地名に因むものや、東海道と神奈川宿に因む歴史的な地名を残す町名が多い。山側に、沢渡、栗田谷、子安台など沢、谷、台などに因むものが多く、海側には、出田町、大野町、鈴繁町、橋本町、星野町、守屋町、山内町のように海岸沿いを埋め立てた開発者の名が多く付けられている。このように人物に因む町名がまとまって存在する例は全国でも他にあまりないという。



### 青木町「昭和五十三年二月五日」

昭和五十三年の土地区画整理施行にともない青木通、幸ヶ谷、栄町、宮前町の一部から新設した町。古くは神奈川宿（神奈川町と青木町からなる）の一部で、明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡神奈川町大字青木となり、明治三十四年四月一日横浜市に編入し大字名を採って青木町となる。昭和七年の町界町名地番整理施行にともない、もと青木町字七軒町、元町、宮ノ町、宮洲町、久保町、滝ノ町横丁の各一部の地域を青木通とした。青木は町内にある洲崎大神の神木「檎」に由来するという。『大庭文書』の宝徳二年（一四五〇）の項に「武蔵國青木村」の記録がある。文化の末、この神木が老木となって枯れてしまったので、洲崎大神の神主、常陸が嘆き、若芽の生ずるのを祈っていると、たまたま水戸の歌人、林真楫が来て、「今も猶もゆるあを木八里の名とともにさかえん萬代までも」と詠い、その後、枯れ木の根本から発芽したという。この和歌は安政五年刊の『三五景一覽』（神奈川宿青木町の石崎桃郷編）に載っている。地名研究で「アオキ」は「アオ」と同じで「湿地」を意味し、また「オギ」の当て字で「オギの生えた湿地」を意味するという。町は幸ヶ谷、栄町、金港町、高島台に接する。東側は首都高速横羽線と第一京浜（国道15号）が通り、西側は東海道本線、横須賀線、京浜東北線、京浜急行本線が通る。町の中央の通りは旧東海道で、現在は宮前商店街となっている。町内に京浜急行神奈川駅、洲崎大神、甚行寺（開港寺のフランス公使館）、普門寺などがある。

### 旭ヶ丘「昭和七年一月一日」

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字広

台、栗田谷の一部から新設した町。古くは橘樹郡神奈川町大字青木の一部で、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。町名は佳名を採った。町は斎藤分町、二本榎、平川町、広台太田町、反町、松本町、栗田谷に接する。

### 泉町 [昭和七年一月一日]

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字松本、沢渡谷、南三ツ沢の各一部から新設した町。町名は佳名を採った。古くは橘樹郡神奈川町大字青木の一部で、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。町は松ヶ丘、松本町、上反町、高島台、沢渡に接する。細長い町区域で、町の中央を横浜駅西口線が通る。

### 出田町 [昭和二年八月三十日]

大正十年二月四日に横浜鉄工所が千若町三丁目地先の海面埋め立ての免許を得て、大正十二年四月に着手し、昭和二年八月二十二日に竣工して新設した町。町名は横浜鉄工所の専務取締役、出田孝行の姓「出田」を採った。町は千若町に接する。東は運河を隔てて恵比須町に、南側は運河を隔てて鈴繫町に、北側は運河を隔てて守屋町に接する。町内に日本大海洋海底電線、出田町埠頭がある。

### 入江一丁目・二丁目 [昭和四十一年五月一日] (注)

昭和四十一年の住居表示施行にともない入江町、新子安神之木町、神之木台の一部から新設した町。古くは橘樹郡東子安村、西子安村、新宿村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、子安村大字子安となり、明治四十四年の横浜市編入の際、子安町となる。昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない子安町字七島、大口、溝下、神之木の各一部の区域を入江町とする。町名は地域内に入江川があ

ることから「入江」の二字を採った。町は神之木町、神之木台、新子安一丁目・二丁目、子安通、七島町、大口通に接する。西側を横浜線が通り、大口駅がある。入江一丁目を東西に第二京浜(国道1号)が通る。また、子安通側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線、京浜急行本線が通る。

### 浦島丘 [昭和七年一月一日]

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町字浦島丘および白幡町字亀久保の区域に新設した町。古くは橘樹郡神奈川町大字神奈川で、明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。町名は字名を採った。町内に浦島伝説にゆかりの帰国山観福寿寺があった。町は白幡南町、白幡東町、七島町、亀住町、立町に接する。南側を第二京浜(国道1号)が通る。

### 浦島町 [昭和五十一年一月十八日]

昭和五十一年の土地区画整理施行にともない神奈川通、

#### この地に残る浦島伝説の史跡

「むかし、むかし、浦島は…」と歌われている浦島太郎の伝説。一般に知られている話とはちょっと違っているが、神奈川区にも伝わっており、浦島太郎ゆかりの地が残っている。  
まず、通称「浦島寺」と呼ばれている慶運寺は神奈川本町にある。この寺は、慶応年間の大火で消失した浦島院観福寿寺が併合されており、浦島太郎が竜宮城から持ち帰ったという本尊をはじめ、浦島伝説に因む石碑等が伝わっている。また、同町の成仏寺には、浦島太郎が「竜宮恋し」と泣いた涙石がある。  
このほか、七島町の蓮法寺には浦島太郎が父母を祀ったと伝えられる五重の塔や石龜などがある。また、京浜急行の子安駅付近には、浦島太郎が足を洗ったと伝えられる「足洗川の碑」もある。  
神奈川区内の浦島丘・浦島町・新浦島町・亀住町の町名は、この浦島伝説に因ってつけられたものである。

子安通の一部から新設した町。町名は浦島伝説にちなむ「浦島」を採った。町は亀住町、子安通、新町と接する。入江川を隔てて新浦島町に接する。町の中央を第一京浜(国道15号)が通る。また、北の亀住町側を京浜急行本線が通る。

### 恵比須町 [昭和八年三月二十二日]

守屋町、生麦町の地先を埋め立てた地域で、昭和二年六月二日に起工式を挙げ、昭和八年に新設した町。町名は七福神に因んで大黒町(鶴見区)、宝町と対に名付けた。町の北側は恵比須運河を隔てて守屋町と、東側は宝運河を隔てて宝町に、西側は出田町に接する。町内に昭和軽金属の工場がある。

### 大口通 [昭和十一年十一月一日]

昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない子安町の大口に新設した町。古くは橘樹郡子安村といい、明治四十四年の横浜市編入の際、子安町となる。町名は大口の通り筋に当たることから「大口通」を採った。港北区師岡町の師岡熊野神社へ詣でる使者が、ここで「大口袴」に着替えて正装したことから「大口」と呼ばれるようになったという。町は大口仲町、松見町、神之木町、入江一丁目・二丁目、七島町に接する。南を第二京浜(国道1号)が通る。また、神之木町・入江二丁目側を横浜線が通り、大口駅に面している。

### 大口仲町 [昭和十一年十一月一日]

昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない子安町の大口の区域に新設した町。古くは橘樹郡子安村大字子安といい、明治四十四年の横浜市編入の際、子安町となる。

町名は字名に因み、大口の中央に位置することから「大口仲町」と名付けた。町は大口通、西大口、松見町、七島町、港北区仲手原一丁目に接する。北西側を綱島街道が通る。

大野町 おおのちやう  
〔明治三十八年一月十七日〕

明治三十八年に青木町字七軒町および宮洲町の南の海面埋め立てにともない新設した町。町名は埋立者の姓「大野」を採った。町は栄町、金港町に接する。町内に横浜シティエアターミナルがある。

片倉一丁目 かたくら  
〔昭和五十九年七月二十三日〕(注)

昭和五十九年の住居表示施行にともない片倉町、神大寺町の一部から新設した町。古くは橋樹郡片倉村とい、明治二十二年の市町村制施行の際、片倉村は岸根村、小机村、下菅田村、羽沢村、三枚橋村、鳥山村、六角橋村、神大寺村と合併して小机村大字片倉となり、明治二十五年に村名を改め城郷村大字片倉となる。昭和二年の横浜市編入に際して片倉町となる。町は片倉町、神大寺二丁目・三丁目、三ツ沢上町に接する。西側を新横浜通り、市営地下鉄3号線が通り、片倉町駅がある。町内に公団片倉団地がある。

片倉町 かたくら  
〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡城郷村大字片倉から新設した町。古くは橋樹郡片倉村とい、明治二十二年の市町村制施行の際、片倉村は岸根村、小机村、下菅田村、羽沢村、三枚橋村、鳥山村、六角橋村、神大寺村と合併して小机村大字片倉となり、明治二十五年に村名を改め城郷村大字片倉となる。『小田原記』の天文六年(一五三七)の項に「片倉」の記録がある。地名研究で「カタクラ」は



浦島伝説の慶運寺(神奈川本町)

「集落の片方が崖」の意味という。町は三枚町、神大寺四丁目、片倉一丁目、菅田町、保土ヶ谷区峰沢町、港北区岸根町に接する。東側を新横浜通り、市営地下鉄3号線が通り、片倉町駅がある。町内の地下を東海道貨物線の片倉トンネルが通る。

神奈川一丁目 かながわ  
〔昭和五十三年二月五日〕  
神奈川二丁目 かながわ  
〔昭和五十一年一月十八日〕

昭和五十一年から昭和五十三年にかけての土地区画整理施行にともない飯田町、神奈川通、御殿町、東神奈川町、浜町、棉花町の一部分から新設した町。古くは東海道五十三次の神奈川宿(神奈川町と青木町からなる)で、明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡神奈川町大字神奈川となり、明治三十四年に横浜市に編入し、昭和七年の町界町名地番整理にともない神奈川町を廃止して、神奈川通、浜町、棉花町、亀住町、浦島丘、立町、稲荷町、東神奈川町、御殿町、神明町、飯田町、二ツ谷町、西神奈川町、富家町、

鳥越、白楽、平川町、二本榎、斎藤分町、中丸、六角橋町を設ける。「神奈川」の地名が見られる最も古い文書は文永三年(一二六六)の鶴岡八幡宮文書で「武蔵國神奈河郷」とある。『江戸名所図会』に「上無川 本宿中の町と、西の町との間の道を横ぎりて流るゝ小溝を号く。この所に架す橋を上無橋と称す。常は水涸れて僅かの小流なり。水源定ならざる故に、上無川と云ふ。則ち神奈川の地名の興る所以にして後世美・志の二字を略して、かな川とは云ひけるなり。品川も亦下無川なりしを、これも毛・志の二字を省略してかく呼びける由、寛永五年齋藤徳元の紀行にみえたり」の記録がある。齋藤徳元の紀行とは『関東下回道記』である。「神奈川砂子」に「尊佩給へる宝剣前なる川の漲る水底にうつり金色の光をなす依って此地を金川と号け給ふ」とある。尊はヤマトタケルノミコトのことで、東征の

おり、草薙の宝剣が川に映って金色に輝いたことから金川と名付けたという。また、源頼朝が関八州を巡見した時、この神奈川に宿泊され、「金は則ち西の方を司り西は則上に当って皇城也神大に示之地なりとして神奈川と改給ふ」とあり、「大いに示す」を「奈」として神奈川と改めたとの記録がある。また、正平七年(一三五二)の『園大曆』に「武州狩野川」の記録がある。町は神奈川本町、東神奈川一丁目・二丁目、千若町、星野町、橋本町、栄町、青木町、幸ヶ谷に接する。町の南西側を滝野川が流れ、町の中央を第一京浜(国道1号)、首都高速横羽線が通る。町内に神奈川台場跡がある。

神奈川本町 かながわほんちやう  
〔昭和五十一年一月十八日〕

昭和五十一年に飯田町他的一部分から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町とい、明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。神奈川を中心に位置することから「本町」

と名付けた。町は東神奈川一丁目、神奈川二丁目、幸ヶ谷、二ツ谷町に接する。町の南西側を滝野川が流れる。北西側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線が通り、町の中央を京浜急行本線が通る。町内に神奈川地区センターがある。

### 上反町かみたんまち〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町の字反町の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。町名は字名を採った。町は1丁目と2丁目の字区域があり、泉町、松本町、反町、桐畑、高島台に接する。町の北側を横浜新道（国道1号）が通る。また、桐畑側を東急東横線が通り、反町駅がある。

### 神之木台かみのきだい〔昭和十一年十一月一日〕

昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない子安町字神之木の台地に新設した町。古くは橋樹郡東子安村、西子安村、新宿村の三村で、明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡子安村大字子安となり、明治四十四年の横浜市編入の際、子安町となる。町は神之木町、西寺尾三丁目、子安台二丁目、新子安二丁目、入江二丁目に接する。

### 神之木町かみのきちょう〔昭和十一年十一月一日〕

〔昭和四十一年五月一日（注）〕

昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない子安町字神之木、大口および西寺尾町字久保下の各一部から新設した町。古くは橋樹郡東子安村、西子安村、新宿村の三村で、明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡子安村大字子安となり、明治四十四年の横浜市編入の際、子安町となる。

町名は町内にむかし「神木」があったことに由来する。町は神之木台、入江二丁目、大口通、西寺尾三丁目に接する。西側を横浜線が通り、大口駅がある。

### 亀住町かめずみちょう〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町字浦島丘および新町の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字神奈川といい、明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。町名は浦島伝説に由来する。町は浦島町、浦島丘、子安通、新町、東神奈川二丁目、立町に接する。北側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線、横浜線が通り、南側を京浜急行本線が通り、神奈川新町駅がある。

### 神大寺一丁目〜四丁目かんだいじ

〔昭和五十九年七月二十三日（注）〕

昭和五十九年の住居表示施行にともない神大寺町、片倉町の一部から新設した町。古くは橋樹郡神大寺村といい、

#### 消えた権現山

神奈川宿を描く絵図には、街道（東海道）北側にひときわ高い山が描かれていることが多い。その山は権現山といわれ、古戦場としても知られている。

この山は、江戸時代には今よりもっと高く、神奈川台（現高島台）から連なり先端には一段高く権現堂が祀られていた。そして、宗興寺（幸ヶ谷）からは石段があり、この山に登った様子が「神奈川砂子」に描かれている。老松茂る風光明媚なこの地は、東海道の名所の一つであったといわれる。今は、それらしき山はない。幕末から明治にかけて削り取られてしまい、約八千坪の神奈川台場（現神奈川一丁目）の建設や鉄道用地の埋め立てに使われたのである。今の幸ヶ谷公園や幸ヶ谷小学校のあるあたりの丘が権現山の跡である。現在、幸ヶ谷公園は桜の名所となっており、春には多くの花見客で賑わいをみせている。

明治二十二年の市町村制施行の際、小机村大字神大寺となり、明治二十五年に村名を改称し、城郷村大字神大寺となる。昭和二年の横浜市編入の際、城郷村大字神大寺の区域に神大寺町を新設した。町名は旧村名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「神大寺村」の項に「昔は神臺地と書きしと見ゆ。村名の起りは近村小机の城主笠原越前守信爲此地に一字を草創して神大寺を建り、其二世の住僧天叟順孝代に至て此寺を小机村に移す、今の雲松院是なり、もと當村にありし時の寺號を呼て村名起る」の記録がある。町は六角橋四丁目・五丁目、栗田谷、三ツ沢上町、三ツ沢中町、三ツ沢下町、片倉一丁目、片倉町、港北区岸根町に接する。町内に神大寺地区センター、公園西神大寺団地、公園南神大寺団地などがある。

### 桐畑きりばたけ〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町の字反町の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。町名は小名「桐畑」を採った。地名研究で「キリバタ」は開墾地や焼畑を意味するという。町は反町、幸ヶ谷、高島台、上反町に接する。西側を東急東横線が通り、反町駅がある。東側を第二京浜（国道1号）が通る。

### 金港町きんこうちょう〔昭和十九年二月一日〕

昭和十九年に林町と高島通を合併して新設した町。「金港」とは「金川（神奈川）の港」と同時に、「錦の港」を意味し、横浜港を指す。町は青木町、栄町、大野町、鶴屋町、台町、西区高島二丁目に接する。町は北西側を第二京浜（国道1号）、東海道本線、横須賀線、京浜東北線が通り、町の中央を首都高速横羽線が通り、金港ランプがある。

栗田谷 [昭和七年一月一日]

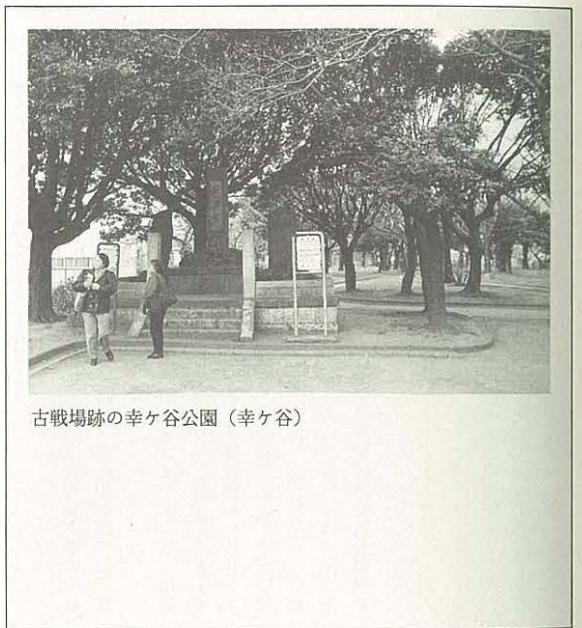
昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字栗田谷、および神奈川町字中丸、六角橋町字西ノ谷の各一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。町名は字名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「神奈川町」の項に「むかし栗田某と云人の住居せし所なりといひ伝ふ、この栗田は多米が家頼にて、今もその子孫當所三沢の農家となりて與右衛門と稱せり」の記録がある。地名研究で「クリタヤ」は「岩礫のある谷」を意味するという。町は六角橋四丁目、中丸、斎藤分町、旭ヶ丘、松本町、三ツ沢下町、神大寺一丁目に接する。

幸ヶ谷 [昭和七年一月一日]

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町の字幸ヶ谷および横町の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。町名は字名を採った。町は反町、神奈川本町、神奈川二丁目、青木町、桐畑に接する。町の北東側を滝野川が流れる。また、反町、桐畑側を第二京浜（国道1号）が通る。

子安台一丁目・二丁目 [昭和四十二年五月一日] (注)

昭和四十二年の住居表示施行にともない子安台を中心として鶴見区生麦町、東寺尾町、神奈川区西寺尾町の一部から新設した町。古くは橋樹郡子安村字子安といい、明治四十四年の横浜市編入の際、子安町となる。昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない子安町字打越及び鶴見区生麦町字神明前の一部からの子安台を設ける。町名は子安の



古戦場跡の幸ヶ谷公園 (幸ヶ谷)

台地に位置することから名付けた。町は子安通、新子安一丁目・二丁目、神之木台、西寺尾三丁目・四丁目、鶴見区東寺尾四丁目、岸谷一丁目・二丁目に接する。子安台一丁目と二丁目の間を第二京浜（国道1号）が通る。また、子安通側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線が通る。

子安通 [昭和十一年十一月一日]

昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない国道筋の子安町の字海道通、七島および鶴見区生麦字神明前の一部から新設した町。古くは橋樹郡東子安村、西子安村の二村で、明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡子安村大字子安となり、明治四十四年の横浜市編入の際、子安町となる。町名は東海道に位置することから「子安通」と名付けた。町は1丁目と2丁目の字区域があり、七島町、入江一丁目、新子安二丁目、子安台一丁目、守屋町、浦島町、亀住町、鶴見区生麦二丁目に接する。町の北西側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線、横濱線、京浜急行本線が通り、

京浜東北線の新子安駅、京浜急行本線の京急子安駅・新子安駅がある。町の中央を第一京浜（国道15号）が通る。

斎藤分町 [昭和七年一月一日]

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町の字齋藤分、中丸の区域に新設した町。古くは橋樹郡神奈川町といい、明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。町名は字名を採った。町内にある善龍寺の第一世真量法師は齋藤兼実と名乗る武士であったといわれ、慶長五年（一六〇〇）、親鸞上人に帰依して浄土真宗に改宗したという。齋藤分という地名は、この齋藤兼実の知行所ということから起こったとも伝えられている。『小田原衆所領役帳』に「小机神奈川齋藤分」の記録がある。町は六角橋二丁目・三丁目、西神奈川三丁目、平川町、二本榎、旭ヶ丘、栗田谷、中丸に接している。

栄町 [昭和七年一月一日]

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字七軒町および七軒町代地、宮洲町、滝下町、宝町の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。町名は縁起を祝って命名した。町は青木町、幸ヶ谷、神奈川一丁目、橋本町、山内町、大野町、金港町に接する。町の北西側を首都高速横羽線が通る。町内に神奈川公園がある。

沢渡 [昭和七年一月一日]

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字台町、沢渡、沢渡谷、西軽井沢、南三ツ沢の各一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。町名は字名を採った。

た。地名研究で「サワタリ」は元の字のごとく「サワワタリ」で、「沢(谷戸)を渡る地点」を意味するという。町は三ツ沢南町、三ツ沢東町、松ヶ丘、高島台、台町、西区南軽井沢、北軽井沢に接する。町内に沢渡中央公園がある。

三枚町 [昭和二年四月一日]

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡城郷村大字三枚橋の区域から新設した町。古くは橋樹郡三枚橋村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、小机村大字三枚橋となり、明治二十五年に村名を改称して城郷村大字三枚橋となる。町は片倉町、羽沢町、菅田町、港北区岸根町、鳥山町に接する。町内を東海道新幹線、東海道貨物線が通り、港北区寄りの町の中央を新横浜通りが通る。

白幡上町 [昭和十八年二月一日]

昭和十八年に白幡町の一部から新設した町。古くは橋樹郡白幡村といい、明治二十二年の市町村制施行に際し、子安村大字白幡となり、明治四十四年四月一日、子安村の横浜市編入の際、子安村から分離して橋樹郡大綱村大字白幡となり、昭和二年、横浜市に編入して白幡町となる。町名は白幡町の上の方にあたることから命名した。町は白幡町、白幡向町、白幡仲町、白幡西町、白楽に接する。町の北西側を東急東横線が通る。

白幡町 [昭和二年四月一日]

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡大綱村大字白幡の区域に新設した町。古くは橋樹郡白幡村といい、明治二十二年の市町村制施行に際し、子安村大字白幡となり、明治四十四年、子安村の横浜市編入の際、子安村から分離して橋樹郡大綱村大字白幡となる。町名は字名を採って「白幡町」

とする。むかし、源義家が奥州へ向かう途中、この地に宿泊して白幡八幡(現、白幡仲町)に白幡を立てて戦勝を祈願したことから「白幡」と呼ぶようになったという。町は白幡向町、白幡上町、白楽、港北区篠原台町、仲手原二丁目に接する。町の中央を旧綱島街道が通る。

白幡仲町 [昭和十八年二月一日]

昭和十八年に白幡町の一部から新設した町。古くは橋樹郡白幡村といい、明治二十二年の市町村制施行に際し、子安村大字白幡となり、明治四十四年、子安村の横浜市編入の際、子安村から分離して橋樹郡大綱村大字白幡となる。昭和二年、横浜市に編入して白幡町となる。町名は白幡町の中央にあたることから命名した。町は白幡向町、白幡東町、白幡南町、白幡西町、白幡上町、西大口、七島町に接する。東方を綱島街道が通る。町内に白幡八幡神社がある。

#### 東海道神奈川宿

神奈川宿は、東海道五十三次の一つで東海道に伝馬の制が定められた慶長六年(一六〇一年)に置かれた宿であり、滝の川をはさんで東の神奈川町と西の青木町からなる。

神奈川宿は江戸日本橋から七里(一里は約四キロメートル)、川崎宿より二里半に位置し、保土ヶ谷宿へは一里九町(一町は約一〇九メートル)であった。宿の長さは三十二町四十間(一間は約一・八メートル)あり、東は新宿村(現神奈川区七島町・子安通)から西は芝生村(現西区浅間町)までであった。宿内には本陣が二軒(石井本陣・鈴木本陣)あり、また、天保期(一八三〇年〜一八四三年)には、戸数千三百四十一軒・人口五千七百九十三人を擁する東海道で有数の規模を誇る宿場であった。

宿内の上台町・下台町(現台町)は景色がよく、上台町は「入海の上にて景色いと美なり、ここを神奈川の台と称して旅人も必足をとどめていこふ所なり」と、風土記稿に述べられている場所であった。安藤広重が神奈川台から見た袖ヶ浦の絶景を描いた「神奈川の図」はあまりにも有名な作品である。現在、台町には「袖ヶ浦見晴台碑」がある。

白幡西町 [昭和十八年二月一日]

昭和十八年に白幡町の一部から新設した町。古くは橋樹郡白幡村といい、明治二十二年の市町村制施行に際し、子安村大字白幡となり、明治四十四年、子安村の横浜市編入の際、子安村から分離して橋樹郡大綱村大字白幡となる。昭和二年、横浜市に編入して白幡町となる。町名は白幡町の西側にあたることから命名した。町は白幡上町、白幡仲町、白幡南町、鳥越、白楽に接する。

白幡東町 [昭和十八年二月一日]

昭和十八年に白幡町の一部から新設した町。古くは橋樹郡白幡村といい、明治二十二年の市町村制施行に際し、子安村大字白幡となり、明治四十四年、子安村の横浜市編入の際、子安村から分離して橋樹郡大綱村大字白幡となる。昭和二年、横浜市に編入して白幡町となる。町名は白幡町の東側にあたることから命名した。町は白幡仲町、白幡南町、七島町、浦島丘に接する。町の中央を綱島街道が通る。

白幡南町 [昭和十八年二月一日]

昭和十八年に白幡町の一部から新設した町。古くは橋樹郡白幡村といい、明治二十二年の市町村制施行に際し、子安村大字白幡となり、明治四十四年に子安村が横浜市に編入の際、子安村から分離して橋樹郡大綱村大字白幡となる。昭和二年、横浜市に編入して白幡町となる。町名は白幡町の南側にあたることから命名した。町は白幡仲町、白幡東町、白幡西町、浦島丘、立町に接する。

白幡向町 [昭和十八年二月一日]

昭和十八年に白幡町の一部から新設した町。古くは橋樹

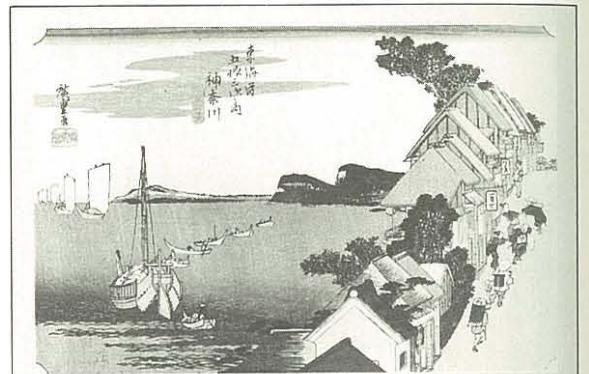
那白幡村といひ、明治二十二年の市町村制施行に際し、子安村大字白幡となり、明治四十四年、子安村の横浜市編入の際、子安村から分離して橘樹郡大綱村大字白幡となる。昭和二年、横浜市に編入して白幡町となる。町名は白幡町の向かい側にあたることから命名した。町は白幡町、白幡上町、白幡仲町、西大口、港北区仲手原一丁目に接する。町の中を綱島街道が通る。

### 新浦島町しんうらしまちょう〔明治四十三年一月十五日〕

明治三十年頃から横浜倉庫株式会社が浦島丘の前面の海面を埋め立てた区域へ明治四十三年に新設した町。新浦島町一丁目を置く。明治四十五年三月十日に新浦島町二丁目を設けた。浦島丘の前方にあたることと、神奈川町の中に字浦島町があったので、「新」を冠して名付けた。町は1丁目と2丁目の字区域があり、千若町、入江川を隔てて浦島町、新町、第三小派川を隔てて守屋町、第四小派川を隔てて千若町に接する。町内にテクノウエイブ100や横浜郵便集中局がある。北西側を首都高速横羽線が通る。

### 新子安しんこやす一丁目・二丁目〔昭和四十一年五月一日〕(注)

昭和四十一年の住居表示施行にともない新子安、入江町、神之木台、子安台の各一部から新設した町。古くは橘樹郡子安村大字子安といひ、明治四十四年の横浜市編入の際、子安町となり、昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない子安町字溝下、打越、神之木の各一部から新子安を設けた。町名は通称として地元に着していた名称を採った。町は子安通、子安台一丁目・二丁目、神之木台、入江一丁目・二丁目、子安通二丁目・三丁目に接する。新子安一丁目と二丁目の間を第二京浜(国道1号)が通る。また、子安通側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線が通り、京浜



東海道五十三次・神奈川(神奈川台から見た袖ヶ浦)安藤広重画

東北線の新子安駅に面している。

### 新町しんまち〔昭和五十一年一月十八日〕

昭和五十一年の土地区画整理施行にともない神奈川通の一部から新設した町。古くは橘樹郡神奈川町といひ、明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。宿場の中で後から町並みができたことから新町と名付けた。町は東神奈川二丁目、亀住町、浦島町に接し、南東側の入江川を隔てて新浦島町、千若町に接する。また、亀住町、東神奈川二丁目側を京浜急行本線が通り、神奈川新町駅に面している。町の中央を第一京浜(国道15号)が通る。

### 菅田町すがたちょう〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橘樹郡城郷村大字下菅田の区域から新設した町。古くは橘樹郡下菅田村といひ、もと小机村の内で、小机落城の後は原野となっていたため、隣郡の菅田の村民が来て開拓し、本村を「上菅田村」、新開

拓の地を「下菅田村」と称した。明治二十二年の市町村制施行の際、小机村大字下菅田となり、明治二十五年に村名を改称して城郷村大字下菅田となる。地名研究では「砂丘のある場所」「洲の上の田」を意味するという。町は三枚町、片倉町、羽沢町、保土ヶ谷区上菅田町、緑区鴨居町、鴨居三丁目、東本郷三丁目・五丁目、港北区鳥山町、小机町に接する。町を南北方向に第三京浜道路が、東西方向に菅田道路が通る。

### 鈴繁町すずしげちょう〔昭和三十三年四月一日〕

昭和三十三年の瑞穂町隣接地の埋め立てにともない新設した町。横浜倉庫株式会社が埋め立てたもので、その功勞に敬意を表し取締役鈴江繁一の姓から「鈴」と「繁」を採って名付けた。町は瑞穂町に接し、北側の第四小派川を隔てて千若町、出田町に接する。町内に鈴繁埠頭、横浜倉庫がある。

### 台町だいまち〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字台町、上台町、下台町、七軒町、東軽井沢の一部から新設した町。古くは橘樹郡神奈川町大字青木といひ、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。町名は字名を採った。広重の『東海道五十三次』に描かれ、茶店が多かった。柳田國男は『地名の研究』の「地名考説」に「ダイは、河沿い海沿いの段丘のごとき、上の平らな高地のことで、高台」と言う語もあり、既墾の地は台畑などとも言っている。このダイは多分は文字通りに物の台などと似寄っているから名であろう。文字も常に台の字を用いている」と述べている。町は青木町、高島台、金港町、鶴屋町、沢渡、西区南軽井沢、楠町に接する。町内を東急東横線と旧東海道が通り、東側を環状1号が通る。

## 高島台たかしだい〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字台町の一部から新設した町。古くは橘樹郡神奈川町大字青木といひ、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。

この地に高島嘉右衛門の邸宅があり、俗に高島山と呼ぶ台地であることから名付けた。町は台町、青木町、桐畑、上反町、泉町、沢渡に接する。町内に本覚寺がある。

## 宝町たからちょう〔昭和十二年三月十二日〕

昭和十二年に守屋町地先の埋め立てにともない新設した町。明治七年七月十二日に神奈川滝下町南方の海面を埋め立て宝町を置く。町名は縁起を祝い、恵比須、大黒の福神に因んで恵比須町、大黒町（鶴見区）と対して名付けた。町は北側の恵比須運河を隔てて守屋町、西側の宝運河を隔てて恵比須町、東側は鶴見区大黒町に接する。町内に日産自動車横浜工場、日本石油精製工場がある。

## 立町たてまち〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町字立町および稲荷町の一部から新設した町。古くは橘樹郡神奈川町大字神奈川といひ、明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。町名は字名を採った。地名研究では「低地」のぞんだ丘陵の端のの意味といふ。町は白幡南町、浦島丘、亀住町、東神奈川二丁目、富家町、鳥越に接する。南東側を第二京浜（国道1号）が通る。

## 反町たんまち〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字反町の一部から新設した町。古くは橘樹郡神奈川町大字青木

といひ、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。

柳田國男は『地名の研究』の「地名考説」で「横浜市内旧神奈川の一区に反町がある。今はタンマチと訓む由であるも、反町大膳の在所たる上野新田郡の反町を始め、諸国にある者の多くはソリマチと訓んでいる。一反二反の反をソリと言うことが俚人に耳遠いためにこうした読み方は起こったのであろう」と説明し、「ソリ」は「焼畑または仕事を休んでいる土地」を意味し、反町は「ソリマチ」が読み方の起りであるとうと推定している。また、桜井澄夫氏は「段町」が「反町」になったと推定している。町は1丁目から4丁目の字区域があり、広台太田町、幸ヶ谷、桐畑、松本町、旭ヶ丘に接する。北西側を東急東横線が通り、反町駅がある。南東側を第二京浜（国道1号）が通り、反町公園がある。

## 千若町ちわかちょう〔明治四十五年三月十二日〕

明治四十五年に横浜倉庫株式会社が神奈川町字十番町、

### 高島嘉右衛門

「ハマの恩人」といわれる高島嘉右衛門は、天保三年（一八三二年）、江戸三十間堀に材木商の子として生まれた。後に開港後の横浜でガス・水道・電気事業のほか学校の設立・易学の普及など文明開化の事業を行い、数多くの功績を残した人物である。

これらの事業の中でも代表的なものが、その後の横浜の発展に大きく貢献したといえる鉄道用地の埋立事業である。これにより明治五年（一八七二年）、横浜（現桜木町）から新橋（現汐留）間に鉄道が開通した。

彼が行った埋立て事業は、横浜から神奈川までの間（野毛浦から青木町まで）の約一・四キロメートルで、埋立地は海の中を弓状に伸び、中央部分の一〇メートルが鉄道用地として使われた、他は彼の土地となり、「高島町」と名づけられた。

現在、高島台にある高島山公園と望欣台の碑（横浜市地域文化財）・高島易断の碑は、高島嘉右衛門を偲ぶとともに、彼の功績をたたえるものとしてこの地に残っている。

神明町、新町の南の海面を明治四十年から埋め立て始め、

明治四十四年の竣工にともない新設した町。町名は明治三十六年に埋め立ての許可を得た横浜倉庫株式会社代表の「千坂高雅」と「若尾幾造」の姓から「千」と「若」を採った。町は1丁目から3丁目の字区域があり、出田町、鈴繁町、瑞穂町、橋本町、星野町、入江川第二派川を隔てて東神奈川二丁目、神奈川二丁目、新町、第四小派川を隔てて新浦島町、第三小派川を隔てて守屋町に接する。町内に神奈川下水処理場、日本製粉がある。

## 鶴屋町つるやちよう〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字上台町、下台町、台町下の一部から新設した町。明治四十二年ごろに鶴屋加藤八郎右衛門が出願して、青木町地先の海面を埋め立て昭和元年に竣工した。昭和二年六月十日に埋立者の屋号を採って青木町字鶴屋とする。町は1丁目から3丁目の字区域があり、金港町、台町、西区北幸一丁目、南幸一丁目、楠町に接する。町の東を東急東横線が通る。また、金港町側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線が通る。

## 富家町とみやちよう〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町字富家町の区域に新設した町。古くは橘樹郡神奈川町大字神奈川といひ、明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。町名は字名を採った。町は鳥越、立町、東神奈川一丁目・二丁目、西神奈川一丁目に接する。町の南東側を第二京浜（国道1号）が通る。町内を横浜新道（国道1号）が通り、神奈川公会堂や済生会神奈川県病院があり、東神奈川駅に面している。

鳥越とりこえ 「昭和七年一月一日」

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町字鳥越の区域に新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字神奈川といい、明治三十四年の横浜市編入に際し、神奈川町となる。町名は字名を採った。地名研究で「トリゴエ」とは「尾根の中で鳥の群れが決まって通過する低まった所」を意味するという。町は白楽、白幡西町、立町、富家町、西神奈川一丁目に接する。町内に孝道教団がある。

中丸なかまる 「昭和七年一月一日」

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町字中丸および六角橋字南原の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字神奈川といい、明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。『新篇武蔵風土記稿』の「神奈川町」の項に「中丸山 西へよりたる所にて廣き山なり今山上へ畑を開きし所もあり」の記録がある。町は六角橋三丁目・四丁目、斎藤分町、栗田谷に接する。町内に捜真女学校がある。

七島町ななしまちょう 「昭和十一年十一月一日」

昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない子安町字七島の区域に新設した町。古くは橋樹郡子安村大字子安といい、明治四十四年の横浜市編入の際、子安町となる。町名は字名を採った。町は西大口、大口仲町、大口通、入江一丁目、子安通、浦島丘、白幡東町、白幡仲町に接する。町内を第二京浜（国道1号）が通る。また、子安通側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線、横浜線が通る。



鉄道用地の埋立等に尽力した横浜の実業家・高島嘉右衛門

西大口にしおおくち 「昭和十一年十一月一日」

昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない子安町字大口および白幡町字向根の一部から新設した町。古くは橋樹郡子安村大字子安といい、明治四十四年の横浜市編入の際、子安町となる。町名は大口通や大口仲町の西にあたることから名付けた。町は大口仲町、七島町、白幡仲町、白幡向町、港北区仲手原一丁目に接する。町内を綱島街道が通る。

西神奈川にしかながわ 一丁目〜三丁目 「昭和五十三年九月十日」

昭和五十三年の土地区画整理施行にともない西神奈川町等の一部から新設した町。古くは神奈川町の一部で、昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町字柳町、富家町、平尾前、鳥越、東白楽、中川、斎藤分の一部から西神奈川町を新設した。町名は「東神奈川」と対にして、西に位置することから名付けた。町は六角橋一丁目・二丁目、白楽、鳥越、富家町、東神奈川一丁目、二ツ谷町、平

川町、斎藤分町に接する。町の中央を東急東横線が横切っている。南東側を第二京浜（国道1号）が通り、東神奈川駅に面している。また、町内を横浜上麻生通りが通る。

西寺尾にしでらお 一丁目〜四丁目 「昭和五十六年七月二十七日」(注)

昭和五十六年の住居表示施行にともない西寺尾町から新設した町。古くは橋樹郡西寺尾町といい、明治二十二年の市町村制施行の際、子安村大字西寺尾となり、明治四十四年、子安村の横浜市編入の際、子安村から分かれて橋樹郡旭村大字西寺尾となる。昭和二年、横浜市に編入して西寺尾町となる。昭和二年十月一日の区制施行の際、神奈川区に編入した。町名は鶴見区「東寺尾」と対にして名付けた。町は子安台二丁目、神之木台、神之木町、松見町、鶴見区馬場一丁目、東寺尾一丁目・三丁目・四丁目に接する。西側を横浜線が通り、南側を東海道貨物線が通る。

二本榎にほんえのき 「昭和七年一月一日」

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町字二本榎の区域に新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字神奈川といい、明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。昔この地に榎の大木が二本あったことから町名としたという。町は斎藤分町、平川町、旭ヶ丘に接する。

白楽はくらく 「昭和七年一月一日」

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町字東白楽、中川、柳町、西白楽と六角橋町の字金子町の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字神奈川といい、明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。町名は字名から採った。『新篇武蔵風土記稿』の「神奈川町」の

項に「白樂山」の記録がある。町は白幡町、白幡上町、白幡西町、鳥越、西神奈川一丁目・二丁目・三丁目、六角橋一丁目、港北区篠原台町に接する。西側を東急東横線が通り、白楽駅、東白楽駅がある。

### 羽沢町

〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡城郷村大字羽沢の区域から新設した町。古くは橋樹郡羽沢村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、小机村大字羽沢となり、明治二十五年に城郷村大字羽沢と改称した。地名研究で「ハザワ」の意味は不明であるが、「端沢」で、「沢の片側」の意味だという。町は菅田町、三枚町、保土ヶ谷区峰沢町、常盤台、釜台町、上屋川町、東川島町、上菅田町に接する。町の中央を東西方向に東海道新幹線が通る。南東側を東海道貨物線が通り、羽沢貨物駅がある。東側を第三京浜道路が通り、保土ヶ谷料金所がある。

### 橋本町

〔明治四十二年四月十三日〕

明治四十二年に橋本氏が埋め立てた神奈川砲台および宝町の南の海面地先から新設した町。字一丁目を置く。明治四十四年三月二十一日に橋本町字二丁目・三丁目を新設した。町名は埋立者の姓「橋本」を採った。町は1丁目から3丁目の字区域があり、星野町、神奈川一丁目、栄町、山内町に接する。町内に中央卸売市場（青果）がある。

### 東神奈川一丁目・二丁目

〔昭和五十一年一月十八日〕

昭和五十一年の土地区画整理施行にともない神奈川通、御殿町、神明町、東神奈川町、亀住町、稲荷町の各一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字神奈川といい、

明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町の字十番町および神明町の一部から東神奈川町を新設した。町名は町内にある「東神奈川駅」から採った。町は亀住町、新町、千若町、神奈川二丁目、神奈川本町、西神奈川一丁目、富家町、立町に接する。北西側を東海道本線、横須賀線、京浜東北線、横濱線が通り、東神奈川駅がある。町の中央を第一京浜（国道15号）、京浜急行本線が通り、京急仲木戸駅がある。

### 平川町

〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町字二本榎、斎藤分、平尾前、中川の各一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字神奈川といい、明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。町名は字名の「平尾前」と「中川」から「平」と「川」を一字づつ採った。町は西神奈川一丁目・二丁目・三丁目、二ツ谷町、広台太田町、

#### 大きい町・小さい町

横浜市の面積は、四三・一五七平方キロメートル（一九九一年三月末現在）です。区別にみると面積の大きい区は、①緑区（七五・九一平方キロメートル）②港北区（四三・七九平方キロメートル）③戸塚区（三五・六九平方キロメートル）④旭区（三二・七九平方キロメートル）⑤鶴見区（三一・四四平方キロメートル）の順になります。逆に面積の小さい区は、①西区（六・三三平方キロメートル）②南区（二・一六平方キロメートル）③栄区（一・八五平方キロメートル）④磯子区（一・八・九七平方キロメートル）⑤中区（二・九・二四平方キロメートル）の順になります。神奈川県下の都市と比べてみると、緑区は藤沢市（六九・六三平方キロメートル）や平塚市（六七・八八平方キロメートル）を上回り、港北区や戸塚区などは鎌倉市（三九・五三平方キロメートル）・茅ヶ崎市（三五・七六平方キロメートル）と同規模の広さです。町の面積を大きい順に並べると、①和泉町（泉区）／八・五一平方キロメートル ②釜利谷町（金沢区）／五・八三平方キロメートル ③長津田町（緑区）／四・三〇平方キロメートル ④上郷町（栄区）／四・二〇平方キロメートル ⑤新吉田町（港北区）／四・〇五平方キロメートル ⑥小ざい順に並べると、①緑区（西区）／〇・〇〇三平方キロメートル ①中里町（南区）／〇・〇〇三平方キロメートル ③西前町（西区）／〇・〇〇一平方キロメートル ④末広町（中区）／〇・〇〇二平方キロメートル ④成合町（緑区）／〇・〇〇二平方キロメートル になります。

旭ヶ丘、二本榎、斎藤分町に接する。東南側を東急東横線が通り、東白楽駅に面している。

### 広台太田町

〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字広台および太田町の区域から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。町名は字名「広台」と「太田町」を採り、組み合わせた。町は平川町、二ツ谷町、神奈川本町、反町、旭ヶ丘に接する。北西側を東急東横線が通る。町内に神奈川区役所がある。

### 二ツ谷町

〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない神奈川町字二ツ谷および平尾前の各一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字神奈川といい、明治三十四年の横浜市編入の際、神奈川町となる。町名は字名を採った。地名研究で「フタツヤ」は「二軒屋」を意味するという。町は西神奈川一丁目、東神奈川一丁目、神奈川本町、広台太田町、平川町に接する。北西側を東急東横線が通り、南東側を第二京浜（国道1号）が通る。

### 星野町

〔明治三十九年十月十六日〕

明治三十九年に星野氏が埋め立てた神奈川町字小伝馬町および九番町の南方の海面地先から新設した町。町名は埋立者の姓「星野」を採った。町は橋本町、神奈川一丁目・二丁目、千若町に接する。

### 松ヶ丘

〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字松

本、沢渡谷、南三ツ沢の各一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。町名は松本町の隣の丘陵であることから名付けた。町は松本町、泉町、沢渡、三ツ沢東町に接する。町の北側を横浜新道（国道1号）が通る。

### 松見町

〔昭和三十八年十月十六日〕

昭和三十八年の土地区画整理施行にともない西寺尾町、鶴見区馬場町、港北区菊名町の一部から新設した町。古くは橋樹郡旭村および大綱村の一部であった。町名は松の木が沢山あったことに由来する。町は1丁目から4丁目の区域があり、西寺尾一丁目・二丁目、大口通、大口仲町、港北区仲手原一丁目、菊名二丁目・四丁目、鶴見区馬場一丁目・七丁目に接する。南側を東海道貨物線が通る。また、西寺尾側を横浜線が通る。

### 松本町

〔昭和七年一月一日〕

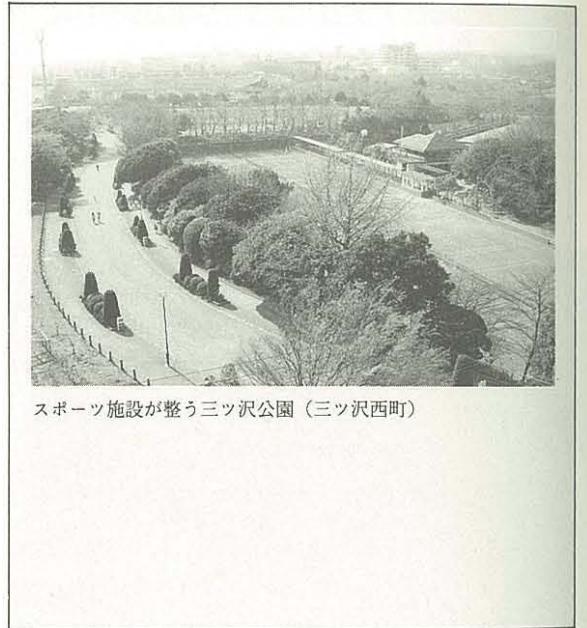
昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町大字反町、松本の各一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字神奈川といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町となる。町名は字名を採った。町は1丁目から6丁目の字区域があり、栗田谷、旭ヶ丘、反町、上反町、泉町、松ヶ丘、三ツ沢東町、三ツ沢下町に接する。南側を横浜新道（国道1号）が通る。また、反町側を東急東横線が通る。

### 三ツ沢上町

〔昭和七年一月一日〕

〔昭和四十五年六月一日（注）〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町大字三ツ沢の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町大字



スポーツ施設が整う三ツ沢公園（三ツ沢西町）

三ツ沢となる。地名研究で「ミツザワ」とは三つに分岐する谷戸の意味という。また「軽井沢」枯れ沢」に対応した「水沢」との説もある。町は片倉一丁目、神大寺三丁目、三ツ沢中町、三ツ沢南町、三ツ沢西町、保土ヶ谷区岡沢町、峰沢町に接する。南側を横浜新道（国道1号）、市営地下鉄3号線が通り、三ツ沢上町駅があり、町内に三ツ沢墓地がある。また、保土ヶ谷区峰沢町側を新横浜通りが通る。

### 三ツ沢下町

〔昭和七年一月一日〕

〔昭和四十五年六月一日（注）〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町大字三ツ沢の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町大字三ツ沢となる。町は神大寺一丁目、栗田谷、松本町、三ツ沢東町、三ツ沢中町に接する。南側を横浜新道（国道1号）、市営地下鉄3号線が通り、三ツ沢下町駅がある。町内に公園ガーデン山団地がある。

### 三ツ沢中町

〔昭和七年一月一日〕

〔昭和四十五年六月一日（注）〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町大字三ツ沢の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町大字三ツ沢となる。町は神大寺一丁目・二丁目、三ツ沢下町、三ツ沢東町、三ツ沢南町、三ツ沢上町に接する。南側を横浜新道（国道1号）、市営地下鉄3号線が通る。

### 三ツ沢西町

〔昭和七年一月一日〕

〔昭和四十五年六月一日（注）〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町大字三ツ沢の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町大字三ツ沢となる。町は三ツ沢上町、三ツ沢南町、西区北軽井沢、宮ヶ谷、保土ヶ谷区鎌谷町、岡沢町に接する。町の中央を首都高速三ツ沢線、新横浜通りが通る。町内に三ツ沢公園や豊頭寺市民の森がある。

### 三ツ沢東町

〔昭和七年一月一日〕

〔昭和四十五年六月一日（注）〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町大字三ツ沢の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町大字三ツ沢となる。町は三ツ沢中町、三ツ沢下町、松本町、松ヶ丘、沢渡、三ツ沢南町に接する。北側を三ツ沢せせらぎ緑道が通る。

### みつざわみなみまち〔昭和七年一月一日〕

三ツ沢南町  
△昭和四十五年六月一日(住)▽

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町大字三ツ沢の一部から新設した町。古くは橋樹郡神奈川町大字青木といい、明治三十四年の横浜市編入の際、青木町大字三ツ沢となる。町は三ツ沢上町、三ツ沢中町、三ツ沢東町、沢渡、三ツ沢西町、西区軽井沢に接する。北側を三ツ沢せせらぎ緑道が通る。町内に県立横浜翠嵐高校がある。

### みつほちよう 瑞穂町〔昭和十一年五月十日〕

昭和十一年の千若町地先埋め立てにともない新設した町。大正十一年頃から外国貿易陸揚げ設備用地として、内務省が千若町地先を埋め立てた地区である。町名は縁起を祝って日本を意味する「豊葦原瑞穂国」から「瑞穂」を採った。町は鈴繫町、千若町に接する。町内に米軍輸送司令部がある。

### もりやちよう 守屋町〔大正七年十月十五日〕

大正七年に子安町の一部から新設した町。明治三十九年から明治四十二年にかけて守屋此助が子安町の地先を埋め立て、子安町海岸通となる。明治四十四年、横浜市に編入した。町は1丁目から4丁目の字区域があり、子安通、新浦島町、千若町、出田町、恵比須町、宝町、鶴見区生麦一丁目、大黒町に接する。北側を首都高速横羽線が通る。守屋町3丁目に昭和七年建立の埋立記念碑がある。

### やまのうちちよう 山内町〔明治三十九年四月十日〕

明治三十九年に山内侯爵家の上願による神奈川町および青木町地先の埋め立てにともない新設した町。字一丁目を

置く。明治四十年一月十五日に山内町字二丁目、明治四十二年二月二十五日に山内町字三丁目、明治四十二年四月一日に山内町字四丁目を設けた。町名は「山内」の姓を採った。町は栄町、橋本町に接する。町内に中央卸売市場(水産)がある。

### ろくかくばし 六角橋一丁目〜六丁目〔昭和四十年七月一日(住)〕

昭和四十年の住居表示施行にともない六角橋町の区域に新設した町。古くは橋樹郡六角橋村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、小机村大字六角橋となり、明治二十五年に城郷村大字六角橋と改称し、昭和二年、横浜市に編入し六角橋町となる。町内にある宝秀寺の元禄八年(一六九五)の記録によると、日本武尊が東征の時、この久応という者の庵に泊り、翌朝、五位木という木の六角の御箬を用いられて、これを久応へ賜ったので、久応はこの箬へ天照大神・日本武尊と書いて日夜礼拝したこと、村名を「六角箬村」と称し、後に「六角橋村」と改称したとい

う。宝秀寺の門前に「大伴久応之墳」の石碑(成務天皇四十五年正月十四日)が建っている。『新篇武蔵風土記稿』の「六角橋村」の項に「村名の起りは詳にせず、按ずるに近きあたりなる鳥山村の農民茂左衛門と云もの、高邊を氏とす、それが家譜に佐々木四郎高綱宇治川の戦功あるにより、此邊を右大将頼朝より賜はりしかば、一族六角太郎及び鳥山左衛門等を目代とし、猿山庄次を舎人とすと見えたり、さればかの六角氏當時當村を指揮せしをもって遂に村名に負はせしと云り、しかあれど橋の文字を添たるはいかなる故にや據を知らず」の記録がある。町は白楽、西神奈川三丁目、斎藤分町、中丸、栗田谷、神大寺一丁目・四丁目、港北区岸根町、篠原町、篠原西町に接する。町内を横浜上麻生道路が通り、神奈川大学がある。



六角橋商店街(六角橋一丁目)

Y O K O H A M A

# 西区

帆船日本丸 (みなとみらい二丁目)



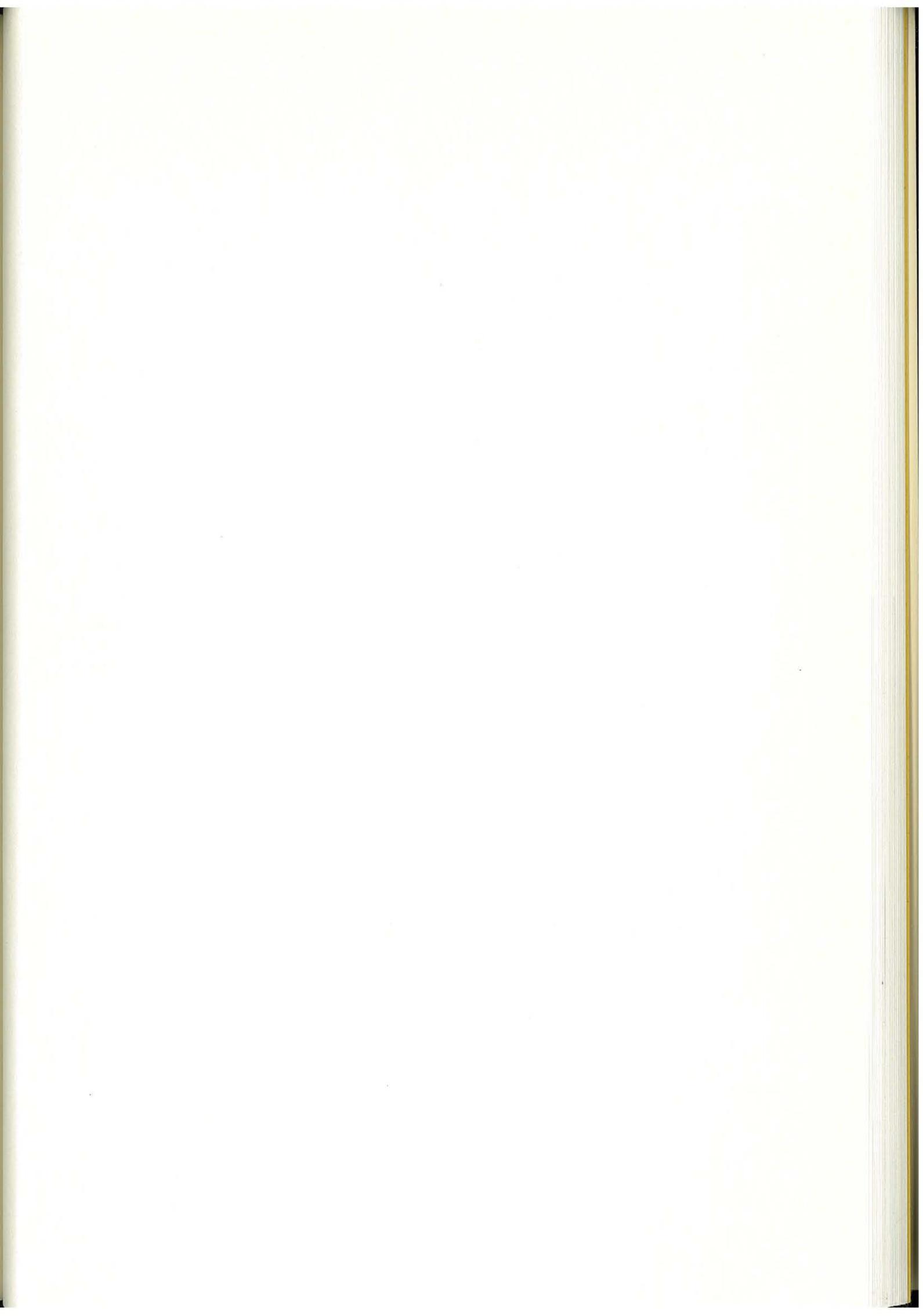


西区



西区 (6.910km<sup>2</sup>)

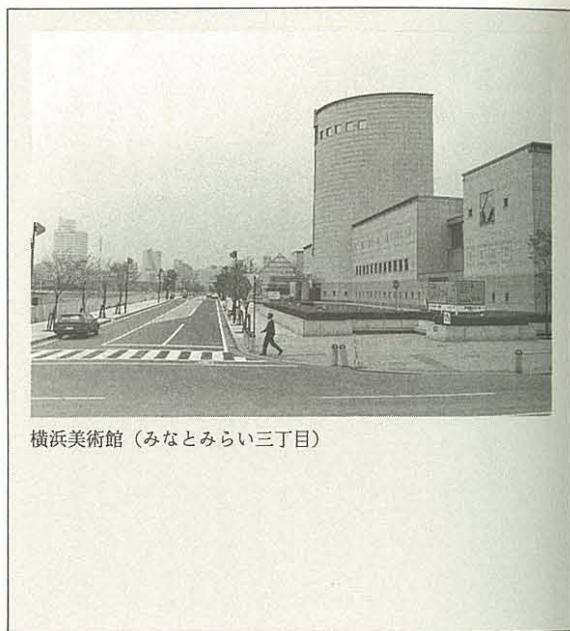
| 町名        | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|-----------|-----------------------|----|-----------------------|----|-----------------------|
| 赤門町       | 0.037                 |    |                       |    |                       |
| 東ヶ丘       | 0.086                 |    |                       |    |                       |
| 伊勢町       | 0.126                 |    |                       |    |                       |
| 老松町       | 0.218                 |    |                       |    |                       |
| 岡野一丁目     | 0.103                 |    |                       |    |                       |
| 岡野二丁目     | 0.147                 |    |                       |    |                       |
| 霞ヶ丘       | 0.122                 |    |                       |    |                       |
| 北軽井沢      | 0.186                 |    |                       |    |                       |
| 北幸一丁目     | 0.068                 |    |                       |    |                       |
| 北幸二丁目     | 0.121                 |    |                       |    |                       |
| 楠町        | 0.083                 |    |                       |    |                       |
| 久保町       | 0.235                 |    |                       |    |                       |
| 御所山町      | 0.063                 |    |                       |    |                       |
| 境之谷       | 0.169                 |    |                       |    |                       |
| 桜木町       | 0.086                 |    |                       |    |                       |
| 浅間台       | 0.170                 |    |                       |    |                       |
| 浅間町       | 0.377                 |    |                       |    |                       |
| 高島一丁目     | 0.410                 |    |                       |    |                       |
| 高島二丁目     | 0.261                 |    |                       |    |                       |
| 中央一丁目     | 0.131                 |    |                       |    |                       |
| 中央二丁目     | 0.142                 |    |                       |    |                       |
| 戸部町       | 0.135                 |    |                       |    |                       |
| 戸部本町      | 0.134                 |    |                       |    |                       |
| 西戸部町      | 0.418                 |    |                       |    |                       |
| 西平沼町      | 0.178                 |    |                       |    |                       |
| 西前町       | 0.010                 |    |                       |    |                       |
| 花咲町       | 0.071                 |    |                       |    |                       |
| 浜松町       | 0.100                 |    |                       |    |                       |
| 東久保町      | 0.208                 |    |                       |    |                       |
| 平沼一丁目     | 0.198                 |    |                       |    |                       |
| 平沼二丁目     | 0.101                 |    |                       |    |                       |
| 藤棚町       | 0.169                 |    |                       |    |                       |
| 緑町        | 0.003                 |    |                       |    |                       |
| みなとみらい一丁目 | 0.276                 |    |                       |    |                       |
| みなとみらい二丁目 | 0.152                 |    |                       |    |                       |
| みなとみらい三丁目 | 0.206                 |    |                       |    |                       |
| みなとみらい四丁目 | 0.214                 |    |                       |    |                       |
| みなとみらい五丁目 | 0.030                 |    |                       |    |                       |
| 南軽井沢      | 0.114                 |    |                       |    |                       |
| 南幸一丁目     | 0.078                 |    |                       |    |                       |
| 南幸二丁目     | 0.108                 |    |                       |    |                       |
| 南浅間町      | 0.164                 |    |                       |    |                       |
| 宮ヶ谷       | 0.135                 |    |                       |    |                       |
| 宮崎町       | 0.061                 |    |                       |    |                       |
| 元久保町      | 0.248                 |    |                       |    |                       |
| 紅葉ヶ丘      | 0.058                 |    |                       |    |                       |



## 西区の区名とそのあゆみ

西区は、昭和十九年四月一日に中区の一部を分割して新設した。中区の西側に当たるため、西区と名付けた。横浜市のほぼ中央に位置し、帷子川の堆積による沖積層からなる中央の低地と、それをささむ南北の丘陵地からなる。面積、人口とも十六区の中で最も小さな区であるが、JRのほか、東急東横線、京浜急行、相模鉄道、市営地下鉄の各線が集中する横浜駅を抱え、陸上交通の中心地となっている。江戸時代までは半農半漁の村にすぎなかったが、幕末に岡野新田や平沼新田などの開発が進み、開港時には横浜道が通り、神奈川奉行所が置かれた。明治五年に新橋と横浜を結ぶ鉄道の開通にともない、周辺の埋立地に大工場の進出を見た。「みなとみらい21」の大規模な臨海部の開発が進められ、「横浜の都心にふさわしい、国際性にあふれ、文化の香り高い街、人間味あふれる住みよい街」づくりを進めている。

西区の町名は、平沼、岡野のように埋め立てによって形成された町が多いために、埋立者に因むものが多い。横浜の開港と、その後の町の発展にかかわる伊勢町、老松町、桜木町などの町名が多い。また、都心部総合整備を行う「みなとみらい」地区には平仮名の町名を付けた。



横浜美術館（みなとみらい三丁目）

### 赤門町〔昭和十年七月一日〕

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない霞町字一丁目および清水町、南太田町の字谷原耕地、霞耕地の各一部から新設した町。字一丁目・二丁目を置く。町名は町内にある真言宗東福寺の山門が赤く塗られている処から「赤門」と呼ばれて、有名であったことに由来する。昭和十九年四月一日に中区の一部から西区を新設した時、赤門町を分割して1丁目の字区域は中区に、2丁目の字区域は西区に属することにした。町は霞ヶ丘、東ヶ丘、中区赤門町、南区三春台に接する。町の南側を藤棚浦舟通り（藤棚伊勢佐木線）が通る。

### 東ヶ丘〔昭和十年七月一日〕

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない南太田町の字東耕地と谷原耕地の一部から新設した町。古くは南太田町の一部で、町名は東耕地の字名に因む佳名により東ヶ丘とした。『横浜市町名沿革誌』によれば、この地に東神社があったことから字名を東耕地と呼んだという。町は赤門町、霞ヶ丘、老松町、中区日ノ出町、初音町、英町、赤門町に接する。町内に野毛山公園プールがある。

### 伊勢町〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡戸部村に属し、明治三年に伊勢山皇大神宮をこの地に遷座したことから、明治五年五月に伊勢町と命名し、字一丁目から五丁目までを置く。昭和三年九月の町界町名地番整理施行にともない丁目の再編成を行い、元の字三丁目を字一丁目に改め、字一丁目・二丁目を他町に分離し、西戸部町の反目、御所、宮ノ前の各一部を取り入れ

て、西平沼橋交差点まで延長し、字五丁目を廃止した。町名は伊勢山皇大神宮に因む。町は1丁目から3丁目の字区域があり、中央一丁目、戸部本町、御所山、戸部町、老松町、西戸部町に接する。町の中央を横浜駅根岸道路が通る。

### 老松町おいまつちよう

「明治二十二年四月一日」

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡戸部村に属し、明治九年一月に町並みが整ったことから町名を付けた。字一丁目・二丁目を置く。『横浜市町名沿革誌』によると、この地には老松が多く景勝の地であったことから佳名を採って町名にしたという。町は

西戸部町、伊勢町、戸部町、宮崎町、霞ヶ丘、赤門町、東ヶ丘、中区野毛町、宮川町、日ノ出町に接する。町内を京浜急行本線の野毛山トンネルが通り、町内に野毛山公園、野毛山動物園、市長公舎、横浜市図書館がある。

### 岡野おかの一丁目・二丁目

「昭和四十年七月一日」(注)

昭和四十年の住居表示施行にともない岡野町、西平沼町の一部から新設した町。この地は天保四年(一八三三)に保土ヶ谷の岡野勘四郎良親とその子良哉が海面を埋め立てて岡野新田と名付けた。安政六年(一八五九)の横浜開港に際して岡野新田の縁を横浜道が通り、道筋に町並みが続くようになって、明治六年一月に町並みの整った所に千歳町、新玉町、岡野町を設けたが、そのほかの区域は、まだ

岡野新田といった。明治二十二年の市町村制施行の際、神戸町、保土ヶ谷町、岩間町、帷子町と合併して、保土ヶ谷町大字岡野新田となる。明治三十四年の横浜市編入の際、保土ヶ谷町から分離して岡野町となる。町は南浅間町、浅間町、南幸二丁目、西平沼町に接する。町の南東側を帷子川が、北西側を新田間川が流れる。北東側を新横浜通りが

通る。町内に西センター、横浜平沼高校、岡野神社、岡野公園がある。

### 霞ヶ丘かすみがおか

「昭和十年七月一日」

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない南太田町の字霞耕地、谷原耕地、庚耕地の区域に新設した町。町名は字名の霞耕地の「霞」を採って名付けた。町は境之谷、西戸部町、老松町、赤門町、南区三春台に接する。町の南側を藤棚浦舟通り(藤棚伊勢佐木線)が通る。

### 北軽井沢きたかるいざわ

「昭和七年一月一日」

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町の字西軽井沢と南三ツ沢の一部から新設した町。町名は字名の「西」を「北」に改めて町名とした。柳田國男が『地名の研究』の「地名考説」に「カルイザワは涸溪かればなの義で吉田博士も水源涸涸の溪頭の意味としているが、この説は事実と合わない。サワとはもともと水ある谷のことである。それ

### 野毛山

横浜の歴史が刻み込まれているといわれる野毛山。開港当時の横浜に、東海道から開港場に抜ける「よこはま道」を通すために野毛の切り通しが造られたという。

「よこはま道」は、現在、浅間下交差点・新田間橋・元平沼橋・敷島橋・戸部通り・野毛坂の公園入口・都橋・吉田橋のコースを通っている。江戸幕府は、野毛の切り通しの上に神奈川奉行所を置き横浜開港にあたった。当時の神奈川奉行所跡石碑は、県立青少年センター前にある。明治三年(一八七〇年)に野毛の高台に伊勢山皇大神宮が置かれ、この時から野毛の切り通しの東側を伊勢山と呼ぶようになった。

野毛山は、老松の繁る景勝の地として明治中期ごろから生糸貿易商などの邸宅がおかれた。関東大震災後に、原善三郎(亀屋)・茂木惣兵衛(野沢屋)の邸宅跡を市が購入し、大正十五年(一九二六年)に野毛山公園(老松町)として整備した。その後、昭和二十六年(一九五一年)に野毛山動物公園が開園した。

また、いち早く横浜の開港を江戸幕府に訴えた開明派として知られる佐久間象山の顕彰碑が、開港百周年を記念して、ここ野毛山の最高地に建てられた。

ならば軽井沢の元の意味はどうかというと、荷をカルウという動詞の連体言カルイであろうと思う。カルウは普通の辞典には見えないが背負うという意味の中古の俗言である。」と述べているが、最近の地名研究では水の枯れた沢の「カレイ沢」説が有力になっているという。町は南軽井沢、宮ヶ谷、神奈川区三ツ沢西町、三ツ沢南町、沢渡に接する。町の中央を首都高速三ツ沢線が通る。

### 北幸一丁目・二丁目

「昭和四十年七月一日」(注)

昭和四十年の住居表示施行にともない北幸町、南幸町の一部から新設した町。明治初期に内海を高島嘉右衛門や茂木六兵衛らが埋め立て、大正二年に五万坪の埋立が完成、同年六月十日に青木町に編入し、縁起を祝って「幸」の字を採って青木町字北幸町、南幸町と命名した。昭和七年の町界町名地番整理施行にともない北幸町、南幸町を新設し、それぞれ字一丁目から三丁目までを置く。町は南幸一丁目・二丁目、楠町、浅間町、神奈川区鶴屋町に接する。北幸二丁目に沿って新田間川が流れる。また、神奈川区鶴屋町側を首都高速三ツ沢線が通る。

### 楠町くすのきちよう

「昭和七年一月一日」

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町の字台町下、東軽井沢の一部から新設した町。町名は旧町名の青木町の南であることから、青木の「木」と「南」を組み合わせて「楠」という好字こうじを採った。町は南軽井沢、浅間町、北幸二丁目、神奈川区台町、鶴屋町に接する。町の中央を環状1号線が通る。

久保町 [明治三十四年四月一日]  
〔昭和五十二年八月一日(注)〕

明治三十四年の横浜市編入の際、橋樹郡保土ヶ谷町大字岩間字久保山、大谷、林越、大丸から新設した町。古くは保土ヶ谷宿の内にあった。明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡保土ヶ谷町大字岩間となる。明治四十四年に橋樹郡保土ヶ谷町大字岩間下町字寺ノ下、宮ノ下、殿田、反町、塩田、関面、道上、東台、池ノ上、久保山下、外荒具、大丸の今井川以東を編入する。昭和十年の町界町名地番整理の際、久保町の一部から西久保町、東久保町、元久保町を新設し、旧字のうち、大谷、道上、東台、池上、塩田、反町の各一部の区域を当町の区域とした。町名は字名の「久保山」から採った。町は浜松町、藤棚町、境之谷、元久保町、東久保町、保土ヶ谷区西久保町に接する。町の北西側を東海道(国道1号)が通り、北東側を水道道が通る。

御所山町 [昭和三年九月一日]

昭和三年に西戸部町の字御所、反目の各一部から新設した町。古くは久良岐郡戸部村の一部で、明治二十二年の市町村制施行の際、戸太村大字戸部となり、明治二十八年に戸太町となり、明治三十四年に横浜市に編入して西戸部町字御所、反目となる。町名は「御所山」という丘陵があることから名付けた。鎌倉時代に曾我五郎を抱きとめた御所五郎丸が居住していたという伝説がある。地名研究で「ゴショ」は「高所」の意味であるという。町は戸部本町、戸部町、伊勢町に接する。町内に京浜急行本線の御所山トンネルがある。

類似した名称の町

横浜市内には、類似した名称の町があります。同名の町としては、吉田町「中区」と吉田町「戸塚区」、末広町「鶴見区」と末広町「中区」の二例があります。また、同音異字の例としては、泉町「神奈川」と和泉町「泉区」があります。  
このほかにも発音の類似した町名としては、旭ヶ丘「神奈川区」、朝日町「鶴見区」、朝比奈町「金沢区」、扇島「鶴見区」、扇町「中区」、鶴町「中区」、鎌谷町「保土ヶ谷区」、釜利谷町「金沢区」、栄町「神奈川区」、栄町通「鶴見区」、諏訪坂「鶴見区」、諏訪町「中区」、立野「中区」、立町「神奈川区」、田奈町「緑区」、田谷町「栄区」、中央「瀬谷区」、中央一丁目「西区」、常盤台「保土ヶ谷区」、常盤町「中区」、仲尾台「中区」、長尾台「栄区」、中尾町「旭区」、長浜「金沢区」、中浜町「磯子区」、錦ヶ丘「港北区」、錦見町「中区」、富士塚一丁目「港北区」、藤塚町「保土ヶ谷区」、富士見町「中区」、富士見が丘「緑区」、井天通「鶴見区」、井天通「中区」、本郷一丁目「瀬谷区」、本郷町「中区」、本郷台一丁目「栄区」、弥生町「中区」、弥生台「泉区」、若葉台一丁目「旭区」、若葉町「中区」などがあります。

境之谷 [昭和十年七月一日]

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない西戸部町字境之谷、富士塚および南太田町字庚耕地の一部から新設した町。町名は字名を採った。町は元久保町、久保町、藤棚町、西戸部町、霞ヶ丘、南区伏見町に接する。町の中央を藤棚浦舟通り(藤棚伊勢佐木線)が通る。

桜木町 [明治二十二年四月一日]

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。新橋・横浜間の鉄道敷設工事終了後の明治五年五月に鉄道柵外を町並みとし、桜木町を新設した。町名は桜木川(後の桜川)に添っていることから採った。桜木町4丁目から7丁目の字区域が西区に属し、桜木町1丁目から3丁目の字区域が中区に属する。町は高島一丁目・二丁目、みなとみらい三丁目・四丁目、花咲町、戸部町、戸部本町、平沼一丁目、中区桜木町、内田町に接する。町の北東側を国道

16号が通る。また、みなとみらい四丁目と中区内田町側を京浜東北線、東急東横線が通る。

浅間台 [昭和十一年十一月一日]

昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない浅間町字隠谷戸および打越の全部、大窪の一部から新設した町。町名は浅間町の台地にあることから名付けた。町は宮ヶ谷、浅間町、保土ヶ谷区鎌谷町に接する。

浅間町 [明治三十四年四月一日]

明治三十四年の横浜市編入の際、橋樹郡神奈川町大字芝生から新設した町。古くは橋樹郡芝生村といい、『遊行歴代記』に「武州芝生宿」の記録がある。明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡神奈川町大字芝生となる。昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない地区を四分割して浅間町、浅間台、南浅間町を新設し、一部を宮ヶ谷に編入した。浅間町は字一丁目から五丁目までを置く。「神奈川浅間下」の通称が世間に知られていたが、横浜市編入の際に「芝生町」と横浜市会の議決をえた。しかし、「芝生」は「死亡」に通じるとして、町民の懇願によって「浅間町」と改めた。町名は町内に浅間神社があることから名付けた。町は1丁目から5丁目の字区域があり、浅間台、宮ヶ谷、楠町、北幸二丁目、岡野一丁目・二丁目、南浅間町、保土ヶ谷区天王町、宮田町、鎌谷町に接する。町の東側を新田間川が流れる。町の中央を環状1号が通り、並行して旧東海道が通る。町内に浅間神社が祀られ、市営バス浅間町車庫がある。

高島一丁目・二丁目 [昭和四十一年五月一日(注)]

昭和四十一年の住居表示施行にともない表高島町、高島

通、平沼町、内田町、桜木町の各一部から新設した町。明治五年四月に新橋・横浜間の鉄道敷設用地外の埋立地に高島町を置き、字二丁目から十二丁目までを設けた。明治九年六月に字十一丁目を七軒町と改称した。町名は埋立者、高島嘉右衛門の姓「高島」を採った。町は南幸一丁目、平沼一丁目、桜木町、みなとみらい四丁目・五丁目、緑町、神奈川区金港町、大野町、山内町に接する。町の北西側に東海道本線、横須賀線、京浜東北線、京浜急行本線、東急東横線が通り、横浜駅、東急高島町駅がある。町の中央を東海道（国道1号）、首都高速横羽線が通る。高島一丁目に高島埠頭があり、高島二丁目には横浜ルミネ、ポルタ（東口地下街）、横浜そごう、横浜中央郵便局がある。

中央一丁目・二丁目〔昭和四十一年五月一日〕(注)

昭和四十一年の住居表示施行にともない扇田町、伊勢町、石崎町、天神町、紅梅町、西戸部町、藤棚町の一部から新設した町。町名はこの地域が西区の中央に位置することから名付けた。町は平沼二丁目、戸部本町、伊勢町、西戸部町、藤棚町、浜松町に接する。町の北西側を石崎川が流れ、東海道（国道1号）が通る。町内に西区役所がある。

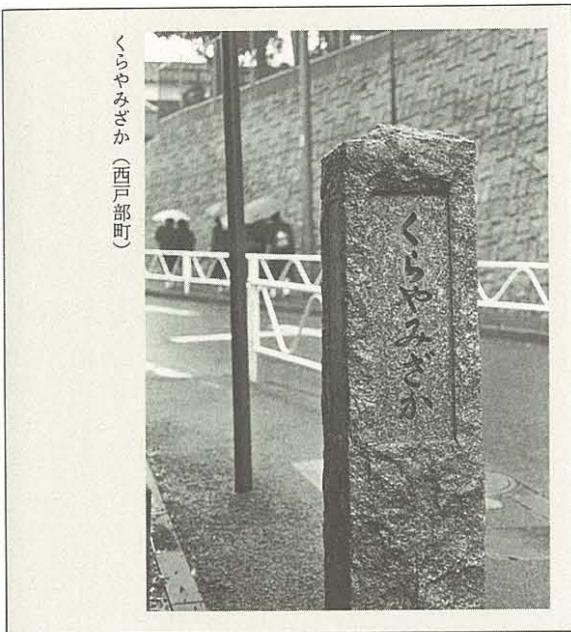
戸部町〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の横浜市編入の際、新設した町。古くは久良岐郡戸部村といい、横浜開港によって横浜道の道筋が町並みとなったので戸部町と名付けた。字一丁目から七丁目までを置く。昭和三年九月一日に町界町名地番整理施行にともない戸部通を中心に、桜橋岸を境にして、西戸部町、野毛坂、反目、石崎、伊勢町字三丁目、花咲町字九丁目および十二丁目の一部を編入した。『横浜文書』の「北条氏康印判状（天文十二年・一五四三）」に「武州戸部郷」

の記録がある。『小田原衆所領役帳』には「久良岐郡富部」と記録されている。『新篇武蔵風土記稿』の「戸部村」の項に「古當所に戸部民部といへる者居住せし故、村名起りしならんといへど、却て此人在名を稱號とせしも知へからず」の記録がある。地名研究では「トベ」は「沼地」を意味するという。町は1丁目から7丁目の字区域があり、桜木町、戸部本町、御所山町、伊勢町、老松町、宮崎町、紅葉ヶ丘、花咲町に接する。町内を横浜道と町名に由来する愛称道路「戸部通り」が通る。

戸部本町〔昭和四十一年五月一日〕(注)

昭和四十一年の住居表示施行にともない紅梅町、戸部町、御所山町、石崎町、桜木町、天神町の一部から新設した町。町は平沼一丁目、桜木町、戸部町、御所山町、伊勢町、中央一丁目に接する。町の北側を石崎川が流れ、町内を東海道（国道1号）が通る。西側を京浜急行本線が通り、京急戸部駅がある。



くらやみざか（西戸部町）

西戸部町〔明治三十四年四月一日〕

明治三十四年の横浜市編入の際、久良岐郡戸太町大字戸部から新設した町。古くは戸部村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、戸太村大字戸部となり、明治二十八年に戸太町と改称した。昭和三年九月の町界町名地番整理施行にともない扇田、杉山、西ノ前、藤棚、紅梅、天神、石崎、御所山、浜松の九か町に分立した。町は1丁目から3丁目の字区域があり、中央一丁目・二丁目、伊勢町、老松町、霞ヶ丘、境之谷、藤棚町に接する。町の中央を水道道が通る。

西平沼町〔明治三十四年四月一日〕  
〔昭和四十一年五月一日〕(注)▽

明治三十四年の横浜市編入の際、久良岐郡戸太町大字平沼新田から新設した町。天保十年（一八三九）の頃に、五代目、六代目、七代目の平沼九兵衛が沼地を埋め立て平沼新田と名付け、明治二十二年の市町村制施行の際、久良岐郡戸太村大字平沼新田となり、明治二十八年に戸太町と改称した。昭和三年の町界町名地番整理施行にともない町界を平沼橋から帷子川を境に、東海道鉄道線路の間で水道橋に至るまでの地域とし、平沼町、尾張屋町、西戸部町字塩田、久保町字塩田の各一部を編入して字一丁目から五丁目を置く。町名は平沼町の西に位置することから西平沼町と名付けた。町は南浅間町、岡野町一丁目・二丁目、平沼一丁目・二丁目、浜松町、保土ヶ谷区西久保町に接する。町の北西側を帷子川が流れ、町内に東京ガス平沼整圧所、古河電工、相模鉄道西横浜駅がある。また、平沼二丁目側を東海道本線、横須賀線、相模鉄道が通っている。

西前町 [昭和三年九月一日]

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない西戸部町字西ノ前の大部分と宮ノ前、池ノ坂、西ノ原、横枕の各一部から新設した町。字一丁目から四丁目までを置く。古くは久良岐郡戸部村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際戸太村大字戸部となり、明治二十八年に戸太町と改称し、明治三十四年に横浜市に編入した。町名は字名「西ノ前」から採った。杉山神社（現、中央一丁目所在）の「西の前」の意味という。町は2丁目と3丁目の字区域があり、1丁目の字区域はない。中央一丁目・二丁目、西戸部町に接する。

花咲町 [明治二十二年四月一日]

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。元治元年（一八六四）に戸部村海岸を埋め立てて石炭倉庫を建てた所で、明治三年から五年の間に倉庫は取り壊された。明治五年十一月に花咲町字一丁目から十二丁目を新設した。昭和三年の町界町名地番整理施行にともない字一丁目を緑橋に延長し、福島町を廃止して字二丁目とし、戸部橋を境に字七丁目までとし、花咲町字八丁目から十二丁目を廃止した。町名は町の前を流れていた桜木川（後の桜川）と桜木町に因んで佳名を採った。花咲町4丁目から7丁目の字区域が西区に属し、花咲町1丁目から3丁目の字区域が中区に属する。町は戸部町、紅葉ヶ丘、宮崎町、桜木町、中区花咲町に接する。町の北東側を桜川新道が通る。

浜松町 [昭和三年九月一日]

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない西戸部町字塩田および久保町字塩田の一部から新設した町。塩田があっ

同一名称の町と町数の多い区

横浜市には一九九一年三月末現在、千五百五十五の町数があります。その中には、行政区界線引きの経緯によって二つの区にまたがる同一名称の町が次の八例あります。  
赤門町 [西区と中区]、荏田町 [港北区と緑区]、勝田町 [港北区と緑区]、川島町 [保土ヶ谷区と旭区]、桜木町 [西区と中区]、新羽町 [港北区と緑区]、花咲町 [西区と中区]、東方町 [港北区と緑区]。  
また、町数の多い区では①緑区（四九か町）②中区（二〇七か町）③港北区（一〇四か町）④鶴見区（一〇〇か町）⑤神奈川区（九六か町）がベスト5です。逆に少ない区をみると、①泉区（二五か町）②栄区（三三か町）③戸塚区（四〇か町）④瀬谷区（四五か町）⑤西区（四六か町）となっています。  
町数は住居表示整備事業や町界町名地番整理事業などの推進により、大きな町が分割され増えています。

た頃に生えていた「磯馴松」、即ち「浜松」に由来して町名を付けた。町は西平沼町、平沼二丁目、中央二丁目、藤棚町、久保町、保土ヶ谷区西久保町に接する。町の北西側を東海道（国道1号）、東海道本線、横須賀線、相模鉄道が通る。町の南西側を水道道が通り、東側を藤棚浦舟通りが通る。

東久保町 [昭和十年七月一日]

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない久保町字池上、林越、東台、外荒具の一部から新設した町。古くは保土ヶ谷宿の内で、明治三十四年に橋樹郡保土ヶ谷町大字岩間の一部を横浜市に編入し、久保町となる。町名は当時の久保町の東にあたることから東久保町と名付けた。町は久保町、元久保町、保土ヶ谷区西久保町に接する。

平沼一丁目・二丁目 [昭和四十一年五月一日]

昭和四十一年の住居表示施行にともない平沼町他から新設した町。天保十年（一八三九）の頃に五代目、六代目、七代目の平沼九兵衛が沼地を埋め立て平沼新田と名付けた。明治六年一月に平沼新田の内で町並の整った所に、平沼町を新設した。明治三十四年に横浜市に編入し、昭和三年九月一日の町界町名地番整理施行にともない町界を東海道鉄道線路と石崎川の間とし、青木町字内海の一部、材木町と仲町の全部、西平沼町・尾張屋町の各一部を編入して平沼町字一丁目から五丁目を置く。町名は埋立者の姓「平沼」を採った。町は西平沼町、岡野町一丁目、南幸一丁目・二丁目、高島二丁目、桜木町、戸部本町、中央一丁目・二丁目、浜松町に接する。町の南東側を石崎川が流れ、石崎川プロムナードが整備されている。北西側を東海道本線、横須賀線、相模鉄道が通り、相模鉄道平沼橋駅がある。町の中央を新横浜通り、横浜駅根岸道路が通る。町内に平沼九兵衛が平沼新田の鎮守として創建した平沼神社がある。

藤棚町 [昭和三年九月一日]

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない西戸部町字横枕、西ノ原、稲荷台、塩田および久保町字塩田の一部から新設した町。町名は市電停留所脇にあった鈴木屋という茶屋の軒先にあった藤棚に由来する。町は1丁目と2丁目の字区域があり、浜松町、中央二丁目、西戸部町、境之谷、久保町に接する。町の北側を水道道が通り、町の中央を南北に藤棚浦舟通り（藤棚伊勢佐木線）が通る。

みどりちょう「明治二十二年四月一日」  
緑町

△昭和四十一年五月一日(注)▽

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。

明治七年七月に内田町字六丁目・七丁目・八丁目地先の埋立地に緑町を設け、字一丁目から三丁目までを置く。町名は佳名を採った。昭和四十一年に住居表示を施行し、橋町、入船町、長住町を合併した。平成元年に町区域の大部分をみなとみらい二丁目・三丁目・四丁目編入し、緑町は小さな町区域になった。町は高島一丁目、みなとみらい四丁目に接する。

### みなとみらい一丁目〜五丁目

〔平成元年十月二日(注)、平成二年十一月十九日(注)〕

平成元年と平成二年の住居表示施行にともない緑町とそれに隣接する埋立地を中心とする「みなとみらい21」地区および高島一丁目、内田町、中区桜木町の一部から新設した町。明治七年七月に内田町の地先を埋め立てて緑町を設け、明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した。昭和五八年に都心臨海部総合整備「みなとみらい21」を起工し、平成元年に横浜博覧会が開催された。町名は、学識経験者等で構成した「みなとみらい21地区町界町名等検討委員会」で審議し、事業名称として定着している「みなとみらい」を採用した。町は高島町一丁目、桜木町、緑町、中区内田町、桜木町、新港町に接する。町の南西側を首都高速横羽線が通る。町内に横浜美術館、日本丸メモリアルパーク、横浜マリタイムミュージアムがある。

### みなみかるいざわ 南軽井沢

〔昭和七年一月一日〕

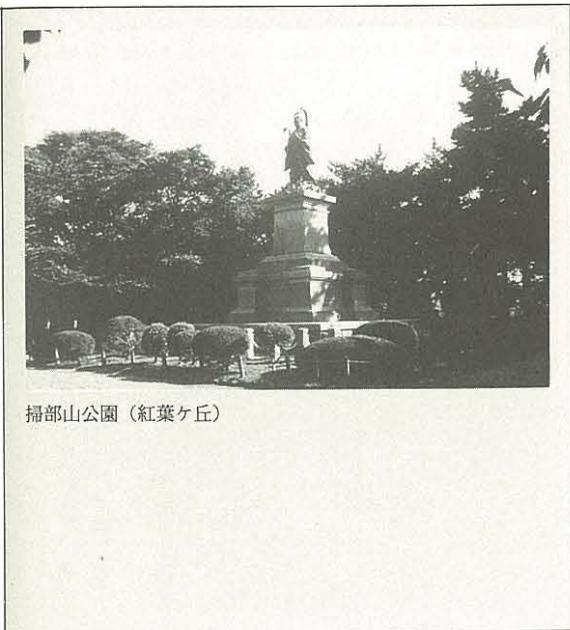
昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字東

軽井沢の区域に新設した町。町名は字名の「東」を「南」に改めて南軽井沢と名付けた。町は北軽井沢、宮ヶ谷、楠町、神奈川区沢渡、台町に接する。北東側を首都高速三ツ沢線が通る。町内に勤行寺がある。

### みなみさいわい 南幸一丁目・二丁目

〔昭和四十年七月一日(注)〕

昭和四十年の住居表示施行にともない南幸町、北幸町、岡野町、平沼町の一部から新設した町。明治の初めに高島嘉右衛門や茂木六兵衛が埋め立てをして、大正二年に埋立が完成、同年六月に青木町に編入し、青木町字南幸町、字北幸町に分けた。昭和七年の町界町名地番整理の際、北幸町、南幸町を新設し、それぞれ字一丁目から三丁目までを置く。町は北幸一丁目・二丁目、高島二丁目、平沼二丁目、岡野一丁目、神奈川区鶴屋町、金港町に接する。町の南西側を新横浜通りが通り、南東側を東急東横線、相模鉄道が通り、横浜駅がある。町内にザ・ダイヤモンド(西口地下街)、横浜西口シアル、相鉄ジョイナス、横浜高島屋、岡



掃部山公園(紅葉ヶ丘)

田屋モアーズ、横浜ビブレ21、相鉄ムービル、東急ハンズ横浜店がある。

### みなみせんげんちょう 南浅間町

〔昭和十一年十一月一日〕

昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない浅間町字大新田、鹿島、社宮司、岡野町の一部から新設した町。町名は浅間町の南に位置することから南浅間町と名付けた。町は浅間町、岡野町二丁目、西平沼町、保土ヶ谷区石間町、天王町、西久保町に接する。町の南東側を帷子川が流れる。南西側を水道道が通り、町の中央を八王子街道(国道16号)が通る。町内に横浜市総合福祉センターがある。

### みやがや 宮ヶ谷

〔昭和七年一月一日〕

昭和七年の町界町名地番整理施行にともない青木町字東軽井沢、西軽井沢の一部から新設した町。昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない浅間町字隠谷戸の一部を編入する。町名は浅間神社の背後の谷戸であることから宮ヶ谷と名付けた。町は北軽井沢、南軽井沢、楠町、浅間町、浅間台、保土ヶ谷区鎌谷町、神奈川区三ツ沢西町に接する。北東を新横浜通りが通る。

### みやざきちょう 宮崎町

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡戸部村字宮ヶ崎といい、明治三年四月に伊勢山皇大神宮を遷座して町並みができたので、明治三年九月に宮崎町となる。町名は字名と伊勢山皇大神宮の遷座に因んで「宮崎」と名付けた。町は紅葉ヶ丘、花咲町、戸部町、老松町、中区花咲町、野毛町に接する。町の南西側を横浜駅根岸道路が通る。町内に伊勢山皇大神宮、成田山延命院、神奈川県議会会館がある。

もとくほちよう〔昭和十年七月一日〕  
元久保町

△昭和五十二年八月一日(注)▽

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない久保町字大谷、林越、久保山、大丸、外荒具と南太田町の各一部から新設した町。古くは保土ヶ谷宿の内で、明治二十二年の市町村制施行の際、保土ヶ谷町となる。明治三十四年に橘樹郡保土ヶ谷町大字岩間の一部を横浜市に編入し久保町となる。町は東久保町、久保町、境之谷、南区庚台、清水ヶ丘、伏見町、保土ヶ谷区岩井町に接する。町内に久保山斎場、久保山墓地がある。

もみじがおか  
紅葉ヶ丘〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない伊勢町字一丁目・二丁目および戸部町の字二丁目・三丁目・四丁目の一部から新設した町。明治五年に坂道の両側に紅葉を植樹し「紅葉坂」と名付け、町名は、紅葉坂上の丘陵の地であ

かたな  
掃部山

紅葉橋を上り、県立音楽堂に隣接した所に掃部山公園（紅葉ヶ丘）がある。毎年八月には「虫の音を聞く会」、九月には「かもんやま薪能」が催されることで知られ、市民に親しまれている公園である。江戸時代までは一寒村にすぎなかった横浜村が、幕府の政策によって開港場に転身をとげ、一躍有名になったのは安政六年（一八五六年）のことであった。この開港にリーダーシップをふるったのが、時の大老井伊直弼であった。彼は、万延元年（一八六〇年）桜田門外の変により四十六歳の若さでこの世を去った。掃部山は、江戸時代には不動山、明治に入ってから鉄道山と呼ばれていたが、明治十七年（一八八四年）に井伊家当主の称号であった「掃部頭」から取られ現在の名称となった。このため掃部山公園内には、井伊直弼の銅像が建っている。建立されたのは、明治維新指導者の銅像建立がさかんになった明治四十二年（一九〇九年）のことである。高さ四メートルで台座の部分を含めると十一メートルもの高さを誇る立派なものである。

ることから紅葉ヶ丘とした。町は戸部町、花咲町、宮崎町に接する。町内に掃部山公園、県立図書館、県立音楽堂、県立文化資料館、県立青少年センター、神奈川婦人会館がある。



Y O K O H A M A

# 中区

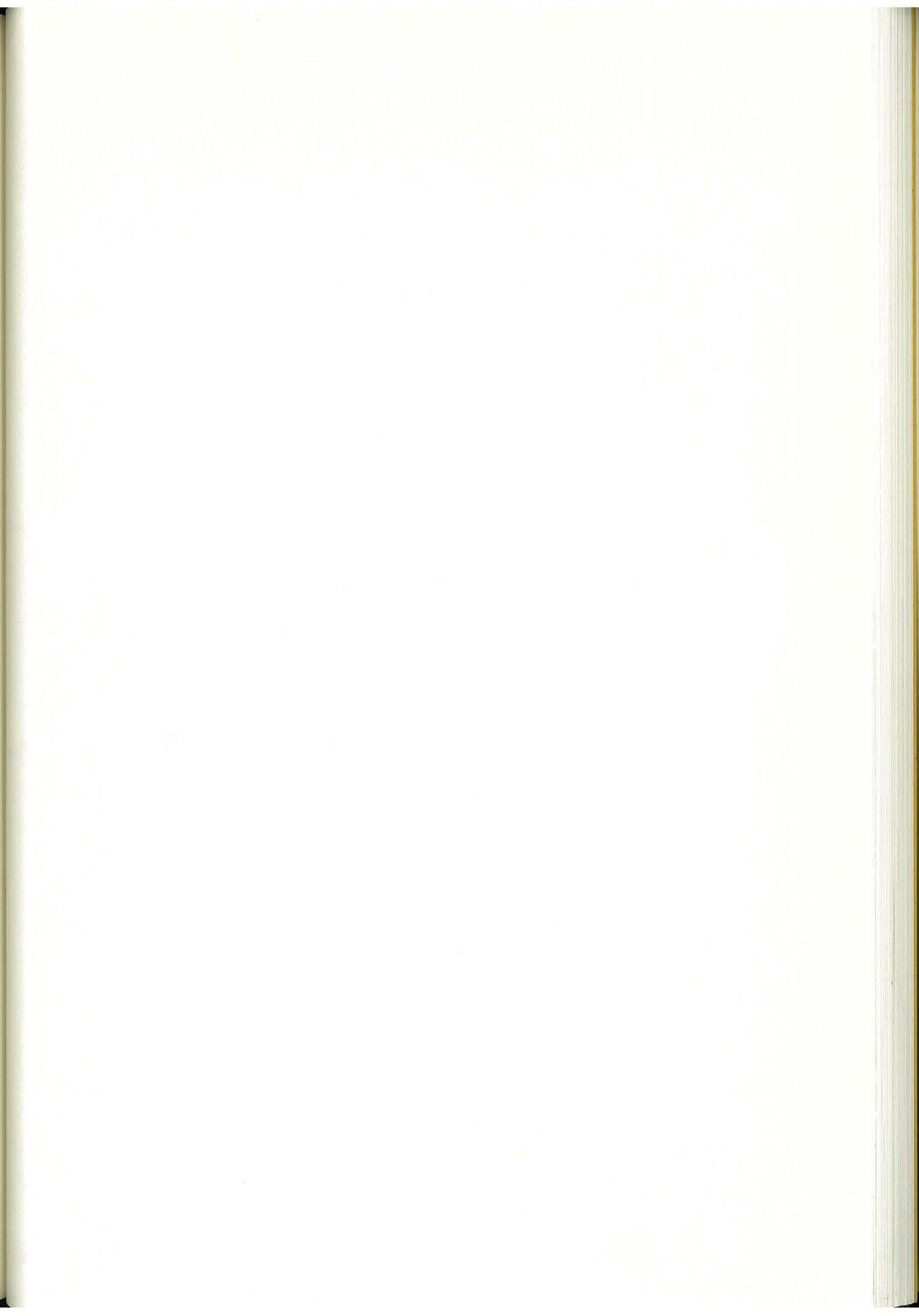
横浜開港記念会館(本町)





中区 (19.242km<sup>2</sup>)

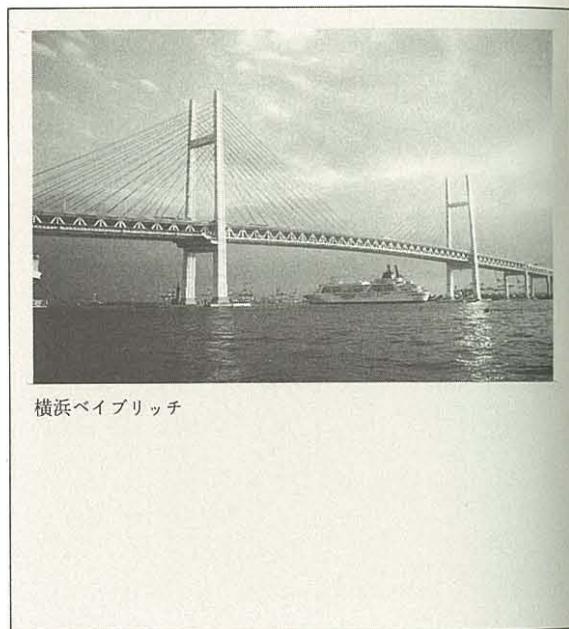
| 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名    | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名  | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|--------|-----------------------|-------|-----------------------|-----|-----------------------|
| 相生町    | 0.041                 | 根岸町   | 0.190                 | 吉浜町 | 0.054                 |
| 赤門町    | 0.013                 | 野毛町   | 0.074                 | 若葉町 | 0.030                 |
| 曙町     | 0.073                 | 羽衣町   | 0.043                 | 和田山 | 0.207                 |
| 池袋     | 0.096                 | 初音町   | 0.042                 |     |                       |
| 石川町    | 0.173                 | 花咲町   | 0.075                 |     |                       |
| 伊勢佐木町  | 0.092                 | 英町    | 0.016                 |     |                       |
| 上野町    | 0.085                 | 万代町   | 0.033                 |     |                       |
| 打越     | 0.078                 | 日ノ出町  | 0.071                 |     |                       |
| 内田町    | 0.162                 | 福富町仲通 | 0.019                 |     |                       |
| 扇町     | 0.050                 | 福富町西通 | 0.030                 |     |                       |
| 大芝台    | 0.101                 | 福富町東通 | 0.020                 |     |                       |
| 太田町    | 0.041                 | 富士見町  | 0.022                 |     |                       |
| 大平町    | 0.066                 | 不老町   | 0.060                 |     |                       |
| 翁町     | 0.039                 | 弁天通   | 0.036                 |     |                       |
| 尾上町    | 0.052                 | 蓬萊町   | 0.042                 |     |                       |
| 海岸通    | 0.210                 | 本郷町   | 0.200                 |     |                       |
| 柏葉     | 0.113                 | 本町    | 0.061                 |     |                       |
| かもめ町   | 0.267                 | 本牧荒井  | 0.107                 |     |                       |
| 北方町    | 0.079                 | 本牧大里町 | 0.224                 |     |                       |
| 北仲通    | 0.105                 | 本牧三之谷 | 0.407                 |     |                       |
| 黄金町    | 0.017                 | 本牧十二天 | 0.118                 |     |                       |
| 寿町     | 0.070                 | 本牧町   | 0.391                 |     |                       |
| 小港町    | 0.138                 | 本牧原   | 0.275                 |     |                       |
| 鷺山     | 0.088                 | 本牧ふ頭  | 2.620                 |     |                       |
| 桜木町    | 0.038                 | 本牧満坂  | 0.141                 |     |                       |
| 新港町    | 0.307                 | 本牧緑ヶ丘 | 0.147                 |     |                       |
| 新山下一丁目 | 0.151                 | 本牧宮原  | 0.103                 |     |                       |
| 新山下二丁目 | 0.120                 | 本牧元町  | 0.347                 |     |                       |
| 新山下三丁目 | 0.430                 | 本牧和田  | 0.208                 |     |                       |
| 末広町    | 0.012                 | 間門町   | 0.335                 |     |                       |
| 末吉町    | 0.092                 | 真砂町   | 0.024                 |     |                       |
| 住吉町    | 0.052                 | 松影町   | 0.057                 |     |                       |
| 諏訪町    | 0.027                 | 豆口台   | 0.135                 |     |                       |
| 滝之上    | 0.141                 | 港町    | 0.052                 |     |                       |
| 竹之丸    | 0.172                 | 南仲通   | 0.031                 |     |                       |
| 立野     | 0.089                 | 箕沢    | 0.213                 |     |                       |
| 千歳町    | 0.014                 | 宮川町   | 0.056                 |     |                       |
| 千鳥町    | 1.302                 | 妙香寺台  | 0.044                 |     |                       |
| 長者町    | 0.179                 | 三吉町   | 0.021                 |     |                       |
| 千代崎町   | 0.109                 | 麦田町   | 0.066                 |     |                       |
| 塚越     | 0.118                 | 元浜町   | 0.024                 |     |                       |
| 寺久保    | 0.148                 | 元町    | 0.157                 |     |                       |
| 常盤町    | 0.042                 | 矢口台   | 0.129                 |     |                       |
| 豊浦町    | 0.891                 | 山下町   | 1.118                 |     |                       |
| 仲尾台    | 0.115                 | 山田町   | 0.048                 |     |                       |
| 錦町     | 1.511                 | 山手町   | 0.843                 |     |                       |
| 西竹之丸   | 0.111                 | 大和町   | 0.069                 |     |                       |
| 西之谷町   | 0.161                 | 山吹町   | 0.015                 |     |                       |
| 日本大通   | 0.096                 | 山元町   | 0.181                 |     |                       |
| 根岸旭台   | 0.079                 | 弥生町   | 0.052                 |     |                       |
| 根岸加曾台  | 0.053                 | 横浜公園  | 0.085                 |     |                       |
| 根岸台    | 0.231                 | 吉田町   | 0.034                 |     |                       |



## 中区の区名とそのあゆみ

中区は、昭和二年十月一日に区制を施行した。区名は、行政的にも横浜の中央であることから名付けた。丘陵地と海岸線によって囲まれた沖積層低地や埋立地から形成されている。港湾施設や公園、道路の公共用地が多く、農地や山林はほとんどない。半農半漁の地であったが、江戸時代に新田開発が行われ、安政六年（一八五九）の横浜開港後、日本人の商店や外国の商館が建設された。神奈川県、横浜市行政・経済の中心として発展したが、関東大震災や横浜大空襲の被害を受け、さらに長期にわたる連合軍の接収によって復興が遅れたが、昭和四十年代から本牧埋立地にコンピナート基地が建設されるなど港湾・工業都市として新たな発展を遂げた。また、伊勢佐木町・元町商店街のモータリ化や新本牧地区の土地区画整理事業の完了、ベイブリッジの完成など「ヨコハマの中枢となる街」として新しい都市形成が図られている。

中区の町名は、吉田町、太田町のように江戸時代から埋立地には新田の開発者の名前を付け、横浜開港による市街化地域には、相生町、羽衣町のように佳字、好字を採って新しい町名を付けている。



横浜ベイブリッジ

### 相生町あいおいちょう〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。慶應三年（一八六七）三月に久良岐郡太田屋新田を埋め立て相生町字二丁目から三丁目の地域ができ、明治四年七月に町名を付けた。明治六年三月二十二日に相生町以南が焼失したので、明治六年五月に新浜町、若松町、高砂町、小船町、駒形町を廃止し、相生町、尾上町、住吉町、常盤町、真砂町、港町を東西直線に通し、相生町は字一丁目から六丁目までを置く。町名は謡曲の「高砂（古くは相生といつた）」に由来する。町は1丁目から6丁目の字区域があり、太田町、日本大通、横浜公園、住吉町、桜木町に接する。町内を相生町通りが通り、町を横切って馬車道、関内大通り、関内桜通り、関内仲通り、みなと大通りを通る。

### 赤門町あかもんちょう〔昭和十年七月一日〕

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない霞町字一丁目および清水町、南太田町字谷原耕地、霞耕地の一部から新設した町。字一丁目から二丁目を置く。昭和十九年に中区の一部から西区を設けた時、赤門町字一丁目の区域は中区へ、字二丁目の区域は西区に属することとした。町名は真言宗東福寺の山門が赤く塗られていることに由来する。町は英町、西区赤門町、東ヶ丘、南区西中町に接する。町内を愛称道路「赤門通り」が、南西側を藤棚浦舟通りが通る。

### 曙町あけほのちょう〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない久方町字一丁目・二丁目、足曳町字一丁目・二丁目、賑町字二丁目、吉岡町字一丁目・六丁目、長者町字四丁目、長島町字四丁

目・五丁目、南吉田町字南五ツ目の各一部から新設した町。町名は明治十四年の『小学唱歌集』に掲載された慈鎮和尚の「春のやよい」にてでくる「春のやよいの あけぼのに 四方の山べを 見たせば 花盛りかも しら雲の からぬ峰こそ なかりけり」から採った。町は1丁目から5丁目の字区域があり、弥生町、長者町、伊勢佐木町、南区高根町、新川町、吉野町、山王町に接する。町の中央を横須賀道路（国道16号）が通る。

### 池袋いけぶくろ

「昭和八年四月一日」

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となる。町名は字名を採った。地名研究で「フクロ」とは「袋形の小地形」を意味するという。町は矢口台、本牧緑ヶ丘、本牧荒井、間門町、根岸加曾台、豆口台に接する。町の西側を根岸線のトンネルが通り、南側を本牧通りが通る。

### 石川町いしかわちよ

「明治二十二年四月一日」

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは石川郷といい、堀之内村、横浜村、中村の地域を合わせて久良岐郡石川村といったが、後に分かれて久良岐郡石川中村となった。明治六年一月に石川中村の町並みの整ったところに石川町字一丁目から七丁目までを新設した。昭和十年の町界町名地番整理施行にともない字六丁目・七丁目を廃止した。『横浜文書』の「將軍家藤原頼経政所下文（貞永二年・一一三三）」に「平子郷内石河村」の記録がある。小泉八雲は『Glimpses of unfamiliar Japan』の「At the Market of the Dead」に石川町を「the Street of the Stony River.」と紹介している。町は1丁

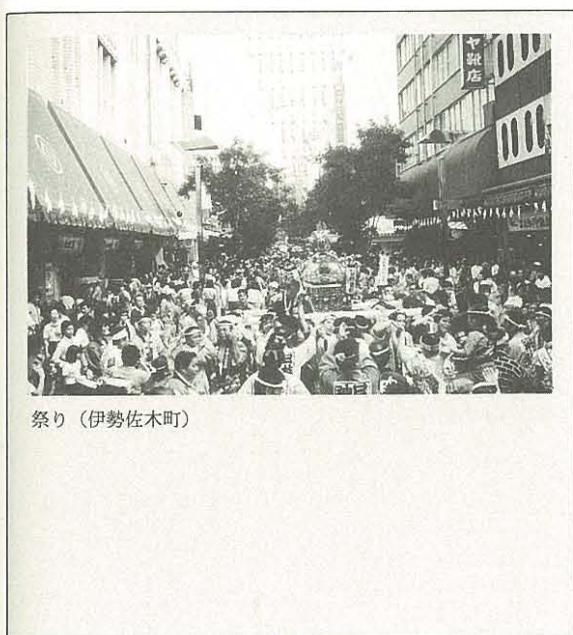
目から5丁目の字区域があり、元町、山手町、打越、南区中村町、中村川を隔てて中区山下町、吉浜町、松影町、寿町、長者町に接する。西側を横浜駅根岸道路が、北西側の中村川の上を首都高速狩場線が通る。町内に遊行坂、牛坂地蔵坂、大丸谷坂がある。

### 伊勢佐木町いせざきちよ

「明治二十二年四月一日」

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。吉田新田を埋め立てて明治七年五月二十日に伊勢佐木町字一丁目・二丁目を新設した。昭和三年の町界町名地番整理施行にともない松ヶ枝町、賑町、長島町を廃止し、その区域を長者町および久方町の一部と末吉町字六丁目を経て南吉田橋に至るまで延長し、伊勢佐木町字七丁目までを置く。町名の由来については諸説ある。

第一説に、明治七、八年頃に元神奈川奉行であった佐々木信濃守と合原伊勢守の二人で開発したので「伊勢」と「佐木」の姓を連結した。



祭り（伊勢佐木町）

第二説に、明治七年頃に伊勢の佐々木某がそば屋、佐々木庵を開業して繁盛した。町名はその生国「伊勢」と姓「佐々木」を採った。

第三説に、明治五、六年頃に太田町の伊勢文蔵と、桜木町の佐々木次平が吉田橋際の伊勢佐木町付近の埋立事業を手掛けたことからその姓をとって名付けたという説がとられていた。

しかし、最近の調査で、伊勢佐木町の道路造成の費用を寄付して中島県令から銀杯を受けた伊勢屋中村治郎兵衛、佐川儀右衛門、佐々木新五郎の三人の姓から、それぞれ「伊勢」、「佐」、「木」を採ったものであることが分かった。（『有隣』第二六一号二頁 平成元年八月十日、有隣堂刊）。町は1丁目から7丁目の字区域があり、港町、吉田町、福富町東通、長者町、若葉町、末吉町、羽衣町、末広町、曙町、南区山王町、南吉田町、日枝町に接する。町の中央を町名に由来する愛称道路「伊勢佐木町通り」が通り、横浜松坂屋がある。

### 上野町うえのちよ

「明治二十二年四月一日」

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治六年一月に久良岐郡北方村の町並みの整った所に上野町を新設した。昭和三年九月の町界町名地番整理施行にともない上野町は上野町通の山手の天沼の一部を含んで、大和町と千代崎町間を中心とした区域とし、上野町字四丁目まで置く。町名は字名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の北方村の項に「上野」の小名が記録されている。中島利一郎の『日本地名学研究』に「東京、横浜何れにも上野、根岸があるのは面白いが、上野は断崖上の平原丘と解し、または鹿、熊等の獣の少ない平山つづきの地と解釈してもいいと思う。」と述べている。町は1丁目から4丁目の字区

域があり、妙香寺台、千代崎町、本郷町、西之谷町、立野、大和町、麦田町に接する。町の中央を本牧通りが通る。

### 打越うちこし

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない中村町から新設した町。町名は字名を採った。地名研究で「ウツ」とは「狭い谷、崖がけ」、「コシ」とは「麓ふもと、崖」を意味するといふ。町は石川町、山手町、南区中村町、唐沢に接する。町内を横浜駅根岸道路が通り、南側に打越橋が架かる。

### 内田町うちだちやう

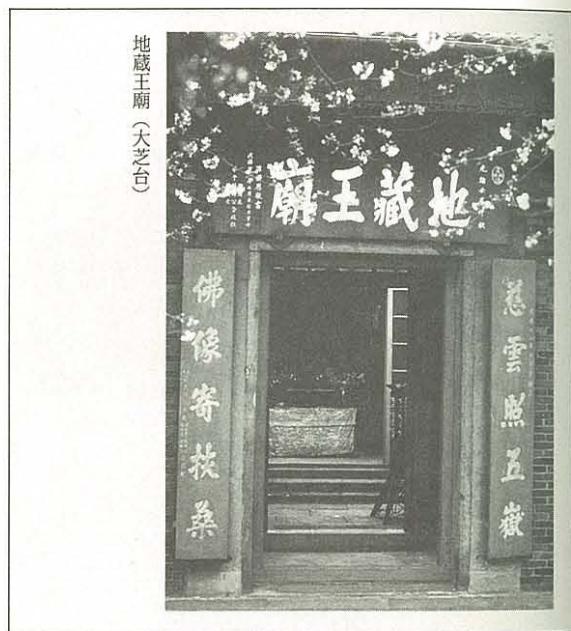
明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。京屋内田清七が請け負って埋め立てた所で、明治五年に内田町字一丁目から十二丁目までを新設した。明治二十年に内田町字三丁目から五丁目までの片側を長住町とし、内田町は字一丁目から八丁目までとなる。町名は埋立者の姓「内田」を採った。町は飛地状となっており、桜木町、西区桜木町、みなとみらい二丁目・三丁目に接する。

### 扇町おおぎらちやう

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治六年に吉田新田を埋め立てて扇町字一丁目から四丁目までを新設した。町名は縁起を祝って能の小道具「扇」を採った。また、洲干弁天しゅうかんに因むともいふ。町は1丁目から4丁目の字区域があり、横浜公園、寿町、長者町、翁町に接する。北東側を新横浜通りが通る。

### 大芝台おおしばたい

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といひ、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町



地藏王廟（大芝台）

となる。町名は字名「大芝」と、ここが台地に位置することから名付けた。地名研究で「シバ」は雑木類の「柴」を意味するという。町は大平町、山元町、箕沢、塚越に接する。町内に根岸共同墓地（相沢墓地）、地藏王廟がある。

### 太田町おおたまち

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。三河碧海郡川崎村出身の太田屋左兵衛が開発者となり、叔父の源左衛門が差配して嘉永三年（一八五〇）から安政三年（一八五六）にかけて横浜村の南方一帯を大岡川の支流に至るまで埋め立て、太田屋新田と呼んだ。安政六年（一八五九）にこの新田の中に太田町字一丁目から五丁目までを新設した。文久元年（一八六一）に字六丁目から八丁目までを置いたが、その後、字七丁目・八丁目は外国人居留地に編入して廃止した。明治四年四月に横浜市街の測量を行い、丁目を変換して、神奈川県庁を元標と定めて字一丁目から六丁目までとする。町は1丁目から6丁目の字区域

があり、弁天通、日本大通、相生町、大岡川を隔てて桜木町に接する。町内を太田町通りが通り、町を横切って馬車道、関内大通り、関内桜通り、関内仲通り、みなと大通りが通る。

### 大平町おおひらちやう

昭和八年の町界町名地番整理施行にともない根岸町と中村町の各一部から新設した町。町名は旧字名の平楽の一字を採り、「大平」という佳名を採ったものとされている。町は山元町、大芝台、南区唐沢、平楽、磯子区上町に接する。

### 翁町おきなちやう

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治六年に吉田新田の沼地を埋め立て、翁町字一丁目から四丁目までを新設した。町名は謡曲「翁」から名付けた。また、洲干弁天に因むともいふ。小泉八雲は『Glimpses of unfamiliar Japan.』の「At the Market of the Dead.」に翁町を「the Street of the Aged Man.」と紹介している。町は1丁目と2丁目の字区域があり、扇町、長者町、不老町、横浜公園に接する。北東側を新横浜通りが通る。

### 尾上町おのえちやう

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治四年に太田屋新田の埋立地に尾上町を新設した。明治六年三月に相生町以南が焼失したため、明治六年五月に新浜町、若松町、緑町、高砂町、小松町、小船町、駒形町を廃止し、相生町、尾上町、住吉町、常盤町、真砂町、港町を東西直線に通し、地区を改正して尾上町は字一丁目から六丁目までを置く。町名は謡曲「高砂」に出てくる「尾上

の松」に因んで名付けた。町は1丁目から6丁目の字区域があり、常盤町、横浜公園、真砂町、港町、大岡川を隔てて桜木町に接する。町内を尾上町通りが通り、町を横切って馬車道、関内大通り、関内桜通り、関内仲通り、みなと大通りが通る。

### 海岸通かいがんどおり

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治四年四月に海辺通（現在の元浜町）地先の海岸を埋め立て、海岸通字二丁目から五丁目までを新設した。町名は海岸に面した町区域であることから名付けた。なお、元は、現在の吉浜町の地域を海辺通（海岸通）と呼んでいたが、明治四年の埋め立てにともない、海岸通を新設したので、海辺通は元浜町と改称した。町は1丁目から5丁目の字区域があり、北仲通、元浜町、日本大通、山下町、新港町に接する。町内を町名に由来する愛称道路「海岸通り」が通り、横浜税関、県警本部、港湾労働会館、横浜水上警察署、大棧橋埠頭がある。

### 柏葉かしわは

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となる。町名は字名を採った。地名研究で「カシワ」は「傾斜地」を意味するという。町は山手町、麦田町、鷺山、竹之丸、西竹之丸、山元町に接する。町内を本牧通りから横浜駅根岸道路に抜ける愛称道路「柏葉通り」が通る。

### かもめ町かもめちやう

昭和四十四年の錦町・豊浦町地先の埋め立てにともない新設した町。この地域は中小企業が集結していることから

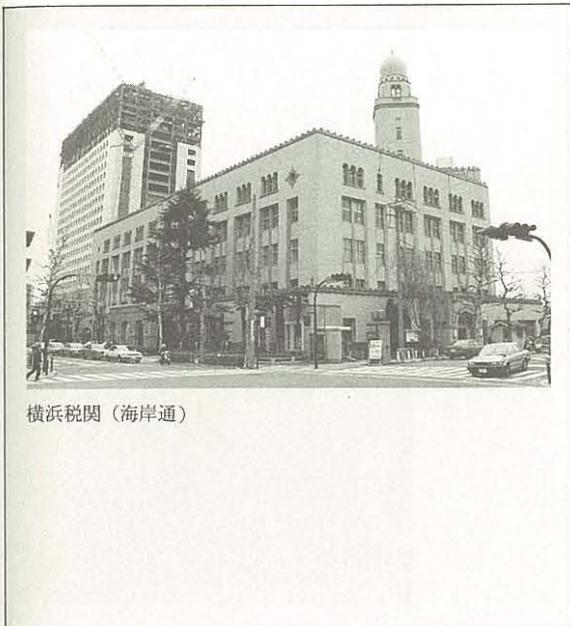
一つの町を設定した。町名は進出企業団体からの希望で「千鳥町」と対応して「かもめ町」と名付けた。町は錦町、本牧元町、豊浦町に接する。西側を産業道路（国道357号）、神奈川臨海鉄道が通る。

### 北方町きたがたちやう

明治三十四年の横浜市編入の際、久良岐郡本牧村大字北方から新設した町。古くは久良岐郡北方村といい、明治十二年の市町村制施行の際、本牧村大字北方となる。昭和八年の町界町名地番整理施行にともない字一丁目・二丁目を置く。『新篇武蔵風土記稿』の「北方村」の項に「本郷村より北方に當れる故此村あり」と記録されている。町は1丁目と2丁目の字区域があり、山手町、小港町、本牧町、千代崎町に接する。

### 北仲通きたなかとおり

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。



横浜税関（海岸通）

安政六年（一八五九）六月二日の横浜開港とともに北仲通字二丁目から五丁目までを新設した。明治四年四月に丁目を変更し、神奈川県庁を元標と定め、字一丁目から六丁目までを置く。町名は「本町」の北に並行している仲通であることから名付けた。町は1丁目から6丁目の字区域があり、海岸通、元浜町、日本大通、本町、大岡川を隔てて桜木町に接する。町内を北仲通りが通り、町を横切って馬車道、関内大通り、関内桜通り、関内仲通り、みなと大通りが通る。町内に海上保安庁第三管区海上保安本部がある。

### 黄金町こがねちやう

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡太田村のうちで、明治二年に黄金町字一丁目から四丁目までを新設した。昭和三年九月の町界町名地番整理施行にともない黄金町は三春町と南太田町字前里、西中の各一部の区域とする。町名は『淮南子』の「清水有黄金龍淵有玉英（清水に黄金あり、龍淵に玉英あり）」から「黄金」を採った。「清水町（昭和十年に廃町となり、赤門町へ）」、「英町」と対になっている。町は1丁目と2丁目の字区域があり、日ノ出町、初音町、南区白金町、大岡川を隔てて末吉町に接する。町の北西側を京浜急行本線が通り、南東側を大岡川が流れる。

### 寿町ことぶきちやう

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治六年四月に吉田新田の沼地を埋め立てて寿町字一丁目から四丁目までを新設した。町名は万代町、不老町、翁町、扇町と同じく縁起を祝って雅名を採った。町は1丁目から4丁目の字区域があり、山下町、松影町、長者町、石川町、扇町に接する。町内に横浜家庭裁判所、勤労会館、寿町総

### 小港町こみなとちょう〔昭和八年四月一日〕

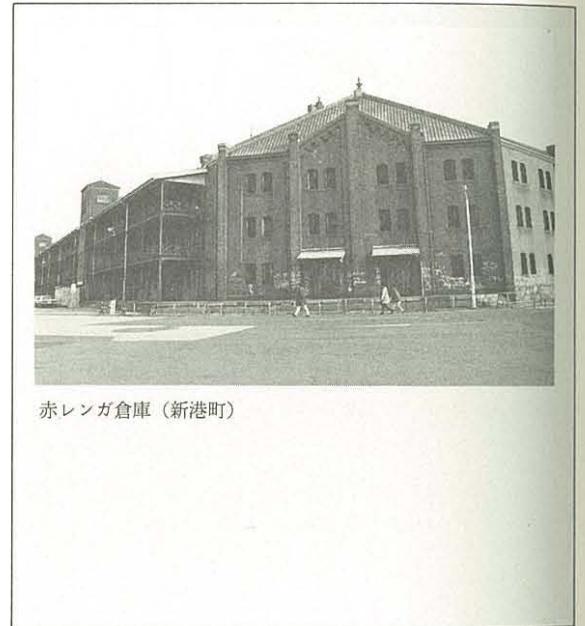
昭和八年の町界町名地番整理施行にともない北方町、本牧町の一部から新設した町。町名は字名の「小湊こみなと」から採った。『新篇武蔵風土記稿』の「北方村」の項に「小湊」の記録がある。町は1丁目から3丁目の字区域があり、新山下三丁目、山手町、北方町、本牧町、本牧宮原、本牧十二天、本牧ふ頭に接する。町内を山下・本牧・磯子線が通り、公団小港団地がある。

### 鷺山さぎやま〔昭和八年四月一日〕

昭和八年の町界町名地番整理施行にともない根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となる。町名は字名を採った。横浜生まれの作家、平塚武二は『ヨコハマのサギ山』の中で「横浜に、サギ山という山があります。山といっても、高い山ではありません。昔、そのへんにサギがいたのでしょう。こんもりとした丘です」と書いている。町は麦田町、大和町、竹之丸、柏葉に接する。町内を根岸線のトンネルが通り、町名に由来する愛称道路「鷺山竹之丸通り」が通る。

### 桜木町さくらぎちょう〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治五年の新橋・横浜間の鉄道敷設工事終了後、鉄道柵外を町並みとし、明治五年五月に桜木町を新設した。町名は「桜木川（後に桜川と改称し、その後埋め立てられた）」に添っていることから採った。桜木町1丁目から3丁目の字区域が中区に属し、桜木町4丁目から7丁目の字区域が



赤レンガ倉庫（新港町）

西区に属する。町は1丁目から3丁目の字区域があり、内田町、花咲町、西区桜木町、大岡川を隔てて太田町、相生町、住吉町、常盤町、尾上町、港町に接する。南西側を東急東横線、国道16号が、北東側を首都高速横羽線が通り、桜木町駅がある。

### 新港町しんこうちょう〔明治三十九年五月二十二日〕

明治三十八年十二月二十八日に横浜税関第一期海面埋立工事が竣工し、新港岸壁東半分と万国橋が完成し、明治三十九年に新設した町。町名は「新しい港」を意味して名付けた。町は海岸通、西区みなとみらい二丁目に接し、町内に新港埠頭、赤レンガ倉庫（保税倉庫）、横浜第一港湾合同庁舎がある。

### 新山下しんやました一丁目〜三丁目〔昭和四十五年四月一日〕(注)

昭和四十五年の住居表示施行にともない新山下町、山手町、小港町の各一部から新設した町。新山下町は大正十二

年二月一日に埋立地に字一丁目から三丁目まで設けた町で、山下町の地先であることから新山下町と名付けた。町は山下町、山手町、小港町、本牧ふ頭に接し、町内を首都高速横羽線、山下・本牧・磯子線が通り、港湾病院、貯木場のほか多くの倉庫がある。

### 末広町すえひろちょう〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない姿見町および羽衣町字一丁目・二丁目の一部と若竹町から新設した町。なお、姿見町と若竹町はこの時に廃町となる。町名は縁起を祝って名付けた。脇狂言に「末広がり」がある。町は1丁目から3丁目の字区域があり、伊勢佐木町、羽衣町、長者町に接し、愛称道路「浜っ子通り」が通る。

### 末吉町すえよきちょう〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治六年十一月に吉田新田の埋立地内に末吉町字一丁目から七丁目までを新設した。昭和三年九月一日の町界町名地番整理施行にともない末吉町字五丁目から七丁目を廃止し、末吉町字一丁目から四丁目までとした。町名は縁起を祝って名付けた。町は1丁目から4丁目の字区域があり、長者町、若葉町、伊勢佐木町、南区日枝町、大岡川を隔てて日ノ出町、黄金町、南区白金町に接する。北西側を大岡川が流れ、旭橋、黄金橋、末吉橋、太田橋、栄橋が架かる。

### 住吉町すみよきちょう〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。慶應三年（一八六七）三月に太田屋新田の沼地を埋め立てた区域で、明治四年に住吉町字一丁目から三丁目を新設した。明治六年三月に相生町以南が焼失したので、明治六年

五月に地区改正を行い、新浜町、若松町、緑町、高砂町、小松町、小船町、駒形町を廃止し、相生町、尾上町、住吉町、常盤町、真砂町、港町を東西一直線に通し、住吉町は字一丁目から六丁目までとする。町名は縁起を祝って名付けた。町は1丁目から6丁目の字区域があり、相生町、横浜公園、常盤町、大岡川を隔てて桜木町に接する。町内を入船通りが通り、町を横切って馬車道、関内大通り、関内桜通り、関内仲通り、みなと大通りが通る。町内に関内ホールがある。

### 諏訪町すわちやう

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡北方村といい、明治六年に町並みの整った所に諏訪町を新設した。町名は町内にある諏訪神社に因んで名付けた。『新篇武蔵風土記稿』の「北方村」の項に「諏訪社」の記録がある。町は山手町、千代崎町に接する。町内をわが国最初のビール工場の製品を運搬した坂道である「ピヤザケ通り」が通る。

### 滝之上たきのうえ

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年に横浜市に編入して根岸町となる。町名は根岸町にある白滝不動堂（磯子区上町の明王山不動院宝積寺の境外仏堂）の脇を流れ落ちる滝があり、町名は白滝不動堂の上に当たることから名付けた。町は根岸台、仲尾台、豆口台、根岸加曽台、根岸町、根岸旭台に接する。北西側を横浜駅根岸道路が通る。

### 竹之丸たけのまる

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐

郡根岸村といい、明治三十四年に横浜市に編入して根岸町となる。町名は字名を採った。地名研究で「マル」は「丘、小山」を意味するという。町は柏葉、鷺山、大和町、立野、仲尾台、西竹之丸に接する。町の北東側を根岸線が通り、町内を町名に由来する愛称道路「鷺山竹之丸通り」と「竹之丸花道」が通る。

### 立野たての

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に根岸町、北方町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年に横浜市に編入して根岸町となる。町名は字名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「根岸村」の項に「立野 北東の方にあり」の記録がある。地名研究で「タテ」は、「低地に臨んだ丘陵の端」、「台地などの高くなった所」などを意味するという。また、「タテノ」は「村落などの共有している山林、原野」を意味する地名といわれる。町は大和町、上野町、西之谷



日石コンビナート (千鳥町)

町、矢口台、仲尾台、竹之丸に接する。町の南西側を根岸線が通り、山手駅がある。

### 千歳町ちとせちやう

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治七年七月に吉田新田の埋立地に千歳町字一丁目から三丁目までを新設した。明治十五年一月に千歳町字三丁目の西側だけを永楽町字一丁目（現、南区）に編入する。町は山田町、長者町、三吉町、南区万世町に接する。

### 千鳥町ちどりちやう

〔昭和四十年一月十三日〕

昭和四十年に根岸町、間門町などの地先の埋め立てにともない新設した町。町名は隣接する磯子区鳳町と対応して名付けた。町は豊浦町、本牧元町、本牧大里町、本牧三之谷、間門町、根岸町、磯子区鳳町に接する。北側を産業道路（国道357号）、神奈川臨海鉄道が通る。町内に日本石油精製根岸製油所がある。

### 長者町ちやうしやまち

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治三年に吉田新田の埋立地に長者町字一丁目から四丁目を新設した。『横浜沿革誌』の明治三年六月の項に「吉田新田ノ中家屋聯接セシヲ以テ長者、福富ノ両町名ヲ付ス」の記録がある。昭和三年九月一日の町界町名地番整理施行にともない蓬萊町、梅ヶ枝町、福富町、末吉町、若竹町、賑町、久方町、足曳町、雲井町、若葉町から字五丁目から九丁目の区域を設ける。町名は縁起を祝って名付けた。町内に祀る長者稲荷から「長者」を採ったとの説もある。『新篇武蔵風土記稿』の「吉田新田」の項に「稲荷社 除地、同じ方にあり、持同じ」の記録がある。町は1丁目か

ら9丁目の字区域があり、福富町西通、福富町仲通、福富町東通、伊勢佐木町、末広町、羽衣町、蓬莱町、万代町、不老町、翁町、扇町、寿町、石川町、三吉町、千歳町、山田町、富士見町、山吹町、弥生町、曙町、若葉町、末吉町、日ノ出町、宮川町に接する。町内を大通り公園、市営地下鉄、国道16号、伊勢佐木町通りが横切り、横浜駅根岸道路が通る。北側を大岡川が、南側を中村川が流れる。

### 千代崎町ちよさきちょう

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡北方村といい、明治六年に町並みの整ったところに千代崎町字一丁目・二丁目を新設した。昭和三年の町界町地名番整理施行にともない千代崎町通から北方町字竹ノ花の全部を区域と定め、千代崎町字三丁目・四丁目を新設した。町は1丁目から4丁目の字区域があり、諏訪町、山手町、北方町、本郷町、上野町に接する。町の北西側をビヤガケ通りが通り、南東側を見晴通りが通る。

### 塚越つかごし

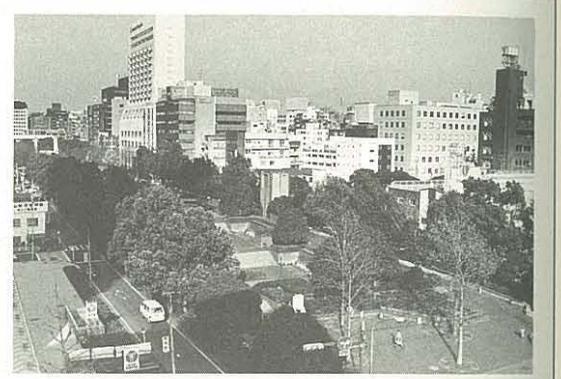
〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となる。町名は字名を採った。地名研究で「ツカ」とは「丘や土を盛った地形」、「コシ」は「崖、麓」を意味するといふ。町は大芝台、箕沢、寺久保、磯子区上町、馬場町に接する。町内に米軍根岸ハイッがある。

### 寺久保てらくぼ

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となる。町名は字名を採った。地名研究で「テラウチ」は



大通り公園

「平らな入り谷の地形」を意味するといふ。町は塚越、箕沢、根岸台、根岸旭台、磯子区下町、坂下町、馬場町に接する。町内に米軍根岸ハイッがある。

### 常盤町ときわちよう

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。慶應三年（一八六七）三月に久良岐郡太田屋新田の沼地を埋め立て、明治四年に常盤町を新設した。明治六年三月に相生町以南を焼失し、明治六年五月に新浜町、若松町、緑町、高砂町、小松町、小船町、駒形町を廃止し、相生町、尾上町、住吉町、常盤町、真砂町、港町を東西直線に通し、常盤町は字一丁目から六丁目までを置く。昭和三年九月一日に土地区画整理を行い、常盤町通りを尾上町、住吉町を経て大江橋川岸に出るように延長した。町名は謡曲「鉢の木」から採ったが、「常磐」ではなく「常盤」と表記する。町は1丁目から6丁目の字区域があり、住吉町、横浜公園、尾上町、大岡川を隔てて桜木町に接する。町内を常盤町通

りが通り、町を横切って馬車道、関内大通り、関内核通り、関内仲通り、みなと大通りが通る。

### 豊浦町とようらちよう

〔昭和四十二年十一月十日〕

昭和四十二年の本牧元町地先の埋め立てにともない新設した町。町名はこの地が元は海面であったため「浦」を選び、将来の繁栄を願って「豊浦」と名付けた。町はかもめ町、本牧元町、千鳥町に接する。北西側を産業道路（国道357号）、神奈川臨海鉄道が通る。町内に日本石油精製根岸製油所がある。

### 仲尾台なかおだい

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となる。町名はこの地域が台地にあるため字名「仲尾」に「台」を付けて名付けた。地名研究で「ナカオ」は「谷戸の中央の尾根」を意味するといふ。町は竹之丸、立野、矢口台、豆口台、滝之上、根岸台、山元町、西竹之丸に接する。町内に根岸外人墓地がある。

### 錦町にしきちよう

〔昭和四十二年十一月十日〕

昭和四十二年の本牧町、本牧元町などの地先の埋め立てにともない新設した町。町名は縁起を祝って名付けた。町は本牧ふ頭、本牧十二天、本牧原、本牧元町、かもめ町に接する。西側を産業道路（国道357号）、貨物専用の神奈川臨海鉄道が通り、横浜本牧駅がある。町内に本牧港湾団地、日産自動車専用埠頭、三菱重工業本牧工場がある。

### 西竹之丸にしtakeのまる

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐

郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となる。町名は字名を採った。町は山元町、柏葉、竹之丸、仲尾台に接する。

### 西之谷町にしのみやちやう

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年の町界町名地番整理施行にともない北方町、本牧町、根岸町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡北方村という。町名は字名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「北方村」の項に「西谷戸 西南なり」の記録がある。「谷」は「谷戸」の省略形である。町は立野、上野町、本郷町、本牧緑ヶ丘、矢口台に接する。

### 日本大通にほんおとどおり

〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない境町を廃止し、その区域と山下町および本町字一丁目の一部から新設した町。古くは久良岐郡横浜村といい、安政六年（一八五九）の横浜開港で外国人居留地と定めたが、最初は町名を設けなかった。明治十二年一月に外国人居留地内に町名を付け、加賀町、薩摩町、越後町など三十か町を新設し、当町を日本大通と名付けた。明治三十三年に日本大通を山下町と改称して字日本大通となる。町名は旧字名を採った。町は海岸通、元浜町、北仲通、本町、南仲通、弁天通、太田町、相生町、横浜公園、山下町に接する。町内を町名に由来する愛称道路「日本大通り」が通り、神奈川県庁、横浜港郵便局、横浜地方裁判所、横浜簡易裁判所、日本銀行横浜支店、中区役所がある。

### 根岸旭台ねぎしあさひだい

〔昭和十五年四月一日〕

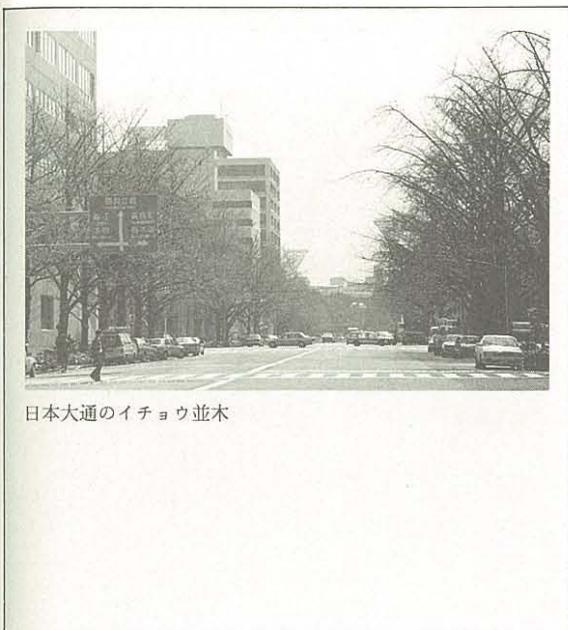
昭和十五年に根岸芝生台を根岸旭台に改称して新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市

編入の際、根岸町となる。昭和八年に根岸町の一部から根岸芝生台を新設した。『新篇武蔵風土記稿』の「根岸村」の項に「芝生 南の方をいふ」の記録がある。町は寺久保、根岸台、滝之上、根岸町、磯子区東町、西町に接する。町の南側を不動坂（横浜駅根岸道路）が通る。

### 根岸加曾台ねぎしかそうだい

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となる。町名はこの地域が台地にあるため字名「加曾」に「台」を付けて名付けた。『新篇武蔵風土記稿』の「根岸村」の項に「加曾 東の方にあり」の記録がある。地名研究で「カゾ」は「崖」を意味するという。町は滝之上、豆口台、池袋、根岸町に接する。町の中央をトンネルで根岸線が南北に通る。また、慶應年間の居留外国人の遊歩道の一部でもあった「七曲り」と呼ばれる坂道がある。



日本大通のイチョウ並木

### 根岸台ねぎしだい

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となる。字名に「仲丸」があるが、昭和七年に神奈川区中丸が新設されているため、この地域が根岸の台地であることから根岸台と名付けた。町は箕沢、山元町、仲尾台、滝之上、根岸旭台、寺久保に接する。町内に根岸森林公園、根岸競馬記念公苑、馬の博物館がある。

### 根岸町ねぎしちやう

〔明治三十四年四月一日〕

明治三十四年の横浜市編入の際、久良岐郡根岸村から新設した町。古くは久良岐郡根岸村という。昭和二年に根岸町の一部の字芝生、西芝生、下、坂下、馬場、上の区域を西根岸町と改称して磯子区に編入した。昭和八年の町界町名地番整理施行にともない磯子区西根岸町字下の一部を中区根岸町字芝生台に編入し、旧字名を廃止して十八か町を新設した。『横浜文書』の「眞照寺圓鎮法印遺跡寄進状（寛正四年・一四六三）」に「平子郷根岸村」の記録がある。柳田國男は『地名の研究』の「地名考説」で「東京と横浜に一つずつある根岸という地名は、また関東から奥州にかけて数多い地名である。『地名辞書』には前代の地誌の説を承けて、山の根岸の義なるべしと書いてある。またそれより他の解しようもない。目撃または地図によって自分が検した数箇所の地形もこれに合致している。ただし何ゆえにこの地名がはなはだ多く発生したかについては、なおおえてみる必要がある。岸はもと水際のことであることを、丘の麓にまで準用したのは、方言かあるいは転訛である。」と述べている。『新篇武蔵風土記稿』の根岸村の項に「此地西北山にして、其根岸なれば則村名とすと云」の記録が

ある。地名研究で「ネギシ」は、「山・岡の麓に沿った地」「崖・斜面」を意味するという。町は1丁目から3丁目の字区域があり、根岸旭台、滝之上、根岸加曾台、間門町、千鳥町、磯子区東町に接する。町の南側を根岸線が、中央を本牧通りが通る。町内に横浜赤十字病院がある。

### 野毛町

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡戸部村野毛浦といい、横浜の開港にともない万延元年（一八六〇）に神奈川奉行預り地となり、野毛町を新設し、字一丁目から四丁目までを置く。昭和三年九月一日の町界町名地番整理施行にともない丁目の配列を変更した。中島利一郎は『日本地名学研究』の「神奈川雑記」に「野毛は突端の訳で、ここばかりでなく、金沢八景の所謂能見堂も、林羅山が、『寛明日記』正保二年の条に、八金沢のノツケ堂をば、金岡が筆を捨て仰に反りたりと云事証説なし」と書いてあるやうに、ノツケといつた。吉田博士は、八今按ノツケは方俗に野毛と云ふと一語にあらざるや」といつてある通りで、ここも横浜野毛山と同じく、突端の義であることは明かである。」と述べている。また、地名研究では「ノゲ」は「崖」を意味することが多いという。町は1丁目から4丁目の字区域があり、花咲町、吉田町、福富町西通、宮川町、西区老松町、宮崎町に接する。町内を野毛大通り、横浜道が通る。

### 羽衣町

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡吉田新田の内であり、明治二年までは姿見町裏と呼んだ。明治二年八月に羽衣町字一丁目から三丁目を新設した。昭和三年の町界町名地番整理施行にともない

#### 根岸競馬場

安政六年（一八五九年）の横浜開港によって、横浜には外国からの文化・技術などが流れ込んできたが、スポーツもその中のひとつである。ポートルース・ヨット・クリケット・テニス・射撃・競馬などで楽しんでる外国人の姿を見た日本人には新鮮なものであったろう。元治元年（一八六四年）江戸幕府と英・仏・米・蘭四カ国との間で調印された横浜居留地整備の覚書に基づき慶応二年（一八六六年）には外国人遊歩道（本牧・根岸・山手地区）が造られ、翌年には根岸（現根岸台）に二万五千坪（四・九五ヘクタール）の日本で最初の競馬場が建設された。戦時中、この競馬場は軍事工場として使われていたが、戦後、米軍によって接収されゴルフ場やモータープールとして使用されていた。

昭和四十四年（一九六九年）に接収が解除され、昭和五十二年（一九七七年）には根岸森林公園（二八・四ヘクタール）・根岸競馬記念公苑（二・四ヘクタール）などが造られ、緑豊かな施設として多くの市民に利用されている。

姿見町、蓬萊町、梅ヶ枝町、の一部と浪花町を合併した。町名は洲千弁天を遷座した厳島神社に因み天女に因係のある謡曲「羽衣」から「羽衣」を選んだ。町は1丁目から3丁目の字区域があり、港町、伊勢佐木町、末広町、蓬萊町、長者町に接する。町内に厳島神社（もと洲千に祀られていた杉山弁財天で、明治二年に遷座した）が祀られている。町内を国道16号が通る。

### 初音町

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡太田村といい、明治四年に町並みの整ったところに初音町字一丁目から四丁目までを新設した。昭和三年の町界町名地番整理施行にともない字四丁目の区域を前里町に編入し、黄金町、三春町の各一部を編入した。町名は佳名を採った。町は1丁目から3丁目の字区域があり、英町、黄金町、日ノ出町、西区東ヶ丘、南区前里町に接する。町内を平戸・桜木道路が通る。

### 花咲町

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。花咲町の地域は、元治元年（一八六四）に野毛山下の海岸を埋め立てて石炭倉庫を建てたところであるが、明治三年から五年にかけて倉庫を取り壊し、明治五年十一月に花咲町字一丁目から十二丁目までを新設した。昭和三年の町界町名地番整理施行にともない花咲町字一丁目を緑橋に延長し、福島町を廃止して花咲町字二丁目に改め、戸部橋際を境に花咲町字七丁目と改め、花咲町字八丁目から十二丁目を廃止した。町名は町の前を流れていた桜木川（後に桜川と改称し、その後埋め立てられている）に因み佳名を採った。花咲町1丁目から3丁目の字区域が中区に属し、花咲町4丁目から7丁目の字区域が西区に属している。町は桜木町、野毛町、吉田町、港町、西区花咲町、宮崎町と接する。町内を桜川新道、音楽堂通り、紅葉坂が通る。

### 英町

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡太田村といい、明治四年に町並みの整った所に英町字一丁目から四丁目を新設した。昭和三年九月の町界町名地番整理施行にともない字三丁目を前里町、西中町に編入し、霞町の一部を編入した。町名は『淮南子』の「清水有黄金龍淵有玉英（清水に黄金あり、龍淵に玉英あり）」から「英」を採った。「清水町（麿町）」、「黄金町」と対になっている。町は赤門町、初音町、西区東ヶ丘、南区前里町、西中町に接する。

### 万代町

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。

古くは久良岐郡吉田新田の南一丁目と呼ばれる沼地であったが、明治六年四月に掘割川を切り開いた土砂で埋め立て、不老町、翁町、扇町、寿町、松影町などともに万代町を新設した。町名は佳名を採った。町は1丁目から3丁目の字区域があり、蓬萊町、長者町、不老町、港町に接する。町内に横浜市教育文化センター、横浜市技能文化会館がある。

### 日ノ出町ひの でちよう [明治二十二年四月一日]

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。この地域は江戸時代の宝暦年間（一七五一〜一七六三）に埋め立てられ、久良岐郡太田村といい、安政六年（一八五九）の横浜開港の際、横浜の警備を命じられた越前福井藩主松平越前守茂昭が越前陣屋（太田陣屋）を置いた所である。その後、陸軍用地となり、明治四年九月に町並みの整った所に日ノ出町字一丁目から三丁目を新設した。昭和三年の町界町名地番整理施行にともない字三丁目を廃止した。町名は佳名を採った。町は1丁目と2丁目の字区域があり、宮川町、黄金町、初音町、西区老松町、東ヶ丘、大岡川を隔てて中区長者町、末吉町に接する。町内を京浜急行本線が通り、日ノ出町駅がある。

### 福富町ふくとみちよう仲通なかとおり [昭和三年九月一日]

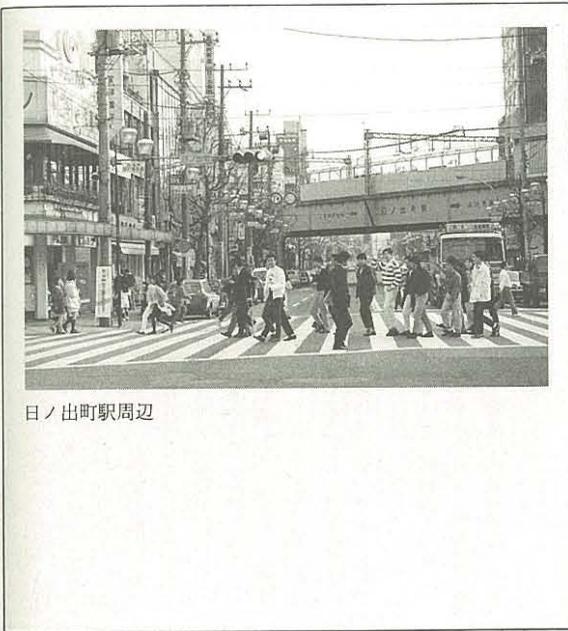
昭和三年の町界町名地番整理施行にともない福富町字二丁目、長者町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡吉田新田の内、勇吉新田、加島新田で、明治三年に町並みの整った所に福富町字一丁目から三丁目までを置いた。町名は縁起を祝って佳名を採った。町は吉田町、福富町西通、福富町東通、長者町に接する。

### 福富町ふくとみちよう西通にしどおり [昭和三年九月一日]

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない福富町字三丁目から新設した町。古くは久良岐郡吉田新田の内、勇吉新田、加島新田で、明治三年に町並みの整った所に福富町字一丁目から三丁目までを置いた。町名は縁起を祝って佳名を採った。町は吉田町、福富町仲通、長者町、大岡川を隔てて野毛町、宮川町に接する。

### 福富町ふくとみちよう東通ひがしどおり [昭和三年九月一日]

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない福富町字一丁目、長者町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡吉田新田の内、勇吉新田、加島新田で、明治三年に町並みの整った所に福富町字一丁目から三丁目までを置いた。町名は縁起を祝って佳名を採った。町は吉田町、福富町仲通、伊勢佐木町、長者町に接する。



日ノ出町駅周辺

### 富士見町ふじみちよう [明治二十二年四月一日]

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。もとは、久良岐郡吉田新田の内であり、明治五、六年頃に富士見町字一丁目から五丁目までを新設した。明治十五年に富士見町字三丁目を永楽町へ、富士見町字四丁目・五丁目を真金町に編入し、富士見町は字一丁目・二丁目となる。町名は佳名を採った。町は山吹町、長者町、山田町、南区永楽町に接する。

### 不老町ふろうちよう [明治二十二年四月一日]

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治六年四月に吉田新田の沼地を埋め立て、不老町字一丁目から三丁目までを新設した。町名は「不老不死」の地とされる霊山蓬萊ほうらいに因ちなんで佳名を採った。小泉八雲は『Glimpses of unfamiliar Japan.』の「At the Market of the Dead.」に不老町や「the Street Everlasting.」と紹介している。町は1丁目から3丁目の字区域があり、万代町、港町、横浜公園、翁町、長者町に接する。町内に横浜文化体育館がある。

### 弁天通べんてんとおり [明治二十二年四月一日]

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡横浜村といい、安政六年（一八五九）の横浜開港に際し、弁天通字二丁目から五丁目までを新設した。明治四年四月に丁目の数え方を変更し、神奈川県庁を起点として字一丁目から六丁目までを置く。町名は洲干弁天社へ一直線に通じる道路にあたることから名付けた。町は1丁目から6丁目の字区域があり、本町、南仲通、日本大通、太田町に接する。町内を弁天通りが通り、町を横切って町

名に由来する愛称道路「馬車道」、関内大通り、関内桜通り、関内仲通り、みなと大通りが通る。

### 蓬萊町ほうらいちょう

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治六年に羽衣町裏の埋立地に蓬萊町字一丁目から四丁目までを新設した。昭和三年の町界町名地番整理施行にともない蓬萊町字四丁目を長者町字五丁目に入れ、羽衣町字一丁目・二丁目の一部を編入した。町名は不老不死の地とされる霊山蓬萊ほうらいに因よんで佳名よきなを採った。町は1丁目から3丁目の字区域があり、羽衣町、長者町、万代町、港町に接する。

### 本郷町ほんこうちょう

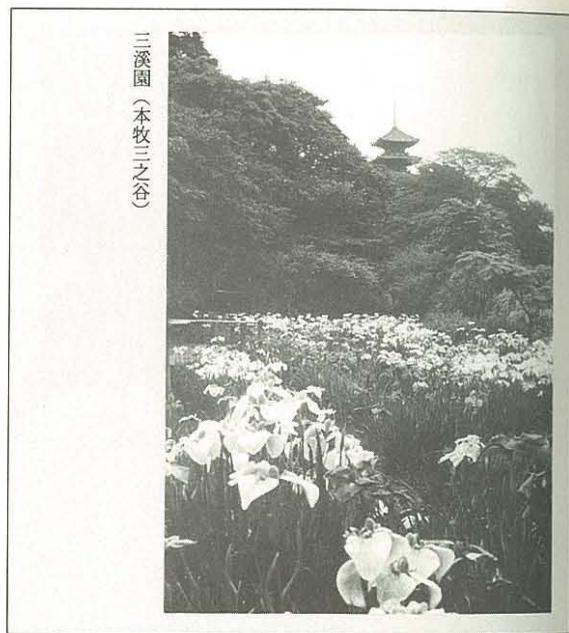
〔昭和三年九月一日〕

昭和三年に本牧町の一部から新設した町。本郷町字二丁目・二丁目を置き、その後、昭和八年に本郷町字三丁目を置く。古くは久良岐郡本牧本郷村ほんまきといい、明治二十二年の市町村制施行の際、北方村と合併して本牧村となり、明治三十四年の横浜市編入の際、本牧町となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「本郷」とは「枝郷えだごう、出郷でしやう、出村でむら」に対しての「本郷」を意味するという。町は1丁目から3丁目の字区域があり、千代崎町、本牧町、本牧満坂、本牧緑ヶ丘、西之谷町、上野町に接する。北方を本牧通りが、南北にガス山通りが通る。

### 本町ほんちょう

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡横浜村ほんまきといい、安政六年（一八五九）六月二日の横浜開港に際して本町字一丁目から五丁目を新設した。明治四年四月に神奈川県庁を起点として丁目の数え方



三溪園（本牧三之谷）

を変更し、字一丁目から六丁目を置いた。町名は横浜町の真ん中という意味で名付けた。町は1丁目から6丁目の字区域があり、北仲通、日本大通、南仲通、弁天通、太田町、桜木町に接する。町内を町名に由来する愛称道路「本町通り」が通り、開港記念会館がある。

### 本牧荒井ほんまきあらい

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年の町界町名地番整理施行にともない本牧町、根岸町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡本牧本郷村ほんまきといい、明治二十二年の市町村制施行の際、北方村と合併して本牧村となり、明治三十四年の横浜市編入の際、本牧町となる。町名は字名を採った。地名研究で「アライ」は「新居、新しい村」を意味するという。町は本牧緑ヶ丘、本牧満坂、和田山、本牧和田、間門町、池袋に接する。

### 本牧大里町ほんまきおおさとちやう

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に本牧町の一部から新設した町。古くは久良岐

郡本牧本郷村ほんまきといい、明治二十二年の市町村制施行の際、本牧村となり、明治三十四年の横浜市編入の際、本牧町となる。町名は字名「大谷戸」と「下里」から「大」と「里」を採った。町は本牧三之谷、本牧元町、千鳥町に接する。南東側を産業道路（国道357号）が通り、町内に横浜入国者収容所、本牧市民公園がある。

### 本牧三之谷ほんまきさんのたに

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に本牧町の一部から新設した町。古くは久良岐郡本牧本郷村ほんまきといい、明治二十二年の市町村制施行の際、本牧村となり、明治三十四年の横浜市編入の際、本牧町となる。町名は字名を採った。本牧村には一之谷、二之谷、三之谷の谷戸がある。町は本牧和田、本牧原、本牧元町、本牧大里町、千鳥町、間門町に接する。北側を愛称道路「本牧通り」が通り、南西側を産業道路（国道357号）が通る。町内に三溪園、本牧市民公園がある。なお、三溪園の「三溪」は、創設者、原富太郎の号であるが、「さん」のたに」を意味している。

### 本牧十二天ほんまきじゅうにてん

〔昭和八年四月一日〕

△昭和六十一年七月二十一日（注）▽

昭和八年に本牧町の一部から新設した町。古くは久良岐郡本牧本郷村ほんまきといい、明治二十二年の市町村制施行の際、本牧村となり、明治三十四年の横浜市編入の際、本牧町となる。昭和六十一年に住居表示を施行し、小港町、錦町の各一部を編入した。町名は字名を採った。町名の「十三」は魚網の中に十二天のご神体が出現し、それを祀まつった本牧村の鎮守、十二天（本牧神社）に因んで名付けた。町は小港町、本牧宮原、本牧原、錦町、本牧ふ頭に接する。町内に中部下水処理場、小港南公園がある。

ほんもくちょう  
**本牧町**〔明治三十四年四月一日〕

明治三十四年の横浜市編入の際、久良岐郡本牧村大字本郷から新設した町。古くは久良岐郡本牧本郷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、本牧村大字本牧本郷となる。昭和八年の町界町名地番整理施行にともない旧字名を廃止して本牧町字一丁目から四丁目までを置き、旧本牧町の区域に本牧荒井、本牧満坂、本牧緑ヶ丘、本牧元町、本牧大里町、本牧三之谷、間門町、本牧和田、本郷町、本牧十二天を置いた。『横浜文書』の「北条氏康禁制(天文十四年・一五四五)」に「本牧郷」の記録がある。「本牧」は「本目」と書いた記録があり、地形形状からも牧場との関係はないと考えられる。町は1丁目と2丁目の字区域があり、本郷町、千代崎町、北方町、小港町、本牧宮原、和田山、本牧満坂に接する。町内を町名に由来する愛称道路「本牧通り」が通り、本牧神社がある。

ほんもくほら  
**本牧原**〔昭和六十一年七月二十一日〕(注)

昭和六十一年の住居表示施行にともない錦町、本牧三之谷、本牧十二天、本牧町、本牧元町、本牧和田の各一部から新設した町。町名は字名に「本牧」を冠した。町は本牧宮原、本牧十二天、錦町、本牧元町、本牧三之谷、本牧和田、和田山に接する。東側を産業道路(国道357号)が、西側を本牧通りが通り、マイカル本牧がある。

ほんもく  
**本牧ふ頭**〔昭和四十三年八月三十一日〕

昭和四十三年の錦町地先の埋め立てにともない新設した町。その後、十数次にわたる埋立地の編入で現在の町区域となる。町名は、この埋立地が「本牧ふ頭」と呼ばれていたことから名付けた。町は新山下三丁目、小港町、本牧十

二天、錦町に接する。町内を首都高速湾岸道路、神奈川臨海鉄道が通り、本牧埠頭、本牧海釣り公園、横浜港シンボルタワーがある。

ほんもくまんざか  
**本牧満坂**〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に本牧町の一部から新設した町。古くは久良岐郡本牧本郷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、本牧村となり、明治三十四年の横浜市編入の際、本牧町となる。町名は字名を採った。地名研究では「マンザカ」は「崖の谷戸」を意味するという。町は本牧町、和田山、本牧荒井、本牧緑ヶ丘、本郷町に接する。

ほんもくみどり  
**本牧緑ヶ丘**〔昭和八年四月一日〕

昭和八年の町界町名地番整理施行にともない本牧町、根岸町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡本牧本郷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、北方村と合併して本牧村となり、明治三十四年の横浜市編入の際、本牧

町となる。町名はこの地域に丘陵が多く、緑葉風光を添える地であることから佳名を採って名付けた。町は本牧満坂、本牧荒井、池袋、矢口台、西之谷町、本郷町に接する。

ほんもくみやばら  
**本牧宮原**〔昭和六十一年七月二十一日〕(注)

昭和六十一年の住居表示施行にともない小港町、本牧十二天、本牧町の各一部から新設した町。町名は字名に「本牧」を冠した。町は小港町、本牧十二天、本牧原、和田山、本牧町に接する。町内を愛称道路「本牧通り」が通り、山手警察署がある。

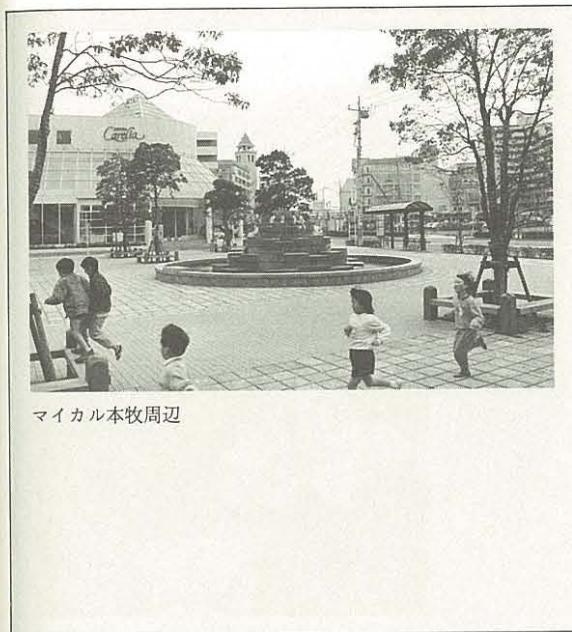
ほんもくもとまち  
**本牧元町**〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に本牧町の一部から新設した町。古くは久良岐郡本牧本郷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、本牧村となり、明治三十四年の横浜市編入の際、本牧町となる。昭和四十年代に四回にわたり埋立地の編入をした。町名はこの地域が本牧本郷村の中心であったことから「元町」と名付けた。町は本牧原、錦町、かもめ町、豊浦町、千鳥町、本牧大里町、本牧三之谷に接する。東側を産業道路(国道357号)が、南北に八王子道路が通る。町内に八聖殿郷土資料館、本牧臨海公園、本牧市民プールがある。

ほんもくわだ  
**本牧和田**〔昭和八年四月一日〕

〔昭和六十一年七月二十一日〕(注)▽

昭和八年に本牧町の一部から新設した町。古くは久良岐郡本牧本郷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、本牧村となり、明治三十四年の横浜市編入の際、本牧町となる。昭和六十一年の住居表示施行にともない、本牧荒井、本牧三之谷、本牧町、間門町の各一部を編入した。町名は字名を採った。地名研究で「ワダ」とは「川の曲流部など



マイカル本牧周辺

のやや広い丸みのある平地」で、そこが田であることを要しないという。町は和田山、本牧原、本牧三之谷、間門町、本牧荒井に接する。南側を本牧通りが通る。

### 間門町まかどちょう

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年の町界町名地番整理施行にともない本牧町、根岸町の各一部から新設した町。町名は本郷村の小名を採った。柳田國男は「マカド」とはアイヌ語のマカ（開く、開けたる）と、ト（湖水）という二語からでたものではないかという。他の地名研究で「マカド」は「崖などの急斜地」を意味するという。町は1丁目と2丁目の字区域があり、本牧和田、本牧三之谷、千鳥町、池袋、本牧荒井に接する。北側を本牧通りが通り、南側を産業道路（国道357号）が通る。

### 真砂町まきさちょう

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。慶應三年（一八六七）三月に伊藤清十郎が太田屋新田の沼地を埋め立てて真砂町を新設した。明治六年三月に相生町以南が焼失し、明治六年五月に新浜町、若松町、緑町、高砂町、小松町、小船町、駒形町を廃止し、相生町、尾上町、住吉町、常盤町、真砂町、港町を東西直線に通し、真砂町字一丁目から四丁目までを置く。町名は佳名を採った。町は1丁目から4丁目の字区域があり、尾上町、横浜公園、港町に接する。町を横切って馬車道、関内大通り、関内桜通りが通り、横浜市役所の脇にくすの木広場がある。

### 松影町まつかげちょう

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡吉田新田の南一丁目と呼ばれる沼地であつ

#### 関内と関外

安政六年（一八五九年）の横浜開港当時、日本人と外国人との接触を極力避けるために、幕府は横浜町の出入り口に関門を設けたのである。これは、外国人の動きを監視するとともに攘夷派（外国人排斥運動）の外国人への危害を防ぐために置かれたものである。このような関門は、子安・台町・芝生・石崎・暗間坂・吉田橋にも置かれた。その後、万延元年に掘割が造られ、これに谷戸橋・前田橋・西ノ橋がかけられた。

このように関門に囲まれた地区を関内、その外側を関外と呼んでいた。この関内地区は南北を現在の港湾区域からJR根岸線の線路まで、東西を掘割川から大岡川までの区域を指し、日本大通り・港町など一六か町ある。明治四年（一八七一年）これらの関門は撤去されたがその後も関内という名称が残り、県庁・市庁・税関を初めとする横浜の行政・経済の中心として発展している。

たが、明治六年に掘割川を切り開いた土砂で埋め立て、万代町、不老町、翁町、扇町、寿町などともに松影町字一丁目から四丁目までを新設した。町名は佳名を採った。町は1丁目から4丁目の字区域があり、吉浜町、山下町、寿町、石川町に接する。南東側を首都高速狩場線が通る。

### 豆口台まめぐちだい

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年に横浜市に編入して根岸町となる。町名はこの地域が台地であることから字名「豆口」に「台」を付けて名付けた。町は仲尾台、矢口台、池袋、根岸加曾台、滝之上に接する。

### 港町みなとちょう

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡太田屋新田といい、明治四年に町並みの整った所に相生町、住吉町、尾上町、小松町、小船町、高砂町

などとともに関門を新設した。明治六年三月に相生町以南を焼失し、明治六年五月に新浜町、若松町、緑町、高砂町、小松町、小船町、駒形町を廃止し、相生町、尾上町、住吉町、常盤町、真砂町、港町を東西直線に通し、港町字一丁目から六丁目までを置いた。町名は開港場に因んで名付けた。町は1丁目から6丁目の字区域があり、尾上町、真砂町、横浜公園、不老町、万代町、蓬萊町、羽衣町、伊勢佐木町、吉田町、花咲町、桜木町に接する。町を横切って馬車道、関内大通り、関内桜通り、みなと大通りが通り、南西側を根岸線が通り、関内駅がある。町内に横浜市役所がある。

### 南仲通みなみなかどおり

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡横浜村といい、安政六年（一八五九）の横浜開港に際して南仲通字二丁目から五丁目までを新設した。明治四年四月に丁目を変更し、神奈川県庁を元標と定め、字一丁目から六丁目までを置く。町名は本町の南方にあたることから名付けた。町は1丁目から5丁目の字区域があり、本町、日本大通、弁天通に接する。町を横切って馬車道、関内大通り、関内桜通り、関内仲通り、みなと大通りが通る。町内に県立博物館がある。

### 箕沢みのさわ

〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年、横浜市に編入して根岸町となる。町名は字名を採った。地名研究で「ミノサワ」は「土地の低い沢（谷戸）」を意味するという。町は大芝台、山元町、根岸台、寺久保、塚越に接する。

### 宮川町みやがわちやう〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡戸部村野毛浦といい、明治五年十一月に都橋から大岡川の西河岸側に宮川町を新設した。「宮川」は野毛の都橋のそばに祀られていた「子ノ神社」の横を流れていた川の名に由来する。町は1丁目から3丁目の字区域があり、野毛町、福富町西通、長者町、日ノ出町、西区老松町に接する。南東側を大岡川が流れ、南北に横浜駅根岸道路、平戸桜木道路が通る。

### 妙香寺台みょうこうじだい〔昭和十一年十一月一日〕

昭和十一年に北方町の一部から新設した町。古くは久良岐郡北方村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、本牧村となり、明治三十四年に横浜市に編入して北方町となる。町名は町内にある蓮昌山妙香寺に因んで名付けた。町は山手町、上野町、麦田町に接する。

### 三吉町みやしちやう〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。もとは久良岐郡吉田新田の内であったが、明治五、六年頃に三吉町字一丁目から四丁目までを新設した。町名は縁起を祝って名付けた。町は千歳町、長者町、南区万世町、中村町に接する。南東側を中村川が流れる。

### 麦田町むぎたちやう〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない根岸町字麦田および北方町字上野、根岸町字立野、鷺山、竹ノ丸の一部から新設した町。麦田町字一丁目から四丁目までを置く。古くは久良岐郡根岸村といった。町名は字名を採った。地

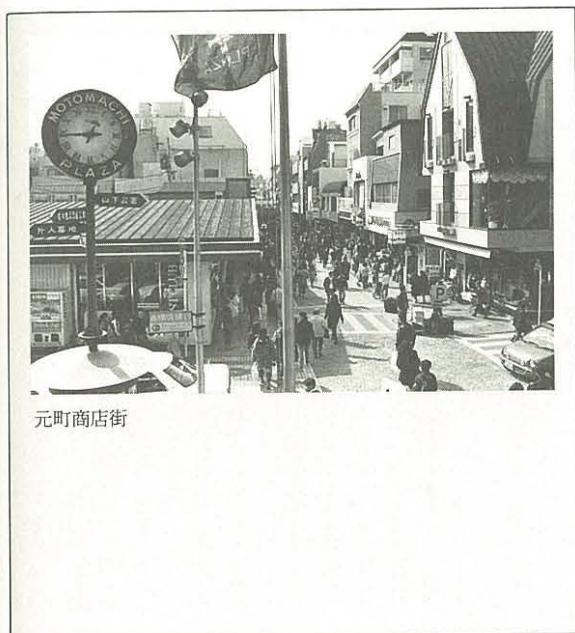
名研究で「ムギ」は植物の「麦」の意味と「段丘」の意味とがあるという。町は1丁目から4丁目の字区域があり、山手町、妙香寺台、上野町、大和町、鷺山、柏葉に接する。町内を本牧通りが通る。

### 元浜町もとはまちやう〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡横浜村といい、安政六年（一八五九）の横浜開港に際し、海辺通字二丁目から五丁目までを新設した。明治四年四月にその地先を埋め立て海岸通を新設したため、海辺通を元浜町と改称した。町は1丁目から4丁目の字区域があり、海岸通、日本大通、北仲通に接する。町を横切つて馬車道、関内大通り、関内桜通り、関内仲通り、みなと大通りが通る。

### 元町もとまち〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。



元町商店街

安政六年（一八五五）の横浜開港に際し、開港場を建設するため、横浜村の民家九十余軒を万延元年（一八六〇）二月に掘川の東へ移し、本村、元村、元村町、横浜元町などと呼んだ。外国人居留地と山手居留地の中間に位置することから、農漁業よりも外国人へ日用品を供給し、輸入品を扱う店が多くなり、文久三年（一八六三）にはほ今の元町が形成された。横浜市に編入して単に元町と称するようになった。町名は元の横浜村を移したことから名付けた。町は1丁目から5丁目の字区域があり、山手町、石川町、山下町に接する。町の北西側を堀川が流れ、首都高速横羽線が通る。町内を愛称道路「元町通り」が通る。

### 矢口台やぐちだい〔昭和八年四月一日〕

昭和八年に根岸町の一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年に横浜市に編入して根岸町となる。町名は字名を採った。地名研究で「ヤグチ」とは「谷戸の入り口」を意味するという。町は立野、西之谷町、本牧緑ヶ丘、池袋、豆口台、仲尾台に接する。町内を根岸線が通り、YCACカントリークラブがある。

### 山下町やましたちやう〔明治三十二年七月二十四日〕

明治三十二年に外国人居留地の町名をすべて廃止し、山下町と改称して新設した町。古くは久良岐郡横浜村といい、安政六年（一八五九）の横浜開港に際して運上所を境界として、以東を外国人居留地と定め、慶應二年（一八六六）三月に太田屋新田の沼地を埋め立てて拡張した。明治十一年一月に外国人居留地へ、阿波町、上田町、蝦夷町、越後町、大坂町、小田原町、尾張町、海岸通り、加賀町、角町、九州町、京町、神戸町、薩摩町、駿河町、長崎町、日本大通り、函館町、花園町、琵琶町、富士山町、二子町、豊後

町、堀川町、本町通り、本村通り、前橋町、水町通り、武蔵町、武蔵横町の三十か町を新設した。町は海岸通、日本大通、横浜公園、寿町、松影町、吉浜町、石川町、元町、山手町、新山下一丁目に接する。町内に中華街、県立県民ホール、山下公園、山下埠頭などがある。

### 山田町

「明治二十二年四月一日」

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡吉田新田といい、明治五、六年頃に山田町字一丁目から五丁目までを新設したといわれる。明治十五年に山田町字三丁目を永楽町へ、山田町字四丁目・五丁目を真金町へ入れ、山田町は字一丁目・二丁目となる。町名はこの地区へ最初に居住した人の「山田」という姓から採った。町は富士見町、長者町、千歳町、中区永楽町に接する。

### 山手町

「明治二十二年七月二十四日」

明治三十二年に外国人居留地の二十六か町を廃止し、その全区域をもって山手町を新設した。古くは久良岐郡北方村といい、慶應二年十一月二十三日（一八六六年十二月二十九日）に調印した「横浜居留地改造及競馬場墓地等約書」により、山手地所を外国人へ貸すように決め、明治十七年七月に、この山手居留地に稲荷町、内臺坂、貝殻坂、公園坂、小坂町、汐汲坂、地蔵坂、撞木町、陣屋町、諏訪町通、大丸坂、高田坂、環町、西野坂、泉町、畑町、林町、富士見町、三ノ輪坂、南坂、宮脇坂、谷戸坂、矢ノ根町、山手本町通、弓町の二十六か町を新設した。町名は横浜の山手にあたる所から名付けた。「白水町」と表記した文献があるが、これは「泉町」の「泉」を誤って「白」と「水」に分割してしまったものである。横浜居住の外国人は山手を「崖」を意味する英語で「BLUFF」と呼んだ。

#### 読み方のむずかしい町名

横浜市では町名を決める上で、地域の歴史・伝統・文化などの由来を継承するものができるだけ採用するようにしています。そのため、町名の読み方が難しいものも、ありますので、いくつか紹介しましょう。

池辺町「いこのべちよう・緑区」、出田町「いづたちよう・神奈川区」、犬山町「いのやまちよう・栄区」、乙船町「おつともちよう・金沢区」、帷子町「かたびらちよう・保土ヶ谷区」、勝田町「かちだちよう・港北区、庚辰「かのえだい・南区」、鉄町「てつがねちよう・緑区」、神戸町「こうどちよう・保土ヶ谷区」、寺家町「てげちよう・緑区」、浅間町「せんげんちよう・西区、都町「つおちちよう・旭区」、泥亀一丁目「でいきいちちよう・金沢区」、野庭町「のばちちよう・港南区」、英町「はなぶさちちよう・中区」、日限山一丁目「ひぎりやまいっちちよう・港南区」、大豆戸町「まめどちちよう・港北区」、瑞穂町「みづほちちよう・神奈川区」、師岡町「もろおかちちよう・港北区」

この様に、一見やさしく読めそうな町名も、実は異なった読み方をするものがあるのがお分かりでしょう。町名は読み方も、その町の個性を継承するものですので大事にしていきたいと考えています。

地名研究で「山手」という地名は、海に臨んだ都市で多く使われているという。町は元町、山下町、新山下一丁目、三丁目、小港町、北方町、千代崎町、諏訪町、上野町、妙香寺台、麦田町、柏葉、山元町、打越、石川町、南区唐沢に接する。町内を町名に由来する山手本通り、地蔵坂、桜道、汐汲坂、聖坂、ワシン坂、代官坂、谷戸坂、ピヤザエ通りなど多くの愛称道路や坂が通る。また、フェリス女学院大学などの多くの学校や神奈川近代文学館、大佛次郎記念館、イギリス館、フランス山、港の見える丘公園、横浜外人墓地などがある。

### 大和町

「昭和三年九月一日」

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない根岸町字立野、鷺山、竹ノ丸の一部から新設した町。大和町字一丁目から三丁目までを置く。古くは久良岐郡根岸村といい、『神奈川県史料』第七巻によると、横浜に駐留したイギリス兵にライフル銃試射場として借与し、「角打場」と呼ば

れた一直線に連なる地域で、明治六年四月に英国人の横浜アマチュール・アゾルテック（娯楽運動）組合に貸したとある。明治四十二、三年頃に大和屋シャツ店、石川清右衛門が店を開き、その後、大正元年に市電本牧線の開通の際に、大和町停留所と名付けている。町名はその停留所名や石川氏の屋号を採った。町は1丁目と2丁目の字区域があり、鷺山、麦田町、上野町、立野、竹之丸に接する。町内を愛称道路「大和町通り」が通り、南側を根岸線が通って、山手駅がある。

### 山吹町

「明治二十二年四月一日」

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡吉田新田の内であり、明治五、六年頃に山吹町字一丁目から三丁目までを新設し、明治十五年に山吹町三丁目を永楽町字一丁目・二丁目に編入した。町名は佳名を採った。町は富士見町、長者町、弥生町、南区永楽町に接する。町内に伊勢佐木警察署、中消防署がある。

### 山元町

「明治二十二年四月一日」

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治六年一月に町並みの整った所に山元町字一丁目・二丁目を新設した。昭和八年の町界町名地番整理施行にともない山元町字五丁目までを置く。地名研究で「ヤマモト」とは「山の麓」を意味するという。町は1丁目から5丁目の字区域があり、山手町、柏葉、西竹之丸、仲尾台、根岸台、箕沢、大芝台、大平台、南区唐沢に接する。

### 弥生町

「昭和三年九月一日」

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない足曳町字一

丁目の一部、雲井町字一丁目・二丁目、駿河町字一丁目から三丁目、南吉田町字南四ツ目の一部で、河岸通りを日本橋に至るまでの地域から新設した町。町名は明治一四年の『小学唱歌』に掲載された慈鎮和尚の「春のやよい」にてくる「春のやよいの あげぼのに 四方の山べを 見わたせば 花盛りかも しら雲の かからぬ峰こそ なかりけり」から採って名付けた。町は1丁目から5丁目の字区域があり、曙町、長者町、山吹町、南区永楽町、真金町、高根町に接する。町に沿って大通り公園がある。

### 横浜公園

〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない山下町の公園の地域に新設した町。古くは久良岐郡太田屋新田の沼地であったが、安政六年（一八五九）の横浜開港にあたって、ここを埋め立て、港崎町と名付けた地域。慶應二年（一八六六）十月二十日の横浜大火によって被害を受けて空き地となったが、元治、慶應の条約に基づいて、外国人と日本人共有の公園の築造に明治七年から取りかかり、明治九年に横浜公園（彼我公園）が完成した。明治三十二年に公園は横浜市の管理となり、次いで、公園内を外国人へ貸与していたクリケットグラウンドが返還されたので、明治四十二、三年に整備した。大正十二年の関東大地震で被害を受け、昭和四年に震災復興事業として野球場や音楽堂が完成した。昭和二十年に駐留軍に接収され、ゲーリック球場となったが、昭和二十七年に接収は解除された。昭和五十三年に「横浜スタジアム」が完成した。町は港町、真砂町、尾上町、常盤町、住吉町、相生町、日本大通、山下町、扇町、翁町、不老町に接する。

### 吉田町

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは万治二年（一六五九）二月に吉田勘兵衛が埋め立てた久良岐郡吉田新田の一部で、安政六年（一八五九）の横浜開港にともなう横浜道の整備によって吉田新田の堤に沿った町並みが整い、元治元年（一八六四）に田畑を全部埋め立てて吉田町字一丁目・二丁目を新設した。昭和三年の町界町名地番整理施行にともない丁目を廃止し、柳町を合併した。町名は吉田新田の埋立者、「吉田勘兵衛」に因んで名付けた。町は野毛町、花咲町、港町、福富町西通、福富町仲通、福富町東通、伊勢佐木町に接する。

### 吉浜町

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡吉田新田といい、横浜開港にともない、元治元年（一八六四）八月にこの地に横浜製鉄所を建設し、

明治七年に吉浜町を新設した。明治十二年に横浜製鉄所を民業へ移し、明治十八年八月に、これを東京の石川島へ移転した。町は山下町、石川町、松影町に接する。町は首都高速横羽線と首都高速狩場線にはさまれ、根岸線が通る。

### 若葉町

〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。明治六年十一月に吉田新田の埋立地へ若葉町字一丁目から三丁目までを新設した。町名は佳名を採った。町は1丁目から3丁目までの字区域があり、末吉町、長者町、伊勢佐木町に接する。

### 和田山

〔昭和六十一年七月二十一日〕(住)

昭和六十一年の住居表示施行にともない本牧荒井、本牧町、本牧満坂、本牧和田の各一部から新設した町。町名は丘陵地の通称である「和田山」から採った。町は本牧町、本牧宮原、本牧原、本牧和田、本牧荒井、本牧満坂に接する。



横浜スタジアム（横浜公園）

Y O K O H A M A

# 南区

大岡川プロムナードの桜(大橋町)





南区



1km

南区 (12.630km<sup>2</sup>)

| 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|--------|-----------------------|--------|-----------------------|----|-----------------------|
| 井土ヶ谷上町 | 0.182                 | 別所一丁目  | 0.097                 |    |                       |
| 井土ヶ谷下町 | 0.216                 | 別所二丁目  | 0.148                 |    |                       |
| 井土ヶ谷中町 | 0.169                 | 別所三丁目  | 0.149                 |    |                       |
| 浦舟町    | 0.109                 | 別所四丁目  | 0.089                 |    |                       |
| 永楽町    | 0.057                 | 別所五丁目  | 0.189                 |    |                       |
| 榎町     | 0.059                 | 別所六丁目  | 0.054                 |    |                       |
| 大岡一丁目  | 0.356                 | 別所七丁目  | 0.074                 |    |                       |
| 大岡二丁目  | 0.226                 | 別所中里台  | 0.148                 |    |                       |
| 大岡三丁目  | 0.278                 | 堀ノ内町   | 0.287                 |    |                       |
| 大岡四丁目  | 0.214                 | 蒔田町    | 0.296                 |    |                       |
| 大岡五丁目  | 0.216                 | 前里町    | 0.060                 |    |                       |
| 大橋町    | 0.075                 | 真金町    | 0.084                 |    |                       |
| 庚台     | 0.145                 | 万世町    | 0.036                 |    |                       |
| 唐沢     | 0.136                 | 南太田町   | 0.653                 |    |                       |
| 共進町    | 0.062                 | 南吉田町   | 0.031                 |    |                       |
| 弘明寺町   | 0.263                 | 三春台    | 0.238                 |    |                       |
| 山王町    | 0.044                 | 宮元町    | 0.089                 |    |                       |
| 山谷     | 0.123                 | 六ッ川一丁目 | 0.551                 |    |                       |
| 清水ヶ丘   | 0.395                 | 六ッ川二丁目 | 0.662                 |    |                       |
| 宿町     | 0.077                 | 六ッ川三丁目 | 0.546                 |    |                       |
| 白金町    | 0.038                 | 六ッ川四丁目 | 0.178                 |    |                       |
| 白妙町    | 0.070                 | 睦町     | 0.192                 |    |                       |
| 新川町    | 0.050                 | 吉野町    | 0.057                 |    |                       |
| 高砂町    | 0.056                 | 若宮町    | 0.050                 |    |                       |
| 高根町    | 0.079                 |        |                       |    |                       |
| 通町     | 0.071                 |        |                       |    |                       |
| 中里一丁目  | 0.136                 |        |                       |    |                       |
| 中里二丁目  | 0.109                 |        |                       |    |                       |
| 中里三丁目  | 0.168                 |        |                       |    |                       |
| 中里四丁目  | 0.176                 |        |                       |    |                       |
| 中里町    | 0.003                 |        |                       |    |                       |
| 中島町    | 0.085                 |        |                       |    |                       |
| 永田北一丁目 | 0.160                 |        |                       |    |                       |
| 永田北二丁目 | 0.290                 |        |                       |    |                       |
| 永田北三丁目 | 0.164                 |        |                       |    |                       |
| 永田山王台  | 0.215                 |        |                       |    |                       |
| 永田台    | 0.234                 |        |                       |    |                       |
| 永田東一丁目 | 0.219                 |        |                       |    |                       |
| 永田東二丁目 | 0.226                 |        |                       |    |                       |
| 永田東三丁目 | 0.104                 |        |                       |    |                       |
| 永田南一丁目 | 0.109                 |        |                       |    |                       |
| 永田南二丁目 | 0.136                 |        |                       |    |                       |
| 永田みなみ台 | 0.221                 |        |                       |    |                       |
| 中村町    | 0.480                 |        |                       |    |                       |
| 西中町    | 0.043                 |        |                       |    |                       |
| 八幡町    | 0.099                 |        |                       |    |                       |
| 花之木町   | 0.094                 |        |                       |    |                       |
| 日枝町    | 0.071                 |        |                       |    |                       |
| 東蒔田町   | 0.088                 |        |                       |    |                       |
| 伏見町    | 0.015                 |        |                       |    |                       |
| 二葉町    | 0.046                 |        |                       |    |                       |
| 平楽     | 0.215                 |        |                       |    |                       |



## 南区の区名とそのあゆみ

南区は、昭和十八年十二月一日に中区の一部から新設した。区名は、中区の南側に位置することから名付けた。中央部を東西に大岡川が流れ、それを挟んで南北に丘陵部がある。平地部は古くから発展した市街地で、住商工混在の街を形成している。江戸時代は農村であったが、開港と共に市街化が進み、大正時代に大岡川沿いが工業地域となり、またY校などの学校が創立され、文教地区としても発展した。昭和五年に湘南電鉄（現、京浜急行）の開通によって住宅地、商業地として発展をみた。横浜大空襲で大きな被害を受け、その後の連合軍の接収によって復興が遅れたが、昭和三十年代に宅地開発が行われて人口が急増した。「ともに考え、語り合う街」をキーワードに「活気にあふれる魅力ある街」を目指して街づくりを進めている。

南区の町名は、吉田新田や太田村に属していた区の北側の地域には中区内の町名との類似が見られ、南側の地域には戸塚区、港南区内の町名との類似が見られる。奈良時代の条理制の名残の「坪」の地名が蒔田町などに残っている。また、町界町名地番整理で新設した町には浦舟町、白妙町、高根町のように百人一首の和歌の言葉を分解して命名したものがあふれる。



清水ヶ丘公園 (清水ヶ丘)

### 井土ヶ谷上町

〔昭和十一年十一月一日〕  
△昭和五十一年七月二十六日(住)▽

昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない井土ヶ谷町字坂本、永田下、町田、法心下および四反田、久傳、宮ノ下（全部）、山ノ根の一部から新設した町。古くは久良岐郡井土ヶ谷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、井土ヶ谷村、下大岡村、蒔田村、堀ノ内村、永田村、引越村、弘明寺村、中里村、最戸村、久保村、別所村、上大岡村を合併して大岡川村を立て、その大字井土ヶ谷となり、明治四十四年の横浜市編入の際、井土ヶ谷町となる。『新篇武蔵風土記稿』の「井土ヶ谷村」の項に「此地殊に地窪なるゆへ、井戸谷の名起りしと云、或云、鎌倉將軍時代村内に清冽の井にありし故起りし」との記録がある。町は井土ヶ谷中町、弘明寺町、六ツ川一丁目、永田南一丁目、永田東一丁目に接する。町内を平戸桜木道路が通る。

### 井土ヶ谷下町

〔昭和十一年十一月一日〕

昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない井土ヶ谷町字宮ノ前、十二天脇、蒔田橋、宿ノ前、鶴巻、鯛袋、下ノ前、矢、宿村、高免、沖田、久傳、川田、南橋、八反目から新設した町。古くは久良岐郡井土ヶ谷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、大岡川村大字井土ヶ谷となり、明治四十四年の横浜市編入の際、井土ヶ谷町となる。町は井土ヶ谷中町、南太田町、花之木町、中島町に接する。南東側を大岡川が流れ、南西側を環状一号（保土ヶ谷宮元線）が通る。

### 井土ヶ谷中町

〔昭和十一年十一月一日〕

昭和十一年の町界町名地番整理施行にともない井土ヶ谷

町字八反目、沖田、久傳、高免、大鏡（全部）、鳥井戸（全部）、坊ノ后（全部）、大橋詰（全部）、宿ノ前、鱒袋、鶴巻、四反田の一部および南橋から新設した町。古くは久良岐郡井土ヶ谷村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、大岡川村大字井土ヶ谷となり、明治四十四年の横浜市編入の際、井土ヶ谷町となる。町は井土ヶ谷上町、井土ヶ谷下町、永田東一丁目、大橋町、弘明寺町に接する。南側を大岡川が流れ、北側を京浜急行本線が通る。町内に井土ヶ谷駅がある。

### 浦舟町〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない南吉田町字南四ツ目、南五ツ目、南川外および三吉町字五丁目の一部から新設した町。字一丁目から五丁目までを置く。古くは吉田新田の内であった。町名は『百人一首』の山辺赤人の和歌、「田子の浦にうち出でて見れば白妙の富士の高嶺に雪は降りつつ」（新古今集・巻六・冬・六七五）の田子の浦に因み、「浦舟」の字を名付けた。白妙町、高根町と対になっている。また、謡曲「高砂」に因んで名付けたという説もある。町は1丁目から5丁目の字区域があり、白妙町、真金町、万世町、中村町、高砂町に接する。南側を中村川が流れ、町内に横浜市立大学病院がある。

### 永楽町〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡吉田新田の内、明治十五年一月、千歳町字三丁目の西側および山田町、富士見町、山吹町の各字三丁目をあわせて永楽町字一丁目・二丁目とした。町名は佳名を採った。町は真金町、万世町、中区弥生町、山吹町、富士見町、山田町に接する。

### 榎町〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない蒔田町字六反目、廻り坪、榎木坪、町田、居尻、五反目、東谷、八反目の一部から新設した町。字一丁目・二丁目を置く。古くは久良岐郡大岡川村大字蒔田といひ、明治四十四年に横浜市に編入して蒔田町となる。町名は字名「榎木坪」から「榎」を採って名付けた。町は1丁目と2丁目の字区域があり、共進町、東蒔田町、堀ノ内町、蒔田町に接する。

### 大岡一丁目〜三丁目〔昭和四十四年六月一日〕(注) 大岡四丁目・五丁目〔昭和四十九年二月十八日〕(注)

昭和四十四年、昭和四十九年の住居表示施行にともない大岡町、蒔田町、磯子区岡村町、港南区上大岡東一丁目の各一部から新設した町。古くは久良岐郡下大岡村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、下大岡村、蒔田村、堀之内村、井土ヶ谷村、永田村、引越村、弘明寺村、中里村、

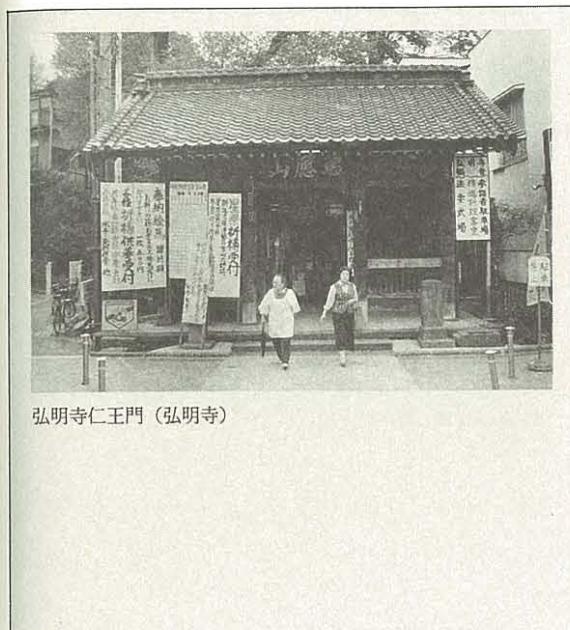
最戸村、久保村、別所村、上大岡村を併せて久良岐郡大岡川村を立て、その大字下大岡となった。明治四十四年、横浜市に編入し、大岡町となる。昭和三年の町界町名地番整理の際、大岡町の一部から大橋町、中島町、通町、若宮町を新設し、字釜田の一部を宮元町に編入した。町は蒔田町、若宮町、通町、中島町、大橋町、中里一丁目、別所一丁目、港南区最戸一丁目、上大岡西一丁目、上大岡東一丁目・三丁目、磯子区岡村四丁目・五丁目・八丁目に接する。町の西側を大岡川が流れ、西方を南北に旧鎌倉街道が通る。大岡二丁目に南警察署がある。

### 大橋町〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない大岡町字大橋詰、中島、北ノ前、堀ノ上、前田から新設した町。字一丁目から三丁目までを置く。町名は字名「大橋詰」から採った。古くは久良岐郡大岡川村大字下大岡といひ、明治四十四年に横浜市に編入して大岡町となる。町は1丁目から3丁目の字区域があり、井土ヶ谷中町、弘明寺町、大岡二丁目、中島町に接する。町の北西側を大岡川が流れる。

### 庚台〔昭和十年七月一日〕

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない南太田町字庚耕地から新設した町。古くは久良岐郡太田村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、戸太村大字太田となり、明治二十八年七月に戸太町と改称し、明治三十四年、横浜市に編入して南太田町となる。町名は字名「庚」に因み、その地区が台地にあたるため「庚台」と名付けた。町は伏見町、三春台、南太田町、清水ヶ丘、西区元久保町に接する。



弘明寺仁王門（弘明寺）

唐沢「昭和十年七月一日」

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない中村町字唐沢、東、中居、平楽の各一部から新設した町。古くは久良岐郡石川村または中村といい、明治三十四年、横浜市に編入して中村町となる。町名は字名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「中村」の項に小名「から澤」の記録がある。地名研究で「カラサワ」は「枯れ沢、空沢」のことで水のない沢を意味するという。町は中村町、平楽、中区大平町、山元町、山手町、打越に接する。北東側を横浜駅根岸道路が通る。

共進町「昭和三年九月一日」

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない蒔田町の字堂面、廻り坪、六反目、榎木坪、居尻、三反田、門田、南吉田町の字西川外の一部から新設した町。字一丁目から三丁目までを置く。町名は大正二年十月一日から神奈川県横浜市勸業共進会が蒔田町で開催されたことを記念して名付けた。町は1丁目から3丁目の字区域があり、宮元町、蒔田町、榎町、東蒔田町、新川町に接する。

弘明寺町「明治四十四年四月一日」

明治四十四年の横浜市編入の際、久良岐郡大岡川村大字弘明寺から新設した町。古くは久良岐郡弘明寺村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、弘明寺村、下大岡村、蒔田村、堀之内村、井土ヶ谷村、永田村、引越村、中里村、最戸村、久保村、別所村、上大岡村を合併して大岡川村を立て、その大字弘明寺となる。町名は町内にある弘明寺に因んで名付けた。『新篇武蔵風土記稿』の「弘明寺村」の項に「この村弘明寺観音の梵刹ありしによりかく名づけり」

弘明寺

かつて弘明寺村は、江戸幕府から朱印地として認められ東海道の保土ヶ谷宿から分かれ六浦へ抜ける金沢道が通っていた。この地に庶民から信仰を集めた弘明寺がある。寺院は瑞応山弘明寺と称し、坂東三十三か所観音霊場十四番札所としても人気があった。その昔、弘仁七年（八一六年）に空海（弘法大師）が高野山金剛峰寺を建立した平安時代の初期に建てられたとも伝えられる。本尊として奉られている十一面観音立像は、市内最古の仏像（高さ一八一・七センチメートル）といわれるケヤキの一本づくりで、大正四年（一九一五年）八月十日には国指定重要文化財となっている。仁王門をくぐり石段を上ると正面に観音堂がある。その右手には大きな釣鐘、左手には厄除け大師堂もある。また、境内には宝蔵印塔・石灯籠三基・庚申供養塔二基・瑞應山百度石などがある。正月の初詣、桜の花咲く春を初め、四季おりおり訪れる参拝客でにぎわっている。

の記録がある。町は井土ヶ谷上町、井土ヶ谷中町、六ツ川一丁目、中里一丁目・三丁目、中里町、大岡二丁目、大橋町に接する。町の東側を大岡川が流れる。町の中を弘明寺に因んで名付けられた愛称道路「弘明寺坂」、京浜急行本線が通り、弘明寺駅、弘明寺、弘明寺公園がある。

山王町「昭和三年九月一日」

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない長島町字七丁目、南吉田町字北五ツ目、北六ツ目、北七ツ目、南七ツ目、吉岡町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡吉田新田といった。町名は吉田勘兵衛が吉田新田の鎮守として江戸の山王権現を勧請して創建した日枝神社に因んで名付けた。町は1丁目から5丁目の字区域があり、南吉田町、南太田町、宿町、吉野町、中区伊勢佐木町、曙町に接する。町内に日枝神社がある。

山谷「昭和十年七月一日」

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない中村町字山谷、彌八ヶ谷、山田、西の各一部から新設した町。古くは久良岐郡石川村または中村といい、明治三十四年、横浜市に編入して中村町となる。町名は字名「山谷」を採った。地名研究で「サンヤ」とは「雑木採集場、山野を開墾した所、本村の近くに開墾した分村」などを意味するという。町は中村町、八幡町、平楽、磯子区上町に接する。町内に米軍根岸ハイツがある。

清水ヶ丘「昭和十年七月一日」

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない南太田町字清水耕地、富士見耕地、大原耕地、大丸耕地の各一部から新設した町。古くは久良岐郡太田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、戸太村大字太田となり、明治二十八年七月に戸太町と改称し、明治三十四年、横浜市に編入して南太田町となる。町名は字名「清水耕地」を採った。

『新篇武蔵風土記稿』の「太田村」の項に「清水下 富士下の東南に當たれり、清水臺 御林ありし所なり、清水上前のつゞきなり」の記録がある。町は南太田町、庚台、西区元久保町、保土ヶ谷区岩井町に接する。町内を清水耕地に因む愛称道路「清水坂」が、西方を首都高速狩場線が通る。町内に清水ヶ丘公園がある。

宿町「昭和三年九月一日」

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない蒔田町字一本松、井領田、一ノ坪、南吉田町字西川外の一部から新設した町。字一丁目から四丁目までを置く。古くは久良岐郡大岡川村大字蒔田といい、明治四十四年、横浜市に編入

の際、蒔田町となる。町名は、この地域が蒔田村の中心地で、俗に「宿」と呼んでいたことから名付けた。また、このあたりの旧字名に宿、宿村、宿前などがあった。『新篇武蔵風土記稿』の「蒔田村」の項に「宿 西北の方、金澤往還の邊を云」の記録がある。地名研究では、この地は金沢往還沿いの地であり、その名のとおりに、「宿」か「立場」（荷物を運ぶ人馬などの休憩所）が置かれたのではないかとわれている。町は1丁目から4丁目の字区域があり、花之木町、南太田町、山王町、吉野町、宮元町、中島町に接する。

### 白金町しろがねちょう

〔昭和十九年二月一日〕

昭和十九年に黄金町字三丁目・四丁目の地域を分割して新設した町。町名は黄金町に類似した名称として名付けた。町は1丁目と2丁目の字区域があり、前里町、南太田町、日枝町、中区黄金町、末吉町に接する。町の南側を大岡川が流れ、北側を京浜急行本線が通り、黄金町駅がある。

### 白妙町しろたえちょう

〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない南吉田町字南四ツ目、南五ツ目、南六ツ目から新設した町。古くは久良岐郡吉田新田といった。町名は『百人一首』の山辺赤人の和歌、「田子の浦にうち出でて見れば白妙の富士の高嶺に雪は降りつつ」（新古今集・巻六・冬・六七五）の田子の浦に因み、「白妙」の字を名付けた。高根町、浦舟町と対になっている。命名者は当時の横浜市町界町名地番整理調査会常任理事、富樫建造氏である。町は1丁目から5丁目の字区域があり、高根町、浦舟町、真金町、高砂町、二葉町に接する。

### 新川町しんかわちょう

〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない南吉田町字南五ツ目、南六ツ目、南七ツ目の各一部から新設した町。字一丁目から五丁目までを置く。古くは久良岐郡吉田新田の内であった。町名は、昔ここに灌漑用の水路があつて、新川と呼ばれていたことから名付けた。町は1丁目から5丁目の字区域があり、吉野町、高根町、二葉町、東蒔田町、共進町、中区曙町に接する。町の中央を南北に横須賀街道（国道16号）が通る。

### 高砂町たかさごちょう

〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない南吉田町字南五ツ目、南六ツ目、南川外、南七ツ目の一部から新設した町。字一丁目から三丁目までを置く。古くは久良岐郡吉田新田の内であった。町名は謡曲「高砂」から採った。町は1丁目から3丁目の字区域があり、二葉町、白妙町、浦

### 大岡川

南区を流れる河川は、大岡川・中村川・堀割川の三河川である。その中で、区の中央を流れる大岡川（全長八四八〇メートル）の源流は、磯子区氷取沢である。途中、港南区で日野川と合流し、南区では中村川と流れを分かち、桜木町駅前の日本丸メモリアルパーク横を通過して横浜港へと注ぎこんでいる。

かつて、「九十九曲り」と呼ばれた名のごとく蛇行部分が多く、たびたび河川が氾濫し大きな被害をもたらした。江戸時代の中期（一六五〇年代）以降になると、大岡川河口を中心に新田開発が行われた。また、大岡川沿いに材木店が多いのは、物資の輸送に船便を利用した名残からである。

このような時代背景のもとに現在も生き続けている大岡川は、南区の魅力的な街づくりを進める上での核ともなっている。平成三年（一九九一年）には「大岡川プロムナード事業」によって、中区・太田橋から南区・与七橋の間（約六・七キロメートル）にプロムナード（散歩路）が完成した。

また、毎年十月に行われるカヌーフェスティバルも多くの市民に親しまれている。

舟町、睦町、東蒔田町に接する。南側を中村川が流れ、首都高速狩場線、そして南北に横須賀街道（国道16号）が通る。

### 高根町たかねちょう

〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない南吉田町字南四ツ目、南五ツ目から新設した町。古くは久良岐郡吉田新田の内であった。町名は『百人一首』の山辺赤人の和歌、「田子の浦にうち出でて見れば白妙の富士の高嶺に雪は降りつつ」（新古今集・巻六・冬・六七五）の田子の浦に因み、「高嶺」を「高根」に変えて名付けた。白妙町、浦舟町と対になっている。町は1丁目から4丁目の字区域があり、白妙町、真金町、二葉町、新川町、中区弥生町に接する。南側を市営地下鉄1号線が通り、阪東橋駅がある。

### 通町とおりちょう

〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない大岡町字通町、釜田、大橋詰、中島、宮ノ前、樋ノ口の一部から新設した町。字一丁目から四丁目までを置く。町名は字名「通町」を採った。地名研究で「通町」は金沢往還の「通り」に因む地名であるとの説がある。町は1丁目から4丁目の字区域があり、中島町、大岡二丁目、若宮町、宮元町に接する。町の中央を鎌倉街道（横浜鎌倉線）と市営地下鉄1号線が通り、弘明寺駅がある。

### 中里一丁目〜四丁目なかさと

〔昭和五十年七月二十八日〕(注)

昭和五十年の住居表示施行にともない中里町、弘明寺町、別所町、六ツ川一丁目、港南区最戸町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡中里村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、大岡川村大字中里となり、昭和二年、横浜

市に編入して中里町となる。町は中里町、弘明寺町、六ッ川一丁目・二丁目、別所中里台、別所一丁目・二丁目、大岡二丁目・三丁目に接する。中里一丁目の東側に大岡川が流れ、鎌倉街道が通る。京浜急行本線が中里一丁目・三丁目を南北に通っている。

### 中里町なかざとちやう〔昭和二年四月一日〕

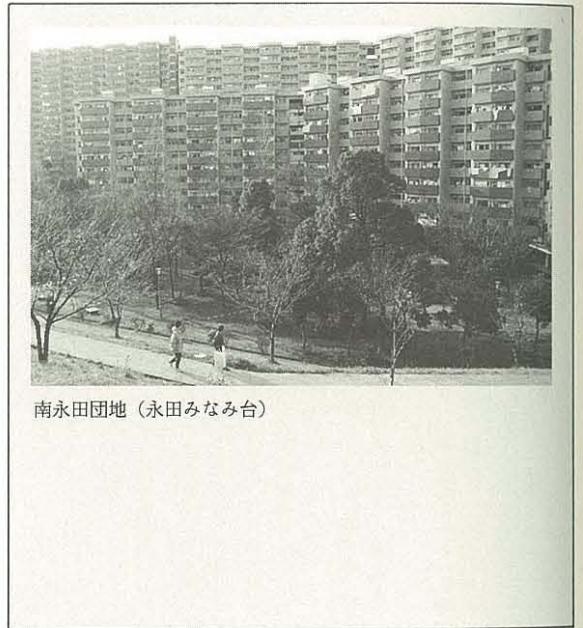
昭和二年の横浜市編入の際、大岡川村大字中里から新設した町。古くは久良岐郡中里村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中里村、下大岡村、蒔田村、堀之内村、井土ヶ谷村、永田村、引越村、弘明寺村、最戸村、久保村、別所村、上大岡村が合併して大岡川村となり、その大字中里となる。『新篇武蔵風土記稿』の「中里村」の項に「當村もと井土ヶ谷村に隸し、多々久六ヶ村の中程の村なる故に、この唱へ起こるといへり」の記録がある。現在、この町は住居表示により中里一丁目〜中里四丁目が分離するなどして、「面積三千平方メートルの南区で一番小さな町となった。町は中里三丁目、弘明寺町に接する。」

### 中島町なかしまちやう〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない大岡町字中島、釜田、鱈袋、大橋詰、樋ノ口、蒔田町字一ノ坪の一部から新設した町。町名は字名「中島」を採った。町は一丁目から4丁目の字区域があり、大橋町、大岡二丁目、通町、宿町、井土ヶ谷下町、花之木町に接する。

### 永田北一丁目〜三丁目ながたきた〔昭和五十六年七月十三日〕(注)

昭和五十六年の住居表示施行にともない永田町、保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡永田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、永田村



南永田団地 (永田みなみ台)

下大岡村、蒔田村、堀之内村、井土ヶ谷村、引越村、弘明寺村、中里村、最戸村、久保村、別所村、上大岡村が合併して大岡川村となり、その字永田となる。昭和二年に横浜市の編入して永田町となる。『小田原衆所領役帳』に「長田」の記録がある。町名は旧永田町の北部に位置することから「永田北」と名付けた。地名研究で「ナガタ」は「谷戸の長い田」を意味するという。町は永田東二丁目・三丁目、永田みなみ台、永田台、保土ヶ谷区狩場町、瀬戸ヶ谷町に接する。

### 永田山王台ながたさんのうだい〔昭和五十四年七月二十三日〕(注)

昭和五十四年の住居表示施行にともない永田町、六ッ川一丁目の各一部から新設した町。町名は地元の要望により、通称「山王台」を採り、山王町と区別するため、「永田山王台」とした。『武蔵風土記稿』の「永田村」の項に「山王山 是も村の南山王の社のある所なり、山王山 南方にあり、高さ二丁餘、頂に山王の石碑あるをもて此名あり」

の記録がある。町は永田みなみ台、永田南一丁目・二丁目、六ッ川一丁目に接する。

### 永田台ながただい〔昭和五十六年七月十三日〕(注)

昭和五十六年の住居表示施行にともない永田町、六ッ川三丁目の各一部から新設した町。町名は地元の要望によって名付けた。永田北二丁目・三丁目、永田みなみ台、六ッ川三丁目、保土ヶ谷区狩場町に接する。西側を横浜横須賀道路が通る。

### 永田東一丁目・二丁目ながたひがし〔昭和五十四年七月二十三日〕(注)

### 永田東三丁目ながたひがし〔昭和五十六年七月十三日〕(注)

昭和五十四年、五十六年の住居表示施行にともない永田町、井土ヶ谷中町、南太田町の各一部から新設した町。町名は旧永田町の東部に位置することから「永田東」と名付けた。町は永田北一丁目・二丁目、永田みなみ台、永田南一丁目・二丁目、井土ヶ谷上町、井土ヶ谷中町、南太田町、保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町に接する。永田東一丁目・二丁目と永田東三丁目の境を環状一号線(保土ヶ谷宮元線)が通る。

### 永田南一丁目・二丁目ながたみなみ〔昭和五十四年七月二十三日〕(注)

昭和五十四年の住居表示施行にともない永田町、六ッ川一丁目の各一部から新設した町。町名は旧永田町の南部に位置することから「永田南」と名付けた。町は永田東一丁目・二丁目、永田みなみ台、永田山王台、六ッ川一丁目、井土ヶ谷上町に接する。東側を平戸桜木道路が通る。

### 永田みなみ台ながた〔昭和五十六年七月十三日〕(注)

昭和五十六年の住居表示施行にともない永田町の一部か

ら新設した町。町名は地元の要望にもとづき旧町名に、通称の「みなみ台」を付けた。『新篇武蔵風土記稿』の「永田村」の項に「南臺 東南の方を云」の記録がある。町は永田台、永田北二丁目、永田東二丁目、永田南二丁目、永田山王台、六ッ川三丁目に接する。

### 中村町なかむらちやう〔明治三十四年四月一日〕

明治三十四年の横浜市編入の際、久良岐郡中村から新設した町。古くは久良岐郡石川村または中村といった。昭和十年の町界町名地番整理施行にともない旧字名を廃して丁目を設け、字一丁目から五丁目までを置く。町名は石川村の中央にあるので中村と呼ばれたことに因んで名付けた。町は1丁目から5丁目の字区域があり、唐沢、平楽、八幡町、山谷、堀ノ内町、睦町、浦舟町、万世町、中区打越、三吉町、磯子区上町、丸山一丁目に接する。北側を中村川、西側を掘割川が流れる。町内に愛称で呼ばれている種荷坂狸坂、遊行坂、東坂などがある。

### 西中町にしなちやう〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない南太田町字西中耕地、東耕地、前里耕地、霞町字三丁目、英町字三丁目、三春町、南吉田町の各一部から新設した町。字一丁目から四丁目までを置く。古くは久良岐郡太田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、戸太村大字太田となり、明治二十八年七月に戸太町と改称し、明治三十四年、横浜市に編入して南太田町となる。町名は町内の大部分が字西中耕地であることから名付けた。『新篇武蔵風土記稿』に太田村の小名として「上組、中組、西組、原組」の記録があり、西中耕地とは、この内、西組と中組の小名の名称を受け継ぐものと思われる。町は1丁目から4丁目の字区域

があり、三春台、南太田町、前里町、中区英町、西区赤門町に接する。

### 八幡町はちまんちやう〔昭和十年七月一日〕

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない中村町字八幡および山谷から新設した町。古くは久良岐郡石川村または中村といい、明治三十四年、横浜市に編入して中村町となる。町名は町内に祀る八幡神社（中村八幡宮）に因んで名付けた。町は中村町、山谷、平楽に接する。

### 花之木町はなのきちやう〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない蒔田町字矢畑、一本松、耕地、井領田、下之前、蒔田橋および南吉田町字西川外から新設した町。字一丁目から三丁目までを置く。『横浜文書』の「忍祐畠耕作権付與状（應永二十四年・一四一七）」に小名「花の木かいと」の記録がある。町名は小名「花之木」から採った。町は1丁目から3丁目の字

区域があり、宿町、井土ヶ谷下町、中島町、南太田町に接する。町の北西側を大岡川が流れる。町内に南区役所、蒔田公園がある。

### 日枝町ひえちやう〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない末吉町字七丁目の全部、南吉田町字北五ッ目、北六ッ目、北七ッ目の一部から新設した町。字一丁目から五丁目までを置く。古くは久良岐郡吉田新田の内であった。町名は吉田勘兵衛が吉田新田の鎮守として江戸の山王権現を勧請して創建した日枝神社に因んで名付けた。町は1丁目から5丁目の字区域があり、南吉田町、南太田町、白金町、中区末吉町、伊勢佐木町に接する。北側を大岡川が流れる。

### 東蒔田町ひがしまいたちやう〔昭和十年七月一日〕

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない蒔田町字堂面、雑色、中村町字池ノ下、堀ノ内町字石島、南吉田町字西川外の一部から新設した町。この地域は蒔田町の東にあたることから「東蒔田町」と名付けた。町は睦町、堀ノ内町、榎町、共進町、新川町、二葉町、高砂町に接する。

### 伏見町ふしみちやう〔昭和十九年二月一日〕

昭和十九年に境之谷、元久保町から新設した町。古くは久良岐郡戸太町大字太田といい、明治三十四年に横浜市に編入して南太田町となる。町名は町内に祀られている伏見稲荷に因んで名付けた。町は三春台、庚台、西区境之谷、元久保町に接する。南東側に久保山坂がある。

### 二葉町ふたばちやう〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない南吉田町字

**日枝神社（お三の宮）**  
江戸時代、吉田新田を開発した吉田勘兵衛がこの新田の鎮守として奉った「日枝神社」は、寛文十三年（一六七三年）の創建である。当初、山王社と名付けられたが、明治元年（一八六八年）に日枝大社に改称され後に日枝神社となった。地域では、またの名を「お三の宮」とも呼ばれ親しまれている。  
「お三の宮」のいわれについては、「山王の宮」に因む敬称といわれているが、もう一つの説として新田開発理立て事業の際、人柱となつたといわれる「おさん」に因むものという話もある。  
日枝神社の境内は、平成二年（一九九〇年）に戸塚区にある「田谷の洞窟」などとともに横浜市の「史跡・名勝」に指定されている。また、「神奈川の祭り五〇選」にも入っている日枝神社大祭は、南区から中区まで広がる大きな祭として有名である。

南五丁目、南六丁目、南七丁目の一部から新設した町。字一丁目から四丁目までを置く。古くは久良岐郡吉田新田の内であった。町名は近くにある「吉野町」を小楠公、楠木正行に因んで名付けたことから、楠木正行の母の言葉、「梅檀は二葉より香し」から「二葉」を採って名付けた。町は1丁目から4丁目の字区域があり、新川町、高根町、白妙町、高砂町、東蒔田町に接する。

#### 平楽へいらく〔昭和十年七月一日〕

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない中村町字平楽、中丸、山谷、八幡、中尾の各一部から新設した町。古くは久良岐郡石川村といい、その後分かれて中村となり、明治三十四年に横浜市に編入して中村町となる。町名は字名を採った。町は唐沢、中村町、八幡町、山谷、中区大平町、磯子区上町に接する。町内に愛称道路の大坂、蛇坂、蓮池坂、山羊坂、狸坂がある。

#### 別所べっしょ一丁目〜四丁目〔昭和五十年七月二十八日〕(註) 別所べっしょ五丁目〜七丁目〔昭和五十八年八月八日〕(註)

昭和五十年、五十八年の住居表示施行にともない別所町、中里町、六ッ川二丁目、港南区最戸町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡別所村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、大岡川村大字別所となり、昭和二年に横浜市に編入して別所町となる。町名は旧町名を採った。柳田國男は『地名の研究』の「地名の話」の中で「関東では九州のビュウ（新聞ないし切添）に当たる土地は皆別所と言う。武蔵などはことに多い。『新篇武蔵風土記』の著者もこの事実は注意したが説明はない」と述べている。また、「個々の名主がなした追加開墾地」であり、今日でいう「枝郷・出郷・出村」などに相当するとしている。町は大

#### 吉田新田

横浜の市街地は、新田開墾による埋立てでできたものがほとんどである。その中で、吉田勤兵衛が開墾にあたった吉田新田は特に有名である。

彼は、摂津国能勢（現大阪府）出身であるが、二十四歳のとき、江戸で材木商を営み、幕府の御用商人となったのである。そして、明暦二年（一六五六年）江戸幕府から新田開墾の許可を得、戸部村・太田村・蒔田村・堀之内・中村・横浜村などに囲まれた釣り鐘状の入江の埋立て工事に着手し、寛文七年（一六六七年）ようやく完成にしたのであった。その際、埋立てに使われたのが、天神山（現京急日ノ出町駅裏）と大丸山（現JR石川町駅裏）などの土砂といわれている。

吉田家の文献によると、この吉田新田の面積は一一六町余歩（約一〇ヘクタール）であったと伝えられる。このような偉業をなした吉田勤兵衛の墓は清水ヶ丘の常清寺にあり、彼の菩提を弔っている。

岡五丁目、中里一丁目・二丁目・四丁目、別所中里台、六ッ川二丁目、港南区最戸一丁目・二丁目、大久保二丁目・三丁目、東岸が谷、岸が谷一丁目に接する。別所七丁目を横浜横須賀道路が通り、別所インターがある。

#### 別所中里台べっしょなかざとだい〔昭和五十年七月二十八日〕(註)

昭和五十年の住居表示施行にともない中里町、別所町の各一部から新設した町。町名は別所、中里の双方の町名を生かし「別所中里台」と名付けた。町は別所二丁目・五丁目・六丁目、六ッ川二丁目、中里四丁目に接する。

#### 堀ノ内町ほりのうちやう〔明治四十四年四月一日〕

明治四十四年の横浜市編入の際、久良岐郡大岡川村大字堀之内から新設した町。古くは久良岐郡石川村といい、後に石川村が中村、横浜村、堀之内村に分かれた。明治二十二年の市町村制施行の際、大岡川村大字堀之内となる。昭和十年の町界町名地番整理施行にともない、それまでの字

名を廃して字一丁目・二丁目を置く。『横浜文書』の「河内太郎左衛門尉謙吉寄進状（文明八年・一四七六）」に「平子郷石河村堀之内」の記録がある。柳田國男は『地名の研究』の「地名考説」に「武蔵にはこの地名はことに多い。『新篇武蔵風土記稿』によって数え上げた字だけでも八十四あった。城址ある村には多く堀之内の小名ありと圖書に見えている。堀というと今の人はただちに城砦を想像するが、堀之内は必ずしも常に戦術上のもものではなかった。中古の武家は通例砦の中には住まず、戦時の防御地は險阻の山の上にあつて、平時は平地に今の大地主のようにして住んでいた。堀之内の堀はその屋敷を取り囲んだ工作物で、往々その内に田も畑もあったようである」と述べている。

町は1丁目と2丁目の字区域があり、中村町、睦町、東蒔田町、榎町、蒔田町、磯子区丸山一丁目、滝頭一丁目に接する。町内に古文書などを多く有していることで有名な宝生寺がある。

#### 蒔田町まいたちやう〔明治四十四年四月一日〕

明治四十四年の横浜市編入の際、久良岐郡大岡川村大字蒔田から新設した町。古くは久良岐郡蒔田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、大岡川村大字蒔田となり、昭和三年の町界町名地番整理施行にともない蒔田町、共進町、花之木町、榎町、宮元町、宿町に分割し、蒔田町は字會下、西、山ノ根、原、伊勢山、東谷、谷戸田、谷戸田上の各一部を区域とする。『横浜文書』の「忍祐皇耕作権付與狀（應永二十四年・一四一七）」に「蒔田郷」の記録があり、『小田原衆所領役帳』にも、「蒔田領」の名が記載されている。町は堀ノ内町、榎町、共進町、宮元町、若宮町、大岡一丁目、磯子区滝頭一丁目、岡村三丁目・四丁目

まえ さとちよう  
前里町〔昭和三年九月一日〕

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない初音町字四丁目、英町字三丁目、三春町字三丁目、南太田町字前里耕地、西中耕地の各一部から新設した町。字一丁目から四丁目までを置く。町名は字名を採った。町は1丁目から4丁目の字区域があり、西中町、白金町、南太田町、中区初音町に接している。町内を平戸桜木道路が通る。

ま がねちよう  
真金町〔明治二十二年四月一日〕

明治二十二年の市町村制施行の際、横浜市に編入した町。古くは久良岐郡吉田新田の内、明治十三年より高島町遊廓をここへ移し、明治十五年一月に山田町、富士見町の各字四丁目・五丁目を真金町字一丁目・二丁目と改称した。町名は佳名を採った。「真金」とは鉄のこと。町は1丁目と2丁目の字区域があり、永楽町、万世町、浦舟町、白妙町、高根町、中区弥生町に接する。町内に西の市で賑わう大鷲神社がある。

まん せいちよう  
万世町〔昭和十九年二月一日〕

昭和十九年に千歳町字三丁目、三吉町字三丁目・四丁目から新設した町。町名は縁起を祝って名付けた。町は1丁目と2丁目の字区域があり、永楽町、真金町、浦舟町、中村町、中区千歳町、三吉町に接する。南東側を中村川が流れる。

みなみおわた まち  
南太田町〔明治三十四年四月一日〕

明治三十四年の横浜市編入の際、久良岐郡戸太町大字太田から新設した町。古くは久良岐郡太田村といい、『小田原衆所領役帳』にも「太田」の地名が記されている。安政

六年（一八五九）の横浜開港以来、市街化して日ノ出町、三春町、英町、霞町、清水町、月岡町、黄金町、初音町などに分割した。明治二十二年の市町村制施行の際、太田村

戸部町、平沼新田、尾張屋新田、吉田新田を併せて戸太町を立て、その大字太田となり、明治二十八年七月に戸太町と改称した。昭和十年の町界町名地番整理施行にともない字名を廃し、霞ヶ丘、東ヶ丘、赤門町、三春台、庚台、清水ヶ丘を新設、南太田町は字富士見耕地、清水耕地、上耕地、谷戸耕地および井土ヶ谷町字高免、川田の各一部地域とし、字一丁目から四丁目までを置く。町名の「太田」は「服田」の転訛という。また、太田道灌の屋敷があったことから「太田」と呼ぶようになったとの言い伝えがある。町名は関内に太田町があり、その南側にあたるために「南太田町」とした。町は1丁目から4丁目の字区域があり、白金町、前里町、西中町、庚台、清水ヶ丘、永田東一丁目・三丁目、井土ヶ谷中町、井土ヶ谷下町、花之木町、山王町、南吉田町、日枝町に接する。北側を首都高速狩場線、南側

を平戸桜木道路が通る。また中央に京浜急行本線が通り、南太田駅がある。

みなみよしだちよう  
南吉田町〔明治三十四年四月一日〕

明治三十四年の横浜市編入の際、久良岐郡戸太町大字吉田新田から新設した町。古くは久良岐郡吉田新田といい、明治二十二年の市町村制施行の際、吉田新田、戸部村、平沼新田、尾張屋新田、太田村が合併して戸太村を立て、その大字吉田新田となる。明治二十八年に戸太村は戸太町と改称する。昭和三年の町界町名地番整理施行にともない、南吉田橋通を中心にして、お三の宮脇から山王橋に至る南区域とする。字一丁目から五丁目を置く。町名は吉田町の南に位置することから名付けた。町は1丁目から5丁目の字区域があり、日枝町、南太田町、山王町、中区伊勢佐木町に接する。

みはるたい  
三春台〔昭和十年七月一日〕

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない南太田町字西中耕地、霞耕地、庚耕地の各一部から新設した町。古くは久良岐郡太田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、戸太村大字太田となり、明治二十八年七月に戸太町と改称し、明治三十四年に横浜市に編入して南太田町となる。町名は三春町（明治四年九月に新設され、昭和三年九月一日に廃町）に近い台地に位置することから名付けた。なお、三春町は佳名により名付けた町名である。町は西中町、庚台、伏見町、西区赤門町、霞ヶ丘に接する。北東側を藤棚浦舟通りが通る。



西の市（真金町）

宮元町 [昭和三年九月一日]

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない蒔田町字堂面、廻り坪、六反目、井領田、三反田、宮ノ脇、宿、一ノ坪、山ノ根、南吉田町字西川外、大岡町字釜田から新設した町。字一丁目から四丁目までを置く。町名は杉山神社に近いことから「宮元」と名付けた。町は1丁目から4丁目の字区域があり、宿町、通町、若宮町、蒔田町、共進町、吉野町に接する。町内を鎌倉街道、市営地下鉄1号線が通り、蒔田駅がある。

六ッ川一丁目〜三丁目 [昭和四十二年一月十五日]  
六ッ川四丁目 [昭和四十四年十月一日]

昭和四十二年と昭和四十四年の町界町名地番整理施行にともない六ッ川町、中里町、最戸町、大久保町、別所町、港南区下永谷町の一部から新設した町。古くは久良岐郡引越村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、大岡川村大字引越となり、昭和二年に横浜市に編入して六ッ川町となる。町名は昔の多々久郷が弘明寺村、中里村、別所村、最戸村、久保村、引越村の六か村に分かれたこと、明治二十二年の市町村制施行の際に大岡川になったことに因み「六ッ川」と名付けた。別説では、鯨ヶ谷、久保谷、マンカ谷、九田谷、荒戸谷、御堂谷の六つの谷戸から流れる谷川に由来するという。町は弘明寺町、井土ヶ谷上町、永田南一丁目、永田山王台、永田みなみ台、永田台、中里三丁目・四丁目、別所中里台、別所六丁目・七丁目、港南区芹が谷二丁目、保土ヶ谷区狩場町、権太坂三丁目、戸塚区平戸町、平戸一丁目に接する。町の南北方向に横浜横須賀道路が通り、東西方向に平戸桜木道路が通る。旧村名に因む愛称道路「引越坂」が六ッ川二丁目にある。

睦町 [昭和十年七月一日]

昭和十年の町界町名地番整理施行にともない中村町字池ノ下、西ノ谷、蒔田町字西川外から新設した町。字一丁目・二丁目を置く。町名は佳名を採った。町は1丁目と2丁目の字区域があり、東蒔田町、堀ノ内町、中村町、高砂町に接する。東側を横須賀道路が通り、掘割川が流れる。

吉野町 [昭和三年九月一日]

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない南吉田町字南五ツ目、南六ツ目、南七ツ目から新設した町。字一丁目から五丁目までを置く。古くは久良岐郡吉田新田の内であった。町名は大楠公、楠木正成に因んで「吉野」と名付けたといわれているが、吉野と関係が深いのは、大楠公ではなく、小楠公、楠木正行であり、正平二年(一三三七)一月に吉野行宮へ後村上天皇を訪れた後、如意輪堂の壁板に「返らじとかねて思へば梓」なき数に入る名をぞとむる」



子ども植物園 (六ッ川三丁目)

と書いて、死を決して出陣したことはよく知られている。この故事に因んで吉野町と名付けたのである。町は1丁目から5丁目の字区域があり、新川町、山王町、宮元町、宿町、中区曙町に接する。町内を鎌倉街道と市営地下鉄1号線が通り、吉野町駅がある。

若宮町 [昭和三年九月一日]

昭和三年の町界町名地番整理施行にともない大岡町字石島、宮ノ前、通町から新設した町。字一丁目から四丁目までを置く。古くは久良岐郡大岡川村大字下大岡の一部であり、明治四十四年の横浜市編入の際、大岡町となる。町名は若宮八幡宮(現、大岡一丁目所在)に因んで名付けた。町は1丁目から4丁目の字区域があり、宮元町、通町、大岡一丁目・二丁目、蒔田町に接する。



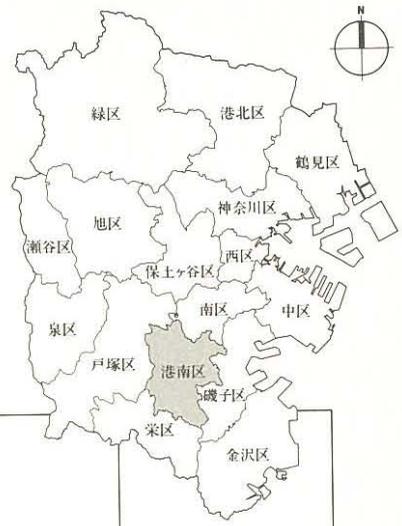
Y O K O H A M A

# 港南区

港南台付近の団地群

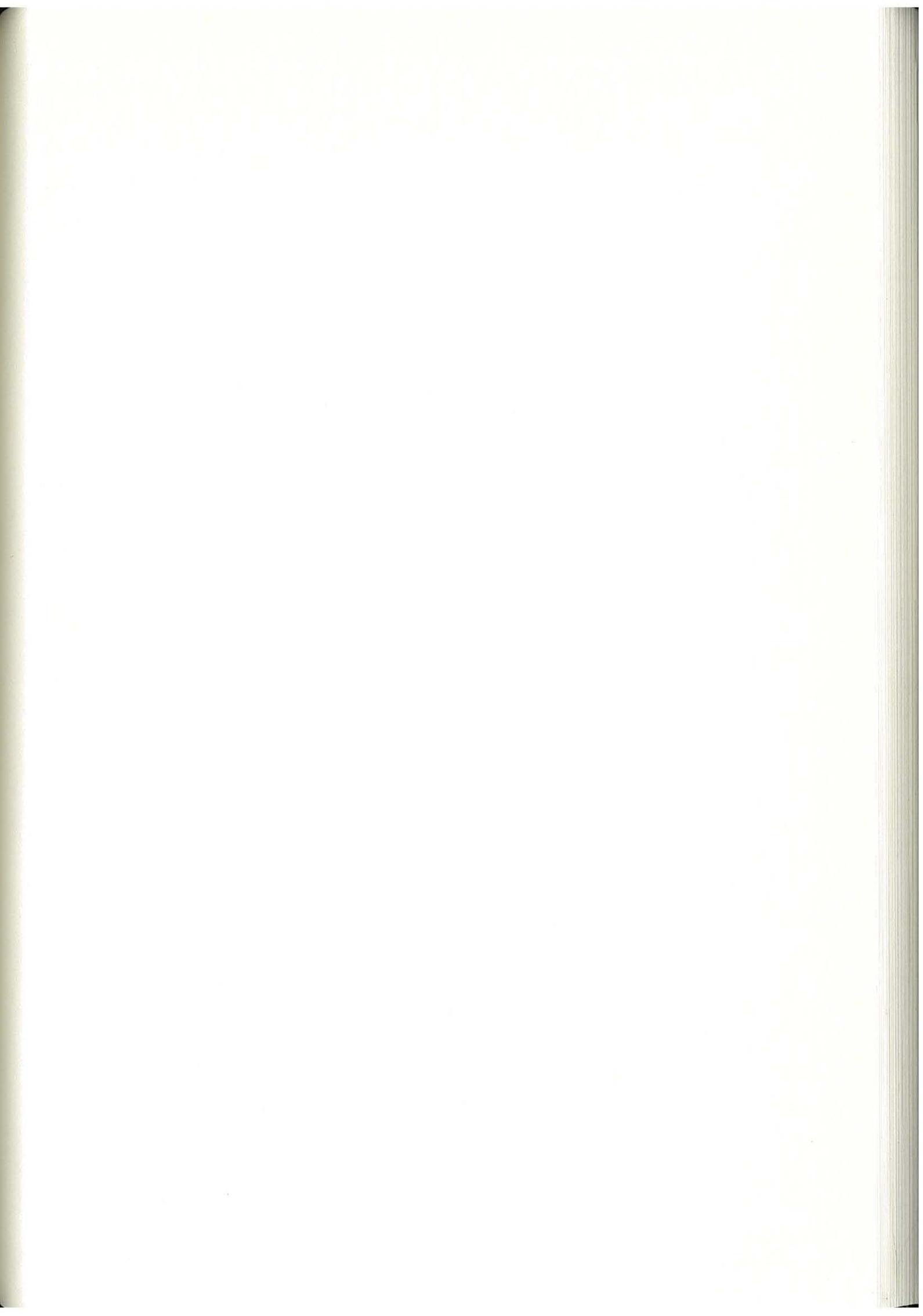


# 港南区



港南区 (19.867km<sup>2</sup>)

| 町名      | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|---------|-----------------------|--------|-----------------------|----|-----------------------|
| 大久保一丁目  | 0.137                 | 東芹が谷   | 0.162                 |    |                       |
| 大久保二丁目  | 0.241                 | 東永谷一丁目 | 0.149                 |    |                       |
| 大久保三丁目  | 0.209                 | 東永谷二丁目 | 0.145                 |    |                       |
| 上大岡西一丁目 | 0.123                 | 東永谷三丁目 | 0.208                 |    |                       |
| 上大岡西二丁目 | 0.099                 | 日限山一丁目 | 0.342                 |    |                       |
| 上大岡西三丁目 | 0.135                 | 日限山二丁目 | 0.108                 |    |                       |
| 上大岡東一丁目 | 0.259                 | 日限山三丁目 | 0.179                 |    |                       |
| 上大岡東二丁目 | 0.223                 | 日限山四丁目 | 0.232                 |    |                       |
| 上大岡東三丁目 | 0.256                 | 日野一丁目  | 0.091                 |    |                       |
| 上永谷一丁目  | 0.231                 | 日野二丁目  | 0.289                 |    |                       |
| 上永谷二丁目  | 0.162                 | 日野三丁目  | 0.091                 |    |                       |
| 上永谷三丁目  | 0.188                 | 日野四丁目  | 0.180                 |    |                       |
| 上永谷四丁目  | 0.184                 | 日野五丁目  | 0.177                 |    |                       |
| 上永谷五丁目  | 0.241                 | 日野六丁目  | 0.154                 |    |                       |
| 上永谷六丁目  | 0.130                 | 日野七丁目  | 0.177                 |    |                       |
| 上永谷町    | 0.292                 | 日野八丁目  | 0.168                 |    |                       |
| 港南一丁目   | 0.194                 | 日野九丁目  | 0.203                 |    |                       |
| 港南二丁目   | 0.240                 | 日野町    | 1.120                 |    |                       |
| 港南三丁目   | 0.173                 | 日野南一丁目 | 0.138                 |    |                       |
| 港南四丁目   | 0.184                 | 日野南二丁目 | 0.094                 |    |                       |
| 港南五丁目   | 0.141                 | 日野南三丁目 | 0.116                 |    |                       |
| 港南六丁目   | 0.199                 | 日野南四丁目 | 0.168                 |    |                       |
| 港南台一丁目  | 0.297                 | 日野南五丁目 | 0.233                 |    |                       |
| 港南台二丁目  | 0.306                 | 日野南六丁目 | 0.222                 |    |                       |
| 港南台三丁目  | 0.288                 | 日野南七丁目 | 0.137                 |    |                       |
| 港南台四丁目  | 0.413                 | 丸山台一丁目 | 0.137                 |    |                       |
| 港南台五丁目  | 0.293                 | 丸山台二丁目 | 0.229                 |    |                       |
| 港南台六丁目  | 0.426                 | 丸山台三丁目 | 0.195                 |    |                       |
| 港南台七丁目  | 0.382                 | 丸山台四丁目 | 0.134                 |    |                       |
| 港南台八丁目  | 0.393                 |        |                       |    |                       |
| 港南台九丁目  | 0.321                 |        |                       |    |                       |
| 港南中央通   | 0.118                 |        |                       |    |                       |
| 最戸一丁目   | 0.156                 |        |                       |    |                       |
| 最戸二丁目   | 0.148                 |        |                       |    |                       |
| 笹下一丁目   | 0.152                 |        |                       |    |                       |
| 笹下二丁目   | 0.232                 |        |                       |    |                       |
| 笹下三丁目   | 0.258                 |        |                       |    |                       |
| 笹下四丁目   | 0.136                 |        |                       |    |                       |
| 笹下五丁目   | 0.228                 |        |                       |    |                       |
| 笹下六丁目   | 0.214                 |        |                       |    |                       |
| 笹下七丁目   | 0.108                 |        |                       |    |                       |
| 下永谷一丁目  | 0.168                 |        |                       |    |                       |
| 下永谷二丁目  | 0.137                 |        |                       |    |                       |
| 下永谷三丁目  | 0.294                 |        |                       |    |                       |
| 下永谷四丁目  | 0.202                 |        |                       |    |                       |
| 下永谷町    | 0.617                 |        |                       |    |                       |
| 芹が谷一丁目  | 0.231                 |        |                       |    |                       |
| 芹が谷二丁目  | 0.331                 |        |                       |    |                       |
| 芹が谷三丁目  | 0.136                 |        |                       |    |                       |
| 芹が谷四丁目  | 0.227                 |        |                       |    |                       |
| 芹が谷五丁目  | 0.339                 |        |                       |    |                       |
| 野庭町     | 2.097                 |        |                       |    |                       |



## 港南区の区名とそのあゆみ

港南区は、昭和四十四年十月一日の行政区再編成により南区から分区して新設した。区名は一般から募集し、区名審議委員会の審議により、応募区名案の港南区、大岡区、日野区などの中から選定して決定した。横浜市の南部に位置し、大岡川と柏尾川の流域の低地と多摩丘陵の延長である台地とからなる起伏の多い地形である。古くは自然丘陵に囲まれた農村地域であったが、鎌倉街道沿いに市街地が発達した。昭和五年に湘南電鉄（現、京浜急行）が開通し、上大岡駅が開業して沿線の開発が進んだ。昭和十二年頃から大岡川沿いに塗染工場が進出し、昭和三十五年頃からは宅地開発、市街化が進み、その後も大規模開発が行われた。これらの都市化に対応して幹線道路、交通網、下水道などの都市基盤の整備を進め、「横浜の副都心」らしさの形成ゆとりと潤いのある生活の「場づくり」などそれぞれの地域の特性を生かした個性ある街づくりが進められている。

港南区の町名は、大久保、上永谷、芹が谷など谷戸や谷に因む町名が多く、また、最近の宅地開発に伴う新町名が増えている。



久良岐公園（上大岡東三丁目）

## 大久保一丁目〜三丁目〔昭和五十年七月二十八日〕<sup>(1)</sup>

昭和五十年の住居表示施行にともない大久保町、上大岡町、最戸町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡久保村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、大岡川村大字久保となり、昭和二年、横浜市に編入して大久保町となる。町名は、すでに横浜市内に久保町があったため、「大」の字をかぶせて「大久保町」と名付けた。柳田國男は『地名の研究』の「地名考説」に「クボは地形上より見ればホドとよく類似しているけれども、形容詞としてクボイ、動詞としてクボムとも働く詞であって、現代語からもその意味を解説することができる。」と述べている。町は最戸一丁目・二丁目、東芹が谷、東永谷一丁目・三丁目、港南一丁目・二丁目、上大岡西二丁目・二丁目、南区別所三丁目・四丁目に接する。町内には神奈川県戦没者慰霊堂がある。

## 上大岡西一丁目〜三丁目

〔昭和五十年七月二十八日〕<sup>(1)</sup>

昭和五十年の住居表示施行にともない大久保町、上大岡町、笹下町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡上大岡村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、久保村、最戸村、別所村、中里村、弘明寺村、下大岡村、蒔田村、堀ノ内村、引越村、井土ヶ谷村、永田村と合併して大岡川村となり、昭和二年、横浜市に編入して上大岡町となる。古くは「大賀郷」といい、これが「大岡」に転訛したものである。町は最戸一丁目、大久保一丁目・二丁目、港南二丁目、港南中央通、港南四丁目、笹下一丁目、上大岡東二丁目・二丁目、磯子区森が丘二丁目に接する。町内を鎌倉街道が通り、京浜急行本線と市営地下鉄1号線の上大岡駅がある。町内に鹿島神社、青木神社がある。

かみなおおひがし  
上大岡東一丁目〜三丁目

〔昭和五十年七月二十八日〕(注)

昭和五十年の住居表示施行にともない上大岡町、笹下町の各一部から新設した町。町は上大岡西一丁目〜三丁目、南区大岡四丁目・五丁目、磯子区岡村八丁目、汐見台、森が丘二丁目に接する。上大岡東三丁目に久良岐公園がある。

かみながや  
上永谷一丁目〜六丁目

〔昭和五十四年七月二十三日〕(注)

昭和五十四年の住居表示施行にともない上永谷町、下永谷町、野庭町の各一部から新設した町。町は東永谷一丁目・三丁目、芹が谷四丁目・五丁目、下永谷二丁目・三丁目、日限山一丁目、丸山台一丁目・三丁目、野庭町、日野二丁目、港南二丁目・三丁目に接する。町内を横浜横須賀道路市営地下鉄1号線が通る。上永谷五丁目に永谷天満宮がある。

かみながやちよう  
上永谷町〔昭和十一年十月一日〕

昭和十一年の横浜市編入の際、鎌倉郡永野村大字永谷の一部から新設した町。古くは鎌倉郡永谷村といい、永谷上村、永谷中村、永谷下村に分かれていたこともある。明治二十二年の市町村制施行の際、上野庭村、下野庭村、平戸村飛地と合併して永野村大字永谷となる。地名研究で「ナガヤ」は「長い谷」を意味するという。町は野庭町、丸山台四丁目、日限山三丁目・四丁目、戸塚区舞岡町、栄区本郷台五丁目、小菅ヶ谷町に接する。町内に京急港南スポーツセンターがある。

こうなん  
港南一丁目〜六丁目〔昭和四十七年六月五日〕(注)

昭和四十七年の住居表示施行にともない笹下町、上大岡町、日野町の各一部から新設した町。古くは雑色村、松本村、関村の三村で、明治二十二年の市町村制施行の際、日野村、矢部野村、田中村、栗木村、上中里村、峯村、氷取沢村と合併して日下村大字笹下となり、昭和二年に横浜市に編入して笹下町となる。町名は地元の要望により区名の「港南」を採った。町は大久保二丁目・三丁目、東永谷一丁目・二丁目、上永谷一丁目、日野一丁目・二丁目、港南中央通、上永谷二丁目、上大岡西二丁目・三丁目、笹下一丁目・五丁目・七丁目、日野町に接する。町内を字名「室の木」に因む愛称道路「室の木坂」、桜並木で有名な「桜道」が通る。

こうなんだい  
港南台一丁目〜九丁目〔昭和五十六年七月十七日〕(注)

昭和五十六年の住居表示施行にともない日野町、磯子区

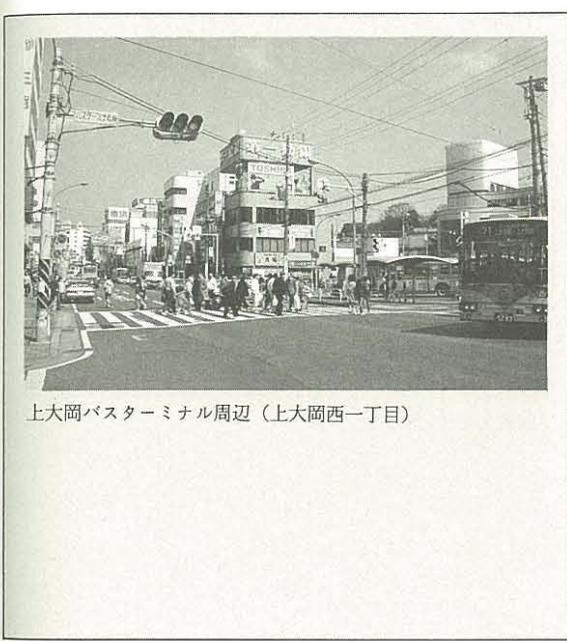
峰町、戸塚区上郷町、中野町の各一部から新設した町。町名は日本住宅公団が開発し、地元に通称として使われていた「港南台」を採った。町は日野町、日野八丁目、日野南一丁目・三丁目〜六丁目、磯子区洋光台五丁目・六丁目、峰町、栄区鍛冶ヶ谷町、元大橋一丁目、若竹町、上郷町に接する。北東側を横浜横須賀道路が通り、北側を環状3号が通る。町内を根岸線が通り、港南台駅がある。町内に横浜市南部病院、港南プール、老人福祉センター「蓬莱荘」がある。公団しらすぎ団地など鳥の名前を付けた団地が多数ある。

こうなんちゆうおうち  
港南中央通〔昭和四十七年六月五日〕(注)

昭和四十七年の住居表示施行にともない笹下町、上大岡町、日野町の各一部から新設した町。古くは雑色村、松本村、関村の三村で、笹下村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、日野村、矢部野村、田中村、栗木村、上中里村、峯村、氷取沢村と合併して日下村大字笹下となり、昭和二年、横浜市に編入して笹下町となる。町名は地域の中央に位置することから、地元の要望により「港南中央」を採った。町は港南一丁目〜六丁目、日野一丁目・二丁目、上大岡西二丁目・三丁目に接する。町内を鎌倉街道、市営地下鉄1号線が通り、港南中央駅があり、港南区役所、港南警察署、港南消防署などの官公署がある。

さいと  
最戸一丁目・二丁目〔昭和五十年七月二十八日〕(注)

昭和五十年の住居表示施行にともない大久保町、最戸町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡最戸村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、久保村、別所村、中里村、弘明寺村、上大岡村、下大岡村、蒔田村、堀ノ内村、引越村、井土ヶ谷村、永田村と合併して大岡川村大字最戸



上大岡バスターミナル周辺(上大岡西一丁目)

となり、昭和二年、横浜市に編入して最戸町となる。古くは「六戸」または「鹿戸」と書いたという。桜井澄夫氏は「サイドという音が原形の場合、道祖土が考えられる。つまり、道祖神を祭った所」という。町は上大岡西一丁目、大久保一丁目・二丁目、南区別所一丁目・三丁目、大岡五丁目に接する。町の東側を京浜急行本線が通る。最戸一丁目に港南郵便局がある。

### 笹下一丁目〜七丁目〔昭和五十二年八月一日〕(注)

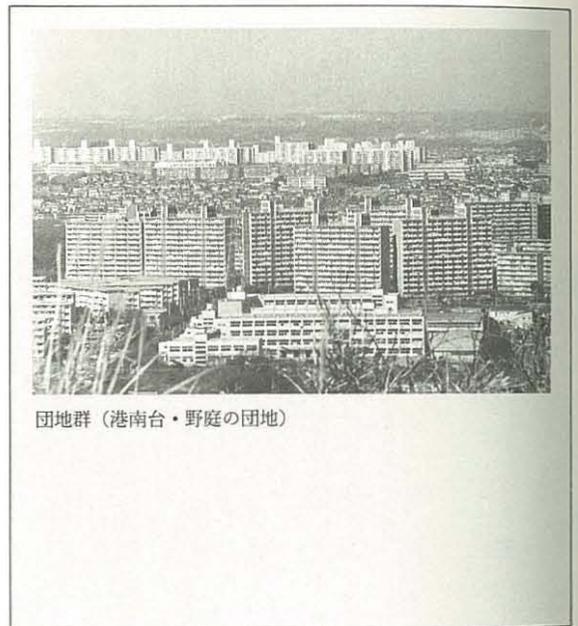
昭和五十二年の住居表示施行にともない笹下町、磯子区森が丘二丁目、田中町、森町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡下笹下(雑色村、松本村、関村の下郷三村をいう)で、笹下村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、日野村、矢野野村、田中村、栗木村、上中里村、峯村、永取沢村と合併して目下村大字笹下となり、昭和二年、横浜市に編入して笹下町となる。「佐々木」を地名としてこれが後に「佐々気村」から「笹下村」に転訛したという説がある。町は上大岡西三丁目、港南四丁目〜六丁目、日野町、磯子区森が丘二丁目、森四丁目〜六丁目、田中二丁目、洋光台一丁目・二丁目に接する。

### 下永谷一丁目〜四丁目〔平成二年七月九日〕(注)

平成二年の住居表示施行にともない下永谷町、上永谷六丁目の各一部から新設した町。町は下永谷町、芹が谷五丁目、上永谷四丁目・六丁目、日限山一丁目、戸塚区舞岡町に接する。下永谷四丁目に特別養護老人ホーム芙蓉園がある。

### 下永谷町〔昭和十一年十月一日〕

昭和十一年の横浜市編入の際、鎌倉郡永野村大字永谷の



団地群 (港南台・野庭の団地)

一部及び大字平戸の一部から新設した町。町は下永谷一丁目〜四丁目、戸塚区平戸町、上柏尾町、柏尾町、舞岡町に接する。町内に下永谷市民の森がある。

### 芹が谷一丁目〜五丁目

〔昭和五十三年七月三十一日〕(注)

昭和五十三年の住居表示施行にともない下永谷町の一部から新設した町。古くは鎌倉郡永谷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、上野庭村、下野庭村、平戸村飛地と合併して永野村大字芹が谷となる。昭和十一年、横浜市に編入して上永谷町、下永谷町となる。町名は字名を採った。地名研究で「セリ」は「崖地」を意味するという。町は東芹が谷、東永谷三丁目、上永谷三丁目・四丁目、下永谷一丁目・二丁目、南区別所五丁目・七丁目、六ツ川二丁目・四丁目、戸塚区平戸町に接する。町内に国立療養所南横浜病院がある。

### 野庭町〔昭和十一年十月一日〕

昭和十一年の横浜市編入の際、鎌倉郡永野村大字上野庭、大字下野庭から新設した町。古くは上野庭村、下野庭村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、永谷村、平戸村飛地と合併して永野村大字上野庭、下野庭となる。町は上永谷一丁目・二丁目、丸山台一丁目・二丁目・四丁目、上永谷町、日野二丁目〜九丁目、日野南四丁目・五丁目、栄区小菅ヶ谷町に接する。町内を横浜横須賀道路が通り、市営地下鉄1号線車両基地、特別養護老人ホーム「野庭苑」、港南図書館がある。

### 東芹が谷〔昭和五十八年八月八日〕(注)

昭和五十八年の住居表示施行にともない下永谷町の一部から新設した町。町名は芹が谷一丁目から芹が谷五丁目の東側にあたるため、「芹が谷」と名付けた。町は芹が谷一丁目・三丁目、東永谷三丁目、大久保三丁目、南区別所四丁目・五丁目に接する。町内を横浜横須賀道路が通る。

### 東永谷一丁目・二丁目〔昭和五十三年七月三十一日〕(注) 東永谷三丁目〔昭和五十八年八月八日〕(注)

昭和五十三年と昭和五十八年の住居表示施行にともない上永谷町、下永谷町の一部から新設した町。古くは鎌倉郡永谷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、上野庭村、下野庭村、平戸村飛地と合併して永野村大字永谷となる。昭和十一年の横浜市編入の際、上永谷町と下永谷町となる。町は大久保三丁目、港南二丁目、上永谷一丁目・三丁目、芹が谷三丁目・四丁目、東芹が谷に接する。町を横浜横須賀道路が通る。東永谷二丁目に市立南高校がある。

ひきりやま  
日限山一丁目〜四丁目〔昭和五十五年十二月十日〕(併)

昭和五十五年の住居表示施行にともない上永谷町、下永谷町、野庭町、戸塚区舞岡町の各一部から新設した町。町名は日限山一丁目に祀まつられている福徳院日限地藏尊にんぎんに因んで名付けた。町は上永谷五丁目・六丁目、下永谷三丁目・四丁目、丸山台三丁目・四丁目、上永谷町、戸塚区舞岡町、南舞岡一丁目・二丁目・四丁目に接する。町の北側を市営地下鉄1号線が通り、下永谷駅がある。

ひの  
日野一丁目〜九丁目〔昭和六十年七月二十二日〕(併)

昭和六十年の住居表示施行にともない日野町、野庭町の一部から新設した町。町は日野町、港南三丁目・六丁目、港南中央通、上永谷一丁目、野庭町、日野南一丁目・二丁目・四丁目に接する。町の東側を鎌倉街道が通り、北側を市営地下鉄1号線が通る。日野一丁目に港南地区センター、港南スポーツセンターがある。

ひのちよう  
日野町〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、久良岐郡日下村大字日野字元の宮、宮ヶ谷、宮ノ下、金井、吉原から新設した町。古くは日野郷といい、宮ヶ谷村、宮ノ下村、金井村、吉原村の四か村に分かれていた。明治二十二年の市町村制施行の際、日野郷と笹下郷を併せて、「日野」の「日」と「笹下」の「下」を採って日下村となる。(日野村、笹下村、矢部野村、田中村、栗木村、上中里村、峯村、水取沢村を合併)。町名は旧村名を採った。町は日野一丁目・五丁目・七丁目・八丁目、港南台一丁目・七丁目、港南六丁目、笹下六丁目・七丁目、磯子区洋光台二丁目・三丁目・五丁目に接する。町を横浜横須賀道路が通り、日野インターチェンジがあり、

字名「大北」に因む「大北道」が通る。町内に市営日野公園墓地がある。

ひのみなみ  
日野南一丁目〜三丁目〔昭和五十八年八月八日〕(併)  
ひのみなみ  
日野南四丁目〜七丁目〔昭和六十二年七月二十日〕(併)

昭和五十八年と昭和六十二年の住居表示施行にともない日野町、野庭町の一部から新設した町。町名は日野町の南側にあたるため「日野南」とした。町は港南台一丁目・三丁目・四丁目、日野九丁目、野庭町、栄区小菅ヶ谷町、鍛冶ヶ谷町に接する。町内を鎌倉街道と環状3号が通る。

まるやまだい  
丸山台一丁目〜四丁目

〔昭和五十四年七月二十三日〕(併)

昭和五十四年の住居表示施行にともない上永谷町、野庭町の各一部から新設した町。町名は、この地の区画整理地区名で、かつ字名を採った。町は上永谷二丁目・五丁目、日限山一丁目〜三丁目、上永谷町、野庭町に接する。町の

#### 日限地藏尊

農業を営んでいた飯島勤次郎は、日頃、癩しかという病に苦しんでいた。そこへ偶然通りかかったある一人の旅僧に、伊豆三島の蓮馨寺の日限地藏尊を信仰すれば癩は治ると教えられ、これを信じて祈願したところ病苦から逃れることができたといわれている。

これがもとで、この功德を皆に広めようと蓮馨寺から地藏尊の分身(高さ二尺四寸の石仏で、山梨と長野に奉られている分身とともに「日本三體地藏」の一つといわれている)を勧請し、福徳院(日限山一丁目67番30号)の本尊として奉ったのである。

この地域に根ざしている福徳院は、慶応二年七月二十四日に建立されたものである。旧鎌倉街道に臨み人里離れた丘陵地の最高所に位置し、当時「横浜の高野山」と呼ばれた深山幽谷の吉岡山に建てられている。当初、寺は単立であったが昭和二十八年七月一日、高野山真言宗金剛峯寺の末寺となった。

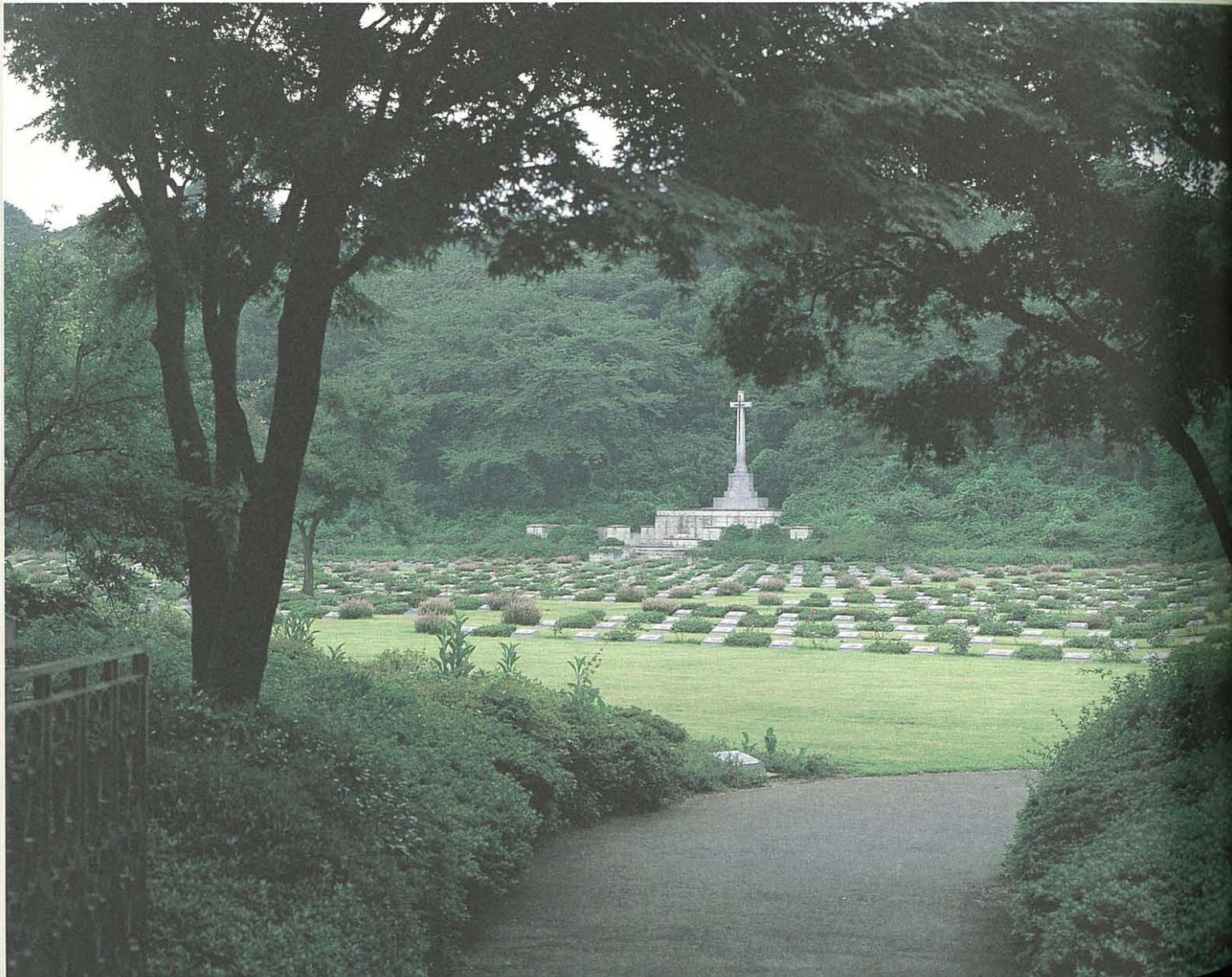
毎月「四」の付く日が命日と伝えられ、この日に願いごとを祈願すれば必ず成就するといわれている。新年の一月四日は初縁日として、横浜の内外からも多くの人が訪れ、特ににきわいをみせている。

北側を市営地下鉄1号線が通り、上永谷駅がある。

Y O K O H A M A

# 保土ヶ谷区

英連邦軍墓地(狩場町)



# 保土ヶ谷区



保土ヶ谷区 (21.804km<sup>2</sup>)

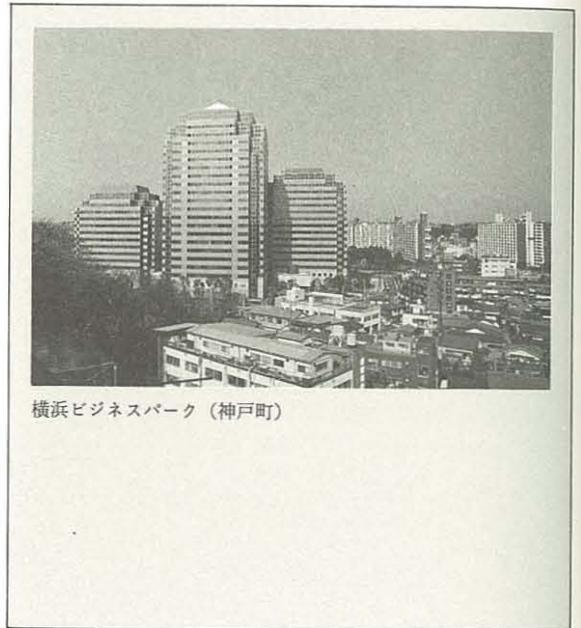
| 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|--------|-----------------------|----|-----------------------|----|-----------------------|
| 新井町    | 0.785                 |    |                       |    |                       |
| 今井町    | 2.075                 |    |                       |    |                       |
| 岩井町    | 0.552                 |    |                       |    |                       |
| 岩崎町    | 0.210                 |    |                       |    |                       |
| 岩間町    | 0.097                 |    |                       |    |                       |
| 岡沢町    | 0.435                 |    |                       |    |                       |
| 霞台     | 0.223                 |    |                       |    |                       |
| 帷子町    | 0.060                 |    |                       |    |                       |
| 釜台町    | 0.292                 |    |                       |    |                       |
| 鎌谷町    | 0.329                 |    |                       |    |                       |
| 上菅田町   | 1.886                 |    |                       |    |                       |
| 上屋川町   | 0.500                 |    |                       |    |                       |
| 狩場町    | 1.005                 |    |                       |    |                       |
| 川島町    | 1.531                 |    |                       |    |                       |
| 川辺町    | 0.217                 |    |                       |    |                       |
| 神戸町    | 0.266                 |    |                       |    |                       |
| 権太坂一丁目 | 0.338                 |    |                       |    |                       |
| 権太坂二丁目 | 0.177                 |    |                       |    |                       |
| 権太坂三丁目 | 0.200                 |    |                       |    |                       |
| 境木町    | 0.285                 |    |                       |    |                       |
| 境木本町   | 0.300                 |    |                       |    |                       |
| 坂本町    | 0.234                 |    |                       |    |                       |
| 桜ヶ丘    | 0.486                 |    |                       |    |                       |
| 瀬戸ヶ谷町  | 0.416                 |    |                       |    |                       |
| 月見台    | 0.240                 |    |                       |    |                       |
| 天王町    | 0.237                 |    |                       |    |                       |
| 常盤台    | 1.111                 |    |                       |    |                       |
| 西久保町   | 0.275                 |    |                       |    |                       |
| 西谷町    | 0.620                 |    |                       |    |                       |
| 初音ヶ丘   | 0.276                 |    |                       |    |                       |
| 花見台    | 0.342                 |    |                       |    |                       |
| 東川島町   | 0.427                 |    |                       |    |                       |
| 藤塚町    | 0.454                 |    |                       |    |                       |
| 仏向町    | 2.057                 |    |                       |    |                       |
| 法泉一丁目  | 0.177                 |    |                       |    |                       |
| 法泉二丁目  | 0.143                 |    |                       |    |                       |
| 法泉三丁目  | 0.183                 |    |                       |    |                       |
| 星川一丁目  | 0.179                 |    |                       |    |                       |
| 星川二丁目  | 0.152                 |    |                       |    |                       |
| 星川三丁目  | 0.206                 |    |                       |    |                       |
| 保土ヶ谷町  | 0.189                 |    |                       |    |                       |
| 峰岡町    | 0.518                 |    |                       |    |                       |
| 峰沢町    | 0.542                 |    |                       |    |                       |
| 宮田町    | 0.188                 |    |                       |    |                       |
| 明神台    | 0.177                 |    |                       |    |                       |
| 和田一丁目  | 0.188                 |    |                       |    |                       |
| 和田二丁目  | 0.154                 |    |                       |    |                       |



## 保土ヶ谷区の区名とそのあゆみ

保土ヶ谷区は、昭和二年十月一日に区制を施行した。区名は、この地域の古くからの宿場であった保土ヶ谷町の名を採った。横浜市の中央部にあり、関東ローマ層からなる多摩丘陵の南東の端にある。丘陵の間を帷子川や今井川が流れ、それらに沿って相模鉄道、国道16号、東海道線、国道1号が通る。東海道、金沢道、鎌倉道、八王子街道の古道があり、宿場町として賑わったが、明治に入って鉄道が建設されるとともにさびれた。大正初期から帷子川沿いに工場が進出し、関東大震災後は住宅地化が進んだ。戦後は急速にベッドタウン化し、昭和二十年代後半から市民病院、浄水場、ごみ処理場などの都市施設が建設された。星川・天王町の工場跡地に大規模な業務系ビルや高層住宅が建設されている。「くらしと都市機能が調和した明るいライフ・タウン」を目指し、地域連帯に支えられた福祉の街、心の豊かさや文化を育む街、安全で快適な暮らしやすい街、水と緑と歴史を生かした魅力ある街づくりを進めている。

保土ヶ谷区の町名は、星川、今井町、仏向町のように古代から記録のある地名に因む町名が多く、その後の新田開発や東海道の発達によって形成された新しい町や、町村合併に因む町名など多種多様なものがある。また、桜ヶ丘、初音ヶ丘、霞台、月見台、花見台など昭和初期に命名された高所地名の「はしり」と考えられるものがある。



横浜ビジネスパーク（神戸町）

### 新井町 あらいちよう 「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新治村大字新井新田から新設した町。古くは都筑郡新井新田といい、神奈川宿在住の新井忠兵衛が宝暦年間（一七五一〜一七六四）に新田の開発許可を得て、明和七年（一七七〇）に完成した。明治二十二年の市町村制施行に際し、中山村、十日市場村、榎下村、久保村、寺山村、台村、上猿山村、下猿山村、鴨居村、本郷村、上菅田村と合併して新治村大字新井新田となる。町名は旧村名を採った。村名は新田開発者の姓「新井」を採った。町は上菅田町、旭区川島町、白根二丁目・七丁目・八丁目、中白根四丁目、白根町、緑区竹山四丁目に接する。

### 今井町 いまいちよう 「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡二俣川村大字今井から新設した町。古くは都筑郡今井村といい、明治二十二年の市町村制施行に際し、二俣川村、三反田村、小高新田、市野沢村と合併して二俣川村大字今井となる。町名は旧村名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「今井村」に「村名の起りは、昔木曾義仲の家人、今井四郎兼平が住せし地なればなど云傳ふれど、證とすべきことなし、恐らくは今井と云により、兼平が舊名なるをもて、かく附會せしにや」の記録がある。町の東西を保土ヶ谷バイパスが通る。町は仏向町、藤塚町、法泉三丁目、境木町、旭区市沢町、左近山、桐が作、南本宿町、大池町、戸塚区品濃町に接する。町内に横浜カントリークラブがある。

### 岩井町 いわいちよう 「昭和十五年十一月一日」

昭和十五年に岩間上町の一部から新設した町。古くは久

良岐郡に属し、元禄十四年（一七〇一）に橋樹郡となり、保土ヶ谷町に続いた上岩間町となる。明治二十二年の市町村制施行の際、保土ヶ谷町、神戸町、帷子町、岡野新田と合併して保土ヶ谷町大字岩間となる。昭和二年四月一日の横浜市編入の際、岩間町と改め、昭和二年十月一日の町界町名地番整理施行にともない字寺下、道ノ上、町裏、銭神、横町、大原、永田境、西町裏、町並みの一部を上岩間町とする。町は西久保町、帷子町、保土ヶ谷町、瀬戸ヶ谷町、西区元久保町、南区清水ヶ丘、南太田町、永田東三丁目に接する。町の北側を国道1号、東海道本線が通り、保土ヶ谷駅、保土ヶ谷県税事務所、国立横浜東病院がある。

### 岩崎町 いわさきちょう

〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に保土ヶ谷町の一部から新設した町。古くは保土ヶ谷、岩間、神戸、帷子の四ヶ町を合わせて保土ヶ谷宿といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、神戸町、岩間町、帷子町、岡野新田が合併して橋樹郡保土ヶ谷町と改称する。昭和二年の横浜市編入の際、保土ヶ谷町となる。町は桜ヶ丘、霞台、保土ヶ谷町、初音ヶ丘に接する。町内に保土ヶ谷青少年図書館がある。

### 岩間町 いわまちょう

〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に岩間下町、神戸下町、帷子町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡保土ヶ谷宿の内、上岩間町、下岩間町といったが、明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡保土ヶ谷町大字上岩間、下岩間となり、昭和二年四月一日、横浜市に編入して岩間町となる。昭和二年十月一日の町界町名地番整理施行にともない岩間町を廃町とし、岩間町小字寺下、道ノ上、町裏、銭神、横町、大原、永田境、西町裏および字町並みの一部を岩間上町とし、岩間町

小字屋敷裏、町並みを岩間下町と改称した。町は1丁目・2丁目の字区域に分かれ、西久保町、帷子町、月見台、神戸町、天王町、西区南浅間町に接する。町の北側を帷子川が流れる。町内を旧東海道が通る。

### 岡沢町 おかざわちょう

〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に峰岡町の一部から新設した町。古くは久良岐郡保土ヶ谷宿の内、帷子上町、帷子田町、帷子町といふ。昭和二年十月一日の町界町名地番整理施行にともない帷子町字栗林、峯ノ下、横打、峯坂、向臺、常盤、中原、三ツ沢、三本松、和田ノ上、中通、西田、川邊から峰岡町を新設した。「峰岡」は小字「峯ノ下」の一字と、この地の開拓に功績があった「岡野氏」の姓の一字を連結した。町は峰沢町、常盤台、峰岡町、鎌谷町、神奈川区三ツ沢西町、三ツ沢上町に接する。町内を首都高速神奈川2号三ツ沢線、国道1号が通り、保土ヶ谷インターチェンジがある。町内に保土ヶ谷簡易裁判所、横浜市民病院がある。

霞台 かすみだい

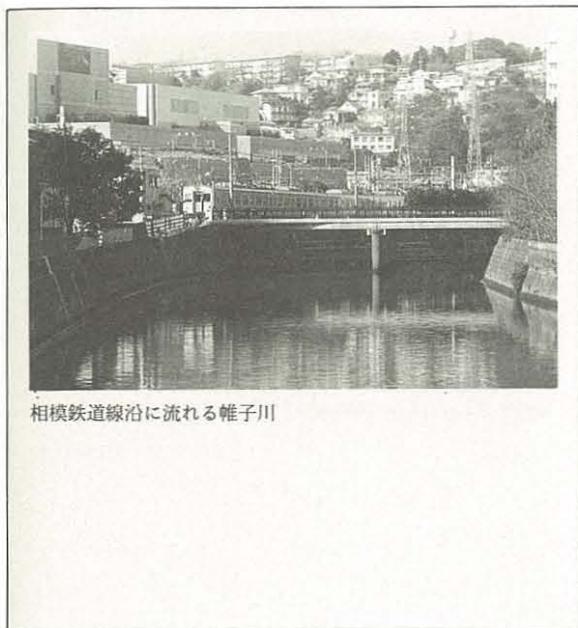
〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に神戸上町、保土ヶ谷町の各一部から新設した町。「初音ヶ丘」や「月見台」などと同じく、昭和初期の「丘・台」の付く地名の先駆けとなった。町は月見台、桜ヶ丘、岩崎町、保土ヶ谷町、帷子町に接する。町の南側は東海道本線、横須賀線に接する。

### 帷子町 かたびらちょう

〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡保土ヶ谷町大字帷子から新設した町。古くは久良岐郡保土ヶ谷宿の内、帷子上町、帷子田町、帷子町といふ。昭和二年十月一日の町界町名地番整理施行にともない帷子町字外原田、宮田、神田、町並、古町通、川邊の町区域に天王町を、帷子町字宮田、宮ヶ谷、谷ノ坂、古鎌谷、打越、栗林の町区域に宮田町を、帷子町字栗林、峯ノ下、横打、峯坂、向臺、常盤、中原、三ツ沢、三本松、和田ノ上、中通、西田、川邊の町区域に峰岡町を新設した。そして、もとの帷子上町、帷子田町の町区域に帷子町を新設した。元禄の頃まで「小帷」と書いた記録があるという。柳田國男は『地名の研究』の「地名考説」で「武蔵橋樹郡保土ヶ谷町大字帷子 その他諸国の帷子はすべて片平である。保土ヶ谷の帷子宿は東海道の往来に当たっていたからその地には必ず相応の名の由来が存在するであろうし、『廻國雜記』『平安紀行』等、足利時代の書物にも帷子の字を用いている。『廻國雜記』には歌まで添えてある。右のごとく古い地名であるけれども、カタピラと名づけた理由はまったく一方山に抛り一方は田野を控えているためにすなわち片平というのであろう。もっとも保土ヶ谷の帷子宿は、慶長年間に村を今の地に移したのであるから、地名と地形の一致を見ることはできぬ。以前



相模鉄道線沿に流れる帷子川

は帷子川の少し上流、今の古町と言うあたりにあったのである。」と述べている。町は1丁目・2丁目の字区域に分かれ、岩間町、月見台、霞台、保土ヶ谷町、岩井町に接する。町内を旧東海道が通る。町内に保土ヶ谷社会保険事務所、保土ヶ谷税務署がある。

### 釜台町かまだいちよう

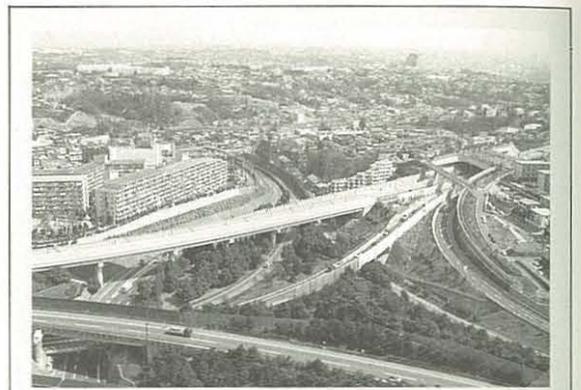
〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に峰岡町、和田町の各一部から新設した町。古くは橋樹郡保土ヶ谷町の内であった。磯貝正は『保土ヶ谷郷土史』に「釜壇山」について「登ると山の頂上となる。高さ十三丈ばかりと言はれて居る。こゝに石を重ねて上の石には圓き穴を穿つてあつた。昔、右大将頼朝、富士野に狩をした時茶を煮た釜壇の石といふ説もあるが、富士野では地理が違ふから、入間野か那須野の狩ならば順當な話だらうと考證した人もあつた。武田北条などの陣所となつた形も、思はれぬではないとも云つた。昔からこの石に附く苔を採って飲用させると、咳の病、風邪などによいと信ぜられた。」と述べている。町名はこの釜壇に因む。町は常盤台、和田一丁目・二丁目、仏向町、坂本町、上星川町、神奈川区羽沢町に接する。町の南側を国道16号が通る。町内に横浜船員保険病院がある。

### 鎌谷町かまやちよう

〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に宮田町の一部から新設した町。古くは保土ヶ谷町字帷子町の内、昭和二年に横浜市に編入し、町界町名地番整理施行にともない帷子町字宮田、宮ヶ谷、谷ノ坂、古鎌谷、打越、栗林から宮田町をおく。町名は字名「古鎌谷」から採った。町は宮田町、峰岡町、岡沢町、神奈川区三ツ沢西町、西区宮ヶ谷、浅間台、浅間町に接する。



狩場インターチェンジ (狩場町)

### 上菅田町かみすげだちよう

〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新治村大字上菅田から新設した町。古くは都筑郡菅田村といひ、明治二十二年の市町村制施行に際し、中山村、十日市場村、榎下村、久保村、寺山村、台村、上猿山村、下猿山村、鴨居村、本郷村、新井新田と合併して新治村大字上菅田となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「スカ・タ」は砂丘のある場所、洲の上の田を意味するという。町は東川島町、西谷町、新井町、神奈川区菅田町、羽沢町、旭区川島町、白根町、緑区鴨居町、竹山四丁目、鴨居七丁目に接する。町の南側は東海道新幹線に接し、南北に県道青砥上星川線が通る。

### 上星川町かみほしかわちよう

〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、都筑郡西谷村大字上星川から新設した町。古くは都筑郡上星川村といひ、明治二十二

年の市町村制施行に際し、川島村と合併して西谷村大字西谷となる。町名は旧村名を採った。『小田原衆所領役帳』に「向星川」、「星川」の記録がある。町は釜台町、坂本町、川島町、東川島町、神奈川区羽沢町に接する。町の南側を帷子川が流れる。町内を国道16号、東海道貨物線、相模鉄道が通り、上星川駅がある。

### 狩場町かりばちよう

〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に保土ヶ谷町の一部から新設した町。古くは保土ヶ谷、岩間、神戸、帷子の四か町を合わせて保土ヶ谷宿といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、神戸町、岩間町、帷子町、岡野新田が合併して橋樹郡保土ヶ谷町と改称する。昭和二年の横浜市編入の際、保土ヶ谷町となる。町名の由来は建久四年の春に源頼朝が狩りにきたことから「狩場」と呼ばれるようになったという。地名研究で「カリバ」は「草刈り場、柴山」の意味がある場合もある。町は保土ヶ谷町、瀬戸ヶ谷町、権太坂一丁目・三丁目、南区永田北三丁目、永田台、六ツ川三丁目に接する。町内を国道1号、首都高速神奈川3号狩場線、横浜横須賀道路が通り、狩場インターチェンジがある。町内に横浜市児童遊園地、英連邦軍墓地がある。

### 川島町かわしまちよう

〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、都筑郡西谷村大字川島から新設した町。古くは都筑郡川島村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、上星川村と合併して西谷村大字川島となり、明治四十二年に保土ヶ谷町と合併し保土ヶ谷町大字川島となる。町名は旧村名を採った。『小田原衆所領役帳』に「川島」の記録がある。地名研究で「シマ」は「田のある所、川沿いの耕地」を指すこともあるという。町は西谷

町、東川島町、上屋川町、坂本町、仏向町、旭区川島町、西川島町、市沢町に接する。町の北側を帷子川が流れ、町内に西谷浄水場がある。

### 川辺町かわべちやう

〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に峰岡町、宮田町の各一部から新設した町。

古くは保土ヶ谷町字帷子町の内で、昭和二年、横浜市に編入した。昭和二年の町界町名地番整理施行にともない帷子町字栗林、峯ノ下、横打、峯坂、向臺、常盤、中原、三ツ沢、三本松、和田ノ上、中通、西田、川邊から峰岡町を、帷子町字宮田、宮ヶ谷、谷ノ坂、古鎌谷、打越、栗林から宮田町を新設した。町名は字名「川辺」を採った。町は峰岡町、宮田町、天王町、神戸町、星川一丁目、三丁目、和田一丁目に接する。町の北側を国道16号が通り、南側を帷子川が流れ、町内に保土ヶ谷区役所、保土ヶ谷警察署などの官公署がある。

### 神戸町ごうどちやう

〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に神戸上町の一部から新設した町。古くは保

土ヶ谷宿の内で、上神戸町、下神戸町といい、明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡保土ヶ谷町大字上神戸、下神戸となり、昭和二年四月一日に横浜市に編入して神戸町となる。昭和二年十月一日の町界町名地番整理施行にともない神戸町を廃止し、神戸町小字坂ノ下、町並、横町、藤ヶ谷、向原、市ヶ原、岩ヶ谷、藤塚、北田、北谷、田向の町区域に神戸上町を、小字広町、芝ヶ谷、宿後の町区域に神戸下町を設けた。『新篇武蔵風土記稿』に「古神田なるにより、神戸の地名おこりしなるべし」の記録がある。柳田國男は『地名の研究』の「地名と歴史」に「ゴウドという地名は古い。美濃の川渡などは大往還の駅であって、

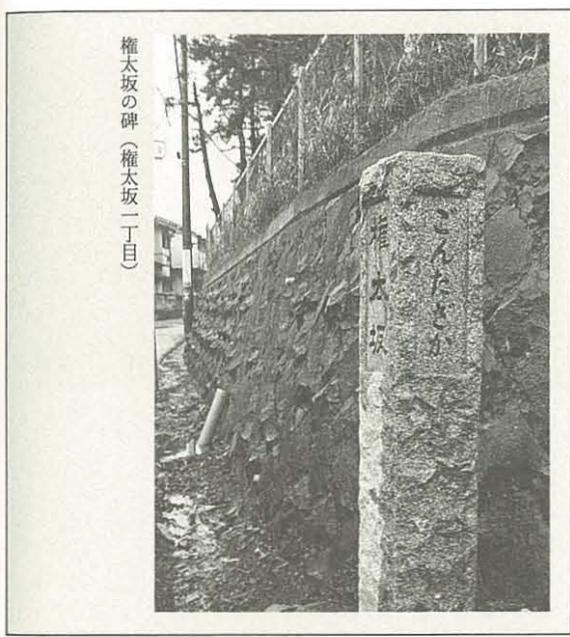
すでに『太平記』以前から知られている。尾張・三河のものはすべてが官道の上にあるわけでもないが、その数が非常に多く、文字も強戸・郷戸・神戸・顔戸などでたらめな字が使っている。正しくは川処とでも書けばよいのである」と述べている。町は天王町、岩間町、月見台、桜ヶ丘、星川一丁目、川辺町に接する。町内に保土ヶ谷スポーツセンターがある。また、横浜ビジネスパークとして整備され高層ビルが建ち並ぶ。

### 権太坂一丁目、三丁目ごんたさか

〔昭和五十六年七月十三日〕(註)

昭和五十六年の住居表示施行にともない狩場町、権太坂保土ヶ谷町、南区六ツ川三丁目の各一部から新設した町。

古くは保土ヶ谷宿の内で、明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡保土ヶ谷町となり、昭和二年四月一日に横浜市に編入して保土ヶ谷町となる。『新篇武蔵風土記稿』の「保土ヶ谷町」に「権太坂 海道の内にて元町の南の方なり、其地形十丈あまりも高く、屈曲して長き坂なり、故に



権太坂の碑（権太坂一丁目）

街道往返の人夫此所を難所とす、昔は一番坂と呼しが、何の頃か旅人爰を過ぎるとて、側にありし老農に坂の名を問しに、かの翁耳しいたる者なりしかば、己が名を問はれしと思ひ權太と答へけるより坂の名となりし」との記録がある。『保土ヶ谷區郷土史』に「境木地藏堂の堂守であった喜撰法師藤田喜三郎翁（嘉永四年六月二十三日生昭和十年没八十五歳）の談に依ると、権太坂ではなくして權左坂であるといふ。といふのは喜三郎氏の曾祖父の名が權左衛門であり、代官藤原の指圖によって二番坂から下を開いたものであり、出来た坂道をその名に基き權左坂と名づけたのであると。この坂を開拓して鍛入れの日は萬治二年八月十五日であったとの事である。」の記録がある。町は保土ヶ谷町、狩場町、法泉一丁目・三丁目、境木本町、南区六ツ川三丁目、戸塚区平戸二丁目・三丁目に接する。東側を国道1号が接し、町内を旧東海道が通る。

### 境木町さかいぎちやう

〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に保土ヶ谷町の一部から新設した町。古くは

保土ヶ谷宿の内で、明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡保土ヶ谷町となり、昭和二年四月一日に横浜市に編入して保土ヶ谷町となる。町名は境木地藏に因んで名付けた。境木は武蔵国と相模国の国境を示す榜示木で、柳田國男は『地名の研究』の「地名考説」に「標は通例は多くは立木であった。武蔵などではこれを榜示木と呼び、別にそのために生木を栽えず、ただ削って白くした棒などを立てた場合には榜杭」と述べている。町は境木本町、法泉三丁目、今井町、戸塚区品濃町に接する。町の南側を東海道本線、横須賀線が通る。

境木本町〔昭和五十六年七月十三日〕(併)

昭和五十六年の住居表示施行にともない権太坂、境木町の各一部から新設した町。町名は境木の中でも中心的な区域であり、地元の要望もあって「境木本町」と名付けた。町は境木町、権太坂一丁目、戸塚区平戸三丁目、品濃町に接し、北側を東海道本線に接する。町内に境木地蔵尊がある。

坂本町〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡保土ヶ谷町大字坂本から新設した町。古くは橋樹郡坂本村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、仏向村と合併して矢崎村大字坂本となり、明治四十二年に保土ヶ谷町と合併して保土ヶ谷町大字坂本となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「サカモト」とは「道路の坂下に集落があることに因む」という。町は上屋川町、釜台町、仏向町、川島町に接する。町の北側を帷子川が流れ、町の中央を東海道貨物線が通る。

桜ヶ丘〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に星川町、神戸上町、保土ヶ谷町の各一部から新設した町。岡野欣之助は神戸上町字西富士見坂、月見台、富士見台、谷原、市ヶ原、および雲雀ヶ岡、神戸下町の字東富士見坂、星川町字旭ヶ岡、加賀山、桜道、花溝の区域を開いて田園住宅地とする計画を立て、大正八年八月に保土ヶ谷第二耕地整理組合を組織して開発を進め、また大正十年四月に桜の会を組織し、丘の各路線の両側に桜の植樹を行い、いつのまにか、桜ヶ丘と呼ばれるようになった。大正十一年から入居が始まり、大正十三年によく

保土ヶ谷宿

保土ヶ谷宿は、江戸時代に定められた東海道五十三次において五番目の宿場町（江戸日本橋から八里）である。ここはかつて三方を小高い丘に囲まれ、山すそに切れ込んだ谷戸ごとに寺があるという静かなたたずまいであった。今も当時の名残を伝えている本陣跡近くは、宿場の入り口にあたるといわれる。また、相模鉄道の天王町駅付近まで海が入り込んでいたという。宿で一泊し、旅の疲れを癒した旅人は翌朝、次の宿である戸塚・藤沢に向かったが、その道には旅人泣かせの難所として知られる権太坂があった。この権太坂は、今の所よりもかなりきつい山道であったらしい。当時の保土ヶ谷の様子をうかがうことができる極彩色の版画では、かたびら橋付近を描いた東海道五十三次（安藤広重）・境木付近を描いた富嶽三十六景（葛飾北斎）などの作品が有名である。

竣工した。町は神戸町、月見台、岩崎町、初音ヶ丘、花見台、星川一丁目に接する。

瀬戸ヶ谷町〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に岩間上町、保土ヶ谷町の各一部から新設した町。地名研究で「セト」とは「狭処」あるいは「狭戸」で、谷戸に因む地名という。町は保土ヶ谷町、岩井町、狩場町、南区永田北一丁目・三丁目に接する。町の北側を今井川が流れ、町内を首都高速神奈川3号狩場線が通る。

月見台〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に神戸上町、神戸下町、星川町、帷子町、保土ヶ谷町の各一部から新設した町。町名は同時期に新設した「霞台」、「桜ヶ丘」、「初音ヶ丘」、「花見台」と同じく「好字」から採った。町は神戸町、岩間町、帷子町、霞台、桜ヶ丘に接する。

天王町〔昭和二年十月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、帷子町の一部から新設した町。古くは保土ヶ谷町字帷子町の内、昭和二年十月一日の町界町名地番整理施行にともない帷子町字外原田、宮田、神田、町並、古町通、川邊の町区域に天王町を設ける。町名は町内の橋樹神社（牛頭天王社）に因んで名付けた。町は1丁目・2丁目の字区域に分かれ、宮田町、川辺町、神戸町、岩間町、西区浅間町、南浅間町に接する。町の南側を帷子川が流れ、相模鉄道が通り、天王町駅、保土ヶ谷地区センターがある。

常盤台〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に峰岡町の一部から新設した町。古くは久良岐郡保土ヶ谷宿の内、帷子上町、帷子田町、帷子町という。昭和二年十月一日の町界町名地番整理施行にともない帷子町字栗林、峯ノ下、横打、峯坂、向臺、常盤、中原、三ツ沢、三本松、和田ノ上、中通、西田、川邊から峰岡町を新設した。町名は字名「常盤」に「台」を付けた。町は峰沢町、岡沢町、峰岡町、和田二丁目、釜台町、神奈川区羽沢町に接する。町内を横浜新道が通り、横浜国立大学、常盤公園がある。

西久保町〔昭和十年七月一日〕

昭和十年に久保町字塩田、反町、殿田、宮下、寺ノ下、外荒具から新設した町。古くは保土ヶ谷宿の内、明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡保土ヶ谷町大字岩間となる。明治三十九年の横浜市編入の際、橋樹郡保土ヶ谷町大字岩間となる。明治四十四年に橋樹郡保土ヶ谷町大字岩間下町字寺ノ下、宮ノ下、殿田、反町、塩田、関面、

道上、東臺、池ノ上、久保山下、外荒具、大丸の今井川以東を編入する。町名は久保町の西に位置することから名付けた。町は岩間町、岩井町、西区久保町、東久保町、元久保町に接する。町内を東海道本線が通る。

### 西谷町

〔昭和三十五年四月一日〕

昭和三十五年の町界町名地番整理施行にともない上星川町、川島町の各一部から新設した町。古くは都筑郡上星川村、川島村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際に合併して西谷村となる。昭和二年の横浜市編入の際、上星川町、川島町となる。町名は旧村名を採った。町は上菅田町、東川島町、川島町、旭区川島町、西川島町に接する。町の南側を帷子川が流れる。町内を東海道新幹線、国道16号、相模鉄道が通り、西谷駅、西谷地区センターがある。

### 初音ヶ丘

〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に保土ヶ谷町、神戸上町の各一部から新設した町。古くは橋樹郡保土ヶ谷町の内であった。町名は同時期に新設した「霞台」、「桜ヶ丘」、「花見台」と同じく「好字」から採った。町は桜ヶ丘、岩崎町、保土ヶ谷町、法泉一丁目、藤塚町、仏向町、花見台に接する。

### 花見台

〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に星川町の一部から新設した町。古くは橋樹郡下星川村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、和田村と合併して宮川村大字下星川となり、明治四十二年に保土ヶ谷町と合併し、保土ヶ谷町大字下星川となる。昭和二年に横浜市に編入して星川町となる。町名は、桜の名所として有名であったことと、同時期に新設した「霞台」、「桜ヶ丘」、「初音ヶ丘」と同じく「好字」から「花見台」

を採った。町は星川一丁目・三丁目、明神台、桜ヶ丘、初音ヶ丘、仏向町に接する。町内に保土ヶ谷公園がある。

### 東川島町

〔昭和四十三年十二月一日〕

昭和四十三年の町界町名地番整理施行にともない川島町の一部から新設した町。古くは都筑郡川島村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、上星川村と合併して西谷村大字川島となり、明治四十二年に保土ヶ谷町と合併し保土ヶ谷町大字川島となる。町名は川島町の東に位置することから名付けた。町は上星川町、西谷町、上菅田町、川島町、神奈川区羽沢町に接する。町内を環状2号、国道16号、相模鉄道が通る。

### 藤塚町

〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に保土ヶ谷町、神戸上町の一部から新設した町。古くは橋樹郡保土ヶ谷町の内であった。町名は富士塚に因むという。町は仏向町、今井町、法泉一丁目・二丁目、水道の歴史は西谷で

#### 水道の歴史は西谷で

相模線西谷駅から離れた丘陵地に西谷浄水場がある。横浜水道の歴史を語るうえで忘れてはならない人物イギリス陸軍工兵中佐ヘンリー・スペンサー・パーマーにより明治二十年十月、神奈川県横浜水道（明治二十三年四月、市制施行に伴い横浜市に移管）として給水が始まった。これは、わが国最初の近代水道の誕生でもある。

山梨県志志川や相模湖などの源流から引いた水は、ここ西谷浄水場で殺菌消毒され、太い水道管が和泉町、戸部を通り、野毛配水場へ送られた。

西谷浄水場は大正四年に建て変えられたものであり現在も残っている。その後、昭和六十二年六月に近代水道百周年を記念し「水道記念館」として当時の建物を一般公開するようになった。

「水道記念館」の建物がかつて浄水場本館として使っていた洋風ビルを化粧し直したもので、いかにも歴史の重みが感じられる建物である。館内には、明治時代に使われていた木樋水道・獅子頭共用栓などの展示のほか、映像・音響機器も設置しており、訪れる人に横浜の水道の歴史をわかりやすく説明してくれる。

初音ヶ丘に接する。町を横浜新道、保土ヶ谷バイパスが通り、新保土ヶ谷インターチェンジがある。町内に初音ヶ丘地区センターがある。

### 仏向町

〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡保土ヶ谷町大字仏向から新設した町。古くは橋樹郡仏向村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、坂本村と併せて矢崎村となり、本村は大字仏向となる。明治四十二年に保土ヶ谷町と合併し、保土ヶ谷町大字仏向となる。『新篇武蔵風土記稿』に「村名の起りは、昔村内正福寺の先住亮室初めて北条家へ謁せしとき、願ひあらば申すべしとありけるに、出家の身は他に悲願なし。唯常に仏に向ふこそ、桑門の本意とする所なれば、寺の山号および其村里にも仏向の二字をもて名づけ賜はるべしとの願により、領掌ありて、かく名づけられしとぞ」とあり、『小田原衆所領役帳』に「小机の内佛餉」の記録がある。仏餉とは「仏に供える食物」を意味する。町は川島町、坂本町、釜台町、和泉一丁目、星川三丁目、花見台、初音ヶ丘、藤塚町、今井町、旭区市沢町に接する。町の中央を東海道貨物線が通り、北側を相模鉄道が通り、和泉町駅がある。

### 法泉一丁目・三丁目

〔昭和五十六年七月十三日〕(注)

昭和五十六年の住居表示施行にともない権太坂、初音ヶ丘、藤塚町、法泉町の各一部から新設した町。古くは保土ヶ谷宿の内、明治二十二年の市町村制施行の際、橋樹郡保土ヶ谷町となり、昭和二年四月一日に横浜市に編入して保土ヶ谷町となる。昭和十五年に保土ヶ谷町の一部から法泉町を設ける。『新篇武蔵風土記稿』の「保土ヶ谷町」に「法禪寺迹 樹源寺の後の方なり、今も寺号を以て其所の

字とせり」の記録がある。町は藤塚町、初音ヶ丘、権太坂一丁目、境木町、今井町に接する。町の南側を東海道本線、横須賀線が通る。

### 星川一丁目、三丁目

〔昭和五十一年十一月二十九日〕(併)

昭和五十一年の住居表示施行にともない川辺町、神戸町、桜ヶ丘、花見台、星川町、明神台の各一部から新設した町。古くは橋樹郡下星川村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、和田村と合併して宮川村大字下星川となり、明治四十二年に保土ヶ谷町と合併し、保土ヶ谷町大字下星川となる。昭和二年に横浜市に編入して星川町となる。星川の地名は古くからあり、わが国最初の分類体漢和辞書、『和名抄』の郷名に載っている。この郷名が村名になったといわれ、また、土地の古老は「この辺りに松や杉が林立し、鬱蒼として、昼なお暗夜のごとく、ここを流れる川の水に星影を写したから(星川)と呼んだ」という。町は和田一丁目、川辺町、神戸町、桜ヶ丘、花見台、明神台、仏向町に接する。町の北側を相模鉄道が通り、星川駅、保土ヶ谷公会堂がある。

### 保土ヶ谷町

〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡保土ヶ谷町大字保土ヶ谷から新設した町。古くは保土ヶ谷町、岩間、神戸、帷子の四か町を合わせて保土ヶ谷宿といい、明治十二年の郡区制施行の際、岡野新田を併せて「保土ヶ谷四箇町・岡野新田組合」と改称し、さらに宮川村、矢崎村を併せて「保土ヶ谷外二箇村組合」とし、明治二十二年の市町村制施行の際、神戸町、岩間町、帷子町、岡野新田が合併して橋樹郡保土ヶ谷町と改称する。昭和二年の横浜市編入の際、



松原商店街 (宮田町)

保土ヶ谷町となる。柳田國男は『地名の研究』の「地名考説」で「本来ホドは禿(は)の義であって身体中最も注意すべき部分と言うのである。武蔵にはこのほかにも無数のホドがある東海道の保土ヶ谷駅がまた右のホドであることを知った人は、今後かの地を通過することに思い出しておかしいであろう」と述べている。町は帷子町、岩井町、瀬戸ヶ谷町、狩場町、権太坂一丁目、初音ヶ丘、岩崎町、霞台に接する。町の北側を東海道本線、横須賀線、国道1号が通る。

### 峰岡町

〔昭和二年十月一日〕

昭和二年の町界町名地番整理施行にともない帷子町字栗林、峯ノ下、横打、峯坂、向臺、常盤、中原、三ツ沢、三本松、和田ノ上、中通、西田、川邊から新設した町。古くは久良岐郡保土ヶ谷宿の内で、帷子上町、帷子田町、帷子町という。町名は、小字「峯ノ下」と、この地を開拓した「岡野氏」に因んで「峯」と「岡」を組み合わせ「峰岡」と名付けた。町は1丁目から3丁目までの字区域に分かれ、

宮田町、鎌谷町、岡沢町、常盤台、和田一丁目・二丁目、川辺町に接する。町の南側を国道16号が通る。

### 峰沢町

〔昭和十五年十一月一日〕

昭和十五年に峰岡町の一部から新設した町。古くは久良岐郡保土ヶ谷宿の内で、帷子上町、帷子田町、帷子町という。昭和二年の町界町名地番整理施行にともない帷子町字栗林、峯ノ下、横打、峯坂、向臺、常盤、中原、三ツ沢、三本松、和田ノ上、中通、西田、川邊から峰岡町を置く。町は岡沢町、常盤台、神奈川区三ツ沢上町、片倉町、羽沢町に接する。町内を首都高速神奈川2号三ツ沢線が通る。

### 宮田町

〔昭和二年十月一日〕

昭和二年の町界町名地番整理施行にともない帷子町字宮田、宮ヶ谷、谷ノ坂、古鎌谷、打越、栗林から新設した町。古くは保土ヶ谷町字帷子町の内で、昭和二年、横浜市に編入した。町名は小名「宮田(橋樹神社の神田)」を採った。町は1丁目から3丁目の字区域に分かれ、鎌谷町、峰岡町、川辺町、天王町、西区浅間町に接する。町の南側を国道16号が通る。

### 明神台

〔昭和十五年十一月一日〕

〔昭和五十一年十一月二十九日(併)〕

昭和十五年に星川町から新設した町。古くは橋樹郡下星川村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、和田村と合併して宮川村大字下星川となり、明治四十二年に保土ヶ谷町と合併し、保土ヶ谷町大字下星川となる。昭和二年に横浜市に編入して星川町となる。町名は字名「大明神前」から採った。町は星川一丁目、三丁目、花見台に接する。

## 和<sup>わ</sup>田<sup>だ</sup>一丁目・二丁目

〔昭和五十一年十一月二十九日〕(註)

昭和五十一年の住居表示施行にともない新設した町。古くは橘樹郡和田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、下星川村と合併して宮川村大字和田となり、明治四十二年に保土ヶ谷町と合併し、保土ヶ谷町大字和田となり、昭和二年に横浜市に編入して和田町となる。町名の由来は治承四年(一一八〇)に源頼朝が白根不動に参籠したとき、供の和田義盛が十一面観音を礼拝してやすむと、その夢枕に「汝知らずや、この地に稲荷の霊社ある事を。今より汝この神を信ぜば心願成就すべし」と告げたので、このことを頼朝に話をし、社地を寄付するようすすめた。そして文治元年(一一八五)に稲荷社と観音の社が建立された。建久四年(一一九三)の春に頼朝が狩りにきた時、この稲荷を詣で、「以後、和田稲荷と呼ぶように」と申されたことから「和田」の地名が名付けられたという。町は峰岡町、川辺町、常盤台、釜台町、仏向町、星川三丁目に接する。町の南側を帷子川が流れ、町内を国道16号、横浜新道が通る。

Y O K O H A M A

# 旭区

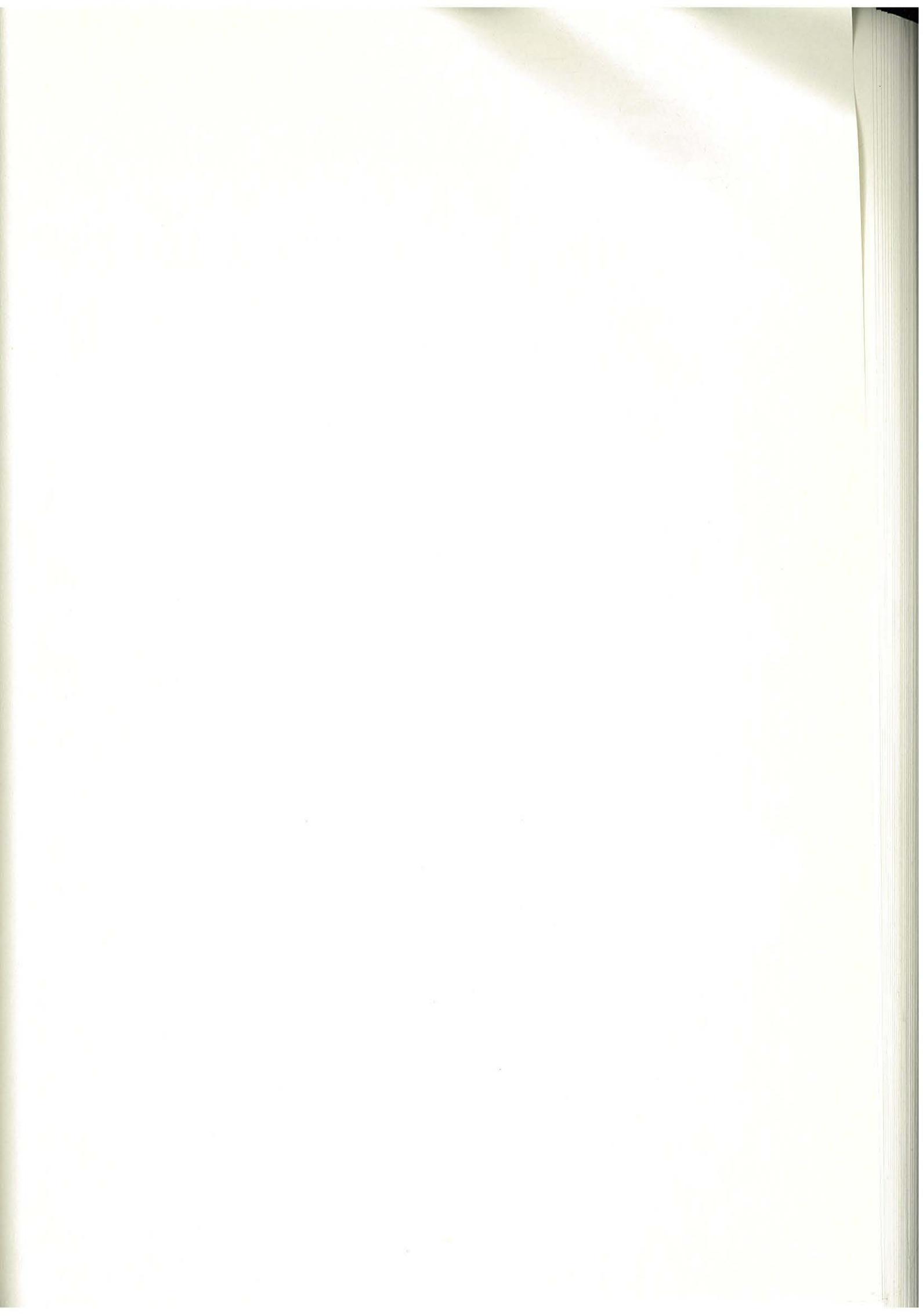
こども自然公園(大池町)





旭区 (32.778km<sup>2</sup>)

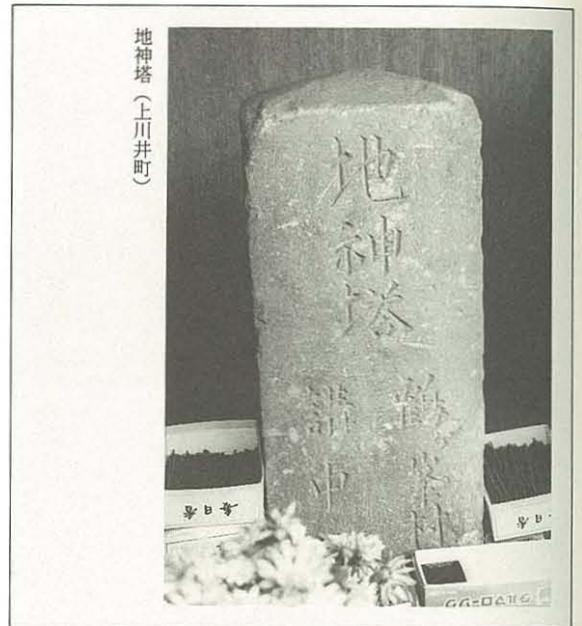
| 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|--------|-----------------------|--------|-----------------------|----|-----------------------|
| 市沢町    | 1.214                 | 万騎が原   | 0.537                 |    |                       |
| 今川町    | 0.579                 | 南希望が丘  | 0.529                 |    |                       |
| 今宿町    | 0.921                 | 南本宿町   | 0.806                 |    |                       |
| 今宿西町   | 0.530                 | 矢指町    | 0.821                 |    |                       |
| 今宿東町   | 0.685                 | 若葉台一丁目 | 0.139                 |    |                       |
| 今宿南町   | 0.727                 | 若葉台二丁目 | 0.285                 |    |                       |
| 大池町    | 1.035                 | 若葉台三丁目 | 0.181                 |    |                       |
| 小高町    | 0.250                 | 若葉台四丁目 | 0.291                 |    |                       |
| 柏町     | 0.453                 |        |                       |    |                       |
| 金が谷    | 0.384                 |        |                       |    |                       |
| 上川井町   | 3.603                 |        |                       |    |                       |
| 上白根一丁目 | 0.157                 |        |                       |    |                       |
| 上白根二丁目 | 0.310                 |        |                       |    |                       |
| 上白根三丁目 | 0.210                 |        |                       |    |                       |
| 上白根町   | 1.827                 |        |                       |    |                       |
| 川井宿町   | 0.684                 |        |                       |    |                       |
| 川井本町   | 0.553                 |        |                       |    |                       |
| 川島町    | 0.871                 |        |                       |    |                       |
| 桐が作    | 0.517                 |        |                       |    |                       |
| 左近山    | 0.550                 |        |                       |    |                       |
| 笹野台    | 0.709                 |        |                       |    |                       |
| さちが丘   | 0.762                 |        |                       |    |                       |
| 三反田町   | 0.154                 |        |                       |    |                       |
| 四季美台   | 0.432                 |        |                       |    |                       |
| 下川井町   | 1.088                 |        |                       |    |                       |
| 白根一丁目  | 0.113                 |        |                       |    |                       |
| 白根二丁目  | 0.332                 |        |                       |    |                       |
| 白根三丁目  | 0.163                 |        |                       |    |                       |
| 白根四丁目  | 0.147                 |        |                       |    |                       |
| 白根五丁目  | 0.211                 |        |                       |    |                       |
| 白根六丁目  | 0.209                 |        |                       |    |                       |
| 白根七丁目  | 0.215                 |        |                       |    |                       |
| 白根八丁目  | 0.146                 |        |                       |    |                       |
| 白根町    | 0.148                 |        |                       |    |                       |
| 善部町    | 0.641                 |        |                       |    |                       |
| 都岡町    | 0.522                 |        |                       |    |                       |
| 鶴ヶ峰一丁目 | 0.412                 |        |                       |    |                       |
| 鶴ヶ峰二丁目 | 0.308                 |        |                       |    |                       |
| 鶴ヶ峰本町  | 0.520                 |        |                       |    |                       |
| 中尾町    | 0.630                 |        |                       |    |                       |
| 中希望が丘  | 0.799                 |        |                       |    |                       |
| 中沢町    | 0.560                 |        |                       |    |                       |
| 中白根一丁目 | 0.154                 |        |                       |    |                       |
| 中白根二丁目 | 0.243                 |        |                       |    |                       |
| 中白根三丁目 | 0.157                 |        |                       |    |                       |
| 中白根四丁目 | 0.168                 |        |                       |    |                       |
| 西川島町   | 0.570                 |        |                       |    |                       |
| 東希望が丘  | 0.851                 |        |                       |    |                       |
| 二俣川1丁目 | 0.346                 |        |                       |    |                       |
| 二俣川2丁目 | 0.332                 |        |                       |    |                       |
| 本宿町    | 0.597                 |        |                       |    |                       |
| 本村町    | 0.490                 |        |                       |    |                       |



## 旭区の区名とそのあゆみ

旭区は、昭和四十四年十月一日の行政区再編成により保土ヶ谷区から分区して新設した。区名は、公募したもので、鶴ヶ峰区、西保土ヶ谷区、港西区、富士見区、旭区、緑区などから選択して、朝日が昇るような将来性を意味する旭区に決定した。大正十年当時は養蚕や野菜栽培を副業とする農業地帯であったが、昭和八年に神中線（現、相模鉄道）が開通し、通勤に便利な住宅地として注目されるようになった。昭和三十年以降、農地や丘陵地の大規模な宅地化が進み、万騎が原、上白根等の住宅団地が建設された。また、帷子川、国道16号沿いに捺染業、食品、機械工業が進出した。「都市機能と自然が調和した活力ある住宅都市」を目指し、居住環境の整備された、安全で快適、かつ便利な街づくりを進めている。

旭区の町名は、鶴ヶ峰、二俣川のように古くから記録されている地名や江戸時代の村名や小名に因むものが多い。また、矢指町、桐が作のように、よく知られた地名用語から採った町名がある。



### 市沢町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡二俣川村大字市野沢から新設した町。古くは都筑郡市野沢村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、二俣川村、三反田村、小高新田、今井村と合併して二俣川村大字市野沢となる。町名は旧村名から「野」の字を除いて「市沢」と名付けた。町は三反田町、小高町、左近山、保土ヶ谷区川島町、仏向町、今井町に接する。町内の中央に熊野社がある。

### 今川町 [昭和三十六年十一月一日]

昭和三十六年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町、小高町の一部から新設した町。町名は「今宿」の「今」と「二俣川」の「川」を取って名付けた。町は鶴ヶ峰本町、今宿東町、今宿南町、今宿町、中沢町、四季美台、鶴ヶ峰一丁目に接する。町の西南を保土ヶ谷バイパスが通る。

### 今宿町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡都岡村大字今宿から新設した町。古くは都筑郡今宿村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、上川井村、下川井村、川井村、上白根村、下白根村と合併して都岡村大字今宿となる。町名は旧村名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「今宿村」に「村名のおこりを傳へずと云へど、隣村二俣川村の内に、本宿と唱ふるあり、當村を今宿と云時は、此邊もとは宿驛にてもありしにや」の記録がある。町は今宿南町、金が谷、笹野台、東希望が丘、中尾町、中沢町、今川町に接する。

### 今宿西町 [昭和四十七年五月一日]

昭和四十七年の町界町名地番整理施行にともない今宿町

の一部から新設した町。古くは都筑郡今宿村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、上川井村、下川井村、川井村、上白根村、下白根村と合併して都岡村大字今宿となる。昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡都岡村大字今宿から今宿町を設ける。町名は今宿町の西側に位置することから名付けた。町は今宿東町、上白根町、都岡町、今宿南町に接する。町の南側を帷子川が流れ、町内を国道16号が通る。

### 今宿東町 [昭和四十七年五月一日]

昭和四十七年の町界町名地番整理施行にともない今宿町の一部から新設した町。古くは都筑郡今宿村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、上川井村、下川井村、川井村、上白根村、下白根村と合併して都岡村大字今宿となる。昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡都岡村大字今宿から今宿町を設ける。町名は今宿町の東側に位置することから名付けた。町は上白根町、上白根一丁目、白根五丁目、鶴ヶ峰本町、今川町、今宿南町、今宿西町に接する。南側を国道16号が通る。

### 今宿南町 [昭和四十九年三月十五日]

昭和四十九年の町界町名地番整理施行にともない今宿町、今川町の各一部から新設した町。古くは都筑郡今宿村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、上川井村、下川井村、川井村、上白根村、下白根村と合併して都岡村大字今宿となる。昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡都岡村大字今宿から今宿町を設ける。町名は今宿町の南側に位置することから名付けた。町は今宿西町、今宿東町、今川町、今宿町、金が谷、下川井町に接する。町の北側を帷子川が流れ、清来寺がある。

### 大池町 [昭和三十七年十一月一日]

昭和三十七年に町界町名地番整理施行にともない二俣川町の一部から新設した町。古くは都筑郡二俣川村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、三反田村、小高新田、市野沢村、今井村と合併して二俣川村大字二俣川となり、昭和十四年に横浜市に編入して二俣川町となる。町名は町内にある「大池」から採った。『新篇武蔵風土記稿』の「二俣川村」に「溜井 村の南本宿の内に入り、大さ五百坪ばかり、その邊の用水なり、榛ヶ谷膳部二又川等の地は、すべて天水をたゝへて耕種せり」の記録があるように、灌漑用水池として利用されたもので、昔この池に大蛇が住んでいたので、焼け石を投げこんで退治したという伝説がある。町は柏町、万騎が原、南本宿町、保土ヶ谷区今井町、戸塚区品濃町、川上町、名瀬町、泉区緑園七丁目に接する。町内にこども自然公園がある。

### 小高町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡二俣川村大字小高新田から新設した町。古くは都筑郡小高新田といひ、貞享年間（一六八四～一六八八）に小高市右衛門が川井村、二俣川村、今宿村、白根村、今井村、市野沢村の六か村に散在する原野と久良岐郡戸部村の秣場の飛地などを開墾したもので、隣村との境界も定めがたく入り合っていたという。明治二十二年の市町村制施行の際、二俣川村、三反田村、市野沢村、今井村と合併して二俣川村大字小高新田となる。町名は旧村名を採った。村名は開拓者の屋号を採ったものである。『新篇武蔵風土記稿』の「小野新田」に「小野新田は、貞享四年小高市右衛門と云もの、開墾する所にして、その村は三反田村と今井村との間に接せり」の記録がある。町は三反田町、市沢町、左近山に接する。

### 柏町 [昭和三十八年十一月十五日]

昭和三十八年に町界町名地番整理施行にともない二俣川町、小高町の各一部から新設した町。古くは都筑郡二俣川村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、三反田村、小高新田、市野沢村、今井村と合併して二俣川村大字二俣川となり、昭和十四年に横浜市に編入して二俣川町となる。町名は字名の「柏葉谷」から「柏」を採った。町は善部町、さちが丘、万騎が原、大池町、泉区池の谷、緑園六丁目、七丁目に接する。町内を相鉄いずみ野線が通り、南万騎が原駅がある。

### 金が谷 [昭和四十年十一月二十五日]

昭和四十年の町界町名地番整理施行にともない下川井町の一部から新設した町。古くは都筑郡下川井村といひ、明

#### 帷子川のカッパ

帷子川にカッパが住んでいたという伝説が残っている。

天保三年（一八三二年）に大洪水があり、コシッパ（現今宿町から鶴ヶ峰付近）で、以前から村人にいたずらをしているといふ親子三匹のカッパが現れ、畑の中で食事をしていたという。ところが、村人に見つかりお父さんカッパは捕まり、桑の木にくくり付けられた。その夜のことである。村の作兵衛は、お母さんカッパと子カッパたちが、お父さんを逃そうと一生懸命に縄を解いているのを見かけた。その姿を意地らしく思った作兵衛は、そっと逃がしてやったという。助けられたカッパはお礼に、福を呼ぶという黄色の血を置いていったと伝えられる。その後、作兵衛は、この血を代々家宝として大切にしていたといわれる。

治二十二年の市町村制施行の際、今宿村、上川井村、川井村、上白根村、下白根村と合併して都岡村大字下川井となる。昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡都岡村大字下川井から下川井町となる。町名は字名から名付けた。『新篇武蔵風土記稿』の「下川井村」に「小名 金ヶ谷 南の方を云」の記録がある。町は矢指町、下川井町、今宿南町、今宿町、笹野台に接する。町の北側を保土ヶ谷バイパスが通る。

### 上川井町かみかわいちょう〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡都岡村大字上川井から新設した町。古くは都筑郡上川井村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、今宿村、下川井村、川井村、上白根村、下白根村と合併して都岡村大字上川井となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「カワイ」は「川の合流地点」を意味するという。『新篇武蔵風土記稿』の「川井村」に「多摩郡川井村の者来りて開発せしにより、此名ありと云」の記録がある。町は若葉台一丁目、四丁目、川井宿町、川井本町、下川井町、矢指町、緑区三保町、長津田町、瀬谷区卸本町、瀬谷町、東野台に接する。町内を保土ヶ谷バイパスが通り、上川井インターチェンジがある。町内に程ヶ谷カントリー倶楽部がある。

### 上白根一丁目、二丁目、三丁目かみしらね〔平成元年八月二十一日〕(住)

平成元年の住居表示施行にともない上白根町、白根町、緑区寺山町の一部から新設した町。古くは都筑郡上白根村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、今宿村、上川井村、下川井村、川井村、下白根村と合併して都岡村大字上白根となる。昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡都岡村大字上白根から上白根町となる。町は上白根町、今宿東町、白根五丁目、中白根二丁目、三丁目、緑区寺山町に接



八幡神社 (川井宿町)

する。

### 上白根町かみしらねちょう〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡都岡村大字上白根から新設した町。古くは都筑郡上白根村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、今宿村、上川井村、下川井村、川井村、下白根村と合併して都岡村大字上白根となる。町名は旧村名を採った。町は上白根一丁目、二丁目、三丁目、今宿東町、今宿西町、都岡町、川井宿町、緑区合村町、三保町に接する。南側を丸子中山茅ヶ崎線が通る。

### 川井宿町かわいしゆくちょう〔昭和四十年二月一日〕

昭和四十年の町界町名地番整理施行にともない上川井町、下川井町、川井町の各一部から新設した町。古くは都筑郡川井村といい、室町時代に多摩郡の川井村から井村新左衛門が数人の部下を連れてきて、この地を開墾し、それから地元の頭には井村、川井村という名が残り、後に川井村と

呼ばれるようになったという。明治二十二年の市町村制施行の際、今宿村、上川井村、下川井村、川井村、下白根村と合併して都岡村大字上川井、下川井、川井となる。町名は川井町の内の宿ということから名付けた。町は上白根町、都岡町、下川井町、川井本町、上川井町、緑区三保町に接する。

### 川井本町かわいほんちょう〔昭和四十年二月一日〕

昭和四十年の町界町名地番整理施行にともない上川井町、下川井町、川井町の各一部から新設した町。古くは都筑郡川井村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、今宿村、下川井村、上川井村、上白根村、下白根村と合わせて都岡村を立て、都岡村大字川井となり、昭和十四年に横浜市に編入して川井町となる。町名は川井町の中心地であったことから名付けた。町は川井宿町、下川井町、上川井町に接する。町内を国道16号が通る。

### 川島町かわしまちょう〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、都筑郡西谷村大字川島から新設した町。古くは都筑郡川島村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、上星川村と合併して西谷村大字川島となる。地名研究で「シマ」は「川沿いの耕地」を意味するという。町は西川島町を挟んで二か所に分かれ、白根一丁目、二丁目、西川島町、鶴ヶ峰一丁目、本宿町、左近山、三反田町、保土ヶ谷区新井町、上菅田町、西谷町、川島町に接する。町の南側を国道16号が通り、横浜興和台団地がある。

### 桐が作きりがさく〔昭和四十五年五月一日〕

昭和四十五年の町界町名地番整理施行にともない市沢町、

川島町の各一部から新設した町。町名は字名を採った。

『新篇武蔵風土記稿』の「市野沢村」に「小名 桐ヶ作谷」の記録がある。地名研究で「キリガサク」は「焼畑耕作をする谷間の地」を意味するという。町は左近山、南本宿町、保土ヶ谷区今井町に接する。町内を保土ヶ谷バイパスが通る。

### 左近山さこんやま〔昭和四十四年十月一日〕

昭和四十四年の町界町名地番整理施行にともない川島町、市沢町、小高町、本宿町、三反田町、南本宿町の各一部から新設した町。町名は字名を採った。昭和四十二年に日本住宅公団が左近山高層住宅建設を始め、昭和四十三年七月一日に入居した。『新篇武蔵風土記稿』の「市野沢村」に「小名 左近山」の記録がある。町は川島町、三反田町、小高町、市沢町、桐が作、本宿町、南本宿町、保土ヶ谷区今井町に接する。町内に公団左近山団地、公団左近山台二団地がある。

### 笹野台ささのたい〔昭和三十九年五月一日〕

昭和三十九年の町界町名地番整理施行にともない下川井町の一部から新設した町。古くは下川井村といい、古くは都筑郡下川井村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、今宿村、上川井村、川井村、上白根村、下白根村と合併して都岡村大字下川井となり、昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡都岡村大字下川井から下川井町となる。町名は字名「笹山」、「天野」から「笹」と「野」を採って名付けた。町は矢指町、金が谷、今宿町、東希望が丘、瀬谷区二ツ橋町、三ツ境に接する。町内に笹野台団地、露木ヶ丘団地がある。

### さちが丘おか〔昭和三十九年三月一日〕

昭和三十九年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町、小高町、万騎が原の各一部から新設した町。町名は住民投票により、幸が多いようにとの願いを込めて「さちが丘」と名付けた。町は中尾町、二俣川1丁目・2丁目、万騎が原、柏町、善部町、南希望が丘、中希望が丘、東希望が丘に接する。町内を二俣川が流れ、東海道新幹線、相模鉄道、相鉄いずみ野線が通る。

### 三反田町さんたんだちょう〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡二俣川村大字三反田から新設した町。古くは都筑郡三反田村といい、川島村から分村したという。明治二十二年の市町村制施行の際、二俣川村、小高新田、市野沢村、今井村と合併して二俣川村大字三反田となる。町名は旧村名を採った。村を開発した時、小さな村で水田がわずかに三段だったので、いつし

か「三反田」と呼ぶようになったという。町は川島町、小高町、市沢町、左近山に接する。

### 四季美台しきみだい〔昭和三十六年十一月一日〕

昭和三十六年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町、小高町の一部から新設した町。住民投票により「四季を通じて美しいように」と「四季美台」と名付けた。町は今川町、鶴ヶ峰一丁目、本宿町、本村町、中沢町に接する。町内を横浜厚木線が通り、四季美台団地がある。

### 下川井町しもかわいちょう〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡都岡村大字下川井から新設した町。古くは都筑郡下川井村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、今宿村、上川井村、川井村、上白根村、下白根村と合併して都岡村大字下川井となる。町名は旧村名を採った。町は川井本町、川井宿町、都岡町、今宿南町、金が谷、矢指町、上川井町に接する。町を丸子中山茅ヶ崎線、保土ヶ谷バイパスが通る。

### 白根一丁目〜八丁目しらね〔昭和六十二年七月二十五日〕(注)

昭和六十三年の住居表示施行にともない川島町、白根町、鶴ヶ峰二丁目、鶴ヶ峰本町、西川島町の各一部から新設した町。白根三丁目に白根不動が祀られている。町は中白根一丁目・二丁目・四丁目、上白根一丁目、今宿東町、鶴ヶ峰本町、鶴ヶ峰二丁目、西川島町、川島町、保土ヶ谷区新井町に接する。町の南側を帷子川が流れ、国道16号が通る。

### 白根町しらねちょう〔昭和十六年一月一日〕

昭和十六年に下白根町の全部から新設した町。古くは都筑郡下白根村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、



白糸の滝（白根三丁目）

今宿村、上川井村、下川井村、川井村、上白根村と合併し都岡村大字下白根となり、昭和十四年に横浜市に編入して下白根町となる。町名は旧村名を採った。町は中白根三丁目・四丁目、保土ヶ谷区上菅田町、緑区上山町、白山町に接する。

### 善部町ぜんぶちょう

〔昭和三十六年十一月一日〕

昭和三十六年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町、小高町の各一部から新設した町。古くは都筑郡二俣川村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、三反田村、小高新田、市野沢村、今井村と合併して二俣川村大字二俣川となり、昭和十四年に横浜市に編入して二俣川町となる。町名は字名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「二俣川村」に「膳部谷 村の西南より東の方へかけてかく云」の記録がある。町は南希望が丘、さちが丘、柏町、泉区池の谷、新橋町、瀬谷区阿久和町に接する。町内を東海道新幹線が通る。

### 都岡町つおかちょう

〔昭和四十年十一月二十五日〕

昭和四十年の町界町名地番整理施行にともない川井町、下川井町、今宿町の各一部から新設した町。明治二十二年の市町村制施行の際、今宿村、上川井村、下川井村、川井村、上白根村、下白根村が合併し、都筑郡の高台に位置することから「都岡」と呼ばれるようになったという。町名は旧村名を採った。村名は最初、都筑村と名付けようとしたが、都田村（現、緑区）も都筑村と名付けようとしたので、その結果「都岡」と名付けたという。町は上白根町、今宿西町、下川井町、川井宿町に接する。町の南東側を丸子中山茅ヶ崎線が通る。

#### 皇山重忠の古戦場

皇山重忠は、皇山重能の長子として武蔵の国（現埼玉県）で生まれた。源頼朝に仕えた後は、平家との戦いに参加し、また木曾義仲を破った宇治川の戦いでは先陣を勤めるなど、源氏政権に力を注いだ人物である。

元久二年（一二〇五年）六月十九日、北条時政から「鎌倉に異変あり、ただちに参上せよ」との命を受けた重忠は「すわ鎌倉」と、わずかな軍勢を率いて鎌倉へ向かったのである。

ところが、二十二日早朝、鶴ヶ峰の麓につくと先に出陣した重忠の長男重保が殺され、また、北条氏の大軍が牧ヶ原（現万騎が原）で待ち構えていると聞き「もはや引き返しても無駄」と考え、北条氏と正午頃、熱戦を繰り広げ、四十二歳の生涯を閉じた。この戦いは鶴ヶ峰から二俣川までに及ぶ広範囲のものとなった。

旭区役所周辺には皇山重忠公碑などが奉られ、六月二十二日の命日には、薬王寺（鶴ヶ峰本町）で慰霊祭が行われている。

### 鶴ヶ峰一丁目・二丁目つるがみね

〔昭和四十三年三月一日〕

昭和四十三年の町界町名地番整理施行にともない今宿町、三反田町、白根町、川島町の各一部から新設した町。古くは都筑郡今宿村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、上川井村、下川井村、川井村、上白根村、下白根村と合併して都岡村大字今宿となる。昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡都岡村大字今宿から今宿町を設ける。『新篇武蔵風土記稿』の「今宿村」に「小名 鶴ヶ峰 上に同じ邊なり、此のわりに二町ばかりの坂あり、これを鶴ヶ峰坂とよべり」の記録がある。昔、この地域に鶴が飛んできたことから「鶴ヶ峰」と呼ばれるようになったという。鶴ヶ峰は二俣川沿いの低地に山地が川ぎりぎりにせり出している交通の難所であったことが古くから記録に残されている。地名研究で「ツル」は「水流」を意味し、「ツルガミネ」は「川の流れる所にある山」を意味するという。町は白根一丁目、西川島町、川島町、本宿町、四季美台、鶴ヶ峰本町

に接する。町の東南側を東海道新幹線が通り、町の中央を相模鉄道が通り、旭区役所がある。

### 鶴ヶ峰本町つるがみねほんちょう

〔昭和四十五年十一月十日〕

昭和四十五年の町界町名地番整理施行にともない今宿町、白根町の各一部から新設した町。町名は「鶴ヶ峰」に対し「本町」という意味合いで名付けた。町は白根四丁目・五丁目、今宿東町、今川町、四季美台、鶴ヶ峰一丁目・二丁目に接する。町内を国道16号が通る。

### 中尾町なかおちょう

〔昭和三十八年二月一日〕

昭和三十八年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町、小高町の一部から新設した町。町名は字名の「仲尾」を「中尾」に変えて名付けた。『新篇武蔵風土記稿』の「小高新田」に「小名 中尾 西の方なり」の記録がある。町は中沢町、二俣川一丁目、さちが丘、東希望が丘、今宿町に接する。町内に自動車運転免許試験場がある。

### 中希望が丘なかきぼうがおか

〔昭和三十六年四月一日〕

昭和三十六年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町、小高町の各一部から新設した町。町名は住民投票により相模鉄道の駅名を採った。同時期に「東希望が丘」と「南希望が丘」を新設した。町は東希望が丘、さちが丘、南希望が丘、瀬谷区三ツ境、阿久和町に接する。町の北側を相模鉄道が通り、希望ヶ丘駅がある。

### 中沢町なかざわちょう

〔昭和三十八年二月一日〕

昭和三十八年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町の一部から新設した町。古くは都筑郡二俣川村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、三反田村、小高新田、

市野沢村、今井村と合併して二俣川村大字二俣川となり、昭和十四年に横浜市に編入して二俣川町となる。町名は字名を採った。町は今宿町、今川町、四季美台、本村町、二俣川一丁目、中尾町に接する。町内に東急二俣川ニュータウンがある。

### 中白根一丁目〜四丁目

〔平成元年八月二十一日〕(住)

平成元年の住居表示施行にともない白根町、上白根町、緑区寺山町の一部から新設した町。町名は、この付近が「中白根」と呼ばれていた経緯を踏まえ、地元要望に基づいて採用した。町は白根町、白根五丁目・六丁目・八丁目、上白根一丁目〜三丁目、保土ヶ谷区新井町、緑区寺山町に接する。町内に東急鶴ヶ峰ニュータウンがある。

### 西川島町

〔昭和四十四年十月一日〕

昭和四十四年の町界町名地番整理施行にともない川島町の一部から新設した町。古くは都筑郡川島村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、上星川村と合併して西谷村大字川島となり、昭和二年の横浜市編の際、都筑郡西谷村大字川島から川島町となる。町名は川島町の西側に位置することから「西川島」と名付けた。町は川島町、白根一丁目、鶴ヶ峰二丁目・二丁目、保土ヶ谷区川島町、西谷町に接する。

### 東希望が丘

〔昭和三十六年四月一日〕

昭和三十六年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町、小高町の各一部から新設した町。町名は住民投票により相模鉄道の駅名を採った。町は笹野台、今宿町、中尾町、さちが丘、中希望が丘、瀬谷区三ツ境に接する。南側を横浜厚木線が通る。

### 二俣川1丁目・2丁目

〔昭和三十九年三月一日〕

昭和三十九年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町、小高町から新設した町。古くは都筑郡二俣川村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、三反田村、小高新田、市野沢村、今井村と合併して二俣川村大字二俣川となり、昭和十四年に横浜市に編入して二俣川町となる。町名は旧村名を採った。隣の長津田村、川井村から沸き出して流れる二筋の小川が、川井村の東の方で一筋となることから「二俣川」と名付けたという。町は中尾町、中沢町、本村町、本宿町、南本宿町、万騎が原、さちが丘に接する。町の中央を横浜厚木線、相模鉄道が通り、二俣川駅がある。

### 本宿町

〔昭和三十七年十一月一日〕

昭和三十七年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町の一部から新設した町。町名は字名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「二俣川」に「本宿 村の東南の方なり、



サンハート (旭区民文化センター) 二俣川1丁目

この地のつゞきなる隣村を今宿と云、恐らくはこの本宿は昔の驛場などにて、今宿もとは二又川の内なりしが、一旦かの驛場を移せしことあるにや」の記録がある。町は本村町、四季美台、鶴ヶ峰一丁目、川島町、左近山、南本宿町、二俣川2丁目に接する。町を保土ヶ谷バイパス、東海道新幹線が通る。

### 本村町

〔昭和三十六年十一月一日〕

昭和三十六年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町の一部から新設した町。古くは都筑郡二俣川村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、三反田村、小高新田、市野沢村、今井村と合併して二俣川村大字二俣川となり、昭和十四年に横浜市に編入して二俣川町となる。町名は字名を採った。町は中沢町、四季美台、本宿町、二俣川一丁目・2丁目に接する。町を相模鉄道、横浜厚木線、保土ヶ谷バイパスが通り、本村インターチェンジがある。

### 万騎が原

〔昭和三十八年十一月十五日〕

昭和三十八年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町、小高町の各一部から新設した町。町名は古くからの呼び名を採った。古くは「牧ヶ原」といい、平安時代に御牧として牧場を開いていたという。元久二年(一一〇五)に畠山重忠と北条氏の軍勢がここで戦ってから「万騎が原」と呼ぶようになった。『新篇武蔵風土記稿』の「二俣川村」に「椋ヶ谷 村の中央より南のかたへかけての小名なり、字萬騎内 又まきの原とも呼べり、中央よりすこしく南によりたる所なり」の記録がある。町はさちが丘、二俣川2丁目、南本宿町、大池町、柏町に接する。

**南希望が丘** みなみきぼうがおか 〔昭和三十六年四月一日〕

昭和三十六年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町の一部から新設した町。町名は住民投票により相模鉄道の駅名を採った。町は中希望が丘、さちが丘、善部町、瀬谷区阿久和町に接する。

**南本宿町** みなみほんじゅくちょう 〔昭和三十七年十一月一日〕

昭和三十七年の町界町名地番整理施行にともない二俣川町、小高町の各一部から新設した町。町名は本宿町の南側に位置することから名付けた。町は二俣川2丁目、本宿町、左近山、桐が作、大池町、万騎が原、保土ヶ谷区今井町に接する。町の北側を保土ヶ谷バイパスが通り、南本宿インターチェンジがある。

**矢指町** やさしちよう 〔昭和四十年十一月二十五日〕

昭和四十年の町界町名地番整理施行にともない川井町、下川井町の各一部から新設した町。古くは都筑郡川井村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、今宿村、下川井村、上川井村、上白根村、下白根村と合わせて都岡村を立て、都岡村大字川井となり、昭和十四年に横浜市に編入して川井町となる。町名は字名から名付けた。『新篇武蔵風土記稿』の「川井村」に「小名 矢指谷 西南の方にあり」の記録がある。町は上川井町、下川井町、金が谷、笹野台、瀬谷区二ツ橋町、東野台に接する。町内を保土ヶ谷バイパス、丸子中山茅ヶ崎線が通り、下川井インターチェンジがある。



若葉台団地（若葉台一丁目～四丁目）

**若葉台一丁目** わかばだい 〔昭和五十四年二月二十五日〕  
△昭和五十四年三月二十六日（住）▽

**若葉台二丁目** わかばだい 〔昭和五十四年二月二十五日〕  
△昭和五十六年三月一日（住）▽

**若葉台三丁目** わかばだい 〔昭和五十四年二月二十五日〕  
△昭和五十七年七月十九日（住）▽

**若葉台四丁目** わかばだい 〔昭和五十四年二月二十五日〕  
△昭和五十八年五月一日（住）▽

昭和五十四年二月二十五日に土地区画整理事業を施行し、上川井町の一部から若葉台を新設した。町名は県公社の分譲地名から名付けた。「自然とふれあうコミュニティ都市」にふさわしい命名という。町は上川井町、緑区三保町、霧が丘六丁目、長津田町に接する。町内に県公社若葉台団地がある。

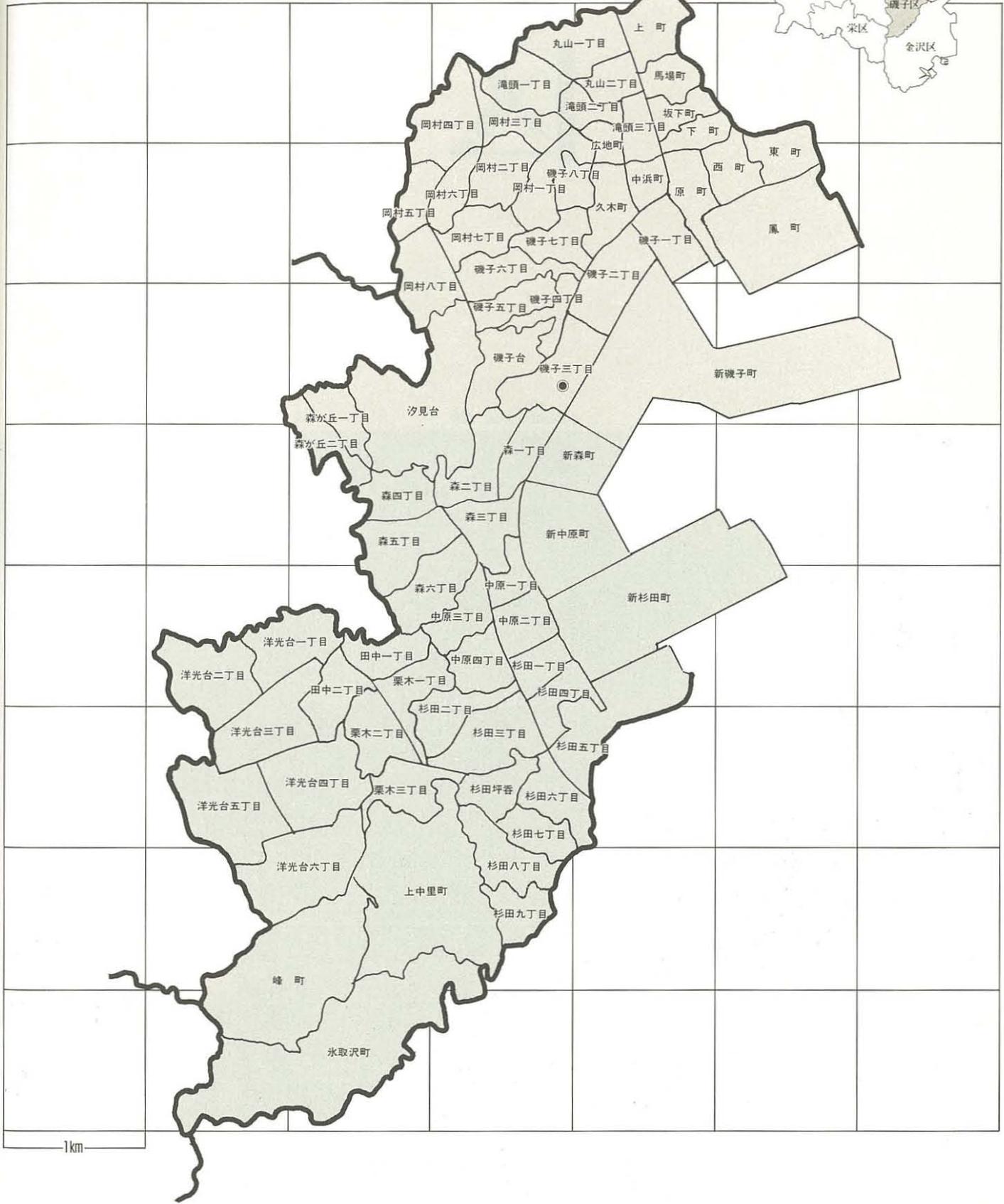


# 磯子区

浅間神社の祭礼(森二丁目)



# 磯子区



磯子区 (19.020km<sup>2</sup>)

| 町名    | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|-------|-----------------------|--------|-----------------------|----|-----------------------|
| 磯子一丁目 | 0.154                 | 原町     | 0.154                 |    |                       |
| 磯子二丁目 | 0.259                 | 東町     | 0.159                 |    |                       |
| 磯子三丁目 | 0.255                 | 久木町    | 0.145                 |    |                       |
| 磯子四丁目 | 0.089                 | 氷取沢町   | 1.153                 |    |                       |
| 磯子五丁目 | 0.132                 | 広地町    | 0.065                 |    |                       |
| 磯子六丁目 | 0.181                 | 丸山一丁目  | 0.224                 |    |                       |
| 磯子七丁目 | 0.143                 | 丸山二丁目  | 0.109                 |    |                       |
| 磯子八丁目 | 0.084                 | 峰町     | 0.807                 |    |                       |
| 磯子台   | 0.207                 | 森一丁目   | 0.145                 |    |                       |
| 鳳町    | 0.575                 | 森二丁目   | 0.216                 |    |                       |
| 岡村一丁目 | 0.190                 | 森三丁目   | 0.177                 |    |                       |
| 岡村二丁目 | 0.179                 | 森四丁目   | 0.163                 |    |                       |
| 岡村三丁目 | 0.153                 | 森五丁目   | 0.268                 |    |                       |
| 岡村四丁目 | 0.270                 | 森六丁目   | 0.239                 |    |                       |
| 岡村五丁目 | 0.123                 | 森が丘一丁目 | 0.121                 |    |                       |
| 岡村六丁目 | 0.117                 | 森が丘二丁目 | 0.153                 |    |                       |
| 岡村七丁目 | 0.170                 | 洋光台一丁目 | 0.255                 |    |                       |
| 岡村八丁目 | 0.222                 | 洋光台二丁目 | 0.319                 |    |                       |
| 上町    | 0.186                 | 洋光台三丁目 | 0.333                 |    |                       |
| 上中里町  | 0.959                 | 洋光台四丁目 | 0.349                 |    |                       |
| 栗木一丁目 | 0.159                 | 洋光台五丁目 | 0.405                 |    |                       |
| 栗木二丁目 | 0.193                 | 洋光台六丁目 | 0.431                 |    |                       |
| 栗木三丁目 | 0.169                 |        |                       |    |                       |
| 坂下町   | 0.094                 |        |                       |    |                       |
| 汐見台   | 0.704                 |        |                       |    |                       |
| 下町    | 0.094                 |        |                       |    |                       |
| 新磯子町  | 1.359                 |        |                       |    |                       |
| 新杉田町  | 1.020                 |        |                       |    |                       |
| 新中原町  | 0.437                 |        |                       |    |                       |
| 新森町   | 0.217                 |        |                       |    |                       |
| 杉田一丁目 | 0.117                 |        |                       |    |                       |
| 杉田二丁目 | 0.126                 |        |                       |    |                       |
| 杉田三丁目 | 0.315                 |        |                       |    |                       |
| 杉田四丁目 | 0.127                 |        |                       |    |                       |
| 杉田五丁目 | 0.440                 |        |                       |    |                       |
| 杉田六丁目 | 0.179                 |        |                       |    |                       |
| 杉田七丁目 | 0.145                 |        |                       |    |                       |
| 杉田八丁目 | 0.218                 |        |                       |    |                       |
| 杉田九丁目 | 0.136                 |        |                       |    |                       |
| 杉田坪呑  | 0.140                 |        |                       |    |                       |
| 滝頭一丁目 | 0.187                 |        |                       |    |                       |
| 滝頭二丁目 | 0.091                 |        |                       |    |                       |
| 滝頭三丁目 | 0.112                 |        |                       |    |                       |
| 田中一丁目 | 0.145                 |        |                       |    |                       |
| 田中二丁目 | 0.160                 |        |                       |    |                       |
| 中浜町   | 0.096                 |        |                       |    |                       |
| 中原一丁目 | 0.098                 |        |                       |    |                       |
| 中原二丁目 | 0.133                 |        |                       |    |                       |
| 中原三丁目 | 0.145                 |        |                       |    |                       |
| 中原四丁目 | 0.162                 |        |                       |    |                       |
| 西町    | 0.148                 |        |                       |    |                       |
| 馬場町   | 0.116                 |        |                       |    |                       |



## 磯子区の区名とそのあゆみ

磯子区は、横浜市の東南部に位置し、南北に細長い臨海区で海岸付近の平地と、その横に添って連なる丘陵部があり、南部に円海山を擁する峰や氷取沢の緑地がある。昭和二年十月一日に区制を施行した。区名は、この地域の中心である磯子の名を採った。明治の頃まで交通の不便な農村と漁村であったが、昭和五年に湘南電鉄（現、京浜急行）が開通し、高級住宅地、海水浴場、海苔養殖などで知られるようになった。昭和三十四年から臨海工業地帯としての埋め立てが始まり、石油精製、機械、造船、鉄鋼などの大企業が進出し、コンビナート地区が出現した。昭和三十九年に国電根岸線が開通し、汐見台、洋光台などの大団地や宅地造成が進み、京浜地帯のベッドタウンとしての性格を濃くしている。「豊かで、いきいきとした街、磯子」を目指し、区民の高齢化と定着化が進む中で、区民の連帯を基調に、地域住民の発想を大切にした個性あふれる文化の街、愛着のもてる街づくりを進めている。

磯子区の町名は、磯子のように海岸に因むもの、上中里町、田中町のように内陸部の開発や、新磯子町、新杉田町のように海岸の埋め立てに因む町名が多い。また、栗木、滝頭のように江戸時代の村名を受け継いでいる町名も多い。



円海山（峰町外）

磯子一丁目〜三丁目〔昭和四十年一月一日〕(注)  
磯子四丁目〜八丁目〔昭和五十八年八月八日〕(注)

昭和四十年と昭和五十八年の住居表示施行にともない磯子町を中心として、滝頭町、原町、森町の一部から新設した町。古くは久良岐郡禪馬村といい、後に岡村、滝頭村、磯子村に分村し、明治二十二年の市町村制施行の際、森村、森中原村、杉田村と合併して屏風浦村大字磯子となり、明治四十四年に横浜市に編入して磯子町となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「イソゴ」は「イサゴ」で「砂」を意味するという。町は原町、新磯子町、森一丁目・二丁目、磯子台、汐見台、岡村一丁目・七丁目・八丁目、久木町、中浜町に接する。町内を横須賀街道、根岸線が通り、磯子区役所、磯子警察署がある。

磯子台〔昭和五十八年八月八日〕(注)

昭和五十八年の住居表示施行にともない磯子町、磯子三丁目、森二丁目の各一部から新設した町。町名は地元の要望と地形から「磯子台」を採った。町は磯子三丁目〜五丁目、汐見台、森二丁目に接する。

鳳町〔昭和十五年四月一日〕  
〔昭和四十年七月一日〕(注)▽

昭和十五年の町界町名地番整理施行にともない芝生町、原町の各一部から新設した町。大きく羽ばたくようにとの願いを込めて、縁起の良い好字を選んだ。町は東町、西町、原町、中区千鳥町に接する。町内に日本石油精製根岸製油所がある。

岡村一丁目〜八丁目〔昭和五十一年七月二十六日〕(注)

昭和五十一年の住居表示施行にともない磯子町、岡村町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡禪馬村といい、後に岡村、滝頭村、磯子村に分村し、明治二十二年の市町村制施行の際、森村、森中原村、杉田村と合併して屏風浦村大字岡となり、明治四十四年に横浜市に編入して岡村町となる。町名は旧村名を採った。村名の起りは、土地が高くなって岡になっていることによるといふ。柳田國男は『地名の研究』の「地名考説」に分村地名の附け方として『伊豆志』を引用して「岡方・浜方 およそ海辺の村落にして土地の高低あれば高き所を丘といひ、海傍を浜といふ」と述べている。地名研究で、磯子村が浜村と呼ばれていたこともあるというから、柳田國男のいう「岡方・浜方」という分村の地名の付け方を、磯子村と岡村との組み合わせにも見られるという。町は滝頭一丁目・二丁目、広地町、磯子六丁目・七丁目・八丁目、汐見台、南区蒔田町、大岡一丁目・三丁目・四丁目、港南区上大岡東三丁目に接する。町内に岡村天満宮、三殿台遺跡がある。

上町〔昭和四十年七月一日〕(注)

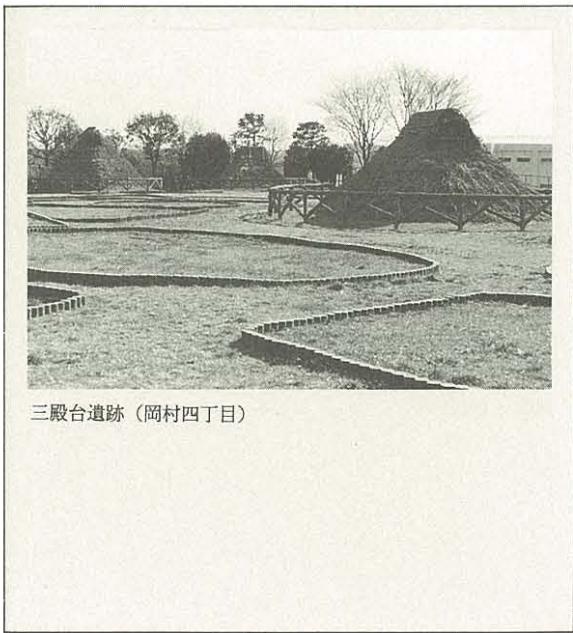
昭和四十年の住居表示施行にともない西根岸上町の全部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となり、昭和二年の町界町名地番整理施行にともない根岸町字芝生、西芝生、下、坂下、馬場、上の区域を西根岸町とし、昭和八年の町界町名地番整理施行にともない西根岸町字上から西根岸上町を設けた。町名は字名「上」を採った。町は馬場町、丸山一丁目・二丁目、中区塚越、大平町、南区山谷、中村町に接する。

上中里町〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、久良岐郡日下村大字上中里から新設した町。古くは久良岐郡中里村といったが、久良岐郡の中に同村名があるので、笹下中里と呼んで区別した。明治七、八年頃に上中里村と改める。明治二十二年の市町村制施行の際、笹下村、日野村、矢部野村、田中村、栗木村、峯村、氷取沢村と合併して日下村大字上中里となる。町は杉田三丁目・八丁目・九丁目、杉田坪呑、氷取沢町、峰町、洋光台六丁目、栗木三丁目、金沢区富岡西四丁目、能見台一丁目に接する。町内を笹下川が流れ、磯子カンツリークラブがある

栗木一丁目〜三丁目〔昭和五十八年八月八日〕(注)

昭和五十八年の住居表示施行にともない上中里町、栗木町、田中町の一部から新設した町。古くは久良岐郡栗木村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、笹下村、日野



三殿台遺跡 (岡村四丁目)

村、矢部野村、田中村、上中里村、峯村、氷取沢村と合併し日下村大字栗木となり、昭和二年に横浜市に編入して栗木町となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「クリ」は「クラ」の転じたものという説があり、久良岐郡の「クラキ」との関係が考えられるという。町は中原三丁目・四丁目、杉田二丁目・三丁目、上中里町、洋光台四丁目・六丁目、田中一丁目・二丁目に接する。町内を根岸線が通る。

坂下町〔昭和四十年七月一日〕(注)

昭和四十年の住居表示施行にともない西根岸坂下町の全部、原町の一部から新設した町。古くは久良岐郡坂下村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となり、昭和二年の町界町名地番整理施行にともない根岸町字芝生、西芝生、下、坂下、馬場、上の区域を西根岸町とし、昭和八年の町界町名地番整理施行にともない西根岸町字坂下から西根岸坂下町を設ける。町は下町、馬場町、滝頭三丁目、中区寺久保に接する。

汐見台〔昭和三十八年六月二十六日〕

昭和三十八年の土地区画整理事業の施行にともない磯子町、森町、南区上大岡町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡森公田村、森雑色村といったが、明治八年に合併して森村と改称し、明治二十二年の市町村制施行の際、磯子村、滝頭村、岡村、森中原村、杉田村と合併して屏風浦村大字森となり、昭和二年に横浜市に編入して森町となる。町名は神奈川県住宅供給公社が住宅団地として開発したもので、その団地名を採った。団地名は、ここから海を見渡せることから名付けたという。町は磯子五丁目、磯子台、森二丁目・四丁目、森が丘一丁目、岡村八丁目、港南区上大岡東二丁目・三丁目に接する。

下町しもちょう〔昭和四十年七月一日〕(注)

昭和四十年の住居表示施行にともない西根岸下町、中根岸町、原町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となり、昭和二年の町界町名地番整理施行にともない根岸町字芝生、西芝生、下、坂下、馬場、上の区域を西根岸町とし、昭和八年の町界町名地番整理施行にともない西根岸町字下から西根岸下町を設けた。町名は字名「下」を採った。町は西町、原町、坂下町、滝頭三丁目、中区寺久保に接する。

新磯子町しんいそごちょう〔昭和三十八年二月一日〕

昭和三十八年の磯子町地先の埋め立てにともない新設した町。町名は磯子町の海側に隣接することから「新磯子町」と名付けた。同時期に、山側の町名に「新」を付けた「新森町」、「新中原町」、「新杉田町」を新設している。町は磯子一丁目〜三丁目、新森町に接する。町内にいそご海釣り場がある。

新杉田町しんすぎたちょう〔昭和三十九年三月二十四日〕

昭和三十九年の杉田町・中原町地先の埋め立てにともない新設した町。町名は杉田町の海側に隣接することから「新杉田」と名付けた。町は新中原町、中原一丁目・二丁目、杉田一丁目・四丁目・五丁目に接する。町の東側を根岸線・金沢シーサイドラインが通り、新杉田駅がある。

新中原町しんなかはらちょう〔昭和三十九年三月二十四日〕

昭和三十九年の森町・中原町地先の埋め立てにともない新設した町。町名は中原町の海側に隣接することから「新中原」と名付けた。町は新森町、新杉田町、森三丁目、中

杉田の梅林

杉田鎮主間宮信繁が奨励した杉田の梅林は、今から四百年ほど前に作られたものである。

地質が悪く穀物作りに適さなかったこの地でも、梅の実の生産は向上し、暮末には根岸から富岡まで梅林が広がっていた。二月に梅が満開になると、甘酸っぱい香りが遠く観音崎の沖合まで漂っていたといふ。

観梅の中心として知られた妙法寺(杉田五丁目)は、江戸時代、佐藤一斎の「杉田観梅記」や清水浜臣の「杉田日記」で紹介されると、屏風浦の景観とともに多くの人が訪れる観光地となった。寺の境内には、照水梅・双龍梅などと命名された立派な梅があり、観梅客をもてなす茶屋が数多く見られた。

今でも花開く頃の境内には紅白の梅が所狭しと咲き競っている。また、妙法寺から青戸坂を上った高台には、梅林小学校と名付けられた、いかにも観梅の里にふさわしい名前小学校もある。

原一丁目に接する。町の北側に大岡川分水路があり、石川島播磨重工業がある。

新森町しんもりちょう〔昭和三十八年二月一日〕

昭和三十八年の森町地先の埋め立てにともない新設した町。町名は森町の海側に隣接することから「新森町」と名付けた。町は新磯子町、新中原町、森一丁目に接する。町内に日清製油磯子工場がある。

杉田一丁目〜五丁目すぎた〔昭和五十三年七月十七日〕(注)

杉田六丁目〜九丁目すぎた〔昭和五十四年七月二十三日〕(注)

昭和五十三年と昭和五十四年の住居表示施行にともない杉田町、栗木町、中原町、上中里町、金沢区富岡町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡杉田村といい、明治十二年の市町村制施行の際、磯子村、滝頭村、岡村、森村、森中原村と合併して屏風浦村大字杉田となり、昭和二年に横浜市に編入して杉田町となる。『新篇武蔵風土記稿』の

「杉田村」の項に「正保・元禄二図には寺家村てらやまと記す。杉田は古名にして、妙法寺大寺なりし故、中頃寺家と号し、今又古名に復せり。彼寺縁起に、古此地杉多し。故に杉田の名起れり」の記録がある。また、東漸寺の大杉から「杉田」と呼ばれるようになったともいふ。地名研究で「スギ」は「砂磧地されきち」を意味するという。町は新杉田町、中原二丁目・四丁目、栗木一丁目・三丁目、杉田坪呑、上中里町、金沢区昭和町、富岡東一丁目、富岡西一丁目・四丁目に接する。町内を根岸線、京浜急行本線が通り、京急杉田駅がある。

杉田坪呑すぎたつほのみ〔昭和六十三年十一月二十一日〕(注)

昭和六十三年の住居表示施行にともない杉田町、杉田三丁目的一部から新設した町。町名は、この町の大部分を占める字「坪呑」と旧町名の「杉田」を合成した。『磯子の史話』に「この坪呑の〈坪〉は、大化の改新の詔みことりに示され、大宝律令(七〇一)で完成した〈班田收受の法〉による条里制の地割の一つであります。条里制というのは、農地を基盤こてんの目のように規則正しく区切った地割制度で、口分田の班給を容易にするために行われたものです。(中略)条里制は機械的な地割ですから、ある地区の中に池が含まれたり、小さな小山があったりします。杉田村は、古くから水に恵まれない土地でしたから、溜池が必要だったのでしょう。坪付けにあたって、ある坪がほとんど池で占められていたので、坪を呑んでしまうということから、坪呑という地名が生まれたのではないかと考えられます。」と記述されている。かつて、この地には字名の由来どおり「坪呑池」と称する溜め池があったが、現在は住宅都市整備公団の公団杉田台団地となっている。町は杉田三丁目・六丁目〜八丁目、上中里町に接する。

滝頭一丁目・三丁目〔昭和四十年一月一日〕(注)

昭和四十年の住居表示施行にともない滝頭町、丸山町、岡村町、磯子町、西根岸坂下町、西根岸馬場町、原町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡禰馬村といい、後に岡村、滝頭村、磯子村に分村し、明治二十二年の市町村制施行の際、森村、森中原村、杉田村と合併して屏風浦大字滝頭となり、明治四十四年に横浜市に編入して滝頭町となる。町名は旧村名を採った。昔、村の中に「滝頭塚」という塚があって、それから村名が起ったという。『新篇武蔵風土記稿』の「滝頭村」に「小名 滝頭塚 中程を云、爰にも小塚あり、來由詳ならず、或は村名の起りし所ならん」の記録がある。町は丸山一丁目・二丁目、馬場町、坂下町、下町、中浜町、広地町、岡村一丁目・三丁目、南区堀ノ内、蒔田町に接する。町の東側を掘割川が流れる。

田中一丁目・二丁目〔昭和五十八年八月八日〕(注)

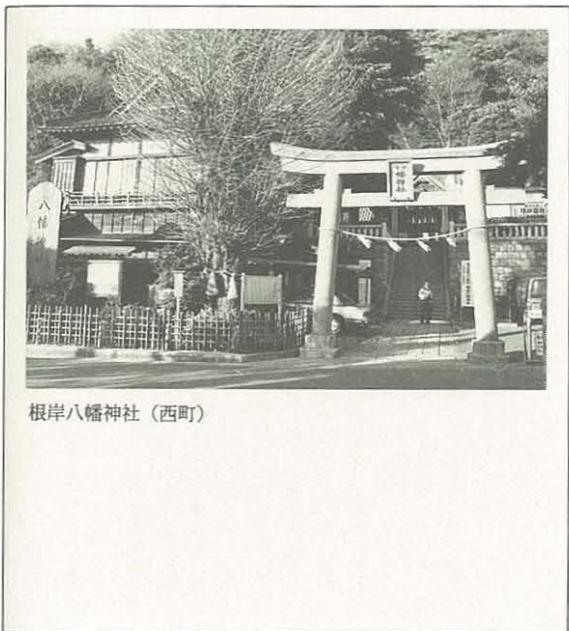
昭和五十八年の住居表示施行にともない栗木町、田中町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡田中村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、笹下村、日野村、矢部野村、上中里村、峯村、氷取沢村と合併し日下村大字田中となり、昭和二年に横浜市に編入して田中町となる。町名は薬王寺の奥の院本尊薬師如来の像が田中から出現して、田中出现朝日薬師と称したことに由来するという。『新篇武蔵風土記稿』の「田中村」に「此像永祿の頃里人宇田川氏當所字菱田と云へる水田中より掘得しものなり、像肩に其時の鍛疵ありと云」の記録がある。町は森六丁目、中原三丁目、栗木一丁目・二丁目、洋光台一丁目・三丁目・四丁目、港南笹下三丁目に接する。町の南側を根岸線が通る。

中浜町〔昭和四十年一月一日〕(注)

昭和四十年の住居表示施行にともない滝頭町、磯子町、原町の各一部から新設した町。町名は字名を採った。既に鶴見区「浜町」があるため「中浜町」とした。町は滝頭三丁目、久木町、磯子一丁目、原町に接する。町の東側を掘割川が流れる。

中原一丁目・四丁目〔昭和四十六年七月五日〕(注)

昭和四十六年の住居表示施行にともない新杉田町、中原町、森町、栗木町、田中町、杉田町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡森田村、森雑色村といったが、後に分村して森中原村となり、明治二十二年の市町村制施行の際、磯子村、滝頭村、岡村、森村、杉田村と合併して屏風浦村大字中原となり、昭和二年に横浜市に編入して中原町となる。この辺は山麓に村落が設けられ、樹木が特に繁茂していたことから森村の名が起り、この辺は三村の中央



根岸八幡神社 (西町)

なので中原と呼ばれたという。『新篇武蔵風土記稿』の「森公田村」の項に「土地の中央にして平疇なれば、中原と名づけ」の記録がある。町は新中原町、新杉田町、磯子一丁目・二丁目、栗木二丁目、田中一丁目、森三丁目・六丁目に接する。町の中央を京浜急行本線が通り、東側を国道16号、根岸線が通る。町内に熊野神社がある。

西町〔昭和四十年七月一日〕(注)

昭和四十年の住居表示施行にともない中根岸町、西根岸下町、鳳町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となり、昭和二年の町界町名地番整理施行にともない根岸町字芝生、西芝生、下、坂下、馬場、上の区域を西根岸町とする。町名は、昭和三十九年の根岸線延長にともない設置された根岸駅北口の西側に位置することから「西町」と名付けた。町は東町、鳳町、原町、下町、中区寺久保に接する。町の南側を根岸線が通る。

馬場町〔昭和四十年七月一日〕(注)

昭和四十年の住居表示施行にともない西根岸馬場町の全部から新設した町。昭和八年の町界町名地番整理施行にともない西根岸町字馬場および坂下の一部から西根岸馬場町を新設した。古くは久良岐郡根岸村といい、明治三十四年の横浜市編入の際、根岸町となり、昭和二年の町界町名地番整理施行にともない根岸町字芝生、西芝生、下、坂下、馬場、上の区域を西根岸町とする。昭和八年の町界町名地番整理の施行にともない西根岸町字馬場、坂下の一部から西根岸馬場町を設ける。町名は字名「馬場」を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「根岸村」に「小名 馬場」の記録がある。町は上町、丸山二丁目、滝頭三丁目、坂下町、

中区塚越、寺久保に接する。

原町  
〔昭和八年四月一日〕  
〔昭和四十年七月一日(注)〕

昭和八年の町界町名地番整理施行にともない滝頭町字原から新設した町。古くは久良岐郡禪馬村といい、後に岡村、滝頭村、磯子村に分村し、明治二十二年の市町村制施行の際、森村、森中原村、杉田村と合併して屏風浦村大字滝頭となり、明治四十四年に横浜市に編入して滝頭町となる。町名は旧字名を採った。町は西町、鳳町、磯子一丁目、中浜町、下町に接する。町の南側を根岸線が通る。

東町  
〔昭和四十年七月一日(注)〕

昭和四十年の住居表示施行にともない中根岸町の一部から新設した町。昭和八年の町界町名地番整理の施行にともない西根岸町、滝頭町の各一部を芝生町とし、昭和十五年の町界町名地番整理の施行にともない芝生町の一部から中根岸町を設ける。町名は、昭和三十九年の根岸線延長にともない設置された根岸駅北口の東側に位置することから「東町」と名付けた。町は鳳町、西町、中区根岸町、根岸旭台に接する。町の南側を根岸線が通り、根岸駅がある。

久木町  
〔昭和四十年一月一日(注)〕

昭和四十年の住居表示施行にともなって磯子町、滝頭町の各一部から新設した町。町名は、最初、この区域の名称であった「禪馬」が候補にあがったが、分かりやすく、読みやすい町名をという要望により、旧郡名「久良岐」の文字を変えて「久木」とした。町は中浜町、磯子一丁目・二丁目・七丁目・八丁目、広地町に接する。

### 円海山

円海山は磯子区の南側(峰町)に位置し、市内で三番目に高い山である。昔から眺めの良い山として知られているが、山頂からの眺望は根岸湾・ベイブリッジをはじめ、洋光台・港南台の住宅群や、遠く丹沢山・富士山・房総半島までが見渡せることで有名である。頂上からクルマ坂を下っていくと護念寺があるが、その境内には竹林で有名な鎌倉の報国寺にも劣らないといわれる見事な竹林が繁っている。

護念寺のあるこの山は、かつて長野山と呼ばれていたが、二百年ほど前のこと、鎌倉の光明寺の住職浄誉が四方を海原の山のように感じたことから円海山と名付けられたという。横浜で高い山ベスト3。

- 1位 大丸山(金沢区) 一五六・八四メートル
- 2位 大平山(栄区) 一五六・七〇メートル
- 3位 円海山(磯子区) 一五三・二四メートル

氷取沢町  
〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、久良岐郡日下村大字氷取沢から新設した町。古くは久良岐郡氷取沢村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、笹下村、日野村、矢部野村、田中村、栗木村、上中里村、峯村と合併して日下村大字氷取沢となる。『新篇武蔵風土記稿』の「氷取沢村」の項に「往古、其山麓に傍ひ長き澤ありし。後、長澤村と唱えし」と云。村内法勝寺僧の話に、後醍醐帝の御宇、某年六月、高倉明神社の深山より氷を取りて北条高時に獻せしかば、高時、賞美の餘、今の名に改めし由を傳う」の記録がある。『吾妻鏡』の建暦三年九月二十二日の条に「火取澤」の記録がある。町は上中里町、峰町、金沢区能見台一丁目・二丁目、釜利谷町、栄区上郷町、庄戸二丁目に接する。町内に氷取沢市民の森がある。

広地町  
〔昭和四十年一月一日(注)〕

昭和四十年の住居表示施行にともない滝頭町、岡村町、磯子町の各一部から新設した町。明治二十二年の市町村制施行の際、磯子村、滝頭村、岡村、森村、杉田村と合併して屏風浦村の内であった。町は滝頭二丁目・三丁目、久木町、岡村一丁目に接する。

丸山一丁目・二丁目  
〔昭和四十年二月一日(注)〕

昭和四十年の住居表示施行にともない丸山町、滝頭町、西根岸上町、西根岸馬場町の各一部から新設した町。昭和二年十月一日の町界町名地番整理施行にともない堀ノ内町字谷台、堂免、中山、丸山、餓鬼ヶ谷、テロフ、荒畑、柿ヶ谷、富士塚および根岸町字分田、広地の区域から丸山町を新設した。町名は字名「丸山」を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「堀之内村」に「小名 丸山」の記録がある。町は上町、馬場町、滝頭一丁目・三丁目、南区堀ノ内町に接する。町の東側を堀割川が流れる。

峰町  
〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、久良岐郡日下村大字峯から新設した町。古くは久良岐郡峯村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、笹下村、日野村、矢部野村、田中村、栗木村、上中里村、氷取沢村と合併して日下村大字峯となる。『新篇武蔵風土記稿』の「峯村」の項に「此邊山多しといえども、就中、當所は高峯突兀たり。故に此村名を得るとなり」の記録がある。町は洋光台六丁目、上中里町、氷取沢町、港南区港南台八丁目、栄区上郷町に接する。町内を横浜横須賀道路が通る。

森一丁目〜六丁目〔昭和四十六年七月五日〕(併)

昭和四十六年の住居表示施行にともない森町、中原町、田中町、港南区笹下町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡森公田村、森雑色村といったが、明治八年に合併して森村と改称し、明治二十二年の市町村制施行の際、磯子村、滝頭村、岡村、森中原村、杉田村と合併して屏風浦村大字森となり、昭和二年に横浜市に編入して森町となる。町名は旧村名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「森公田村」に「此邊は山麓に村落をなし、樹木特に繁茂せるをもて起りし名なり云」の記録がある。町は新森町、新中原町、中原一丁目・三丁目、田中一丁目、磯子三丁目、磯子台、汐見台、森が丘一丁目・二丁目、港南区笹下二丁目・三丁目に接する。町の中央を京浜急行本線が通り、屏風浦駅があり、東側を根岸線が通り、磯子駅がある。

森が丘一丁目・二丁目〔昭和四十六年七月五日〕(併)

昭和四十六年の住居表示施行にともない森町の一部から新設した町。古くは久良岐郡森公田村、森雑色村といったが、明治八年に合併して森村と改称し、明治二十二年の市町村制施行の際、磯子村、滝頭村、岡村、森中原村、杉田村と合併して屏風浦村大字森となり、昭和二年に横浜市に編入して森町となる。町名は旧町名に「丘」を付けて「森が丘」と名付けた。町は汐見台、森四丁目、港南区上大岡東二丁目、上大岡西三丁目、笹下一丁目・二丁目に接する。森が丘二丁目の東側を京浜急行本線が通る。

洋光台一丁目〜六丁目〔昭和四十五年四月一日〕(併)

昭和四十五年の住居表示施行にともない笹下町、田中町、栗木町、峰町、日野町の各一部と矢部野町の全部から新設

した町。昭和四十一年に日本住宅公団が区画整理の事業名として「洋光台」を採用していたことから、公団と横浜市との協議で、これを町名とした。「海から昇る朝日が大変美しく見えること」に因むという。町は田中一丁目・二丁目、栗木二丁目・三丁目、上中里町、峰町、港南区笹下三丁目・四丁目・六丁目、日野町、港南台七丁目・八丁目に接する。町内を根岸線が通り、洋光台駅がある。町内に洋光台駅前公園、横浜こども科学館がある。



洋光台団地（洋光台五丁目外）

Y O K O H A M A

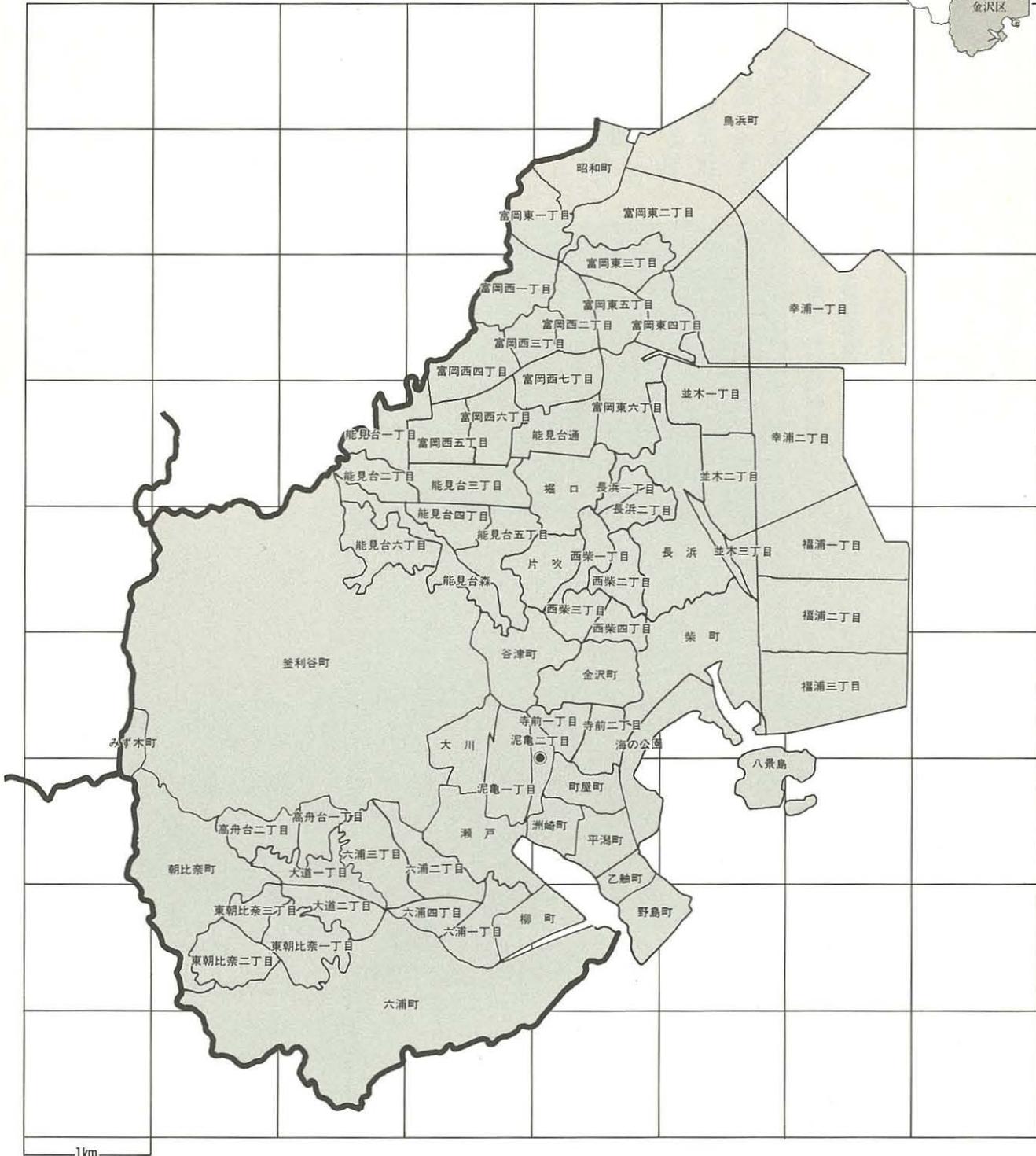
# 金沢区

平瀬湾を走る金沢シーサイドライン





# 金沢区



金沢区 (30.522km<sup>2</sup>)

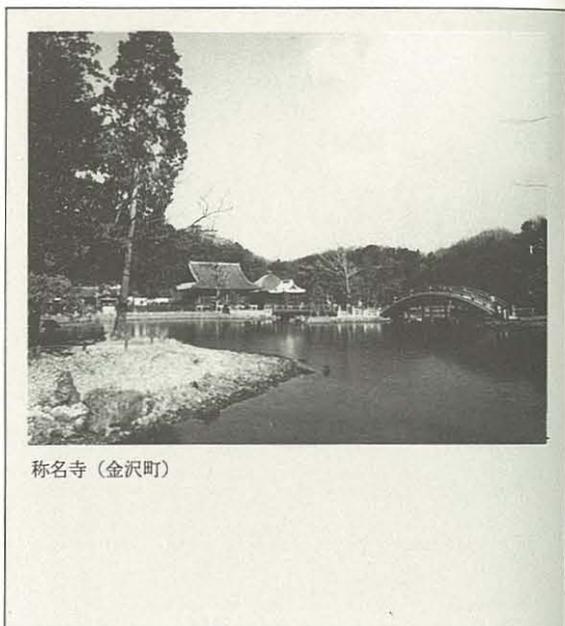
| 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名      | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|--------|-----------------------|---------|-----------------------|----|-----------------------|
| 朝比奈町   | 0.950                 | 能見台森    | 0.237                 |    |                       |
| 海の公園   | 0.342                 | 野島町     | 0.226                 |    |                       |
| 大川     | 0.251                 | 八景島     | 0.244                 |    |                       |
| 乙舳町    | 0.094                 | 東朝比奈一丁目 | 0.291                 |    |                       |
| 片吹     | 0.248                 | 東朝比奈二丁目 | 0.232                 |    |                       |
| 金沢町    | 0.354                 | 東朝比奈三丁目 | 0.121                 |    |                       |
| 釜利谷町   | 5.742                 | 平潟町     | 0.188                 |    |                       |
| 幸浦一丁目  | 1.240                 | 福浦一丁目   | 0.615                 |    |                       |
| 幸浦二丁目  | 0.807                 | 福浦二丁目   | 0.703                 |    |                       |
| 柴町     | 0.766                 | 福浦三丁目   | 0.657                 |    |                       |
| 昭和町    | 0.288                 | 堀口      | 0.389                 |    |                       |
| 洲崎町    | 0.146                 | 町屋町     | 0.192                 |    |                       |
| 瀬戸     | 0.411                 | みず木町    | 0.095                 |    |                       |
| 大道一丁目  | 0.223                 | 六浦一丁目   | 0.205                 |    |                       |
| 大道二丁目  | 0.207                 | 六浦二丁目   | 0.241                 |    |                       |
| 高舟台一丁目 | 0.136                 | 六浦三丁目   | 0.298                 |    |                       |
| 高舟台二丁目 | 0.197                 | 六浦四丁目   | 0.154                 |    |                       |
| 泥亀一丁目  | 0.296                 | 六浦町     | 2.448                 |    |                       |
| 泥亀二丁目  | 0.098                 | 谷津町     | 0.379                 |    |                       |
| 寺前一丁目  | 0.124                 | 柳町      | 0.233                 |    |                       |
| 寺前二丁目  | 0.190                 |         |                       |    |                       |
| 富岡西一丁目 | 0.297                 |         |                       |    |                       |
| 富岡西二丁目 | 0.195                 |         |                       |    |                       |
| 富岡西三丁目 | 0.141                 |         |                       |    |                       |
| 富岡西四丁目 | 0.308                 |         |                       |    |                       |
| 富岡西五丁目 | 0.217                 |         |                       |    |                       |
| 富岡西六丁目 | 0.204                 |         |                       |    |                       |
| 富岡西七丁目 | 0.271                 |         |                       |    |                       |
| 富岡東一丁目 | 0.261                 |         |                       |    |                       |
| 富岡東二丁目 | 0.563                 |         |                       |    |                       |
| 富岡東三丁目 | 0.237                 |         |                       |    |                       |
| 富岡東四丁目 | 0.198                 |         |                       |    |                       |
| 富岡東五丁目 | 0.199                 |         |                       |    |                       |
| 富岡東六丁目 | 0.370                 |         |                       |    |                       |
| 鳥浜町    | 1.264                 |         |                       |    |                       |
| 長浜     | 0.831                 |         |                       |    |                       |
| 長浜一丁目  | 0.086                 |         |                       |    |                       |
| 長浜二丁目  | 0.149                 |         |                       |    |                       |
| 並木一丁目  | 0.493                 |         |                       |    |                       |
| 並木二丁目  | 0.341                 |         |                       |    |                       |
| 並木三丁目  | 0.385                 |         |                       |    |                       |
| 西柴一丁目  | 0.142                 |         |                       |    |                       |
| 西柴二丁目  | 0.157                 |         |                       |    |                       |
| 西柴三丁目  | 0.134                 |         |                       |    |                       |
| 西柴四丁目  | 0.119                 |         |                       |    |                       |
| 能見台一丁目 | 0.236                 |         |                       |    |                       |
| 能見台二丁目 | 0.152                 |         |                       |    |                       |
| 能見台三丁目 | 0.299                 |         |                       |    |                       |
| 能見台四丁目 | 0.162                 |         |                       |    |                       |
| 能見台五丁目 | 0.308                 |         |                       |    |                       |
| 能見台六丁目 | 0.300                 |         |                       |    |                       |
| 能見台通   | 0.245                 |         |                       |    |                       |



## 金沢区の区名とそのあゆみ

金沢区は、昭和二十三年五月十五日に磯子区の一部から新設した。区名は、この地域の古くからの名称である金沢を採った。横浜市の南端に位置し、東は東京湾に面し、南は横須賀市、逗子市、鎌倉市と接する。区の大部分は起伏の激しい丘陵となつてゐる。臨海部の埋立地は整然と区画された工業団地と住宅団地に区分されている。鎌倉時代に鎌倉への陸海の交通の要地となり、明治から昭和初期まで、風光明媚な金沢八景は別荘地となつた。昭和五年に湘南電鉄（現、京浜急行）が開通し、戦後は関東学院大学や横浜国立大学が設置され、また、海沿いに工場が拡大していった。昭和六十一年に金沢地先埋立事業が竣工し、平成元年七月に金沢シーサイドラインが完成した。快適で活力ある街、金沢の実現を目指し、海・山などの自然環境や名所・旧跡などの歴史的・文化的遺産を生かした街づくりを進めている。

金沢区内の町名は、金沢町、六浦町、朝比奈町のように鎌倉に近い地域性から歴史のある地名から付けたものが多い。開拓功労者の名を残す泥亀や、南関東に特有の地名に因む谷津町、鎌倉街道に関連した大道などの町名があり。また、海の公園、幸浦、鳥浜町のように埋め立てによってできた新しい町名がある。



称名寺（金沢町）

## 朝比奈町〔昭和十一年十月一日〕

昭和十一年の横浜市編入の際、久良岐郡六浦荘村大字峠から新設した町。古くは鎌倉郡峠村といい、明治三十年に久良岐郡六浦荘村に編入して大字峠となる。町名は町区域にあり、北条泰時により仁治二年（一二四一）に開設された朝比奈切通しに因んで名付けた。町は釜利谷町、高舟台二丁目、大道一丁目・二丁目、東朝比奈二丁目・三丁目、六浦町、鎌倉市十二所に接する。町の中央を横浜横須賀道路が通り、朝比奈インターチェンジがある。

## 海の公園〔昭和六十一年十月三十一日〕

昭和六十一年の柴町等地先埋め立てにともない新設した町。昭和五十四年に人工海浜「海の公園」として完成した埋立地で、町名は市民の間に地名として定着していた「海の公園」を採った。町は柴町、寺前二丁目、町屋町、平潟町、八景島に接する。町の西側を金沢シーサイドラインが通り、八景島駅、海の公園柴口駅、海の公園南口駅がある。

## 大川〔昭和十四年七月一日〕

昭和十四年の町界町名地番整理施行にともない金沢泥亀町の一部から新設した町。古くは久良岐郡泥亀新田といい、明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、谷津村、洲崎村、寺前村、野島村、柴村、富岡村と合併して金沢村大字泥亀となり、大正十五年一月一日に町制を施行して金沢町大字泥亀となる。昭和十一年十月一日の横浜市編入に際し、金沢町字泥亀から金沢泥亀町を新設した。町名は町の北側を流れる宮川に由来すると思われる。町は釜利谷町、谷津町、泥亀一丁目、瀬戸に接する。町内のほとんどが工場で占められている。

おつとちよう「昭和十四年七月一日」  
乙船町「昭和五十年七月二十八日(注)」

昭和十四年の町界町名地番整理施行にともない金沢洲崎町、金沢野島町から乙船町を新設した。古くは久良岐郡洲崎村の小名、野島浦といい、明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、谷津村、洲崎村、寺前村、柴村、泥亀新田、富岡村と合併して金沢村となり、大正十五年一月一日に町制を施行して金沢町となった。昭和十一年の横浜市編入に際し金沢町から金沢洲崎町と金沢野島町を設けた。昭和五十年に住居表示を施行して、乙船町を乙船町と町名変更を行った。『新篇武蔵風土記稿』には町屋村の小名「乙船」として記録され、金沢八景の内、乙船原、乙船ともいっただという。地名研究で「オツ」は追浜のオツと同じく、「大」の意味か、あるいは海岸に迫った所を意味し、「トモ」には「分村、堤」などの意味があり、野島を指すのではないかという。町は平潟町、野島町に接する。

かたぶき「昭和十四年七月一日」  
片吹「昭和六十一年七月二十一日(注)」

昭和十四年の町界町名地番整理施行にともない金沢谷津町から新設した町。古くは久良岐郡谷津村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、洲崎村、寺前村、柴村、野島村、泥亀新田、富岡村と合併して金沢村字谷津となる。大正十五年一月一日に町制を施行し、金沢町字谷津となり、昭和十一年一月一日に横浜市に編入して金沢町字谷津の大部分と字柴、寺前、町屋、洲崎の各一部から金沢谷津町を設けた。『新篇武蔵風土記稿』の「町屋村」に「小名 カタブキ 東北なり」の記録がある。町は堀口、西柴一丁目・三丁目、谷津町、能見台五丁目に接する。町

の東側を京浜急行本線が通る。

かなざわちよう  
金沢町「昭和十四年七月一日」

昭和十四年の町界町名地番整理施行にともない金沢寺前町から新設した町。古くは久良岐郡寺前村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、谷津村、洲崎村、柴村、野島村、泥亀新田、富岡村と合併して金沢村字寺前となる。大正十五年一月一日に町制を施行し、金沢町字寺前となり、昭和十一年の横浜市編入に際し、金沢町字寺前の大部分と柴、町屋の各一部から金沢寺前町を設ける。柳田國男の『地名の研究』の「地名の話」に「たとえここに有名なある一つの金沢がカナザワと唱えていると、他の金沢ではカネザワ、コガネザワ、キンザワといふべき所があっても、ことごとく皆これをカナザワと言ってしまうて、そのため本来の意味のわからなくなることがずいぶんある」と述べている。関靖氏は『かねざわ物語』で、鎌倉に幕府が開かれて、この地に秩父の金沢村から鍛冶匠が移住して

#### 金沢文庫

金沢文庫は、建治三年(一二七七年)頃、鎌倉幕府執権北条義時の孫で引寮(現在の最高裁判事にあたる)を勤めた北条実時が、晩年公職を退き六浦に別荘を建てた際に、ここからトンネルを通じて小さな丘を越えた谷地に建てた文庫が最初のものである。

別荘から少し離れた所に文庫を建てたのは、火事などの災害から大切な書物を安全に保存しておこうと考えたからである。彼はここに、今まで集めてきた図書を書き写した文献などを整理した。文庫は、当時の武士や僧侶にも幅広く利用されていたことから、公開図書館として文化・教養の普及にも寄与した。

徒然草の作者として有名な吉田兼好(兼好法師)も、京都と金沢の間をたびたび往復し、所蔵してある文献を利用していたことが、古文書により確認されている。北条氏が滅んだ後、金沢文庫の書物は称名寺に移管されたが、称名寺も北条氏の援助がなくなったので管理がいき届かなくなり、大切な書物も散逸していった。その後、昭和五年(一九三〇年)神奈川県によって称名寺境内に文庫は再建され、県立金沢文庫として、神奈川県立中央図書館・中世史博物館となり、平成二年(一九九〇年)十月には場所を移し、北条実時が晩年に建てた最初の場所に新設された。

きて、その時に地名が付いたという説を紹介している。町は西柴四丁目、柴町、寺前一丁目・二丁目、谷津町に接する。町内に称名寺、県立金沢文庫がある。

かまりやちよう  
釜利谷町「昭和十一年十月一日」

昭和十一年の横浜市編入の際、久良岐郡六浦荘村大字釜利谷から新設した町。古くは釜利谷郷宿村、坂本村、赤井村といい、後、三村を合わせて久良岐郡釜利谷村となる。明治二十二年の市町村制施行の際、三分村、泥亀新田飛地と合併して六浦荘村大字釜利谷となり、明治三十年に鎌倉郡峠村を編入する。町は能見台二丁目、六丁目、能見台森、谷津町、大川、瀬戸、六浦二丁目・三丁目、高舟台一丁目・二丁目、朝比奈町、みず木町、磯子区氷取沢町、栄区庄戸三丁目・五丁目、上郷町、鎌倉市に接する。町の西側を横浜横須賀道路が通り、金沢自然公園、金沢動物園、金沢市民の森、釜利谷市民の森がある。

さちちら  
幸浦一丁目・二丁目「昭和五十二年一月十日」

昭和五十二年の富岡町地先の埋め立てにともない新設した町。町名は「福浦」と対にして、将来の発展と地域の連帯を願って名付けた。町は鳥浜町、並木一丁目・三丁目、福浦一丁目に接する。町の西側を金沢シーサイドラインが通り、鳥浜駅、並木北駅、並木中央駅、幸浦駅がある。

しばちよう  
柴町「昭和十四年七月一日」

昭和十四年の町界町名地番整理施行にともない金沢柴町、金沢寺前町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡柴町といい、明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、谷津村、洲崎村、寺前村、野島村、泥亀新田、富岡村と合併して金沢村大字柴となり、大正十五年一月一日に町制を施行

して金沢町大字柴となる。昭和十一年十月一日の横浜市編入に際し、金沢町字柴の大部分と谷津、寺前、町屋、洲崎の各一部から金沢柴町を新設した。町名は字名の「柴」を採った。地名研究で「シバ」は「ツバ、崖」を意味するという。町は長浜、西柴四丁目、金沢町、寺前二丁目、海の公園、並木三丁目、福浦二丁目・三丁目に接する。町内に柴漁港がある。

### 昭和町 しょうわ まち

昭和四十六年の富岡町地先の埋め立てにともない新設した町。埋立地と字昭和町から設けたもので、町名は字名を採った。町は富岡東一丁目・二丁目、鳥浜町、磯子区杉田五丁目に接する。町内に県工業試験所がある。

### 洲崎町 すさきちやう

〔昭和十四年七月一日〕  
〔昭和五十一年七月二十六日〕

昭和十四年の町界町名地番整理施行にともない金沢洲崎町の一部から新設した町。古くは久良岐郡洲崎村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、谷津村、寺前村、野島村、泥亀新田、柴村、富岡村と合併して金沢村大字洲崎となり、大正十五年一月一日に町制を施行して金沢町大字洲崎となる。昭和十一年十月一日の横浜市編入に際し、金沢町字洲崎の大部分と泥亀、町屋、寺前、野島の各一部から金沢洲崎町を新設した。町名は字名の「洲崎」を採った。地名研究で「ササキ」は「砂浜の付き出した所」を意味する。町は瀬戸、泥亀二丁目、町屋町、平瀧町、平瀧湾を隔てて柳町に接する。



明治憲法草創之碑（洲崎町）

### 瀬戸 せと

〔昭和五十三年七月十七日〕

昭和五十三年の住居表示施行にともない釜利谷町、六浦町の各一部から新設した町。町名は字名を採った。地名研究で「セト」は「陸地の狭まっている所」を意味するといふ。町は泥亀二丁目、洲崎町、柳町、六浦一丁目・二丁目、釜利谷町、大川に接する。町の中央を京浜急行本線、金沢シーサイドラインが通り、金沢八景駅がある。町内に横浜市立大学、瀬戸神社がある。

### 大道一丁目・二丁目 だいどう

〔昭和五十五年七月二十八日〕

昭和五十五年の住居表示施行にともない朝比奈町、六浦町の各一部から新設した町。町名は字名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「社家分村、寺分村、平分村」に「小名大道 西の方寺分」にあり、寺前村称名寺所蔵應永永享等の文書に、六浦庄大道関事云々とあり、此當所に關を居て其關錢を以て彼寺に寄附せしなるべし」の記録がある。町

は高舟台一丁目・二丁目、六浦三丁目・四丁目、六浦町、東朝比奈一丁目・三丁目、朝比奈町に接する。

### 高舟台一丁目・二丁目 たかふねだい

〔昭和五十五年七月二十八日〕

昭和五十五年の住居表示施行にともない釜利谷町、六浦町の各一部から新設した町。町名は学校名などに使われていた「高舟台」を採った。町は釜利谷町、六浦三丁目、大道一丁目、朝比奈町に接する。

### 泥亀一丁目・二丁目 でいき

〔昭和五十年七月二十八日〕

昭和五十年の住居表示施行にともない大川、泥亀町、六浦町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡泥亀新田といい、寛文八年（一六六八）に永島段右衛門泥亀が開墾し、享保二年（一七一七）に検地を受けた。明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、谷津村、洲崎村、寺前村、野島村、柴村、富岡村と合併して金沢村大字泥亀となり、大正十五年一月一日に町制を施行して金沢町大字泥亀となる。昭和十一年十月一日の横浜市編入に際し、金沢町字泥亀から金沢泥亀町を新設した。町名は字名の「泥亀」を採った。「泥亀」は開拓者、永島段右衛門の号、「泥亀」による。町は谷津町、寺前一丁目、町屋町、洲崎町、瀬戸、大川に接する。町の北側を京浜急行本線が通り、中央を横須賀街道が通る。町内に金沢区役所がある。

### 寺前一丁目・二丁目 てらまえ

〔昭和五十一年七月二十六日〕

昭和五十一年の住居表示施行にともない寺前町、町屋町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡寺前村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、谷津村、洲崎村、野島村、泥亀新田、柴村、富岡村と合併して金沢村大

字寺前となり、大正十五年一月一日に町制を施行し金沢町大字寺前となる。昭和十一年十月一日に横浜市に編入し、金沢町字寺前の大部分と柴、町屋の各一部から金沢寺前町を新設した。昭和十四年に町界町名地番整理を施行して金沢寺前町、金沢泥亀町の各一部から寺前町を設ける。町名は字名の「寺前」を採った。「寺前」は称名寺の門前集落を意味する。町は金沢町、柴町、町屋町、泥亀一丁目・二丁目、谷津町に接する。

**富岡西一丁目〜七丁目**〔昭和五十九年十一月五日〕(注)

昭和五十九年の住居表示施行にともない富岡町、釜利谷町の一部から新設した町。古くは久良岐郡富岡村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、洲崎村、寺前村、谷津村、柴村、野島村、泥亀新田と合併して金沢村大字富岡となる。大正十五年一月一日に町制を施行し金沢町字富岡となり、昭和十一年に横浜市に編入して富岡町となる。町名は富岡町の西側の地区にあたるため、「富岡西」と名付けた。町は富岡東一丁目・三丁目・五丁目・六丁目・能見台通、能見台一丁目・三丁目、磯子区杉田六丁目〜九丁目、上中里町、氷取沢町に接する。町の東側を京急急行本線が通り、京急富岡駅がある。

**富岡東一丁目〜六丁目**

〔昭和五十八年七月十八日〕(注)

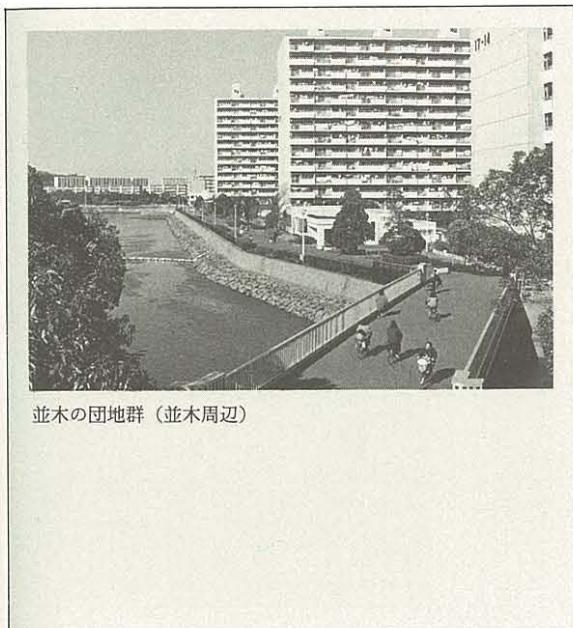
昭和五十八年の住居表示施行にともない富岡町の一部から新設した町。町名は、富岡町の東側の地区にあたるため、「富岡東」と名付けた。町は昭和町、鳥浜町、並木一丁目・二丁目、長浜、堀口、能見台通、富岡西一丁目・二丁目・七丁目、磯子区杉田五丁目に接する。町内に富岡総合公園、県立循環器呼吸器病センターがある。

**鳥浜町**〔昭和四十六年四月二十三日〕

昭和四十六年の富岡町地先の埋め立てにともない新設した町。町名は付近に鳥見塚という地名があり、その先の浜で、鳥が飛んでくる土地であることから「鳥浜町」と名付けた。町は昭和町、富岡東二丁目、幸浦一丁目、磯子区新杉田町に接する。町の南側を湾岸道路、金沢シーサイドラインが通り、南部市場駅がある。町内に中央卸売市場南部市場がある。

**長浜**〔昭和十四年七月一日〕

昭和十四年の町界町名地番整理施行にともない金沢柴町、金沢洲崎町の各一部から新設した町。町名は柴から富岡へかけて北側に伸びる浜に因んで「長浜」と名付けた。町は富岡東六丁目、並木二丁目・三丁目、柴町、西柴二丁目・四丁目、長浜一丁目・二丁目に接する。町内に米軍小柴石油ターミナルがある。



並木の団地群 (並木周辺)

**長浜一丁目・二丁目**〔昭和六十一年七月二十一日〕(注)

昭和六十一年の住居表示施行にともない長浜、西柴、堀口の各一部から新設した町。町は堀口、長浜、西柴一丁目・二丁目に接する。

**並木一丁目**〔昭和五十二年一月十日〕

△昭和五十三年七月十七日(注)▽

**並木二丁目**

〔昭和五十二年一月十日〕  
△昭和五十五年七月二十八日(注)▽

**並木三丁目**

〔昭和五十二年一月十日〕  
△昭和五十七年三月一日(注)▽

昭和五十二年の富岡町・長浜地先の埋め立てにともない新設した町。町名は、漁師が漁場の位置測定のため富岡八幡宮付近の松並木を利用していたことと、住宅内の大通りに緑豊かな並木を計画していたことから「並木」と名付けた。町は幸浦一丁目・二丁目、福浦一丁目・二丁目、長浜、富岡東二丁目・四丁目・六丁目に接する。町の東側に金沢シーサイドラインに添った金沢緑地がある。町内は金沢シーサイドタウン等の団地により占められている。

**西柴一丁目〜四丁目**〔昭和六十一年七月二十一日〕(注)

昭和六十一年の住居表示施行にともない片吹、金沢町、長浜、西柴、堀口、谷津町の各一部から新設した町。古くは久良岐郡柴村といひ、また小柴村ともいった。明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、谷津村、洲崎村、寺前村、野島村、泥亀新田、富岡村と合併して金沢村となり、大正十五年一月一日に町制を施行して金沢町と改め、昭和十一年十月一日に横浜市に編入して、金沢町字柴と谷津、寺前、町屋、洲崎の各一部から金沢柴町を設けた。昭和十四年に町界町名地番整理施行にともなって金沢柴町から

西柴を設けた。町名は柴町の西側に位置することから「西柴」と名付けた。町は堀口、長浜一丁目・二丁目、長浜、柴町、金沢町、谷津町、片吹に接する。

**能見台一丁目**〔昭和五十六年五月一日〕

**能見台二丁目・三丁目**〔昭和五十七年十二月一日〕

**能見台四丁目・六丁目**〔昭和六十年五月一日〕

昭和五十六年、昭和五十七年、昭和六十年の町界町名地番整理施行にともない片吹、釜利谷町、富岡町、堀口、谷津町、磯子区上中里町、氷取沢町の各一部から新設した町。町名は金沢八景を見晴らした「能見堂」（能見台森に遺跡が保存されている）に因んで名付けた。町は富岡西四丁目・五丁目・六丁目、堀口、片吹、谷津町、能見台森、釜利谷町、磯子区氷取沢町に接する。

**能見台通**〔昭和五十九年十一月五日〕(併)

昭和五十九年の住居表示施行にともない富岡町、堀口の各一部から新設した町。町名は、昭和五十六年に新設した隣接する能見台に対する町であることから、地元の要望により名付けた。町は富岡西六丁目・七丁目、富岡東六丁目、堀口、能見台三丁目に接する。町の東側を京浜急行本線が通り、能見台駅がある。

**能見台森**〔昭和六十年五月一日〕

昭和六十年の町界町名地番整理施行にともない片吹、釜利谷町、谷津町から新設した町。町は能見台二丁目・四丁目・六丁目、谷津町、釜利谷町に接する。

### 金沢八景

金沢が景勝地として有名になったのは、江戸時代のことであった。慶長十九年（一六一四年）には、「名所和歌物語」という書物に金沢八景の名があがっている。この書物の中では、中国の瀟湘八景の名称をそのまま採用したものであった。その後、今の金沢八景と改称された。また、中国の僧東皀心越律師による名漢詩「武州能見堂八景誌」では、往時の金沢八景について余すところなく伝えている。金沢八景の絶景も、時の移り変わりの中で姿を変えてしまい、昔そのままの景観を見ることはできなくなりました。

初代広重の「武陽金沢八景」の浮世絵は、昔の姿を今に伝えるものとして貴重なものとなっている。金沢八景とは、「小泉の夜雨」・「瀬戸の秋月」・「野島の夕照」・「内川の暮雲」・「乙船の帰帆」・「洲崎の晴嵐」・「平瀧の落雁」・「稱名の院鐘」を指している。

### 野島町

〔昭和十四年七月一日〕  
〔昭和五十年七月二十八日(併)〕

昭和十四年の町界町名地番整理施行にともない金沢野島町の一部から新設した町。古くは洲崎村の小名で、野島浦といったが、浜名主を定めて村の扱いをしていた。明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、寺前村、谷津村、洲崎村、泥亀新田、柴村、富岡村と合併して金沢村大字野島となり、大正十五年に町制を施行して金沢町大字野島となる。昭和十一年十月一日に横浜市に編入し、金沢町字野島の大部分と寺前、泥亀、町屋、洲崎の各一部から金沢野島町を新設した。町名は字名の「野島」を採った。町は乙船町、六浦町、横須賀市夏島町に接する。町内に野島公園がある。

**八景島**〔昭和六十一年十月三十一日〕

昭和六十一年の柴町等地先の埋め立てにともない新設し

た町。町名は、江戸時代から景勝の地として著名な「金沢八景」の一角に位置することと、近くに架かる「金沢八景大橋」に因み「八景島」と名付けた。町は海の公園、福浦三丁目に接する。

**東朝比奈一丁目・三丁目**

〔昭和五十五年七月二十八日(併)〕

昭和五十五年の住居表示施行にともない朝比奈町、六浦町の各一部から新設した町。町名は朝比奈町の東側に位置することから名付けた。町は朝比奈町、大道二丁目、六浦町に接する。町内を横浜横須賀道路が通る。

**平瀧町**

〔昭和十四年七月一日〕  
〔昭和五十年七月二十八日(併)〕

昭和十四年の町界町名地番整理施行にともない金沢洲崎町の一部から新設した町。古くは久良岐郡洲崎村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、谷津村、寺前村、野島村、泥亀新田、柴村、富岡村と合併して金沢村大字洲崎となり、大正十五年一月一日に町制を施行して金沢町大字洲崎となる。昭和十一年十月一日の横浜市編入に際し、金沢町字洲崎の大部分と泥亀、町屋、寺前、野島の各一部から金沢洲崎町を設けた。町は洲崎町、町屋町、海の公園、乙船町、平瀧湾を隔てて柳町に接する。

**福浦一丁目・三丁目**〔昭和五十五年十二月一日〕

昭和五十五年の柴町等地先埋め立てにともない新設した町。町名は「幸浦」と対して、幸福になるよう願って名付けた。町は並木三丁目、柴町、八景島に接する。町内に横浜市大医学部、横浜ヘリポート、金沢産業振興センター、プラスチック団地、メッキ工業団地、化学工業団地、横浜

金属団地。横浜印刷紙器団地、電気精機工業団地がある。

堀口ほりぐち〔昭和十四年七月一日〕

昭和十四年の町界町名地番整理施行にともなうて金沢谷津町から新設した町。古くは久良岐郡谷津村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、洲崎村、寺前村、柴村、野島村、泥亀新田、富岡村と合併して金沢村字谷津となる。大正十五年一月一日に町制を施行し、金沢町字谷津となり、昭和十一年一月一日に横浜市に編入して金沢町字谷津の大部分と字柴、寺前、町屋、洲崎の各一部から金沢谷津町を設けた。町は能見台通、富岡東六丁目、長浜、長浜一丁目、西柴一丁目、片吹、能見台三丁目・五丁目、富岡西六丁目に接する。

町屋町まちやちよう〔昭和十四年七月一日〕  
△昭和五十一年七月二十六日(併)▽

昭和十四年の町界町名地番整理施行にともない金沢町屋町の全部、金沢寺前町の一部から新設した町。古くは久良岐郡町屋村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺前村、谷津村、洲崎村、野島村、泥亀新田、柴村、富岡村と合併して金沢村大字町屋となり、大正十五年に町制を施行して金沢町大字町屋となる。昭和十一年十月一日に横浜市中に編入し、金沢町字町屋と寺前、洲崎の各一部から金沢町屋町を新設した。町名は字名の「町屋」を採った。町は寺前一丁目・二丁目、海の公園、平潟町、洲崎町、泥亀二丁目に接する。

みず木町みづき〔平成三年一月二十一日〕

平成三年に金沢谷町の一部分から新設した町。町名は斎場地域および周辺に自生する「水木」を参考にすると共に、

緑豊かな町づくりを目的として命名した。町は金沢谷町、朝比奈町、栄区上郷町、鎌倉市に接する。

六浦一丁目〱四丁目〔昭和五十三年七月十七日〕(併)

昭和五十三年の住居表示施行にともない六浦町、金沢谷町の一部から新設した町。町は金沢谷町、瀬戸、柳町、六浦町、大道一丁目、二丁目、高舟台一丁目に接する。町の東側を京浜急行本線が通る。

六浦町むつらちよう〔昭和十一年十月一日〕

昭和十一年の横浜市編入の際、久良岐郡六浦荘村大字三分村から新設した町。古くは久良岐郡三分村といい、六浦庄ともいった。「三分」は所領を区分し、寺分村(大道の常福寺領)、社家分村(瀬戸明神社領)、平分村と三村に分けたものであり、「六浦」は金沢郷と金沢谷郷の総称である。明治二十二年の市町村制施行の際、金沢谷村、泥亀新田飛地と合併して六浦荘村大字三分となる。町は朝比奈町、

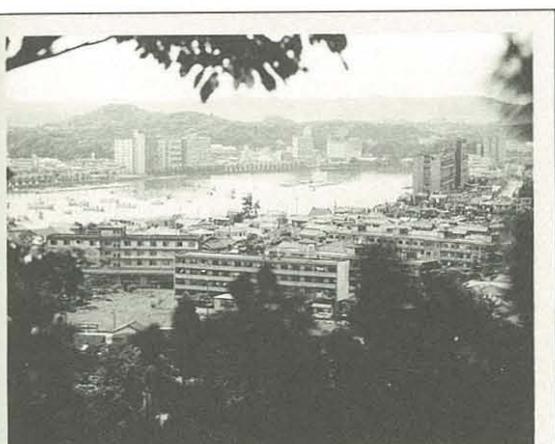
東朝比奈一丁目・二丁目、大道二丁目、六浦一丁目・三丁目、柳町、野島町、横須賀市追浜本町一丁目・二丁目、鷹取町一丁目・二丁目、湘南鷹取五丁目・六丁目、逗子市池子四丁目、池子、鎌倉市十二所に接する。町を京浜急行本線、京浜急行逗子線が通り、六浦駅がある。町内に関東学院大学がある。

谷津町やつちよう〔昭和十四年七月一日〕

昭和十四年の町界町名地番整理施行にともない金沢谷津町の一部から新設した町。古くは久良岐郡谷津村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、町屋村、洲崎村、寺前村、柴村、野島村、泥亀新田、富岡村と合併して金沢村字谷津となる。大正十五年一月一日に町制を施行し、金沢町字谷津となり、昭和十一年一月一日に横浜市に編入して金沢町字谷津の大部分と字柴、寺前、町屋、洲崎の各一部から金沢谷津町を設けた。町名は字名を採った。「ヤツ」は「ヤト」と同義で、谷戸の意味という。町は片吹、西柴三丁目、金沢町、寺前一丁目、泥亀一丁目、大川、金沢谷町に接する。町の中央を横須賀街道、京浜急行本線が通り、金沢文庫駅がある。

柳町やなぎちよう〔昭和四十一年三月三十一日〕

昭和四十一年の六浦町地先の埋め立てにともない新設した町。町名は造成地に植えた柳の木に因んで名付けた。町は瀬戸、六浦一丁目、六浦町、平潟湾を隔てて平潟町、乙船町に接する。



平潟湾 (野島より平潟湾をのぞむ)

Y O K O H A M A

# 港北区

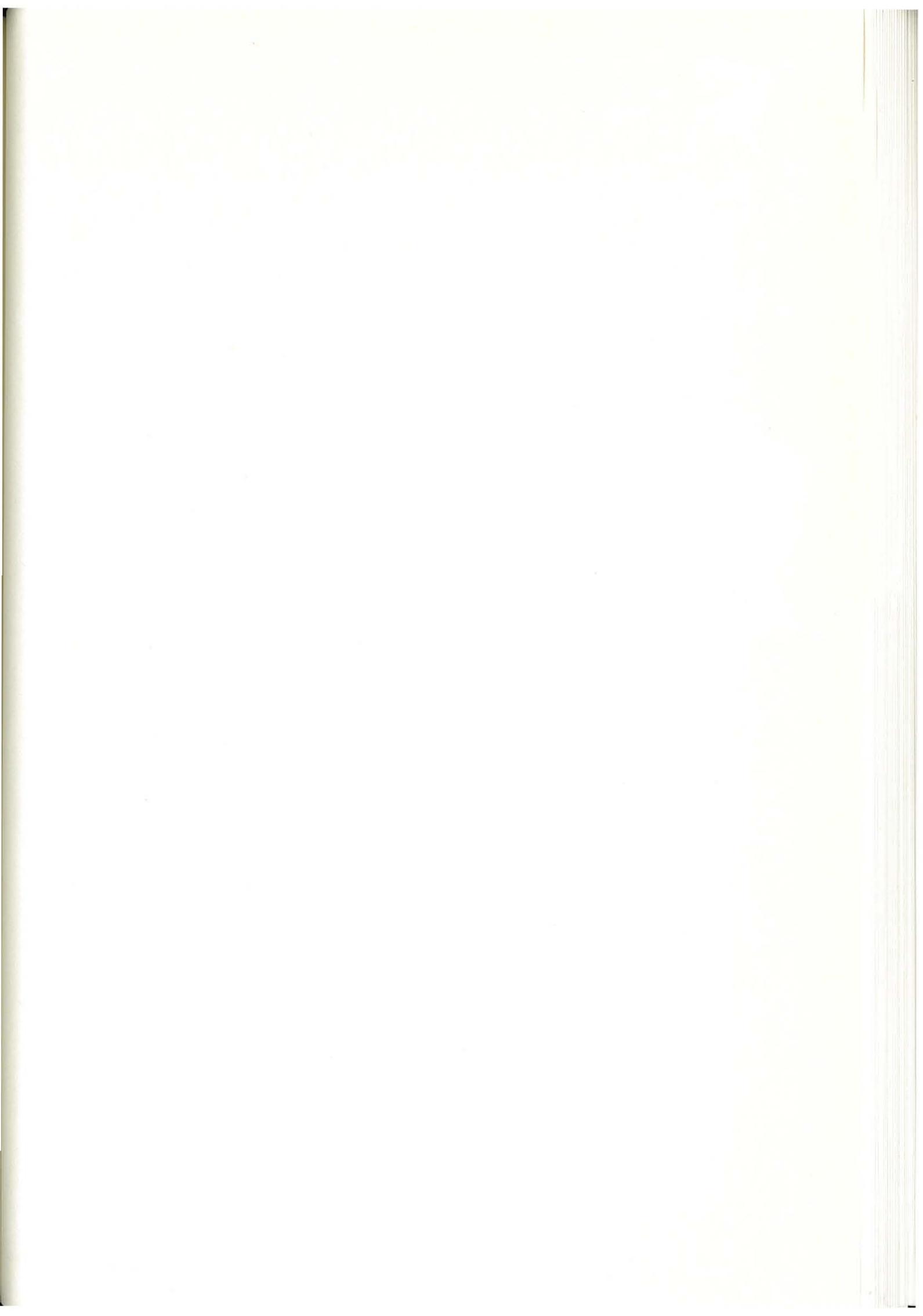
新横浜駅周辺(新横浜二丁目)





港北区 (43.794km<sup>2</sup>)

| 町名      | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名      | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|---------|-----------------------|---------|-----------------------|----|-----------------------|
| 牛久保二丁目  | 0.154                 | 茅ヶ崎南四丁目 | 0.181                 |    |                       |
| 牛久保町    | 1.450                 | 茅ヶ崎南五丁目 | 0.186                 |    |                       |
| 牛久保西二丁目 | 0.167                 | 綱島上町    | 0.173                 |    |                       |
| 牛久保西四丁目 | 0.081                 | 綱島台     | 0.290                 |    |                       |
| 荏田町     | 0.044                 | 綱島西一丁目  | 0.136                 |    |                       |
| 大曾根一丁目  | 0.125                 | 綱島西二丁目  | 0.182                 |    |                       |
| 大曾根二丁目  | 0.230                 | 綱島西三丁目  | 0.135                 |    |                       |
| 大曾根三丁目  | 0.215                 | 綱島西四丁目  | 0.135                 |    |                       |
| 大曾根台    | 0.269                 | 綱島西五丁目  | 0.237                 |    |                       |
| 大圃町     | 0.635                 | 綱島西六丁目  | 0.157                 |    |                       |
| 勝田町     | 0.799                 | 綱島東一丁目  | 0.204                 |    |                       |
| 勝田南一丁目  | 0.123                 | 綱島東二丁目  | 0.179                 |    |                       |
| 勝田南二丁目  | 0.112                 | 綱島東三丁目  | 0.155                 |    |                       |
| 菊名一丁目   | 0.090                 | 綱島東四丁目  | 0.183                 |    |                       |
| 菊名二丁目   | 0.174                 | 綱島東五丁目  | 0.231                 |    |                       |
| 菊名三丁目   | 0.186                 | 綱島東六丁目  | 0.252                 |    |                       |
| 菊名四丁目   | 0.136                 | 烏山町     | 1.123                 |    |                       |
| 菊名五丁目   | 0.180                 | 中川一丁目   | 0.225                 |    |                       |
| 菊名六丁目   | 0.140                 | 中川二丁目   | 0.133                 |    |                       |
| 菊名七丁目   | 0.142                 | 中川三丁目   | 0.174                 |    |                       |
| 岸根町     | 0.597                 | 中川四丁目   | 0.192                 |    |                       |
| 北山田六丁目  | 0.261                 | 中川五丁目   | 0.196                 |    |                       |
| 北山田町    | 1.001                 | 中川町     | 0.624                 |    |                       |
| 小机町     | 2.655                 | 仲手原一丁目  | 0.158                 |    |                       |
| 篠原町     | 1.065                 | 仲手原二丁目  | 0.312                 |    |                       |
| 篠原北一丁目  | 0.163                 | 錦が丘     | 0.144                 |    |                       |
| 篠原北二丁目  | 0.126                 | 新羽町     | 3.279                 |    |                       |
| 篠原台町    | 0.222                 | 東方町     | 0.096                 |    |                       |
| 篠原西町    | 0.241                 | 東山田四丁目  | 0.223                 |    |                       |
| 篠原東一丁目  | 0.114                 | 東山田町    | 1.469                 |    |                       |
| 篠原東二丁目  | 0.138                 | 日吉一丁目   | 0.147                 |    |                       |
| 篠原東三丁目  | 0.194                 | 日吉二丁目   | 0.217                 |    |                       |
| 下田町一丁目  | 0.136                 | 日吉三丁目   | 0.249                 |    |                       |
| 下田町二丁目  | 0.119                 | 日吉四丁目   | 0.462                 |    |                       |
| 下田町三丁目  | 0.195                 | 日吉五丁目   | 0.292                 |    |                       |
| 下田町四丁目  | 0.121                 | 日吉六丁目   | 0.207                 |    |                       |
| 下田町五丁目  | 0.162                 | 日吉七丁目   | 0.216                 |    |                       |
| 下田町六丁目  | 0.176                 | 日吉本町一丁目 | 0.235                 |    |                       |
| 新栄町     | 0.185                 | 日吉本町二丁目 | 0.358                 |    |                       |
| 新横浜一丁目  | 0.244                 | 日吉本町三丁目 | 0.226                 |    |                       |
| 新横浜二丁目  | 0.311                 | 日吉本町四丁目 | 0.318                 |    |                       |
| 新横浜三丁目  | 0.267                 | 日吉本町五丁目 | 0.301                 |    |                       |
| 新吉田町    | 4.056                 | 日吉本町六丁目 | 0.239                 |    |                       |
| すみれが丘   | 0.384                 | 富士塚一丁目  | 0.159                 |    |                       |
| 高田町     | 1.892                 | 富士塚二丁目  | 0.220                 |    |                       |
| 樽町一丁目   | 0.214                 | 太尾町     | 1.807                 |    |                       |
| 樽町二丁目   | 0.256                 | 大豆戸町    | 0.839                 |    |                       |
| 樽町三丁目   | 0.326                 | 南山田町    | 1.163                 |    |                       |
| 樽町四丁目   | 0.260                 | 箕輪町一丁目  | 0.167                 |    |                       |
| 茅ヶ崎町    | 1.272                 | 箕輪町二丁目  | 0.282                 |    |                       |
| 茅ヶ崎南一丁目 | 0.221                 | 箕輪町三丁目  | 0.233                 |    |                       |
| 茅ヶ崎南三丁目 | 0.136                 | 師岡町     | 0.931                 |    |                       |



## 港北区の区名とそのあゆみ

港北区は、昭和十四年四月の都筑郡数か村の横浜市編入にともない新設した。区名は、菊名区という案もあったが、横浜港の北側にあるという意味で港北区と名付けた。横浜市の北部に位置し、河川流域の平野部と多摩丘陵に連なる丘陵部からなる。農村地帯として発展したが、大正十五年に東横電鉄が開通し、綱島温泉や住宅地が開発され、東横線を中心に町並みが広がっている。昭和三十年後半から鶴見川沿岸に工場が進出し、昭和三十九年に東海道新幹線の新横浜駅が開設、昭和四十年に第三京浜道路が、昭和四十一年に田園都市線が、昭和四十四年に東名高速道路が開通して、急速にベッドタウン化が進んだ。区内の北西部で港北ニュータウン事業が進んでいる。また、新横浜周辺に横浜アリーナが完成し、第二都心としての機能が整いつつある。「自然と調和した活気ある街」を目指し、安全で調和のとれた街、緑と水の豊かな街、健康でふれあいのある街、コミュニティ文化を創造する街づくりを進めている。

港北区の町名は、小机町や師岡町のように歴史的な地名から付けられたものがあり、大柵町、勝田町のように江戸時代からの村名を採ったものも多い。また、中川町のように、明治二十二年の市町村制施行の際、合併して新しくできた村名を採って町名としたものがある。



港北ニュータウン（中川一～四丁目付近）

### 牛久保二丁目 （平成二年七月九日） (併)

平成二年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない牛久保町の一部から新設した町。古くは都筑郡牛久保村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、山田村、大柵村、勝田村、茅ヶ崎村と合併して中川村大字牛久保となる。昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中川村大字牛久保から牛久保町を設ける。地名研究で「クボ」は窪地を指すという。「牛」は窪地の縁を表わし、または、白のような窪地を表すと考えられている。町は牛久保町、牛久保西四丁目、すみれが丘に接する。

### 牛久保町 （昭和十四年四月一日）

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中川村大字牛久保から新設した町。古くは都筑郡牛久保村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、山田村、大柵村、勝田村、茅ヶ崎村と合併して中川村大字牛久保となる。町名は旧村名を採った。町は南山田町、大柵町、中川町、牛久保西二丁目・四丁目、牛久保二丁目、中川二丁目、すみれが丘、緑区新石川四丁目、川崎市に接する。

### 牛久保西二丁目・四丁目 （平成元年十一月二十七日） (併)

平成元年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない、牛久保町、中川町の一部から新設した町。町名は、大部分を占める「牛久保町」の全体から見て西部に位置することから「牛久保西」と名付けた。町は牛久保町、中川一丁目・四丁目・五丁目、中川町、牛久保二丁目に接する。

えだちよう「昭和十四年四月一日」  
荏田町  
△昭和六十二年五月六日(注)▽

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡山内村大字荏田から新設した町。古くは都筑郡荏田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、石川村、黒須田村飛地と合併して山内村大字荏田となる。町名は旧村名を採った。昭和十四年の行政区再編成にともない緑区に編入し、昭和六十二年に緑区荏田町の一部を港北区に編入した。町は茅ヶ崎町、茅ヶ崎南五丁目、緑区荏田東一丁目・四丁目に接する。

おおそね  
大曾根一丁目〜三丁目「昭和五十七年七月十九日」(注)

昭和五十七年の住居表示施行にともない大曾根町、樽町の各一部から新設した町。古くは橘樹郡大曾根村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、大綱村大字大曾根となり、昭和二年の横浜市に編入の際、大曾根町となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「ソネ」は「自然堤防」または「長い嶺続き」を意味するという。町は太尾町、大曾根台、師岡町、樽町一丁目・二丁目、鶴見川を隔てて綱島上町、綱島西二丁目に接する。

おおそねだい  
大曾根台「昭和五十七年七月十九日」(注)

昭和五十七年の住居表示施行にともない大曾根町、太尾町の各一部から新設した町。町名は、大曾根の高台にある町区域で、地元の要望により名付けた。町は太尾町、大曾根一丁目〜三丁目に接する。

おおだちよう  
大柵町「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中川村大字大柵字矢東、鶴ノ目、杉ノ森、歳勝土の区域から新設した町。古

くは都筑郡大柵村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、山田村、勝田村、牛久保村、茅ヶ崎村と合併して中川村大字大柵となる。町名は旧村名を採った。町は勝田町、新吉田町、南山田町、牛久保町、中川町、茅ヶ崎町に接する。町内を中原街道が通る。

かちだちよう  
勝田町「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中川村大字勝田から新設した町。古くは都筑郡勝田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、山田村、大柵村、牛久保村、茅ヶ崎村と合併して中川村大字勝田となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「カチダ」は「河谷のある所」を意味するという。町は大柵町、新吉田町、勝田南二丁目、茅ヶ崎南一丁目、茅ヶ崎町に接する。町内を中原街道が通る。

かちだみなみ  
勝田南一丁目・二丁目「平成元年二月二十七日」(注)

平成元年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない勝田町、新吉田町、新羽町の一部から新設した町。町名は、新町の大半を勝田町が占めていたことと勝田町の南部に位置することから「勝田南」と名付けた。町は勝田町、新吉田町、新羽町、新栄町、茅ヶ崎南一丁目、緑区新羽町、仲町台五丁目に接する。

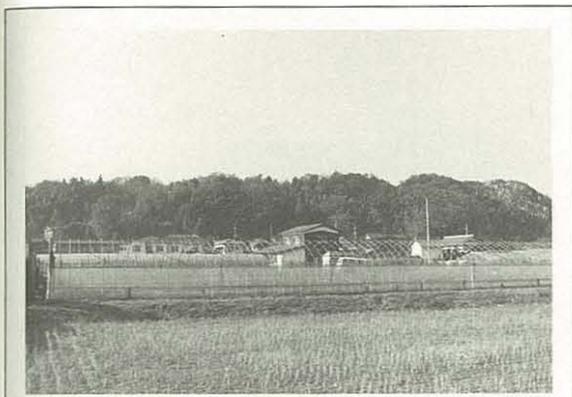
きくな  
菊名一丁目〜七丁目「昭和五十五年七月二十八日」(注)

昭和五十五年の住居表示施行にともない菊名町、太尾町、大豆戸町の各一部から新設した町。古くは橘樹郡菊名村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、大綱村大字菊名となり、昭和二年の横浜市に編入の際、菊名町となる。

『新篇武蔵風土記稿』の「菊名村」の項に「小田原家人所領役帳に、増田某が知行、小机葛名開と記せり。此邊、葛名の地名を聞かず。且、葛と菊と字畫似たるが上に、小机を冠したれば、恐らくはこの事にて、菊名氏の開きし事なるべければ、開発の年歴も推して知るべし」の記録がある。町名は旧村名を採った。町は大豆戸町、太尾町、篠原北二丁目、錦が丘、富士塚一丁目・二丁目、篠原東一丁目、仲手原一丁目・二丁目、鶴見区上の宮一丁目・二丁目、馬場七丁目、神奈川区松見町、大口仲町、西大口に接する。町を綱島街道、東海道新幹線、横浜線、東急東横線が通り、菊名駅、妙蓮寺駅がある。

きしねちよう  
岸根町「昭和二年四月一日」

昭和二年の横浜市編入の際、橘樹郡城郷村大字岸根から新設した町。古くは橘樹郡岸根村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、城郷村大字岸根となる。『新篇武蔵風



小机城址(小机町)

土記稿』の「岸根村」の項に「古は、此邊すて沼なる  
よってしかりと云。當所は、其沼の岸にそひたる根なり  
しゆへ、この名を得たる」の記録がある。町は篠原町、  
新横浜一丁目、鳥山町、神奈川区六角橋五丁目・六丁目、  
神大寺四丁目、片倉町、三枚町に接する。町を市営地下  
鉄3号線が通り、岸谷公園駅がある。町内に岸谷公園が  
ある。

### 北山田六丁目きたやまた〔平成二年七月九日〕(住)

平成二年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にと  
ない北山田町、東山田町の各一部から新設した町。町は東  
山田町、北山田町、すみれが丘、川崎市に接する。

### 北山田町きたやまたちやう〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中川村大字山田か  
ら新設した町。古くは都筑郡山田村といい、明治二十年  
の市町村制施行の際、勝田村、大棚村、牛久保村、茅ヶ崎  
村と合併して中川村大字山田となる。町名は、既に中区  
「山田町」があるため「北山田町」と名付けた。町はすみ  
れが丘、北山田六丁目、東山田町、南山田町に接する。

### 小机町こづぐえちやう〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橘樹郡城郷村大字小机から  
新設した町。古くは橘樹郡小机村といい、明治二十二年の  
市町村制施行の際、小机村、鳥山村、岸根村、羽沢村、下  
菅田村、三枚橋村、片倉村、神大寺村、六角橋村の九か村  
を合併して、小机村と称し、その大字小机となったが、他  
の村から村名について不服がでて、協議の結果、明治二十  
五年二月九日に「城のあった郷」、即ち城郷村と改称した。  
町名は旧村名を採った。町は新羽町、鳥山町、神奈川区菅

#### 小机城と太田道灌

JR横浜線小机駅の北側、第三京浜に沿った小高い丘に小机城址が  
ある。鎌倉時代、鎌倉街道の重要拠点であった小机周辺は、上杉一族  
が城を築いたと伝えられているが、現在では、小机市民の森になって  
いる。

文明九年（一四七七年）長尾景春が主人の上杉氏に背いて戦いを挑  
んだ時に、太田持資（道灌）は、主人の上杉氏のために、敵の景春方  
の武士を小机城に攻めた。戦いは長期化した。道灌はこの時「小机  
は先手習いの初めに、いろはにはへとちりぢりになる」という歌を  
詠んで劣勢であった攻め手を励まし士気を高め、ついには、小机城を  
落としたといわれる。

その後、小机城は修築され主人も何度か変わったが、天正十八年  
（一五九〇年）豊臣秀吉の小田原攻めによる小田原城陥落とともに廃  
城となった。

田町、緑区川向町、東本郷五丁目・六丁目に接する。町を  
第三京浜道路、横浜線が通り、小机駅がある。

### 篠原北一丁目・二丁目しのはらきた〔昭和四十六年七月五日〕(住)

昭和四十六年の住居表示施行にともない篠原町、大豆戸  
町の各一部から新設した町。町名は地元の要望により「篠  
原北」と名付けた。町は大豆戸町、菊名六丁目、錦が丘、  
富士塚二丁目、篠原町に接する。町を横浜線が通り菊名駅  
がある。

### 篠原台町しのはらだいまち〔昭和四十五年六月一日〕(住)

昭和四十五年の住居表示施行にともない篠原町、神奈川  
区白幡町の各一部から新設した町。町名は地元に着して  
いた通称名「篠原台」を採った。町は仲手原二丁目、篠原  
西町、神奈川区白幡町、白楽に接する。

### 篠原町しのはらちやう〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橘樹郡大綱村大字篠原から  
新設した町。古くは鈴木村といい、後に篠原村となった。  
明治二十二年の市町村制施行の際、大綱村大字篠原となる。  
『新篇武蔵風土記稿』の「篠原村」の項に「壽永二年（一  
一八三）、加賀国篠原にて平維盛と木曾義仲が合戦有し時、  
維盛の敗卒運れ來りて、此所に住しかば、後自ら一村をな  
せしより、村名とせりと實なりや、思ふに只篠原と云より  
かかる説も發りしと見ゆ」の記録がある。町名は旧村名を  
採った。町は大豆戸町、篠原北一丁目・二丁目、富士塚一  
丁目・二丁目、篠原東二丁目・三丁目、篠原西町、岸根町、  
新横浜一丁目・二丁目に接する。町を市営地下鉄3号線、  
横浜線が通り、新横浜駅がある。

### 篠原西町しのはらにしちやう〔昭和四十五年六月一日〕(住)

昭和四十五年の住居表示施行にともない篠原町、神奈川  
区白楽の各一部から新設した町。町名は地元の要望により  
「篠原西町」と名付けた。町は篠原東一丁目、仲手原二丁  
目、篠原台町、篠原町、神奈川区六角橋一丁目・六丁目  
に接する。

### 篠原東一丁目・三丁目しのはらひがし〔昭和四十六年七月五日〕(住)

昭和四十六年の住居表示施行にともない篠原町の一部か  
ら新設した町。町名は篠原町の東側に位置することと、地  
元の要望により「篠原東」と名付けた。町は富士塚二丁目、  
菊名一丁目、仲手原二丁目、篠原西町、篠原町に接する。

## 下田町一丁目〜六丁目

〔昭和五十九年七月二十三日〕(住)

昭和五十九年の住居表示施行にともない下田町、日吉本町の各一部から新設した町。古くは橋樹郡駒ヶ橋村といい、昔、往来の者が馬を乗り入れて川を渡ったから、あるいは源頼朝がこの村を通過する時、乗馬が急に走り出してようやく橋のあたりに止まったから「駒ヶ橋」と名付けられたと伝えられる。明治二十二年の市町村制施行の際、矢上村、南加瀬村、鹿島田村、駒林村、箕輪村、小倉村と合併して日吉村大字駒ヶ橋の区域に下田町を設ける。町名は下田町日吉村大字駒ヶ橋の区域に下田町を設ける。町名は下田町真福寺の下田地蔵尊にちなんで名付けた。「下田」とは江戸時代の検地制度で上田・中田・下田の区分の下田を意味する。町は高田町、日吉本町二丁目・六丁目、日吉一丁目、川崎市に接する。

## 新栄町

〔昭和六十三年二月二十九日〕(住)

昭和六十三年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない新吉田町、新羽町の各一部から新設した町。町名は、町の大半を新羽町が占めていることから新羽町の「新」と新しくできる町が「栄える」ようにとの願いをこめた地元の要望により「新栄町」と名付けた。町内に昭和五十八年四月一日創立の県立新栄高校があるが、この校名を町名に採ったものではない。町は勝田南二丁目、新羽町、新吉田町、緑区仲町台二丁目・三丁目に接する。

## 新横浜一丁目〜三丁目

〔昭和五十年十一月六日〕

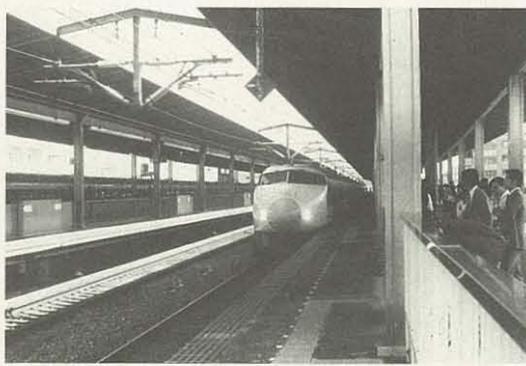
昭和五十年の区画整理施行にともない鳥山町、岸根町、篠原町、新羽町、大豆戸町の各一部から新設した町。町名

は昭和三十九年十月に東海道新幹線の新横浜駅が設置され、駅周辺が「新横浜」とか「新横浜駅前」と呼ばれるようになり、市民に受け入れられやすく適切ということから「新横浜」と名付けた。町は大豆戸町、篠原町、岸根町、鳥山町に接する。町内に横浜アリーナがある。

## 新吉田町

〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新田村大字吉田から新設した町。古くは都筑郡吉田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、高田村、新羽村と合併して、新田村大字吉田となる。「新田村」は大字の地名である新羽の「新」と、大字吉田、高田の「田」を採った。町名は旧村名を採ったが、横浜の旧市内に吉田町があるため、吉田の上に「新」を付けて新吉田町とした。町は綱島上町、綱島西四丁目、高田町、東山田町、南山田町、大瀬町、勝田町、勝田南二丁目、新栄町、新羽町、太尾町に接する。町の北側と東側を早瀬川が流れ、西側を第三京浜道路が通る。



新横浜駅 (篠原町)

## すみれが丘

〔昭和四十七年一月二十六日〕

昭和四十七年の区画整理施行にともない北山田町、牛久保町の各一部から新設した町。町名は土地区画整理組合地元の町名案を募集し、その案を採用した。町は牛久保町、牛久保二丁目、南山田町、北山田町、北山田六丁目、川崎市に接する。

## 高田町

〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新田村大字高田から新設した町。古くは都筑郡高田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、吉田村、新羽村と合併して、新田村大字高田となる。町名は旧村名を採った。「和名抄」に「高田郷」、「小田原衆所領役帳」に「高田」の記録がある。町は下田五丁目・六丁目、日吉本町四丁目・六丁目、綱島西四丁目・五丁目、新吉田町、東山田町、川崎市に接する。

## 樽町一丁目〜四丁目

〔昭和五十七年七月十九日〕(住)

昭和五十七年の住居表示施行にともない樽町、大曽根町、師岡町、鶴見区駒岡町の各一部から新設した町。古くは橋樹郡樽村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、大瀬村大字樽となり、昭和二年の横浜市に編入の際、樽町となる。ここは師岡熊野神社の神領で、祭祀の時に、お神酒の樽を作って奉納したことから、それが村名になったという。町名は旧村名を採った。地名研究で「タル」は「溪谷が段を成していて、雨時に滝となる所」を意味するという。町は大曽根一丁目・二丁目、師岡町、鶴見川を隔てて綱島東一丁目・六丁目、鶴見区駒岡町に接する。町内を東海道新幹線が通る。

茅ヶ崎町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中川村大字茅ヶ崎から新設した町。古くは都筑郡茅ヶ崎村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、山田村、大榎村、勝田村、牛久保村と合併して中川村大字茅ヶ崎となる。町名は旧村名を採った。町は中川町、大榎町、勝田町、茅ヶ崎南一丁目・三丁目・五丁目、荏田町、緑区荏田東四丁目に接する。町の北側を早瀬川が流れる。

茅ヶ崎南一丁目 [平成元年二月二十七日] (注)

茅ヶ崎南三丁目・五丁目 [昭和六十二年五月六日] (注)

昭和六十二年と平成元年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない勝田町、茅ヶ崎町、池辺町、荏田町、東方町の各一部から新設した町。町名は、町の大半を茅ヶ崎町が占めていることと茅ヶ崎町の南部に位置することから「茅ヶ崎南」と名付けた。町は荏田町、茅ヶ崎町、勝田南一丁目、勝田町、緑区荏田東一丁目・二丁目、葛が谷、東方町、桜並木、仲町台五丁目に接する。

綱島上町 [昭和二十二年三月十二日]

昭和二十二年の耕地整理事業施行にともない新吉田町、高田町、南綱島町、北綱島町の各一部から新設した町。古くは橋樹郡南綱島村、北綱島村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、大豆戸村、篠原村、菊名村、樽村、大曾根村、太尾村と合併して大綱村大字南綱島、北綱島となり、昭和二年の横浜市編入の際、南綱島町、北綱島町となる。地名研究で「ツナシマ」は州の中の島、もしくは湿地に浮かぶ島、津の島だという。町は新吉田町、綱島西二丁目・三丁目、鶴見川を隔てて大曾根三丁目に接する。町内に青

綱島の桃

綱島の農作物は、明治三十五年（一九〇二年）頃までは米・麦・ネギ・ソラ豆などであった。鶴見川沿いの低地では水害のため、毎年満足に米がでなかった。こうした中で、地元の池谷道太郎氏は、鶴見川沿岸の土質が、桃栽培に適した排水のよい畑地であることに気付き、明治三十六年（一九〇三年）頃から桃栽培に専念し、綱島の桃栽培の先駆者となった。彼は、病害に強い品種の改良を積み重ね、早生水蜜桃の栽培に全力を注ぎ、苦勞のすえ「日月桃」という新種を作りあげた。彼は、地域の農家の要望により明治四十年（一九〇七年）頃から、苗木を分譲したので、この桃の栽培者は徐々に増えた。そしてその結果、鶴見川沿いの地域を中心に多くの果樹園ができた。その後、「日月桃」は、六月中旬から収穫できる最高の品種として全国的にも有名になっていった。しかし、第二次世界大戦を境に、主食となる米・麦栽培のため、桃の木は伐採したので、日本一と評された綱島の桃は、今では夢物語となってしまった。

山学院大グラウンドがある。

綱島台 [昭和四十八年六月十一日] (注)

昭和四十八年の住居表示施行にともない北綱島町、綱島町、南綱島町の各一部から新設した町。町名は町の形状から「綱島台」と名付けた。町は綱島西一丁目・三丁目・六丁目、綱島東二丁目に接する。町内に綱島公園がある。

綱島西一丁目・六丁目 [昭和四十八年六月十一日] (注)

昭和四十八年の住居表示施行にともない北綱島町、綱島町、南綱島町、大曾根町、新吉田町の各一部から新設した町。町名は東急東横線の西側であることから「綱島西」と名付けた。町は綱島台、綱島東一丁目・二丁目・四丁目、箕輪町三丁目、日吉本町四丁目、高田町、新吉田町、綱島上町、鶴見川を隔てて大曾根二丁目・三丁目に接する。町の東側を東急東横線が通り、綱島駅がある。

綱島東一丁目・六丁目 [昭和四十八年六月十一日] (注)

昭和四十八年の住居表示施行にともない北綱島町、綱島町、南綱島町、樽町の各一部から新設した町。町名は東急東横線の東側であることから「綱島東」と名付けた。町は箕輪町二丁目、日吉六丁目・七丁目、綱島西二丁目・二丁目・六丁目、綱島台、鶴見川を隔てて樽町二丁目・三丁目、鶴見区駒岡町に接する。町内を東海道新幹線が通る。

鳥山町 [昭和二年四月一日]

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡城郷村大字鳥山から新設した町。古くは橋樹郡鳥山村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、城郷村大字鳥山となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「トリ」は方角の西（西方）もしくは動物の鳥に由来するものと考えられている。「新篇武蔵風土記稿」の「鳥山村」に「昔、佐々木四郎左衛門高綱が馬飼料として、當所を右大將頼朝より賜はりし時、一族鳥山左衛門と云ものを目代として、此地に置しより起れる村名なりと云。或は伝う、左にはあらず、村内三會寺の邊、水田の間に、そこばくの陸地ありて、たとへば田中の島とも云べきものなれば、島の文字を分ちて、村名とせり」との記録がある。「島」を「鳥」と「山」の二字に分けると「鳥山」となる。町は小机町、新羽町、大豆戸町、新横浜一丁目・二丁目・三丁目、神奈川区三枚町、菅田町に接する。町の東側を鳥山川が流れ、町を横浜線が通る。

中川一丁目・二丁目 [平成元年十一月二十七日] (注)

中川三丁目・五丁目 [平成二年七月九日] (注)

平成元年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない牛久保町、中川町の一部から新設した町。町名は町の

大半を占める中川町から「中川」を採った。町は中川町、牛久保町、牛久保西二丁目・四丁目、緑区荏田町に接する。

**中川町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中川村大字大棚字矢東、鶴ノ目、杉ノ森、歳勝土の区域を大棚町とし、その他の区域から新設した町。古くは都筑郡大棚村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、山田村、勝田村、牛久保村、茅ヶ崎村と合併して中川村大字大棚となる。町名は前村名を採った。茅ヶ崎・勝田と大棚の間に早淵川が、牛久保と南山田の間に小川が流れ、早淵川に流入して、諸村の中心を形成していたので中川と名付けられたという。町は牛久保町、牛久保西二丁目、中川二丁目・五丁目、大棚町、茅ヶ崎町、緑区新石川四丁目、荏田町に接する。町の南側を早淵川が流れる。

**仲手原一丁目・二丁目**〔昭和四十五年六月一日〕(注)

昭和四十五年の住居表示施行にともない篠原町、神奈川区松見町、白幡向町の各一部から新設した町。町名は地元に着している通称名を採った。町は篠原東一丁目、菊名二丁目、篠原西町、篠原台町、神奈川区松見町、大口仲町、西大口、白幡向町、白幡町に接する。町の中央を東急東横線が通る。

**錦が丘**〔昭和四十六年七月五日〕(注)

昭和四十六年の住居表示施行にともない篠原町、菊名町の各一部から新設した町。昭和八年に菊名住宅組合を組織し、昭和九年に皇太子殿下のご誕生を記念して、各通路に桜三百三十四本、楓百本を植樹し、それ以来、錦ヶ丘と呼称することにして錦ヶ丘町内会となり、昭和四十六年の住

居表示施行の際、町内会から町名を「錦が丘」としたいとの要望があり、現在の町名となった。町は菊名三丁目・四丁目、篠原北一丁目・二丁目、富士塚二丁目に接する。町の東側を東急東横線が通る。

**新羽町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新田村大字新羽から新設した町。古くは都筑郡新羽村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、吉田村、高田村と合併して、新田村大字新羽となる。町名は旧村名を採った。文明十八年(一四八六)の道興准后の「廻國雜記」に「新羽といへる所におもむき待るとて」の記録がある。地名研究で「ハ」は「山の端」を意味するといふ。町は新栄町、新吉田町、太尾町、大豆戸町、鳥山町、小机町、緑区仲町台三丁目、大熊町に接する。町の西側を第三京浜道路が通る。

#### 大塚遺跡と歳勝土遺跡

港北区中川町(港北ニュータウン内)に弥生時代の遺跡がある。そのひとつである大塚遺跡は、鶴見川の支流である早淵川を見下ろす平坦な大地の上であり、約百軒の竪穴式住居の跡とそれらを取り囲む大規模な濠でできている環濠集落址である。また、この集落に付随した墓として東南には、方形周溝群の歳勝土遺跡がある。両遺跡とも、港北ニュータウン地域内の文化財調査として、昭和五十七年(一九八二年)から四年の歳月をかけて発掘調査が行われ、昭和六十一年(一九八六年)に国の指定遺跡となった。このように集落と墓が一体で、しかもほぼ全面的に明らかにされた例は、全国的にも珍しい。平成六年(一九九四年)末には、これらの遺跡に隣接して「横浜歴史博物館(仮称)」が建設されることになっている。

**東方町**〔昭和十四年四月一日〕

〔昭和六十二年五月六日(注)〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡都田村大字東方から新設した町。古くは都筑郡東方村といい、元は池辺村の内、その東の方にあつたので東方と称したが、いつか分かれて一村となったという。明治二十二年の市町村制施行の際、池辺村、川向村、佐江戸村、川和村、折本村、大熊村、本郷村飛地と合併して都田村大字東方となり、昭和十年九月三十日に川和町大字東方と改称する。町名は旧村名を採った。昭和四十四年の行政区再編成にともない緑区に編入し、昭和六十二年に緑区東方町の一部を港北区に編入した。町は茅ヶ崎南三丁目、茅ヶ崎町、勝田町、緑区桜並木、仲町台五丁目に接する。

**東山田四丁目**〔平成二年七月九日(注)〕

平成二年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない東山田町から新設した町。古くは都筑郡山田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、勝田村、大棚村、牛久保村、茅ヶ崎村と合併して中川村大字山田となる。昭和四十四年の横浜市編入の際、東山田町となる。町は東山田町、川崎市に接する。

**東山田町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中川村大字山田から新設した町。古くは都筑郡山田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、大棚村、勝田村、牛久保村、茅ヶ崎村と合併して中川村大字山田となる。町名は、既に中区「山田町」があるため「東山田町」と名付けた。町は東山田四丁目、高田町、新吉田町、南山田町、北山田町、北山

田六丁目、川崎市に接する。町の東側を第三京浜道路が通る。

日吉一丁目〜七丁目〔昭和五十二年八月一日〕(注)

昭和五十二年の住居表示施行にともない下田町、日吉町、日吉本町、箕輪町の各一部から新設した町。古くは橋樹郡矢上村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、南加瀬村、鹿島田村、駒林村、駒ヶ橋村、箕輪村、小倉村と合併して日吉村大字矢上となり、昭和十二年に横浜市に編入して日吉村大字矢上および南加瀬の矢上川以西の区域に日吉町を設ける。町名は旧町名から採った。『神奈川県橋樹郡案内記』に「日吉丸の古蹟ありしにより起これりというも今其古蹟も何処にあるや詳らかならず」の記録がある。

町名は昔、字宮前にあつた日吉(山王)社に由来する。日吉は近江国(現、滋賀県)の官幣大社日吉神社の分霊で山王権現ともいう。町は下田町一丁目・二丁目、日吉本町一丁目・二丁目、箕輪一丁目・二丁目、綱島東五丁目、川崎市に接する。町を東海道新幹線、東急東横線が通り、日吉駅がある。町内に慶應義塾大学がある。

日吉本町一丁目・二丁目

〔昭和六十三年七月二十五日〕(注)

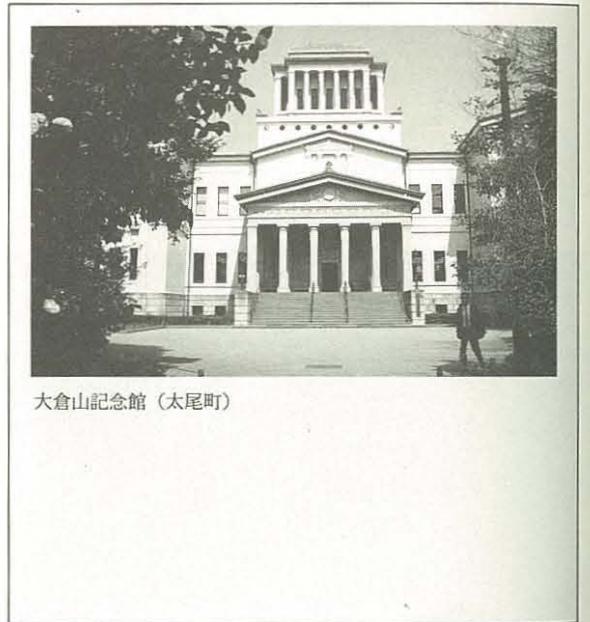
日吉本町三丁目・四丁目

〔昭和六十二年七月二十日〕(注)

日吉本町五丁目・六丁目

〔昭和六十三年七月二十五日〕(注)

昭和六十二年と昭和六十三年の住居表示施行にともない日吉本町、高田町、箕輪町の各一部から新設した町。古くは橋樹郡駒林村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、矢上村、南加瀬村、鹿島田村、駒ヶ橋村、箕輪村、小倉村



大倉山記念館(太尾町)

と合併して日吉村大字駒林となり、昭和十二年に横浜市に編入して日吉村大字駒林の区域に日吉本町を設ける。町は下田町一丁目・四丁目・五丁目、日吉一丁目・二丁目・四丁目、箕輪町二丁目・三丁目、綱島西五丁目・六丁目、高田町に接する。町内に公団南日吉団地がある。

富士塚一丁目・二丁目〔昭和四十六年七月五日〕(注)

昭和四十六年の住居表示施行にともない篠原町、菊名町の各一部から新設した町。町名は町内にあつた富士塚に因んで名付けた。大正初期まで現在の富士塚二丁目の地域に富士浅間神社と大きな塚があつた。これは富士信仰の富士塚であつたが、宅地化によつて消えた。町は篠原北一丁目、錦が丘、菊名一丁目、篠原東三丁目、篠原町に接する。

太尾町〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡大綱村大字太尾から新設した町。古くは橋樹郡太尾村といひ、村内を三分して、

上太尾、中太尾、下太尾といつていた。明治二十二年の市町村制施行の際、大綱村大字太尾となる。町名は旧村名を採った。町は大曾根一丁目・三丁目、大曾根台、師岡町、大豆戸町、菊名六丁目・七丁目、大豆戸町、鶴見川を隔てて新羽町、新吉田町に接する。

大豆戸町〔昭和二年四月一日〕

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡大綱村大字大豆戸から新設した町。古くは橋樹郡大豆戸村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、篠原村、菊名村、樽村、大曾根村、太尾村、南綱島村、北綱島村と合併して大綱村大字大豆戸となる。町名は旧村名を採った。『小田原衆所領役帳』に「小机大豆津」の記録がある。町は菊名を挟んで二地区に分かれ、太尾町、師岡町、菊名五丁目・六丁目・七丁目、新羽町、新横浜三丁目、篠原町、篠原北二丁目、鶴見区上の宮二丁目に接する。町を東海道新幹線が通り、町内に港北区役所がある。

南山田町〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中川村大字山田から新設した町。古くは都筑郡山田村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、大棚村、勝田村、牛久保村、茅ヶ崎村と合併して中川村大字山田となる。町名は、既に中区「山田町」があるため「南山田町」と名付けた。町はすみれが丘、北山田町、東山田町、新吉田町、大棚町、牛久保町に接する。町内を中原街道が通る。

箕輪町一丁目〜三丁目〔平成元年十月二日〕(注)

平成元年の住居表示施行にともない箕輪町から新設した町。古くは橋樹郡箕輪村といひ、明治二十二年の市町村制

施行の際、矢上村南加瀬村、鹿島田村、駒林村、駒ヶ橋村、小倉村と合併して日吉村大字箕輪となり、昭和十二年に横浜市に編入して日吉村大字箕輪の区域に箕輪町を設ける。柳田国男の『地名の研究』の「地名と歴史」に「箕輪は突出した丘の周囲を取り囲んだ形が、箕の縁に似ていたからであろう」と述べている。また、鏡味完二・明克は『地名の語源』で、「ミノワ」とは曲流部や曲がった海岸台地などの半円形の土地であるという。箕輪町の場合も丘陵が南に突出した形になっている。町名は字名を採った。町は日吉四丁目・五丁目・七丁目、日吉本町一丁目・三丁目・四丁目、綱島東四丁目・五丁目、綱島西六丁目に接する。

もろおかちよう  
師岡町 「昭和二年四月一日」

昭和二年の横浜市編入の際、橋樹郡旭村大字師岡から新設した町。古くは橋樹郡師岡村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、獅子ヶ谷村、駒岡村、上末吉村、下末吉村、馬場村、北寺尾村、西寺尾村、東寺尾村飛地と合併して旭村大字師岡となる。『和名抄』の武蔵国久良岐郡師岡郷はこの地と考えられている。また、嘉吉元年（一四四一）の『鶴岡八幡宮文書』に「武蔵国師岡保」の記録がある。町名は旧村名を採った。地名研究で「モロ」は「丘の並んだ様を形容したもの」と推測されている。町は樽町一丁目・四丁目、大曾根一丁目、太尾町、大豆戸町、鶴見区駒岡町、獅子ヶ谷町、上の宮二丁目に接する。町内に師岡熊野神社がある。

Y O K O H A M A

# 緑区

寺家ふるさと村(寺家町)





緑区 (75.919km<sup>2</sup>)

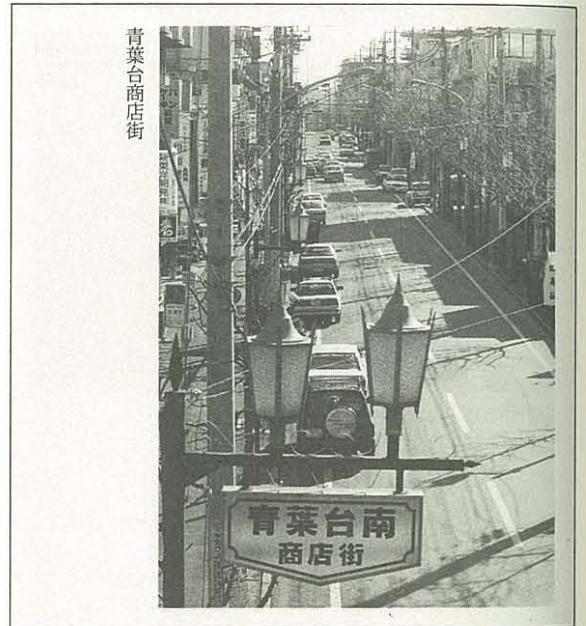
| 町名       | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名       | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|----------|-----------------------|----------|-----------------------|--------|-----------------------|
| 青砥町      | 0.517                 | 桂台二丁目    | 0.398                 | 十日市場町  | 1.869                 |
| 青葉台一丁目   | 0.316                 | 上山町      | 0.534                 | 仲町台二丁目 | 0.103                 |
| 青葉台二丁目   | 0.318                 | 上谷本町     | 0.306                 | 仲町台三丁目 | 0.151                 |
| あかね台一丁目  | 0.305                 | 鴨居一丁目    | 0.310                 | 仲町台四丁目 | 0.155                 |
| あかね台二丁目  | 0.241                 | 鴨居二丁目    | 0.133                 | 仲町台五丁目 | 0.100                 |
| あざみ野一丁目  | 0.402                 | 鴨居三丁目    | 0.179                 | 長津田一丁目 | 0.197                 |
| あざみ野二丁目  | 0.370                 | 鴨居四丁目    | 0.340                 | 長津田二丁目 | 0.231                 |
| あざみ野三丁目  | 0.391                 | 鴨居五丁目    | 0.168                 | 長津田三丁目 | 0.150                 |
| あざみ野四丁目  | 0.395                 | 鴨居六丁目    | 0.161                 | 長津田四丁目 | 0.165                 |
| 池辺町      | 3.144                 | 鴨居七丁目    | 0.184                 | 長津田五丁目 | 0.110                 |
| 市ヶ尾町     | 2.003                 | 鴨居町      | 0.418                 | 長津田六丁目 | 0.141                 |
| いぶき野     | 0.551                 | 鴨志田町     | 1.612                 | 長津田七丁目 | 0.132                 |
| 美しが丘一丁目  | 0.329                 | 川向町      | 1.046                 | 長津田町   | 4.305                 |
| 美しが丘二丁目  | 0.500                 | 川和町      | 2.027                 | 中山町    | 1.011                 |
| 美しが丘三丁目  | 0.373                 | 北八朔町     | 1.915                 | 奈良町    | 3.062                 |
| 美しが丘四丁目  | 0.457                 | 霧が丘一丁目   | 0.159                 | 成合町    | 0.012                 |
| 美しが丘五丁目  | 0.338                 | 霧が丘二丁目   | 0.138                 | 新治町    | 1.300                 |
| 美しが丘西一丁目 | 0.221                 | 霧が丘三丁目   | 0.215                 | 西八朔町   | 0.541                 |
| 美しが丘西二丁目 | 0.488                 | 霧が丘四丁目   | 0.194                 | 新羽町    | 0.029                 |
| 美しが丘西三丁目 | 0.474                 | 霧が丘五丁目   | 0.195                 | 二の丸    | 0.174                 |
| 梅が丘      | 0.441                 | 霧が丘六丁目   | 0.231                 | 白山一丁目  | 0.355                 |
| 荏子田一丁目   | 0.158                 | 鉄 町      | 1.708                 | 白山二丁目  | 0.249                 |
| 荏子田二丁目   | 0.347                 | 葛が谷      | 0.136                 | 白山三丁目  | 0.161                 |
| 荏子田三丁目   | 0.209                 | 黒須田      | 0.052                 | 白山四丁目  | 0.324                 |
| 荏田北一丁目   | 0.165                 | 黒須田町     | 0.299                 | 東方町    | 1.772                 |
| 荏田北二丁目   | 0.165                 | 小山町      | 0.612                 | 東本郷一丁目 | 0.106                 |
| 荏田北三丁目   | 0.149                 | 佐江戸町     | 0.969                 | 東本郷二丁目 | 0.096                 |
| 荏田町      | 2.245                 | 桜 台      | 0.512                 | 東本郷三丁目 | 0.162                 |
| 荏田西一丁目   | 0.245                 | 桜並木      | 0.172                 | 東本郷四丁目 | 0.231                 |
| 荏田西二丁目   | 0.286                 | さつきが丘    | 0.321                 | 東本郷五丁目 | 0.211                 |
| 荏田西三丁目   | 0.213                 | 寺家町      | 0.861                 | 東本郷六丁目 | 0.186                 |
| 荏田西四丁目   | 0.138                 | 下谷本町     | 0.641                 | 東本郷町   | 0.201                 |
| 荏田西五丁目   | 0.158                 | しらとり台    | 0.669                 | 平 台    | 0.172                 |
| 荏田東一丁目   | 0.142                 | 新石川一丁目   | 0.356                 | 藤が丘一丁目 | 0.534                 |
| 荏田東二丁目   | 0.167                 | 新石川二丁目   | 0.313                 | 藤が丘二丁目 | 0.469                 |
| 荏田東三丁目   | 0.217                 | 新石川三丁目   | 0.361                 | 富士見が丘  | 0.247                 |
| 荏田東四丁目   | 0.378                 | 新石川四丁目   | 0.232                 | 松風台    | 0.482                 |
| 荏田南一丁目   | 0.191                 | すすき野一丁目  | 0.199                 | みたけ台   | 0.425                 |
| 荏田南二丁目   | 0.181                 | すすき野二丁目  | 0.185                 | 緑 山    | 0.289                 |
| 荏田南三丁目   | 0.220                 | すすき野三丁目  | 0.258                 | 見花山    | 0.214                 |
| 荏田南四丁目   | 0.189                 | すみよし台    | 0.426                 | 三保町    | 3.217                 |
| 荏田南五丁目   | 0.145                 | 台村町      | 0.847                 | もえぎ野   | 0.403                 |
| 榎が丘      | 0.465                 | 竹山一丁目    | 0.159                 | 元石川町   | 0.917                 |
| 大熊町      | 0.778                 | 竹山二丁目    | 0.122                 | もみの木台  | 0.183                 |
| 大場町      | 1.148                 | 竹山三丁目    | 0.094                 | 若草台    | 0.285                 |
| 大 丸      | 0.277                 | 竹山四丁目    | 0.160                 |        |                       |
| 折本町      | 1.265                 | たちばな台一丁目 | 0.269                 |        |                       |
| 恩田町      | 2.176                 | たちばな台二丁目 | 0.267                 |        |                       |
| 加賀原一丁目   | 0.293                 | 田奈町      | 0.626                 |        |                       |
| 加賀原二丁目   | 0.116                 | 千草台      | 0.482                 |        |                       |
| 柿の木台     | 0.456                 | つつじが丘    | 0.350                 |        |                       |
| 桂台一丁目    | 0.217                 | 寺山町      | 1.229                 |        |                       |



## 緑区の区名とそのあゆみ

緑区は、昭和四十四年十月一日の行政区再編成により港北区から分区して新設した。区名は、公募した緑区、北区、川和区、都筑区、青葉区から選定して、緑を美しく保存したいという願いを込めて決定した。横浜市の北西部に位置し、北は川崎市、西は町田市に接する。なだらかな斜面の丘陵地が多く、その間を鶴見川や恩田川が流れている。江戸時代に大山街道や中原街道、八王子街道が通じたが、区域全体としては農業地帯であった。明治四十一年に横浜線が開通し、生糸を横浜へ輸送した。昭和四十一年に田園都市線が開通し、たまプラーザ、市ヶ尾、青葉台などの住宅街が開発された。「文化緑園圏」として、緑の保全と創造を基調とした豊かな自然につつまれた文化水準の高い人間味あふれる住宅都市を目指し、緑あふれる街、文化の香り高い街、手をとりあえる街、安全で住み良い街づくりを進めている。

緑区の町名は、北八朔町、西八朔町、川和町、十日市場町、荏田町など古くからの歴史的な地名に因むものが多く、また、田園都市線開通や土地区画整理事業の実施にともない新しく設けられた町には、青葉台、美しが丘のように「台」や「丘」のつく町名や、あざみ野、梅が丘、榎が丘のように植物に因む町名を多く付けている。



## 青砥町 「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字青砥から新設した町。古くは都筑郡青砥村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ヶ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、下麻生村飛地と合併して中里村大字青砥となる。町名は旧村名を採った。地元では「青砥」の由来について、鎌倉北条氏の老臣、青砥左衛門藤綱が居住していたからだという。地名研究で「アオ・ト」は「川辺の地、湿地」を意味するという。町は北八朔町、川和町、佐江戸町、中山町、小山町に接する。町の北側を鶴見川が流れ、南側を恩田川が流れる。

## 青葉台一丁目・二丁目 「昭和四十二年五月五日」

昭和四十二年の土地区画整理事業の施行にともない恩田町の一部から新設した町。古くは都筑郡恩田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、奈良村、長津田村と合併して田奈村大字恩田となり、昭和十四年の横浜市編入の際、恩田町となる。町名は「新しく生まれる、これから発展する町の名前にふさわしい」との考えから、昭和四十一年に開通した東急田園都市線の青葉台駅の駅名を地元要望により採った。多摩田園都市の開発を行う前には、この付近は松、檜、杉などが多く、四季を通じて青々した大地であった。将来も付近一帯に植物を植え、四季を通じて緑と太陽の豊かな町とする計画で「青葉台」としたという。町は桜台、もえぎ野、つつじが丘、榎が丘、松風台に接する。町の南側を国道246号、東急田園都市線が通っている。青葉台駅周辺は繁華街となっている。

### あかね台<sup>だい</sup>一丁目・二丁目〔平成二年一月十八日〕

平成二年に恩田町の一部から新設した町。町名は町区域のほぼ半分を占める字「西ヶ谷」にアカネ科の多年生蔓草のアカネが群生して、字名の「西」とアカネの漢字「茜」が似ていることと、アカネの根を健康増進の薬として煎じて呑んでいたことから地元の要望で「あかね台」と名付けた。町は恩田町、東京都町田市に接する。

### あざみ野<sup>の</sup>一丁目〜四丁目〔昭和五十一年一月十五日〕

昭和五十一年の土地区画整理事業の施行にともない元石川町、大場町、美しが丘五丁目の各一部から新設した町。町名は地元の要望により「あざみ野」と名付けた。東急田園都市線の「あざみ野駅」は町名から駅名を採ったものである。町は元石川町、美しが丘五丁目、新石川一丁目、荏田町、大場町に接する。町の東側を東急田園都市線が通り、あざみ野駅がある。

### 池辺町<sup>いこのべちま</sup>〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡川和町大字池辺から新設した町。古くは都筑郡池ノ辺村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、東方村、川向村、折本村、佐江戸村、川和村、折本村、大熊村、本郷村飛地と合併して都田村大字池ノ辺となる。昭和十年九月三十日に川和町大字池ノ辺と改称する。町名は旧村名を採った。もと、赤池という大きな池が宗忠寺の前にあり、その辺りに村があったので「池辺」と呼ばれるようになったという。『新篇武蔵風土記稿』の「池辺村」に「天正十八年太閤秀吉より狼藉制禁の札をあたへられたり、其文書は村内百姓久米吉と云もの所蔵せり、この久米吉が先祖は北条氏分國の頃、此地の

小代官を勤めたりとぞ、尚舊家の條を照らし見るべし、此地をいけのへと唱えることは、其頃よりのものにも見えし、されば古きよりのことならん」の記録がある。町は大丸、葛が谷、平台、東方町、川向町、東本郷町、鴨居町、鴨居一丁目、佐江戸町、加賀原一丁目、二の丸、富士見が丘に接する。町を中原街道が通る。南部は内陸工業地帯になっている。

### 市ヶ尾町<sup>いちがおちよう</sup>〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字市ヶ尾から新設した町。古くは都筑郡市ヶ尾村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、北八朔村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村飛地と合併して中里村大字市ヶ尾となる。町名は旧村名を採った。『小田原衆所領役帳』に「市郷」の記録がある。町は鉄町、大場町、荏田北二丁目、荏田西一丁目・三丁目〜五丁目、見花山、



市ヶ尾横穴古墳群（市ヶ尾町）

川和町、下谷本町、柿の木台、上谷本町に接する。町の西側を鶴見川が流れ、中央を国道246号、東名高速道路、東急田園都市線が通り、市が尾駅がある。町内に市ヶ尾横穴古墳群がある。

### いぶき野<sup>の</sup>〔昭和四十八年四月六日〕

昭和四十八年の土地区画整理事業の施行にともない長津田町の一部から新設した町。古くは都筑郡長津田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、恩田村、奈良村と合併して田奈村大字長津田となり、昭和十四年の横浜市編入の際、長津田町となる。町名は、「この付近には植樹が多く、ヒノキ科の常緑高木『伊吹』が多く植えられていたことと、新生『息吹』ということから地元要望で「いぶき野」と名付けた。町は長津田一丁目・六丁目、長津田町、十日市場町、しらとり台に接する。町の北側を恩田川が流れ、中央を横浜線が通る。

### 美しが丘<sup>うつく</sup>一丁目〜三丁目〔昭和四十四年一月十五日〕 美しが丘<sup>うつく</sup>四丁目・五丁目〔昭和四十七年七月二十六日〕

昭和四十四年と昭和四十七年の土地区画整理事業の施行にともない元石川町の一部から新設した町。古くは都筑郡石川村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、山内村大字石川となり、昭和十四年の横浜市編入の際、元石川町となる。町名は、土地区画整理事業を行う前、この地域が丘陵地帯で自然環境が美しかったので、宅造後も美しい町として発展することを願い、地元要望により選定した。町は美しが丘西一丁目、元石川町、あざみ野一丁目・四丁目、新石川二丁目〜四丁目、川崎市に接する。東側を東急田園都市線が通り、たまプラーザ駅がある。駅前商業施設が集中している。

美し<sup>うつく</sup>が丘<sup>おかにし</sup>西<sup>にし</sup>一丁目〜三丁目〔平成元年十一月五日〕

平成元年の土地区画整理事業の施行にともない、元石川町の一部から新設した町。町名は、町区域が「美しが丘」の西側にあたるため名付けた。町は美しが丘三丁目、元石川町、荏子田二丁目、すすき野三丁目、川崎市に接する。

梅<sup>うめ</sup>が丘<sup>おか</sup>〔昭和四十一年十一月六日〕

昭和四十一年の土地区画整理事業の施行にともない西八朔町、北八朔町の一部から新設した町。古くは都筑郡中里村といい、昭和十四年の横浜市編入の際、西八朔町と北八朔町を設けた。町名は、周辺の町名が植物の名前に因<sup>よ</sup>むことから、地元要望により「梅が丘」と名付けた。町は藤が丘二丁目、千草台、北八朔町、西八朔町、さつきが丘、つじが丘に接する。

荏<sup>え</sup>子<sup>こ</sup>田<sup>だ</sup>一丁目〜三丁目〔昭和五十九年四月二十九日〕

昭和五十九年の土地区画整理事業の施行にともない元石川町、大場町の各一部から新設した町。町名は、町区域が俗称で「荏子田」と呼ばれていたところから、地元要望で名付けた。『新篇武蔵風土記稿』の「石川村」の小名に「枝子田」の記録がある。昔、木の枝のように田が分かれて、入り込んでいたところから「枝子田」と呼ばれたという。町は美しが丘西三丁目、元石川町、大場町、すすき野一丁目・二丁目に接する。

荏<sup>え</sup>田<sup>だ</sup>北<sup>きた</sup>一丁目〜三丁目〔昭和五十三年四月二十九日〕

昭和五十三年の土地区画整理事業の施行にともない荏田町の一部から新設した町。古くは都筑郡荏田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、元石川村、黒須田村飛地



港北ニュータウン（荏田方面）

と合併して山内村大字荏田となる。昭和十四年の横浜市編入の際、荏田町となる。町名は東急田園都市線の江田駅の北側に位置することから「荏田北」と名付けた。地名研究で「エダ」は「湿地」を意味するという。町は荏田町、荏田西一丁目、市ケ尾町、大場町に接する。

荏<sup>え</sup>田<sup>だ</sup>町<sup>ちょう</sup>〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡山内村大字荏田から新設した町。古くは都筑郡荏田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、元石川村、黒須田村飛地と合併して山内村大字荏田となる。町名は旧村名を採った。町は新石川一丁目・四丁目、あざみ野二丁目・三丁目、大場町、荏田北二丁目・二丁目、荏田西一丁目・二丁目、荏田南四丁目・五丁目、荏田東四丁目、港北区中川二丁目〜五丁目に接する。町を東名高速道路、国道246号、東急田園都市線が通り、江田駅がある。

荏<sup>え</sup>田<sup>だ</sup>西<sup>にし</sup>一丁目〜三丁目〔昭和五十八年九月十一日〕  
荏<sup>え</sup>田<sup>だ</sup>西<sup>にし</sup>四丁目・五丁目〔昭和五十八年九月二十五日〕

昭和五十八年の土地区画整理事業の施行にともない、荏田町、市ケ尾町の各一部から新設した町。古くは都筑郡荏田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、元石川村、黒須田村飛地と合併して山内村大字荏田となる。昭和十四年の横浜市編入の際、荏田町となる。町名は、町区域が荏田町の西側に位置することと、「荏田」を町名の中に残したいという地元の要望により、「荏田西」と名付けた。町は荏田北一丁目・二丁目、荏田町、荏田南三丁目・四丁目、見花山、市ケ尾町に接する。町を東名高速道路が通る。当地区にあった長者原遺跡は都筑郡の軍衙（行政の中心地）のあったところと推定されている。

荏<sup>え</sup>田<sup>だ</sup>東<sup>とう</sup>一丁目・二丁目〔昭和六十二年五月六日〕(併)

荏<sup>え</sup>田<sup>だ</sup>東<sup>とう</sup>三丁目〔昭和五十八年八月八日〕(併)

荏<sup>え</sup>田<sup>だ</sup>東<sup>とう</sup>四丁目〔昭和六十二年五月六日〕(併)

昭和五十八年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない荏田町、池辺町、港北区茅ヶ崎町の一部から新設した町。町は荏田町、荏田南一丁目・五丁目、葛が谷、港北区中川町、茅ヶ崎町、荏田町、茅ヶ崎南五丁目に接する。

荏<sup>え</sup>田<sup>だ</sup>南<sup>なん</sup>一丁目〜三丁目〔昭和五十八年八月八日〕(併)

荏<sup>え</sup>田<sup>だ</sup>南<sup>なん</sup>四丁目〔昭和六十二年五月六日〕(併)

荏<sup>え</sup>田<sup>だ</sup>南<sup>なん</sup>五丁目〔昭和五十八年八月八日〕(併)

昭和五十八年と昭和六十二年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない池辺町、荏田町の一部から新設した町。町名は町区域の大半を荏田町が占めていることと荏田町の南部に位置しているところから「荏田南」と名付け

た。町は荏田町、荏田東二丁目・三丁目、大丸、見花山、荏田西二丁目・五丁目に接する。

### 榎が丘えのきおか

昭和四十二年の土地区画整理事業の施行にともない恩田町の一部から新設した町。古くは都筑郡恩田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、奈良村、長津田村と合併して田奈村大字恩田となる。昭和十四年の横浜市編入の際、恩田町となる。町名は字名「榎田」、「榎久保」から「榎」の字を採って「榎が丘」と名付けた。町は松風台、青葉台二丁目、しらとり台、田奈町に接する。町の東側を国道246号が通り、中央を東急田園都市線が通る。

### 大熊町おおくまちょう

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡川和町大字大熊から新設した町。古くは都筑郡大熊村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、池ノ辺村、東方村、川向村、佐江戸村、川和村、折本村、本郷村飛地と合併して都田村大字大熊となる。昭和十年九月三十日に川和町大字大熊と改称する。町名は旧村名を採った。地名研究で「クマ」は「曲」を意味し、川の流れが大きく曲流している形状を意味するという。町は仲町台三丁目・四丁目、折本町、川向町、港北区新羽町に接する。町内を第三京浜道路が通り、大熊川が流れる。

### 大場町おおばちょう

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字大場から新設した町。古くは都筑郡大場村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、黒須田村、市ケ尾村、北八朔村、西

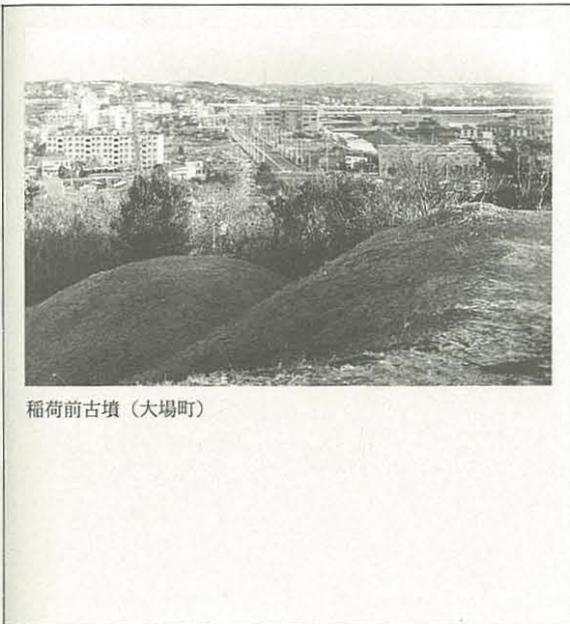
八朔村、小山村、青砥村、下麻生村飛地と合併して中里村大字大場となる。町名は旧村名を採った。鎌倉時代に、大場三郎というものが居住していたことから「大場」と呼ぶようになったとの言い伝えがある。地名研究で「オーバ」は「広場、とくに宮前」を意味するという。町は黒須田、黒須田町、すすき野一丁目、荏子田三丁目、元石川町、あざみ野三丁目、荏田町、荏田北二丁目、市ケ尾町、鉄町に接する。町内に稲荷前古墳がある。

### 大丸おおまる

昭和五十八年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない池辺町、荏田町、川和町の一部から新設した町。町名は池辺町の字名「大丸」を採った。町は荏田南一丁目・二丁目・三丁目、葛が谷、池辺町、見花山に接する。

### 折本町おりもとちょう

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡川和町大字折本か



稲荷前古墳（大場町）

ら新設した町。古くは都筑郡折本村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、池ノ辺村、東方村、川向村、佐江戸村、川和村、大熊村、本郷村飛地と合併して都田村大字折本となる。昭和十年九月三十日に川和町大字折本と改称する。町名は旧村名を採った。元は「織本」と称したが、いつの頃からか「折本」と書くようになったという。地名研究で「オリモト」は「崖地の下」を意味するという。町は桜並木、仲町台四丁目、大熊町、川向町、東方町に接する。町を第三京浜道路が通る。

### 恩田町おんだちょう

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡田奈村大字恩田から新設した町。古くは都筑郡恩田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、奈良村、長津田村と合併して田奈村大字恩田となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「オング」は「日陰になる田」を意味するという。町はすみよし台、桂台二丁目、松風台、田奈町、長津田三丁目、長津田町、あかね台一丁目・二丁目、東京都町田市に接する。町を東急こどもの国線が通る。

### 加賀原一丁目・二丁目かがはら

平成元年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない池辺町、川和町、佐江戸町の一部から新設した町。町名は佐江戸町の字名「加賀原」を採った。町は池辺町、佐江戸町、川和町、富士見が丘、二の丸に接する。

### 柿の木台かききだい

昭和四十九年の土地区画整理事業の施行にともない上谷本町、下谷本町の各一部から新設した町。町名は緑区内の植物に因む町名の一つで、この辺りに柿の木が多かったこ

とから名付けた。町は上谷本町、市ヶ尾町、下谷本町、藤が丘一丁目、もえぎ野、みたけ台に接する。

### 勝田町かつらだちょう

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中川村大字勝田から新設した町。古くは都筑郡勝田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、山田村、大棚村、牛久保村、茅ヶ崎村と合併して中川村大字勝田となる。町名は旧村名を採った。

### 桂台一丁目・二丁目かつらだい

昭和五十七年の土地区画整理事業の施行にともない恩田町、鴨志田町の各一部から新設した町。古くは都筑郡恩田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、奈良村、長津田村と合併して田奈村大字恩田となり、昭和十四年の横浜市編入の際、恩田町となる。町名は「この地域が比較的小高い、なだらかな台地で、眺望に優れ、自然にも恵まれて、四季の味わい深い土地である」とこと、「古来、月の意味を表し美しいこと、立派なものを表現する場合の形容に使われた木」として「桂台」と名付けた。町はずみよし台、鴨志田町、若草台、桜台、松風台、恩田町に接する。

### 上山町かみやまちょう

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新治村大字上猿山の全域と大字下猿山の内、字平台の一部から新設した町。古くは都筑郡上猿山村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中山村、十日市場村、榎下村、久保村、寺山村、台村、下猿山村、鴨居村、本郷村、上菅田村、新井新田と合併して新治村大字上猿山となる。町名に旧大字名を採ることにしたが、「猿」は「去る」に通じるので、「上猿山」

#### 鶴見川

東京都町田市から横浜市の北東部を流れ東京湾に注ぎ、全長四二・五キロメートルに及ぶ横浜市最大の一級河川である。市内を流れる鶴見川は、緑・港北・鶴見の三区にまたがり、この間には二十支流あまりの中小河川が流れ込んでいる。これらの支流では、河川名に因む町名がつけられているものが多い。

鶴見川の支流（\*は町名に因む河川）

\* 寺家川、\* 鴨志田川、\* 黒須田川、\* 大場川、\* 奈良川、\* 恩田川、\* 岩川、\* 梅田川、\* 鴨居川、\* 江川、\* 大熊川、\* 早瀬川、\* 布川、\* 柚木川、\* しらとり川、\* 浄念寺川、\* 宮下川、\* 砂田川、\* 鳥山川、\* 矢上川、\* 谷本川

から「猿」を除き、「上山町」としたと伝えられている。

昔はこの辺りの山林が深く、猿が多数群生していたという。地名研究で「サル」は「ザレ」と同じで、「崖崩れした所」を意味するという。町は中山町、佐江戸町、白山一丁目、四丁目、寺山町、旭区白根町に接する。町の北側を横浜線が通る。

### 上谷本町かみやもとちょう

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字上谷本から新設した町。古くは都筑郡上谷本村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ヶ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村飛地と合併して中里村大字上谷本となる。町名は旧村名を採った。町は鉄町、市ヶ尾町、柿の木台、みたけ台、たちばな台一丁目に接する。町の北側を鶴見川が流れる。

### 鴨居一丁目〜七丁目かもい

昭和六十年の住居表示施行にともない池辺町、鴨居町、佐江戸町、白山町、東本郷町、神奈川区菅田町の各一部から新設した町。古くは都筑郡鴨居村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中山村、十日市場村、榎下村、久保村、寺山村、台村、上猿山村、下猿山村、本郷村、上菅田村、新井新田と合併して新治村大字鴨居となり、昭和十四年の横浜市編入の際、鴨居町となる。町は鴨居町、東本郷一丁目、三丁目、竹山一丁目・二丁目、白山一丁目、四丁目、池辺町、佐江戸町、保土ヶ谷区上菅田町に接する。町の北側を横浜線が通り、鴨居駅がある。

### 鴨居町かもいちょう

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新治村大字鴨居から新設した町。古くは都筑郡鴨居町といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中山村、十日市場村、榎下村、久保村、寺山村、台村、上猿山村、下猿山村、本郷村、上菅田村、新井新田と合併して新治村大字鴨居となる。町名は旧村名を採った。町は二つの地域に分かれ、東本郷町、鴨居一丁目・二丁目、池辺町、鴨居三丁目・四丁目、竹山一丁目、四丁目、神奈川区菅田町、保土ヶ谷区上菅田町に接する。

### 鴨志田町かもしだちょう

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字鴨志田から新設した町。古くは都筑郡鴨志田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ヶ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村の飛地と合併して中

里村大字鴨志田となる。町名は旧村名を採った。町は寺家町、鉄町、たちばな台一丁目・二丁目、若草台、桂台二丁目、すみよし台、奈良町、東京都町田市に接する。

### 川向町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡川和町大字川向から新設した町。古くは都筑郡川向村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、池ノ辺村、東方村、佐江戸村、川和村、折本村、大熊村、本郷村飛地と合併して都田村大字川向となる。昭和十年九月三十日に川和町大字川向と改称する。町名は旧村名を採った。町は池辺町、東方町、折本町、大熊町、東本郷町、東本郷六丁目、港北区小机町に接する。町を第三京浜道路が通り、港北インターチェンジがある。

### 川和町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡川和町大字川和から新設した町。古くは都筑郡川和村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、池ノ辺村、東方村、佐江戸村、川向村、折本村、大熊村、本郷村飛地と合併して都田村大字川和となる。昭和十年九月三十日に川和町大字川和と改称する。町名は旧村名を採った。「川和」は「河輪」が転訛したものとされる。『日本三代實録』に「貞観十七年（八七五）二月武蔵国正六位上河輪神稲聚神授從五位下」の記録がある。地名研究で「カワワ」は「川の曲流」を意味するという。町は市ケ尾町、見花山、富士見が丘、加賀原一丁目・二丁目、佐江戸町、青砥町、北八朔町に接する。町の西南側を鶴見川が流れる。

### 北八朔町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字北八朔から新設した町。古くは都筑郡北八朔村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ケ尾村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村飛地と合併して中里村大字北八朔となる。町名は旧村名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「北八朔村」に「八朔は仮借の字にて『和名抄』の郷名にのせたる針折の地なるべきことは、既に郡の惣説の下に辨せし如くなり」とあり、「都筑郡総説」に「針折 此郷名も正しきことを傳へず、按ずるに今の八朔村もしくは遺名なるべし、八朔は郡の中央にあり、かの村の條にも出せし如く、後にいつの頃にや八朔と書改めしならん、元龜永祿の頃も今の文字に書來たれば、古きことなるべし」の記録がある。町は千草台、下谷本町、川和町、青砥町、小山村、北八朔町、梅が丘に接する。町の東側を

#### 緑区の原風景

明治二十五年に生まれ、詩人・小説家として有名な佐藤春夫は、彼の代表作「田園の憂鬱」の中で大正時代の鉄町を次のように描いている。

「一筋の平坦な街道が東から西へ、また別の街道が北から南へ通じている辺りに、その道に沿って一つの草深い農村があり、幾つかの卑下った草屋根があった。それはTとYとHとの大きな都市を直ぐ六七里の隣にして、暫えば三つの劇しい旋風の境目にできた真空のように、世紀から置きつ放しにされ、世界からは忘れられ、文明からは押流されてしよんぼりと置かれていたのであった」

今なお、鉄町周辺には田園風景が残っているが、開発の嵐が直ぐ隣まできており、今や横浜市内では数少ない貴重な緑となっている。

\*注 T=東京 Y=横浜 H=八王子

鶴見川が流れ、西側を東名高速道路が通る。

### 霧が丘一丁目・六丁目 [昭和五十六年三月二十一日]

昭和五十六年の土地区画整理事業の施行にともない十日市場町、新治町、長津田町、三保町の各一部から新設した町。古くは十日市場村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、鴨居村、中山村、榎下村、久保村、寺山村、台村、上猿山村、下猿山村、本郷村、上菅田村、新井新田と合併して新治村大字十日市場となり、昭和十四年の横浜市編入の際、十日市場町となる。昭和四十三年に、この地区の土地区画整理事業名が「霧が丘土地区画整理事業」と決定され、その名称を町名に採った。町は十日市場町、新治町、三保町、長津田町、旭区若葉台二丁目・四丁目に接する。

### 葛が谷 [昭和六十一年二月十日] (住)

昭和六十一年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない池辺町の一部から新設した町。町名は、この町区域の字名を採った。『新篇武蔵風土記稿』の「池ノ辺村」の小名に「葛ヶ谷 北の方を云」記録がある。「葛が谷」の「くず」は「葛」と表記し、「葛」ではない。町は荏田南一丁目、大丸、池辺町、平台、港北区茅ヶ崎南五丁目に接する。町内に都筑地区センター、北部プール、老人福祉センターがある。

### 鉄町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字鉄から新設した町。古くは都筑郡上鉄村、中鉄村、下鉄村といい、後に鉄村となる。明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、黒須田村、大場村、市ケ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、青砥村、

下麻生村飛地と合併して中里村大字鉄となる。町名は旧村名を採った。町はもみの木台、黒須田町、大場町、市ケ尾町、上谷本町、鴨志田町、寺家町、川崎市麻生区早野に接する。町内に桐蔭学園がある。

**黒須田**〔平成元年七月十六日〕

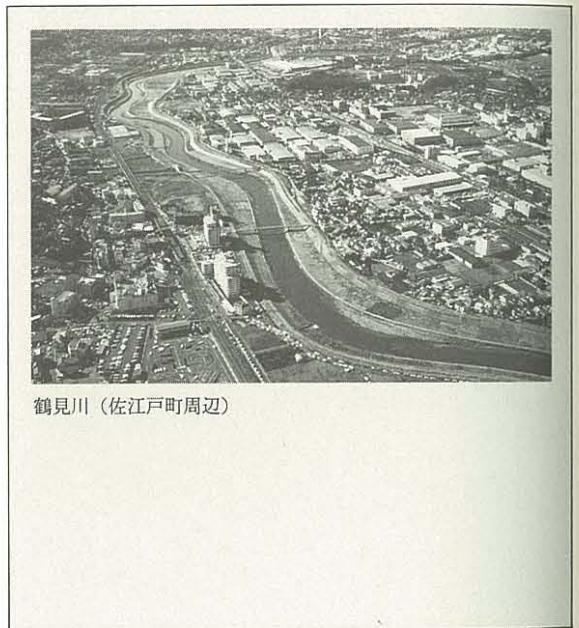
平成元年の土地区画整理事業の施行にともない黒須田町、大場町の各一部から新設した町。町名は、従来の由緒ある名称を残したいという地元の要望により、「黒須田」と名付けた。町は黒須田町、大場町に接する。

**黒須田町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字黒須田から新設した町。古くは都筑郡黒須田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、大場村、市ケ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村飛地と合併して中里村大字黒須田となる。町名は旧村名を採った。町は黒須田、大場町、すすき野一丁目、もみの木台、鉄町に接する。町の西側を黒須田川が流れる。

**小山町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字小山から新設した町。古くは都筑郡小山村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ケ尾村、北八朔村、西八朔村、青砥村、下麻生村飛地と合併して中里村大字小山となる。町名は旧村名を採った。町は西八朔町、北八朔町、青砥町、中山町、三保町、新治町、十日市場町に接する。町の南側を恩田川が流れる。



鶴見川（佐江戸町周辺）

**佐江戸町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡川和町大字佐江戸から新設した町。古くは都筑郡佐江戸村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、池ノ辺村、東方村、川向村、川和村、折本村、大熊村、本郷村の飛地と合併して都田村大字佐江戸となる。昭和十年九月三十日に川和町大字佐江戸と改称する。町名は旧村名を採った。佐江戸はもと「西土」と書いたのを、左りが江戸に当たるので「左江戸」と書き、後「佐江戸」と書くようになったとの言い伝えがある。町は川和町、加賀原一丁目・二丁目、池辺町、鶴見川を隔てて鴨居一丁目、白山町、中山町に接する。

**桜台**〔昭和四十二年五月五日〕

昭和四十二年の土地区画整理事業の施行にともない恩田町、成合町の各一部から新設した町。古くは都筑郡田奈村、中里村の一部で、昭和十四年の横浜市編入の際、恩田町、

成合町となる。町名は「花が美しく、古来、人に好まれた縁起の良い木」として桜を選び、「桜台」と名付けた。町は若草台、たちばな台一丁目・二丁目、みたけ台、もえぎ野、青葉台一丁目・二丁目、桂台一丁目に接する。

**桜並木**〔平成元年二月二十七日〕(住)

平成元年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない折本町、東方の一部から新設した町。町名は、東方町のこの地域が「サクラナミ」と呼ばれており、これに「キ」を付けて漢字の「桜並木」を充て、地元要望により名付けた。「サクラナミ」の「サクラ」とは、狭倉（低い崖地）、またはサコ（追い）とラ（接尾語）で台地や狭間を意味し、「ナミ」（並、続く）で、「狭い谷が続いている所」を意味するという。町は平台、東方町、折本町、仲町台四丁目、港北区東方町、茅ヶ崎南三丁目に接する。町を中原街道が通る。

**さつきが丘**〔昭和四十五年二月二十六日〕

昭和四十五年の土地区画整理事業の施行にともない西八朔町、恩田町の各一部から新設した町。古くは都筑郡田奈村、中里村の一部で、昭和十四年の横浜市編入の際、恩田町、西八朔町となる。町名は、この地域一帯の開発計画を立てる時、美しく静かな住宅地のイメージを表すように植物名を冠して統一するように計画されたので、隣接区域の「梅が丘」、「つつじが丘」に対応して「さつきが丘」と名付けた。町はつつじが丘、梅が丘、しらとり台、十日市場町、西八朔町に接する。町を東名高速道路が通る。

**寺家町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字寺家

ら新設した町。古くは都筑郡寺家村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ヶ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村の飛地と合併して中里村大字となる。町名は旧村名を採った。町は鉄町、鴨志田町、川崎市、東京都町田市に接する。町内に寺家ふるさと村がある。

### 下谷本町しもやもとちやう〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字下谷本から新設した町。古くは都筑郡下谷本村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ヶ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村の飛地と合併して中里村大字下谷本となる。町名は旧村名を採った。町は上谷本町、市ヶ尾町、北八朔町、千草台、藤が丘一丁目、柿の木台に接する。町の東側を鶴見川が流れ、町を東名高速道路、国道246号、東急田園都市線が通る。

### しらとり台しらとりだい〔昭和四十二年十一月十六日〕

昭和四十二年の土地区画整理事業の施行にともない恩田町の一部から新設した町。古くは都筑郡恩田村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、奈良村、長津田村と合併して田奈村大字恩田となる。昭和十四年の横浜市編入の際、恩田町となる。町名は、町内に祀っている神鳥しんじう前川神社の「神鳥」に由来し、古来から神鳥とされる白鳥を選び「しらとり台」と名付けた。町は榎が丘、つつじが丘、さつきが丘、十日市場町、いぶき野、田奈町に接する。

### 新石川一丁目〜四丁目しんいしかわ〔昭和五十四年二月十八日〕

昭和五十四年の土地区画整理事業の施行にともない元石川町の一部から新設した町。古くは都筑郡石川村、黒須田村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、都筑郡山内村大字石川と黒須田となり、昭和十四年の横浜市編入の際、元石川町となる。町名は従来の由緒ある名称を残したいという地元要望により「新石川」と名付けた。町は美しが丘一丁目・二丁目・五丁目、あざみ野一丁目・二丁目、荏田町、港北区牛久保町、川崎市に接する。町を東名高速道路が通る。

### すすき野一丁目〜三丁目

〔昭和四十八年十月二十六日〕

昭和四十八年の土地区画整理事業の施行にともない鉄町、黒須田町、元石川町の各一部から新設した町。古くは都筑郡中里村、山内村の内であった。町名は「武蔵野とすすき

は縁の深いもので、秋の七草の一つであると共に、よく繁茂する植物であることから、町の繁栄に願いを込めて「すすき野」と名付けた。町は美しが丘三丁目、荏子田二丁目・三丁目、大場町、黒須田町、もみの木台、川崎市に接する。町内にすすき野団地がある。

### すみよし台すみよしだい〔昭和五十一年七月十六日〕

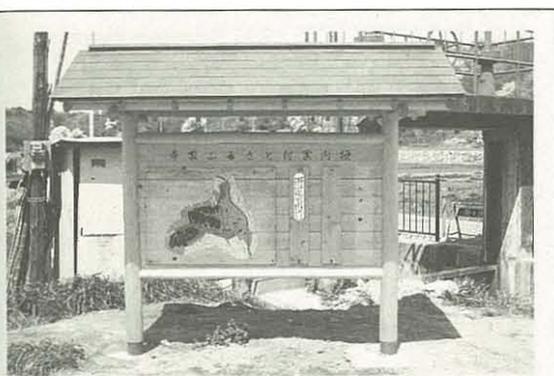
昭和五十一年の土地区画整理事業の施行にともない恩田町、鴨志田町、奈良町の各一部から新設した町。古くは都筑郡田奈村、中里村の内であった。町名は、この地区の西北側に隣接して大阪の住吉神社から勧請した住吉神社があり、「住みやすい」に通ずることから「すみよし台」と名付けた。町は奈良町、鴨志田町、桂台二丁目、恩田町に接する。

### 台村町たいむらちやう〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新治村大字台から新設した町。古くは都筑郡台村といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、中山村、十日市場村、榎下村、久保村、寺山村、上猿山村、下猿山村、鴨居村、本郷村、上菅田村、新井新田と合併して新治村大字台となる。町名は旧村名を採った。村の西南部が台地になっていて、民家がすべてこの台地上にあったことから「台村」と呼ばれるようになったという。町は小山町、寺山町、三保町、旭区上白根町に接する。町の北側を横浜線が通る。

### 竹山一丁目〜四丁目たけやま〔昭和四十七年九月六日〕

昭和四十七年の土地区画整理事業の施行にともない鴨居町の一部から新設した町。古くは都筑郡新治村大字鴨居といひ、昭和十四年の横浜市編入の際、鴨居町となる。町名



寺家ふるさと村 (寺家町)

は、竹の産地であったことと、緑の映える美しい団地を表す名称として団地名を「竹山団地」したことから、町名もその名を採った。町は鴨居町、鴨居四丁目、七丁目、保土ヶ谷区上菅田町、新井町に接する。

### たちばな台<sup>だい</sup>一丁目・二丁目

〔昭和四十六年一月十五日〕

昭和四十六年の土地区画整理事業の施行にともない上谷本町、鴨志田町、成合町、恩田町の各一部から新設した町。古くは都筑郡田奈村、中里村の内であった。町名は、隣接する町が桜台であることから、「右近の橋、左近の桜」の故事に因み、古くから人々に好まれていた芳しい、縁起の良い木であることから「たちばな台」と名付けた。町は鴨志田町、鉄町、みたけ台、桜台、若草台に接する。

### 田奈町<sup>たなちょう</sup>

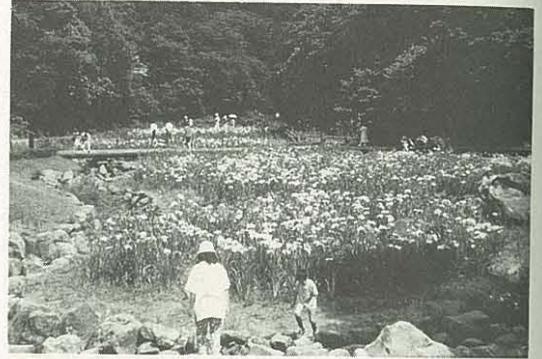
〔昭和四十六年三月二十六日〕

昭和四十六年の土地区画整理事業の施行にともない恩田町の一部から新設した町。古くは都筑郡恩田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、奈良村、長津田村と合併して田奈村大字恩田となる。町名は、東急田園都市線の田奈駅があり、田奈の名称が親しまれており、地元の希望により「田奈町」と名付けた。「田奈」は「恩田、長津田」の「田」と「奈良」の「奈」を組み合わせたもの。町は榎が丘、しらとり台、長津田一丁目・二丁目、恩田町に接する。町を東急田園都市線が通り、田奈駅がある。

### 千草台<sup>ちくさだい</sup>

〔昭和四十三年八月六日〕

昭和四十三年の土地区画整理事業の施行にともない下谷本町の一部から新設した町。古くは都筑郡下谷本村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成



県立四季の森公園 (寺山町)

合村、上谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ヶ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村の飛地と合併して中里村大字下谷となり、昭和十四年の横浜市編入の際、下谷本町となる。町名は、緑区の植物名から採った町名の一つとして名付けた。町は藤が丘一丁目・二丁目、梅が丘、北八朔町、下谷本町に接する。町を東名高速道路が通る。

### つつじが丘<sup>おか</sup>

〔昭和三十九年三月三十一日〕

昭和三十九年の土地区画整理事業の施行にともない恩田町の一部から新設した町。古くは都筑郡恩田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、奈良村、長津田村と合併して田奈村大字恩田となる。昭和十四年の横浜市編入の際、恩田町となる。町名は、緑が多く、花が美しく、街づくりにふさわしい名称として選んだ。町は青葉台一丁目、藤が丘二丁目、梅が丘、さつきが丘、しらとり台、榎が丘に接する。町の北西側を国道246号が通る。

### 寺山町<sup>てらやまちょう</sup>

〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新治村大字寺山から新設した町。古くは都筑郡寺山村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中山村、十日市場村、榎下村、久保村、台村、上猿山村、下猿山村、鴨居村、本郷村、上菅田村、新井新田と合併して新治村大字寺山となる。町名は旧村名を採った。町は中山町、台村町、旭区上白根町、上白根三丁目、中白根三丁目に接する。町内に緑区役所、四季の森公園がある。

### 十日市場町<sup>とにかいちばちょう</sup>

〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新治村大字十日市場から新設した町。古くは都筑郡十日市場村といい、榎下村から分村したという。明治二十二年の市町村制施行の際、中山村、榎下村、久保村、寺山村、台村、上猿山村、下猿山村、鴨居村、本郷村、上菅田村、新井新田と合併して新治村大字十日市場となる。町名は旧村名を採った。ここには毎月十日に市が立ったという。町はいぶき野、しらとり台、さつきが丘、西八朔町、小山町、新治町、霧が丘一丁目・二丁目、長津田町に接する。町を東名高速道路、横浜線が通り、十日市場駅がある。

### 長津田一丁目、七丁目

〔昭和五十七年七月十九日〕

昭和五十七年の住居表示施行にともない恩田町、長津田町の各一部から新設した町。町は恩田町、田奈町、いぶき野、長津田町に接する。町の東側を国道246号が通り、町内を横浜線、東急田園都市線、東急こどもの国線が通り、長津田駅がある。

ながつたちょう  
**長津田町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡田奈村大字長津田から新設した町。古くは都筑郡長津田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、恩田村、奈良村と合併して田奈村大字長津田となる。町名は旧村名を採った。町はいぶき野、十日市場町、霧が丘二丁目、長津田三丁目、七丁目、旭区若葉台四丁目、東京都町田市に接する。町内を国道246号、東名高速道路が通り、横浜インターチェンジがある。また、東京工業大学大学院がある。

なかもちだいら  
**仲町台二丁目・三丁目**〔昭和六十二年五月六日〕(注)

なかもちだいら  
**仲町台四丁目**〔平成元年二月二十七日〕(注)

なかもちだいら  
**仲町台五丁目**〔平成二年七月九日〕(注)

昭和六十二年、平成元年及び平成二年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない大熊町、新羽町、折本町、東方町、勝田町の一部から新設した町。町名は大熊町の字名「仲町」に「台」を付けて名付けた。町は桜並木、折本町、大熊町、新羽町、港北区東方町、勝田町、勝田町南一丁目、新栄町、新吉田町に接する。

なかもちだいら  
**中山町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新治村大字中山から新設した町。古くは都筑郡中山村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、十日市場村、榎下村、久保村、寺山村、台村、上猿山村、下猿山村、鴨居村、本郷村、上菅田村、新井新田と合併して新治村大字中山となる。町名は旧村名を採った。村の中央部が丘陵になっているところから「中山」と呼ばれるようになったという。町は小山町、青

砥町、佐江戸町、上山町、寺山町、台村町に接する。町内を横浜線が通り、中山駅がある。

ならちよう  
**奈良町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡田奈村大字奈良から新設した町。古くは都筑郡奈良村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、恩田村、長津田村と合併して田奈村大字奈良となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「ナラ」は「緩斜地、平地」を意味するという。町は緑山、鴨志田町、すみよし台、恩田町、川崎市、東京都町田市に接する。町を東急こどもの国線が通り、こどもの国駅がある。町内にこどもの国がある。

なりあいちよう  
**成合町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字成合から新設した町。古くは都筑郡成合村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、上谷本村、下谷

本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ケ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村の飛地と合併して中里村大字成合となる。町名は旧村名を採った。町は鴨志田町に包まれている。

にい、はるちよう  
**新治町**〔昭和十四年四月一日〕

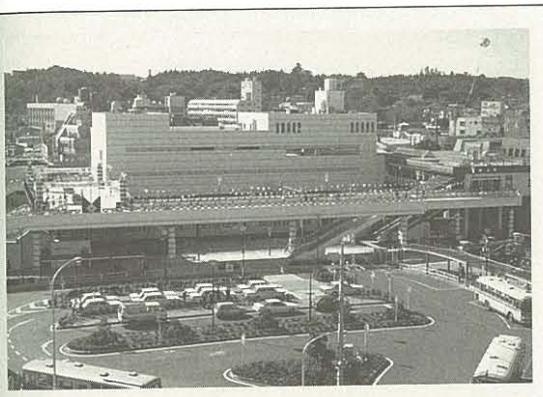
昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新治村大字榎下から新設した町。古くは都筑郡榎下村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中山村、十日市場村、久保村、寺山村、台村、上猿山村、下猿山村、鴨居村、本郷村、上菅田村、新井新田と合併して新治村大字榎下となる。町名は編入前の村名を採った。旧村名を採れば「榎下町」とすべきところ、近村の元郷であったので、新たな村治の幸先を祝って名付けたという。町は十日市場町、小山町、三保町、霧が丘一丁目・四丁目に接する。

にし、はつさくちよう  
**西八朔町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字西八朔から新設した町。古くは都筑郡西八朔村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ケ尾村、北八朔村、小山村、青砥村、下麻生村の飛地と合併して中里村大字西八朔となる。町名は旧村名を採った。町は梅が丘、北八朔町、小山町、さつきが丘に接する。町の北西側を東名高速道路が通り、港北パーキングエリアがある。

にっぽちよう  
**新羽町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新田村大字新羽から新設した町。古くは都筑郡新羽村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、吉田村、高田村と合併して、新田村



中山駅

大字新羽となる。町名は旧村名を採った。文明十八年（一四八六）の道興准后の『廻國雜記』に「新羽といへる所におもむき侍るとて」の記録がある。町は仲町台二丁目・五丁目、大熊町、港北区勝田町南一丁目に接する。

二の丸まる〔平成元年十二月二十七日〕(注)

平成元年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない池辺町、川和町の一部から新設した町。町名は町区域の大半を占める池辺町の字名「二の丸」を採った。町は富士見が丘、池辺町、加賀原一丁目に接する。

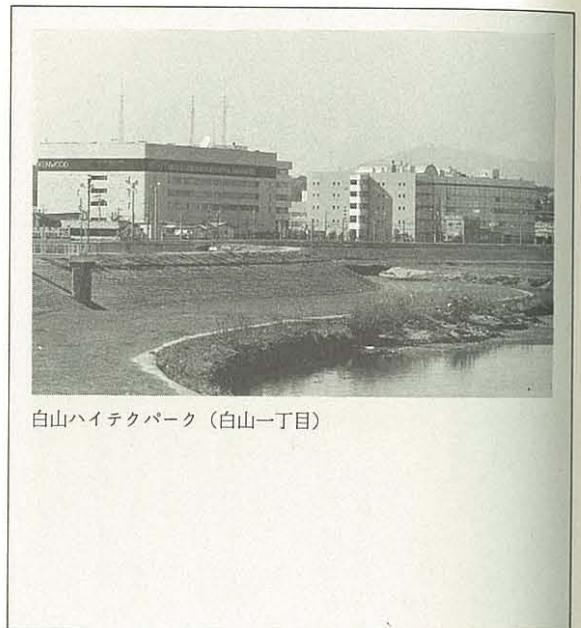
白山一丁目〜四丁目〔平成二年七月九日〕(注)

平成二年の住居表示施行にともない、白山町及び鴨居町五丁目、佐江戸町、上山町、旭区白根町から新設した町。

古くは都筑郡下猿山町といひ、明治二十二年の市町村制施行の際、中山村、十日市場村、榎下村、久保村、寺山村、台村、上猿山村、鴨居村、本郷村、上菅田村、新井新田と合併して新治村大字下猿山となる。昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新治村大字下猿山の内、字平台の一部を上山町に分ち、残りの区域から白山町を設ける。町名は旧村名を採るべきところ、「猿」は「去る」に通ずることから、町内に祀られている白山神社に因んで名付けた。町は佐江戸町、鴨居一丁目・五丁目〜七丁目、上山町、保土ヶ谷区上菅田町に接する。北側を横浜線が通る。町内に白山ハイテクパークがある。

東方町〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡川和町大字東方から新設した町。古くは都筑郡東方村といひ、元は池辺村の内、その東の方にあったので東方と字したが、いつか分



白山ハイテクパーク (白山一丁目)

かれて一村となったという。明治二十二年の市町村制施行の際、池辺村、川向村、佐江戸村、川和村、折本村、大熊村、本郷村の飛地と合併して都田村大字東方となり、昭和十年九月三十日に川和町大字東方と改称する。町名は旧村名を採った。町は平台、港北区茅ヶ崎南三丁目〜五丁目、桜並木、折本町、川向町、池辺町に接する。

東本郷一丁目〜六丁目

〔昭和六十三年七月二十五日〕(注)

昭和六十三年の住居表示施行にともない東本郷町、神奈川区菅田町、港北区小机町の各一部から新設した町。町は本郷町、鴨居二丁目・三丁目、神奈川区菅田町、港北区小机町に接する。町の北側を横浜線が通る。

東本郷町〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新治村大字本郷から新設した町。古くは都筑郡本郷村といひ、明治二十二年

の市町村制施行の際、中山村、十日市場村、榎下村、久保村、寺山村、台村、上猿山村、下猿山村、鴨居村、上菅田村、新井新田と合併して新治村大字本郷となる。町名は旧村名を採って「本郷町」とすべきところ、横浜の旧市内に「本郷町」が既にあるため、ここは東に当たることから、字名に「東」を冠して名付けた。町は川向町、池辺町、鴨居町、東本郷六丁目に接する。町の北側を鶴見川が流れる。

平台〔昭和五十九年十一月五日〕(注)

昭和五十九年の港北ニュータウンの住居表示施行にともない池辺町、東方町の一部から新設した町。町名は東方町の字名「平台」を採った。町は葛が谷、池辺町、東方町、桜並木に接する。

藤が丘一丁目・二丁目〔昭和四十一年十一月六日〕

昭和四十一年の土地区画整理事業の施行にともない上谷本町、下谷本町、西八朔町、北八朔町、恩田町の各一部から新設した町。町名は、昭和四十一年に開通した東急田園都市線の藤が丘駅の駅名と、ほぼ同時期に決定され、付近に富士塚があることと、いたる所に野生の藤が茂り、春になると可憐な花が咲いて、人々のこの花に対する愛着がひとしおであることから「藤が丘」と名付けた。町は下谷本町、柿の木台、もえぎ野、つつじが丘、梅が丘、千草台に接する。町を国道246号、東急田園都市線が通り、藤が丘駅がある。

富士見が丘〔昭和六十一年二月十日〕(注)

昭和六十一年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない池辺町、川和町の各一部から新設した町。町名は川和町の中に「川和富士」があり、地元の要望により「富

士見が丘」と名付けた。明治十年頃に富士浅間を信仰する有志が川和富士を築いたという。町は見花山、池辺町、二の丸、加賀原一丁目、川和町に接する。

### 松風台まつかぜだい

昭和四十二年の土地区画整理事業の施行にともない恩田町の一部から新設した町。古くは都筑郡恩田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、奈良村、長津田村と合併して田奈村大字恩田となる。町名は、旧字の長峰に松の大本が多かったことから「松風台」と名付けた。町は桂台一丁目・二丁目、青葉台二丁目、榎が丘、恩田町に接する。

### みたけ台みたくたい

昭和五十年の土地区画整理事業の施行にともない上谷本町の一部から新設した町。古くは都筑郡上谷本村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ケ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村の飛地と合併して中里村大字上谷本となり、昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字上谷本から上谷本町となる。町名は、この地域に竹が多かったことから「みたけ台」と名付けた。町は上谷本町、柿の木台、もえぎ野、桜台、たちはな台一丁目に接する。

### 緑山みどりやま

昭和五十三年の町界町名地番整理施行にともない奈良町の一部から新設した町。古くは都筑郡奈良村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、恩田村、長津田村と合併して田奈村大字奈良となり、昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡田奈村大字奈良から奈良町となる。宅地開発によ

て造成されたが、町域のほとんどがTBSのスタジオとして使用され、テレビの三原色の中の「緑」を採って「緑山」と名付けた。町は奈良町、川崎市、東京都町田市に接する。

### 見花山みはなやま

昭和五十八年の港北ニュータウン地区の住居表示施行にともない池辺町、川和町の一部から新設した町。町名は川和町の字名「見花山」を採った。町は大丸、富士見が丘、川和町、市ケ尾町、荏田西五丁目、荏田南三丁目に接する。

### 三保町みほちょう

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡新治村大字久保から新設した町。古くは都筑郡久保村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中山村、十日市場村、榎下村、寺山村、台村、上猿山村、下猿山村、鴨居村、本郷村、上菅田村、新井新田と合併して新治村大字久保となる。町名は、



都筑ふれあいの丘と環境事業局北部工場

旧村名を採れば「久保町」となるところ、横浜の旧市内に既に「久保町」があるため、久保村が三つの谷戸になっていて、その親睦互助の精神を表現し、明朗発展を祝して、「三谷戸」の「三」と「久保」の「保」を採り「三保町」と名付けた。町は新治町、小山町、台村町、霧が丘四丁目、旭区上白根町、川井宿町、上川井町、若葉台一丁目に接する。町内に三保市民の森がある。

### もえぎ野もえぎの

昭和四十六年の土地区画整理事業の施行にともなって上谷本町、下谷本町の各一部から新設した町。古くは都筑郡上谷本村、下谷本村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、鉄村、黒須田村、大場村、市ケ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村の飛地と合併して中里村大字上谷本、下谷本となる。昭和十四年の横浜市編入の際、上谷本町、下谷本町となる。町名は緑区の植物に因む町名の一つとして名付けた。町はみたけ台、柿の木台、藤が丘一丁目、青葉台一丁目、桜台に接する。町の南東側を国道246号が通る。

### 元石川町もといしかわちょう

昭和十四年の横浜市編入の際、都筑郡山内村大字石川、黒須田から新設した町。黒須田村の飛地の字平井谷、松場免谷、日吉の区域を合わせた。古くは都筑郡石川村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、荏田村、黒須田村の飛地と合併して山内村大字石川となる。町名は旧村名を採ったが、横浜の旧市内に石川町が既にあるため、「元」の字を冠し、元の石川村の意を表して「元石川」と名付けた。町は美しが丘西一丁目・三丁目、荏子田一丁目・三丁目、大場町、あざみ野四丁目、美しが丘三丁目・四丁目

### もみの木台きだい [昭和四十八年十月二十六日]

昭和四十八年の土地区画整理事業の施行にともない鉄町、黒須田町の各一部から新設した町。古くは都筑郡鉄村、黒須田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、大場村、市ヶ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村の飛地と合併して中里村大字鉄、黒須田となる。昭和十四年の横浜市編入の際、鉄町、黒須田町となる。町名は、一面に広がった松並木の中に、点々とはあるが、天にも届く勢いで一直線に成長するもみの木の姿は勇壮であり、町がそのように発展することを願って「もみの木台」と名付けた。町はずすき野二丁目、黒須田町、鉄町、川崎市に接する。

### 若草台わかぐさだい [昭和四十六年一月十五日]

昭和四十六年の土地区画整理事業の施行にともない恩田町の一部から新設した町。古くは都筑郡恩田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、奈良村、長津田村と合併して田奈村大字恩田となる。昭和十四年の横浜市編入の際、恩田町となる。町名は、緑区の植物に因ちなむ町名として、「新しく生まれ、これから発展する町」の名前にふさわしいことから「若草台」を選んだ。町は鴨志田町、ちちはな台二丁目、桜台、桂台一丁目・二丁目に接する。

#### 草木の因む町名

緑区では青葉台・あざみ野・藤が丘・桂台をはじめ、植物の名称に因んだ町名が多く、そのほとんどが昭和三十年代後半から始まった東急の田園都市線沿線の住宅地開発（土地区画整理事業）によって生まれたものである。この地域が緑多い丘陵地帯であったことから名付けられたものである。

開発される前の様子は、鶴見川流域の平野や谷戸に沿って村落が形成されていたが、現在では丘の上に住宅地ができ多くの人々が住んでいる。

緑区の草木に因む町名（全38か町）

- 梅が丘、榎が丘、さつきが丘、つつじが丘、藤が丘一丁目・二丁目、青葉台一丁目・二丁目、柿の木台、桂台一丁目・二丁目、桜台、千草台、ちちはな台一丁目・二丁目、松風台、みたけ台、もみの木台、若草台、あざみ野一丁目・四丁目、すずき野一丁目・三丁目、もえぎ野、いぶき野、葛が谷、竹山一丁目・四丁目、緑山、見花山、あかね台一丁目・二丁目、桜並木

\*注：〇一丁目・二丁目は、それぞれ独立した町である。



Y O K O H A M A

# 戸塚区

まさかりが淵周辺(汲沢町)





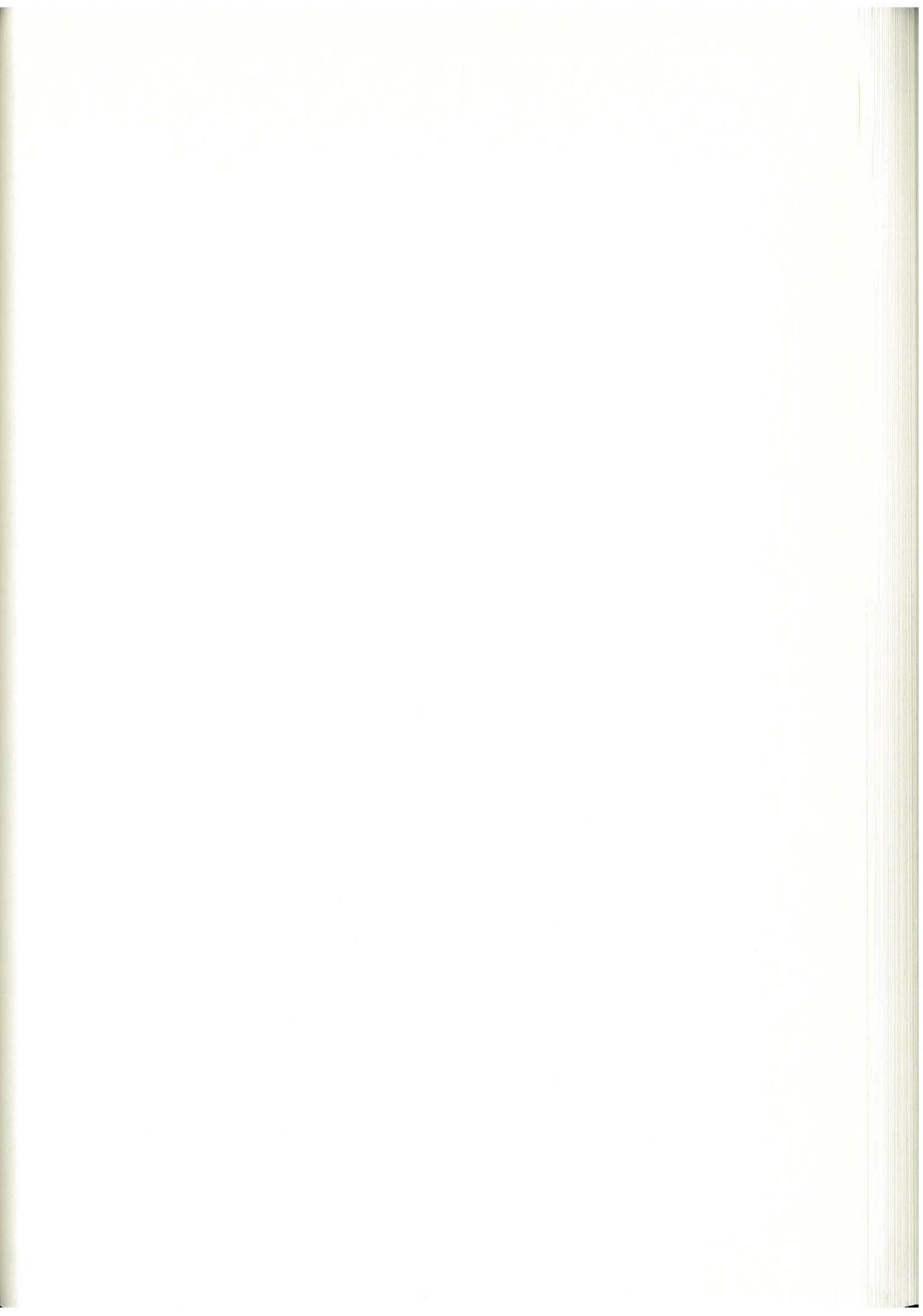
# 戸塚区



1km

戸塚区 (35.690km<sup>2</sup>)

| 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|--------|-----------------------|----|-----------------------|----|-----------------------|
| 秋葉町    | 0.552                 |    |                       |    |                       |
| 影取町    | 0.363                 |    |                       |    |                       |
| 柏尾町    | 0.863                 |    |                       |    |                       |
| 上柏尾町   | 0.430                 |    |                       |    |                       |
| 上倉田町   | 1.501                 |    |                       |    |                       |
| 上矢部町   | 2.087                 |    |                       |    |                       |
| 川上町    | 1.412                 |    |                       |    |                       |
| 汲沢一丁目  | 0.257                 |    |                       |    |                       |
| 汲沢二丁目  | 0.168                 |    |                       |    |                       |
| 汲沢三丁目  | 0.168                 |    |                       |    |                       |
| 汲沢四丁目  | 0.146                 |    |                       |    |                       |
| 汲沢五丁目  | 0.122                 |    |                       |    |                       |
| 汲沢六丁目  | 0.151                 |    |                       |    |                       |
| 汲沢七丁目  | 0.155                 |    |                       |    |                       |
| 汲沢八丁目  | 0.152                 |    |                       |    |                       |
| 汲沢町    | 1.360                 |    |                       |    |                       |
| 小雀町    | 1.916                 |    |                       |    |                       |
| 品濃町    | 2.145                 |    |                       |    |                       |
| 下倉田町   | 1.372                 |    |                       |    |                       |
| 戸塚町    | 3.296                 |    |                       |    |                       |
| 鳥が丘    | 0.426                 |    |                       |    |                       |
| 名瀬町    | 2.948                 |    |                       |    |                       |
| 原宿町    | 1.264                 |    |                       |    |                       |
| 東俣野町   | 1.528                 |    |                       |    |                       |
| 平戸一丁目  | 0.191                 |    |                       |    |                       |
| 平戸二丁目  | 0.217                 |    |                       |    |                       |
| 平戸三丁目  | 0.322                 |    |                       |    |                       |
| 平戸四丁目  | 0.191                 |    |                       |    |                       |
| 平戸五丁目  | 0.207                 |    |                       |    |                       |
| 平戸町    | 1.045                 |    |                       |    |                       |
| 深谷町    | 1.840                 |    |                       |    |                       |
| 舞岡町    | 2.374                 |    |                       |    |                       |
| 前田町    | 0.521                 |    |                       |    |                       |
| 俣野町    | 1.248                 |    |                       |    |                       |
| 南舞岡一丁目 | 0.151                 |    |                       |    |                       |
| 南舞岡二丁目 | 0.082                 |    |                       |    |                       |
| 南舞岡三丁目 | 0.163                 |    |                       |    |                       |
| 南舞岡四丁目 | 0.157                 |    |                       |    |                       |
| 矢部町    | 1.113                 |    |                       |    |                       |
| 吉田町    | 1.085                 |    |                       |    |                       |



## 戸塚区の区名とそのあゆみ

戸塚区は、昭和十四年四月一日に鎌倉郡戸塚町ほかの地域を横浜市へ編入した際に新設した。区名は、鎌倉区という案もあったが、古くから東海道の宿場であった戸塚町の名を採った。横浜市の南西部に位置し、区の中央を南北に柏尾川が流れ、それに沿って国道1号や東海道本線が通る。江戸時代に東海道の宿場町として栄え、明治二十二年に東海道線の戸塚駅が設置された。横須賀に近いために軍需工業地帯として、また住宅地としての開発が進んだが、周辺の大部分は近郊農業地帯であった。昭和三十年に横浜新道が開通し道路網が整備されて、上柏尾、下倉田などに住宅団地が建設された。産業と文化が調和した活力あふれる副都心として、戸塚駅周辺地区を中心に多極的な都市構造づくりが進められ、街づくりの推進、交通ネットワークの充実した街、文化・スポーツ活動の盛んな街づくりを進めている。

戸塚区の町名は、鎌倉に近いこともあり、横浜市の中でも古い地名についての記録が多く残されている。郷名、村名のように広い地域を示す地名だけでなく、比較的狭い地域を表わす小字、小名が古文書に記録されていて、現在でもその位置を特定できることは特筆すべきである。戸塚区の町名は、このような古い時代からの名をそのまま引き継いでいる。



戸塚駅周辺（旭町通商店街・戸塚町）

## 秋葉町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市の際、鎌倉郡中川村大字秋葉から新設した町。古くは鎌倉郡秋葉村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、岡津村、阿久和村、上矢部村、名瀬村と合併して中川村大字秋葉となる。町名は旧村名を採った。町は川上町、前田町、上柏尾町、柏尾町、名瀬町に接する。町の南東側を柏尾川が流れる。

## 影取町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡大正村大字山谷、城廻しろめぐりから新設した町。古くは鎌倉郡山谷新田および城廻村飛地といい、明治二十二年の市町村制施行の際、東俣野村、上俣野村および城廻村飛地を合併して俣野村大字山谷新田となる。大正四年に富士見村、俣野村、長尾村を合併して大正村大字山谷新田となる。「影取」については次のような伝説がある。昔、東海道のこの地内に一つの池があって大蛇が住んでいた。そして街道を通行する旅人の姿が池に写ると、大蛇が浮かび出てその影を呑み込んだという。影を飲まれた人は、その後で必ず死んでしまったので恐れられた。そこで、この池を影取池と呼ぶようになった。東俣野に「鉄砲宿」というところがあるが、そこに住む猟師が鉄砲でこの大蛇を退治したことから、「鉄砲宿」の小名が付いたという。町名は、この伝説に因よんで名付けた。町は小雀町、原宿町、東俣野町、鎌倉市に接する。西側を東海道が通る。

## 柏尾町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡川上村大字下柏尾から新設した町。古くは鎌倉郡下柏尾村といい、明治二十

二年の市町村制施行の際、上柏尾村、前山田村、後山田村、品濃村、平戸村、舞岡村、永谷村飛地と合併して川上村大字下柏尾となる。町名は旧村名を採った。「下」の字を除いたのは、この町区域が昔の柏尾の本村であったことによる。町は秋葉町、上柏尾町、舞岡町、吉田町、上矢部町、名瀬町、港南区下永谷町に接する。町の北西側を東海道本線、横須賀線、東海道貨物線が通る。

### 上柏尾町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡川上村大字上柏尾から新設した町。古くは鎌倉郡上柏尾村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、下柏尾村、前山田村、後山田村、品濃村、平戸村、舞岡村、永谷村飛地と合併して川上村大字上柏尾となる。町名は旧村名を採った。『新編相模國風土記稿』の「上柏尾村」に「按ずるに承久の亂宇治川合戦に相模國の住人檜尾三郎景方十六歳にて官軍と挑戦ひしことあり、蓋當所の人なるべし、然れば村名古檜尾と記せしにや」の記録がある。地名研究で「カシオ」は「山稜の斜面」を意味するという。町は前田町、秋葉町、柏尾町、港南区下永谷町に接する。町の西側を東海道本線、横須賀線、東海道貨物線が通る。

### 上倉田町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡豊田村大字上倉田から新設した町。古くは鎌倉郡上倉田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、飯島村、長沼村、下倉田村と合併して豊田村大字上倉田となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「クラタ」は「谷間の田」を意味するという。

町は吉田町、舞岡町、下倉田町、戸塚町に接する。町の西側を東海道本線、横須賀線、東海道貨物線が通る。町内に

明治学院大学がある。

### 上矢部町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡中川村大字上矢部から新設した町。古くは鎌倉郡上矢部村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、岡津村、阿久和村、秋葉村、名瀬村と合併して中川村大字上矢部となる。町名は旧村名を採った。この辺に矢作部やせべのものが居住していて、矢の製作を業としていたことから矢作部村と称し、その後「矢部」と呼ぶようになったという。町内の地名に、羽沢、矢沢、矢馳、鳥ヶ谷、鍛冶屋敷、鍛冶畑、鍛冶屋橋がある。地名研究で「ヤベ」は「谷辺、川辺」を意味するという。町は名瀬町、柏尾町、吉田町、矢部町、鳥が丘、泉区岡津町、領家二丁目に接する。町の中央を阿久和川が流れ、東側を東海道本線、横須賀線、東海道貨物線、横浜新道が通る。

#### 戸塚宿

徳川家康は、関ヶ原の戦いに勝ち天下の権を握るとその翌年、慶応六年（一六〇一年）一月、東海道伝馬（宿場に備えて、人や物を送るときに使う馬）の制を定め、江戸と京阪地方との交通政策を確立した。慶長九年（一六〇四年）正式に宿駅として認められ、保土ヶ谷宿と藤沢宿の間、伝馬の仕事を従事するようになった。江戸日本橋から数えて九つ目の一里塚（一里は約四キロメートル）が今の品濃町に築かれ、現在も「品濃の一里塚」として残されている。宿の出入口には、見付（見張りをする所）が設けられ、伝馬の仕事を支配する問屋場のほか、本陣・脇本陣・旅籠などの宿泊施設も整備され、東海道五十三次の中でも上位の規模を誇るにぎわいのある宿場町となったのであった。

### 川上町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡川上村大字後山田の字原田および田中の一部を前田町の区域とし、その他の区域から新設した町。古くは鎌倉郡後山田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、上柏尾村、下柏尾村、前山田村、品濃村、平戸村、舞岡村、永谷村の飛地と合併して川上村大字川上となる。町名は旧村名を採った。柏尾川の川上に当たることから「川上」と呼ばれるようになった。町は品濃町、前田町、秋葉町、名瀬町、旭区大池町に接する。町を横浜新道が通る。

### 汲沢一丁目〜四丁目 [昭和五十八年七月十八日] (注)

### 汲沢五丁目〜八丁目 [昭和六十年七月二十二日] (注)

昭和五十八年と昭和六十年の住居表示施行にともない汲沢町、戸塚町の各一部から新設した町。町は矢部町、戸塚町、汲沢町、泉区中田町に接する。

### 汲沢町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡大正村大字汲沢から新設した町。古くは鎌倉郡汲沢村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、深谷村および原宿村と合併して富士見村大字汲沢となる。大正四年に小雀村、俣野村、長尾村を合併して大正村大字汲沢となる。町名は旧村名を採った。町は汲沢一丁目・三丁目〜六丁目、戸塚町、原宿町、深谷町、泉区中田町に接する。

### 小雀町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡大正村大字小雀から新設した町。古くは鎌倉郡小雀村といい、明治二十二年

の市町村制施行の際、田谷村、金井村、長尾台村と合併して長尾村大字小雀となる。大正四年に富士見村、俣野村、長尾村を合併して大正村大字小雀となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「スズメ」は「雀の訛まがひのスズミ、稲積」を意味するという。町は原宿町、影取町、栄区田谷町、金井町、鎌倉市に接する。町内に小雀浄水場がある。

### 品濃町しなのちよう

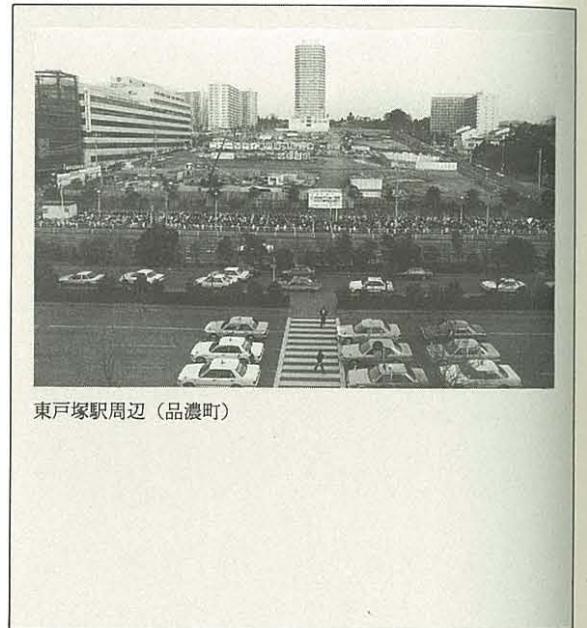
〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡川上村大字品濃から新設した町。古くは鎌倉郡品濃村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、上柏尾村、下柏尾村、前山田村、後山田村、平戸村、舞岡村、永谷村の飛地と合併して川上村大字品濃となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「シナノ」は「山麓の緩傾斜地」を意味するという。町は川上町、前田町、平戸町、平戸三丁目・四丁目、保土ヶ谷区境木本町、境木町、今井町、旭区大池町に接する。町を横浜新道、東海道本線、横須賀線、東海道貨物線が通り、東戸塚駅がある。

### 下倉田町しもくらたちよう

〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡豊田村大字下倉田から新設した町。古くは鎌倉郡下倉田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、飯島村、長沼村、上倉田村と合併して豊田村大字下倉田となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「クラタ」は「谷間の田」を意味するという。町は舞岡町、上倉田町、戸塚町、栄区本郷台三丁目・五丁目、飯島町、長沼町に接する。町の西側を東海道本線、横須賀線、東海道貨物線が通る。



東戸塚駅周辺（品濃町）

### 戸塚町とつかちよう

〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡戸塚町大字戸塚から新設した町。古くは富塚と書き、慶長の頃（一五九六～一六一四）から戸塚とも書くようになった。戸塚町、吉田町、矢部町を合わせて戸塚三ヶ町といい、東海道の鎌倉郡戸塚宿であった。明治二十二年の市町村制施行の際、吉田町、矢部町と合併して鎌倉郡戸塚町となる。町名は富塚八幡の社の上に古墳があり、これを富塚といったことに由来し、「富」が「戸」に転訛したという。町は矢部町、吉田町、上倉田町、下倉田町、汲沢二丁目、汲沢町、原宿町、栄区飯島町、長沼町、金井町に接する。町の北側を東海道本線、横須賀線、東海道貨物線が通り、戸塚駅がある。町内に戸塚区役所、戸塚地区センターがある。

### 鳥が丘とりおか

〔昭和五十三年八月二十七日〕

昭和五十三年の土地区画整理事業の施行にともない上矢

部町、矢部町の各一部から新設した町。町名は字名「大鳥ヶ谷」、「鳥ヶ谷前」があり、土地区画整理組合の名称に「鳥ヶ谷」を使っていたことから、新しい町のイメージとして「鳥が丘」と名付けた。町は上矢部町、矢部町、泉区領家二丁目・四丁目、白百合一丁目に接する。

### 名瀬町なせちよう

〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡中川村大字名瀬から新設した町。古くは鎌倉郡名瀬村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、岡津村、阿久和村、上矢部村、秋葉村と合併して中川村大字名瀬となる。町名は旧村名を採った。町は川上町、秋葉町、上矢部町、泉区緑園四丁目・五丁目・七丁目、岡津町に接する。町の東側を横浜新道が通る。

### 原宿町はらしゆくちよう

〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡大正村大字原宿から新設した町。古くは鎌倉郡原宿村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、深谷村および汲沢村と合併して富士見村大字原宿となる。大正四年に富士見村、俣野村、長尾村を合併して大正村大字原宿となる。町名は旧村名を採った。町は戸塚町、汲沢町、深谷町、俣野町、東俣野町、影取町、小雀町、栄区金井町に接する。町を東海道が通る。町内に国立横浜病院がある。

### 東俣野町ひがしまたのちよう

〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡大正村大字東俣野から新設した町。古くは鎌倉郡東俣野村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、上俣野村、山谷新田および城廻村の飛地を合併して俣野村大字東俣野となる。大正四年に富

土見村、俣野村、長尾村を合併して大正村大字東俣野となる。町名は旧村名を採った。町は俣野町、原宿町、影取町、鎌倉市、藤沢市に接する。町内に西部下水処理場がある。

### 平戸町ひらど「昭和十四年四月一日」

昭和五十七年の住居表示施行にともない平戸町の一部から新設した町。町は品濃町、平戸町、南区六ツ川二丁目、四丁目、保土ヶ谷区権太坂一丁目、三丁目、境本本町に接する。町を東海道が通る。

### 平戸町ひらど「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡川上村大字平戸、永谷の飛地から新設した町。古くは鎌倉郡平戸村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、上柏尾村、下柏尾村、前山田村、後山田村、品濃村、舞岡村、永谷村の飛地と合併して川上村大字平戸となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「ヒラド」は「土地の開けた所」を意味するといふ。町は平戸一丁目・四丁目・五丁目、品濃町、前田町、南区六ツ川四丁目、港南区芹が谷二丁目・五丁目、下永谷一丁目に接する。町を東海道が通る。

### 深谷町ふかやちよう「昭和十四年四月一日」

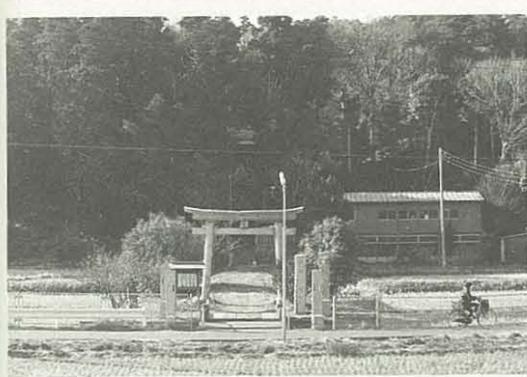
昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡大正村大字深谷から新設した町。古くは鎌倉郡深谷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、原宿村、汲沢村と合併して富士見村大字深谷となり、大正四年に富士見村、俣野村、長尾村を合併して大正村大字深谷となる。町名は旧村名を採った。町は汲沢町、原宿町、俣野町、泉区和泉町に接する。

### 舞岡町まいおかちよう「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡川上村大字舞岡から新設した町。古くは鎌倉郡舞岡村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、上柏尾村、下柏尾村、前山田村、後山田村、品濃村、平戸村、永谷村の飛地と合併して川上村大字舞岡となる。町名は旧村名を採った。『小田原衆所領役帳に「前岡」の記録がある。町は柏尾町、吉田町、上倉田町、下倉田町、南舞岡一丁目・三丁目・四丁目、港南区下永谷四丁目、日限山一丁目・四丁目、上永谷町、栄区本郷台五丁目に接する。町を市営地下鉄1号線が通り、舞岡駅がある。町内に舞岡公園がある。

### 前田町まえたちよう「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡川上村大字前山田の区域全部と後山田の字原田および田中の一部から新設した町。古くは鎌倉郡前山田村、後山田村といい、明治二



舞岡八幡宮 (舞岡町)

十二年の市町村制施行の際、上柏尾村、下柏尾村、品濃村、平戸村、舞岡村、永谷村の飛地と合併して川上村大字前田となる。町名は旧村名「前山田」から「前田」を採った。町は川上町、秋葉町、上柏尾町、平戸町、品濃町に接する。町を東海道本線、横須賀線、東海道貨物線が通る。

### 俣野町またのちよう「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡大正村大字上俣野から新設した町。古くは鎌倉郡上俣野村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、東俣野村、山谷新田および城廻村の飛地を合併して俣野村大字上俣野となる。大正四年に富士見村、俣野村、長尾村を合併して大正村大字上俣野となる。町名は旧村名を採った。町は深谷町、原宿町、東俣野町、泉区和泉町、下飯田町、藤沢市に接する。町内に横浜ドリームランドがある。

### 南舞岡一丁目、四丁目みなみまいおか

「昭和五十五年十一月十日」(注)

昭和五十五年の住居表示施行にともない舞岡町、港南区上永谷町の各一部から新設した町。町名は旧町名に方位を表す「南」を付けた。町は舞岡町、港南区日限山一丁目、四丁目に接する。

### 矢部町やべちよう「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡戸塚町大字矢部から新設した町。吉田町、戸塚町、矢部町を合わせて戸塚三ヶ町といい、東海道の鎌倉郡戸塚宿であった。明治二十二年の市町村制施行の際、戸塚町、吉田町と合併して戸塚町大字矢部町となる。町名は字名を採った。鎌倉時代に、この辺に矢作部やせきべのものが居住していて、矢の製作を業として

いたことから「矢部」と呼ぶようになったという。地名研究で「ヤベ」は「谷辺、川辺」を意味するという。町は鳥が丘、上矢部町、吉田町、戸塚町、汲沢一丁目・二丁目、泉区中田町、白百合一丁目に接する。町内を東海道、東海道本線、横須賀線、東海道貨物線が通る。

よしだちよう

吉田町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡戸塚町大字吉田から新設した町。吉田町、戸塚町、矢部町を合わせて戸塚三ヶ町といい、東海道の鎌倉郡戸塚宿であった。明治二十二年の市町村制施行の際、戸塚町、矢部町と合併して戸塚町大字吉田町となり、昭和十四年に横浜市に編入して、戸塚町から分離して吉田町となる。町名は字名を採った。町は上矢部町、矢部町、戸塚町、上倉田町、舞岡町、柏尾町に接する。

#### ワンマン道路

大磯に住んでいた首相吉田茂は、議会へ向かう途中、戸塚駅北側の戸塚大踏切りで待たされ、たびたび議会に遅れてしまった。これに端を発し、彼の鶴のひと声によってこの道路は造られた。

ブリヂストン工場脇から大坂上（戸塚警察署付近）まで、四・三キロメートルの道は、吉田氏の通称であるワンマン首相からとって、俗に「ワンマン道路」といわれている。昭和三十年（一九五五年）、五年の歳月をかけた突貫工事によって完成したのである。路線設定の時には、飛行機でポイントが決められたという。用地は、農地なみの価格で一坪（三・三平方メートル）三円五〇銭〜四円位で収容され、地主たちには不満が残ったそうである。

当初、この道路は有料であったが、昭和三十九年（一九六四年）無料になった。



Y O K O H A M A

# 栄区

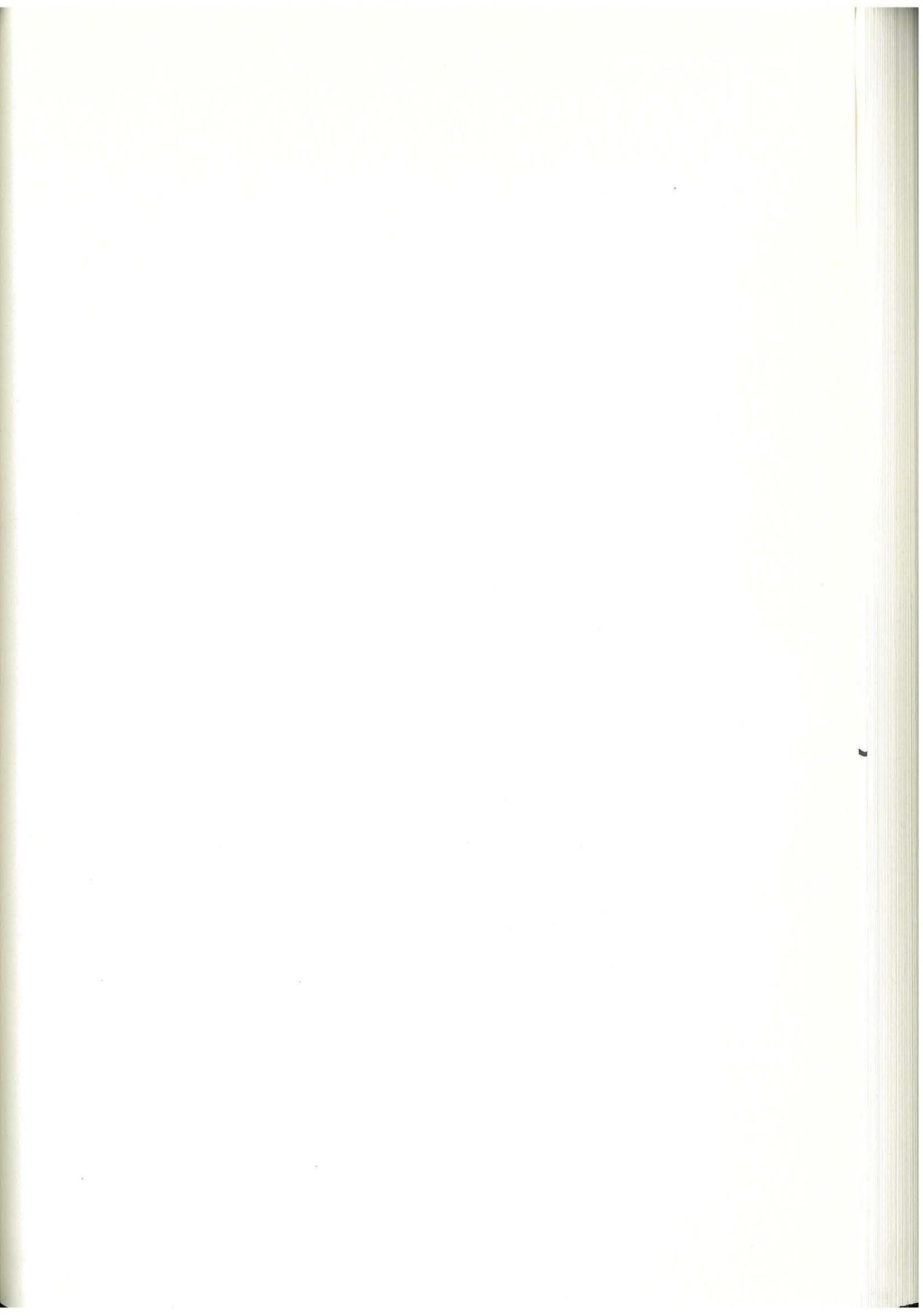
上郷町・公田町付近の住宅地





栄区 (18.548km<sup>2</sup>)

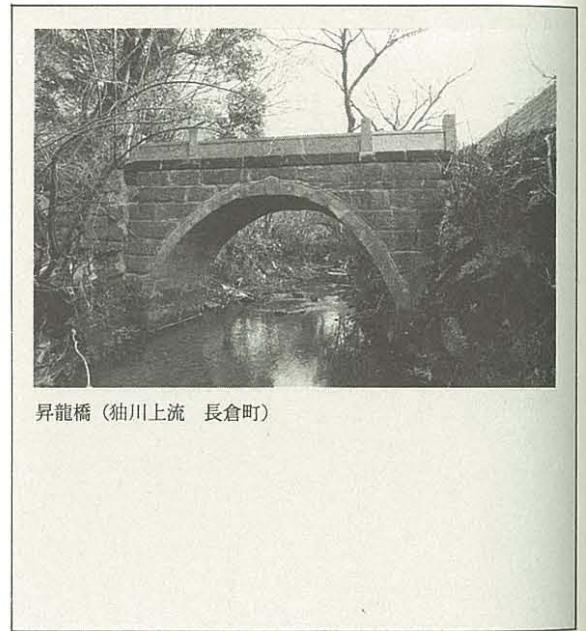
| 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|--------|-----------------------|----|-----------------------|----|-----------------------|
| 飯島町    | 1.590                 |    |                       |    |                       |
| 犬山町    | 0.325                 |    |                       |    |                       |
| 尾月     | 0.113                 |    |                       |    |                       |
| 笠間町    | 1.135                 |    |                       |    |                       |
| 鍛冶ヶ谷町  | 0.686                 |    |                       |    |                       |
| 桂町     | 0.377                 |    |                       |    |                       |
| 金井町    | 0.742                 |    |                       |    |                       |
| 上郷町    | 4.208                 |    |                       |    |                       |
| 上之町    | 0.243                 |    |                       |    |                       |
| 亀井町    | 0.147                 |    |                       |    |                       |
| 公田町    | 2.125                 |    |                       |    |                       |
| 小菅ヶ谷町  | 1.745                 |    |                       |    |                       |
| 庄戸一丁目  | 0.183                 |    |                       |    |                       |
| 庄戸二丁目  | 0.080                 |    |                       |    |                       |
| 庄戸三丁目  | 0.203                 |    |                       |    |                       |
| 庄戸四丁目  | 0.131                 |    |                       |    |                       |
| 庄戸五丁目  | 0.155                 |    |                       |    |                       |
| 田谷町    | 1.040                 |    |                       |    |                       |
| 中野町    | 0.474                 |    |                       |    |                       |
| 長尾台町   | 0.389                 |    |                       |    |                       |
| 長倉町    | 0.103                 |    |                       |    |                       |
| 長沼町    | 0.537                 |    |                       |    |                       |
| 野七里一丁目 | 0.290                 |    |                       |    |                       |
| 野七里二丁目 | 0.160                 |    |                       |    |                       |
| 東上郷町   | 0.259                 |    |                       |    |                       |
| 本郷台一丁目 | 0.126                 |    |                       |    |                       |
| 本郷台二丁目 | 0.112                 |    |                       |    |                       |
| 本郷台三丁目 | 0.136                 |    |                       |    |                       |
| 本郷台四丁目 | 0.153                 |    |                       |    |                       |
| 本郷台五丁目 | 0.169                 |    |                       |    |                       |
| 元大橋一丁目 | 0.148                 |    |                       |    |                       |
| 元大橋二丁目 | 0.104                 |    |                       |    |                       |
| 若竹町    | 0.160                 |    |                       |    |                       |



## 栄区の区名とそのあゆみ

栄区は、昭和六十一年十一月三日の行政区再編成により新設した。区名は、公募により本郷区、南戸塚区、湘南区、栄区、桂区、大船区、根岸区、光区、戸塚南区、上郷区などから選定し、本郷、豊田の両地区の共栄を期し、新しい区として未来に向けて、大きく栄えていくことを祈願し、明るく、華やかなイメージのある、簡潔で、語調もよい区名を決定した。横浜市の南部に位置する。鎌倉時代には幕府との結びつきが深く、鎌倉道や数多くの史跡が残されている。地域全体としては農業地帯として発達し、明治二十二年に横須賀線が開通して、大船駅ができるとともに市街化が進んだ。昭和四十年代から五十年代に丘陵地に大規模な住宅開発が行われ、住宅都市としての性格を強めた。昭和四十八年に国鉄本郷台駅が開設され、現在の区心の町並みが形成された。「緑豊かな生活文化都市」を目指し、歴史と自然を生かした特色ある区づくりが進められている。

栄区内の町名は、鍛冶ヶ谷町、公田町など古い時代の名をそのまま受け継いで、歴史的地名が残されており、住居表示により新設した町についても、犬山町、尾月、上之町、亀井町など字名に因んで町名を付けたものが多い。



昇龍橋（狹川上流 長倉町）

### 飯島町「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡豊田村大字飯島から新設した町。古くは鎌倉郡飯島村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、長沼村、下倉田村、上倉田村と合併して豊田村大字飯島となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「イイジマ」は「丘陵部」を意味するという。町は長沼町、金井町、本郷台二丁目・三丁目、小菅ヶ谷町、笠間町、長尾台町、戸塚区戸塚町、下倉田町に接する。町を東海道本線、横須賀線、根岸線が通り、豊田地区センターがある。

### 犬山町「昭和五十八年七月十八日」(注)

昭和五十八年の住居表示施行にともない上郷町の一部から新設した町。町名は字名「犬の山」から採った。昔は、矢沢山に続た小さな山で、矢沢山から猪を追ったらしい。「猪の山」が「犬の山」に変わったという。町は尾月、上之町、野七里一丁目、上郷町に接する。町内に犬山小学校、上郷中学校がある。

### 尾月「昭和五十八年七月十八日」(注)

昭和五十八年の住居表示施行にともない上郷町の一部から新設した町。町名は字名から採った。町は犬山町、亀井町、上郷町に接する。

### 笠間町「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡本郷村大字笠間から新設した町。古くは鎌倉郡笠間村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中野村、鍛冶ヶ谷村、上野村、公田村、桂村、小菅ヶ谷村と合併して本郷村大字笠間となる。

町名は旧村名を採った。町は飯島町、小菅ヶ谷町、桂町、長尾台町、鎌倉市に接する。町の西側を東海道本線、横須賀線が通る。

### 鍛冶ヶ谷町かじがやちよう 「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡本郷村大字鍛冶ヶ谷から新設した町。町名は旧村名を採った。古くは鎌倉郡鍛冶ヶ谷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中野村、上野村、公田村、桂村、小菅ヶ谷村、笠間村と合併して本郷村大字鍛冶ヶ谷となる。鎌倉時代に、武器を作る鍛冶師が居住していたことから「鍛冶ヶ谷」と呼ぶようになったという。町は小菅ヶ谷町、中野町、桂町、元大橋一丁目・二丁目、港南区港南台九丁目、日野南六丁目・七丁目に接する。町を根岸線が通る。

### 桂町かつらちよう 「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡本郷村大字桂から新設した町。古くは鎌倉郡桂村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中野村、鍛冶ヶ谷村、上野村、公田村、小菅ヶ谷村、笠間村と合併して本郷村大字桂となる。町名は旧村名を採った。町は小菅ヶ谷町、中野町、公田町、鍛冶ヶ谷町、笠間町、鎌倉市に接する。町内に栄区役所、本郷地区センターがある。

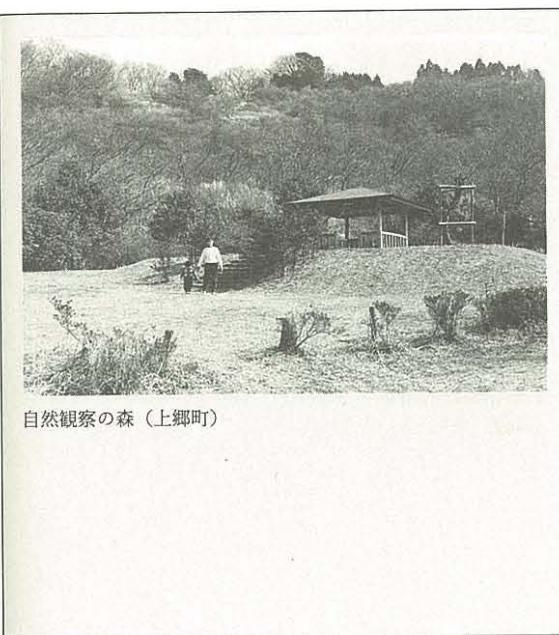
### 金井町かないちよう 「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡豊田村大字金井から新設した町。古くは鎌倉郡金井村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、田谷村、小雀村、長尾台村と合併して長尾村大字金井となり、大正四年に長尾村の田谷、金井、長尾台を合併して豊田村大字金井となる。町名は旧村名を

採った。町は飯島町、田谷町、戸塚区戸塚町、原宿町、小雀町に接する。町の東側を柏尾川が流れ、町内に金井高校がある。

### 上郷町かみこうちよう 「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡本郷村大字上野のから新設した町。古くは鎌倉郡上野村（上之村と書いたものも多い）といい、本郷六か村の上の方にあった。明治二十二年の市町村制施行の際、鍛冶ヶ谷村、中野村、公田村、桂村、小菅ヶ谷村、笠間村と合併して本郷村大字上野となる。町名は「上野町」が既に中区にあるため、旧村名「上野村」の「上」と前村名「本郷村」の「郷」を結び付けて「上郷」と名付けた。町は公田町、中野町、犬山町、野七里一丁目・二丁目、亀井町、尾月、上之町、東上郷町、庄戸一丁目・二丁目・四丁目・五丁目、長倉町、公田町、若竹町、港南区港南台八丁目・九丁目、磯子区峰町、氷取沢町、金沢区釜利谷町、鎌倉市に接する。町内に横浜自然



自然観察の森（上郷町）

観察の森がある。

### 上之町かみのちよう 「昭和五十八年七月十八日」(注)

昭和五十八年の住居表示施行にともない上郷町の一部から新設した町。町名は字名「上之」を採った。『新篇相模國風土記稿』の「鎌倉郡上之村」に「此地は郷中の東、上の方にあるを以て今の村名を負せしと云」の記録がある。町は犬山町、野七里一丁目、上郷町に接する。

### 亀井町かめいちよう 「昭和五十九年七月二十三日」(注)

昭和五十九年の住居表示施行にともない上郷町の一部から新設した町。町名は字名「亀井」を採った。近くの證菩提寺に参詣する前の武士が身を清める井戸があって、その周りが亀の形をしていたという。町は上郷町、尾月に接する。

### 公田町くでんちよう 「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡本郷村大字公田から新設した町。古くは鎌倉郡公田村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中野村、鍛冶ヶ谷村、上野村、桂村、小菅ヶ谷村、笠間村と合併して本郷村大字公田となる。町名は旧村名を採る。公田とは「公田」というわが国古代の班田法で、位田・職田・口分田などとして与えた残りの田のことであり、正方形の耕地を縦横三列ずつに九等分した、その中央に位置した公有の田をいう。周囲の私田を耕すものが共同で公田を耕し、その収穫を租税とした。鎌倉時代には国衙領（平安後期以後、国司の統治下にある土地。国領）の田をいったという。町は桂町、中野町、上郷町、鎌倉市に接する。町内に栄図書館がある。

小菅ヶ谷町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡本郷村大字小菅ヶ谷から新設した町。古くは鎌倉郡小菅ヶ谷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中野村、鍛冶ヶ谷村、上野村、公田村、桂村、笠間村と合併して本郷村大字小菅ヶ谷となる。町名は旧村名を採る。鎌倉幕府の三代執権北条泰時の女を小菅谷殿といい、この村はその荘田などがあって、ここに居住したので村名になったという。町は本郷台一丁目・二丁目・四丁目・五丁目、飯島町、笠間町、桂町、中野町、鍛冶ヶ谷町、港南区上永谷町、野庭町、日野南五丁目・六丁目に接する。町を根岸線が通り、本郷台駅がある。

庄戸一丁目〜五丁目 [昭和五十七年七月十九日] (注)

昭和五十七年の住居表示施行にともない上郷町の一部から新設した町。町名は地元の要望によって字名を採った。町は東本郷町、長倉町、上郷町、磯子区氷取沢町、金沢区釜利谷町に接する。

田谷町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡豊田村大字田谷から新設した町。古くは鎌倉郡田谷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、金井村、小雀村、長尾台村と合併して長尾村大字田谷となる。大正四年に長尾村の田谷、金井長尾台が合併して豊田村大字田谷となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「タヤ」は「田屋」で、「田の番小屋のあった所」を意味するという。町は金井町、長尾台町、戸塚区小雀町、鎌倉市に接する。町内に田谷の洞窟がある。

田谷の洞窟

天文十三年（一五四四年）に創建されたと伝えられる定泉寺境内の裏山に「田谷の洞窟」がある。全長一キロメートルにも及ぶ洞窟は、真言密教の座禅窟と伝えられており弘法大師や厄除け大師が奉られている。また、岩壁には仏像・仏画がいたる所に彫られ、ここに立ち入った人たちに荘厳な雰囲気を感じさせている。  
鎌倉時代以降、徐々に内部が広げられ江戸時代の天保十三年（一八四二年）には、村人たちによって修繕及び彫刻が施された。そして、文久二年（一八六二年）にはおおよそ現在の形に完成したと伝えられている。

長尾台町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡豊田村大字長尾台から新設した町。古くは鎌倉郡長尾台村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、金井村、田谷村、小雀村と合併して長尾村大字長尾台となる。大正四年に長尾村の田谷、金井、長尾台が合併して豊田村大字長尾台となる。町名は旧村名を採った。昔、長尾氏がこの字台に居住したことから「長尾台」と呼ばれるようになったという。町は田谷町、飯島町、笠間町、鎌倉市に接する。

長倉町 [昭和五十七年七月十九日] (注)

昭和五十七年の住居表示施行にともない上郷町の一部から新設した町。町名は地元の要望により字名を採った。町は上郷町、庄戸四丁目・五丁目に接する。

長沼町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡豊田村大字長沼から新設した町。古くは鎌倉郡長沼村といい、明治二十二年に飯島村、下倉田村、上倉田村と合併して豊田村大字長沼となる。町名は旧村名を採った。町は飯島町、戸塚区下倉田町、戸塚町に接する。

中野町 [昭和十四年四月一日]

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡本郷村大字中野から新設した町。古くは鎌倉郡中野村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、鍛冶ヶ谷村、上野村、公田村、桂村、小菅ヶ谷村、笠間村と合併して本郷村大字中野となる。本郷の中央に位置することから「中之村」と呼ばれていたのが、「中野」に転訛したという。町は公田町、上郷町、元大橋二丁目、鍛冶ヶ谷町、小菅ヶ谷町、桂町に接する。

野七里一丁目・二丁目

[昭和五十九年七月二十三日] (注)

昭和五十九年の住居表示施行にともない上郷町の一部から新設した町。町名は字名を採った。この辺を切り開いて沢山の田畑が長く続いたので、「箱根八里」に因んで「野七里」と呼ぶようになった。町は上郷町、上之町に接する。

東上郷町 [昭和五十七年七月十九日] (注)

昭和五十七年の住居表示施行にともない上郷町の一部から新設した町。町名は上郷町の東側に位置することから地元の要望により「東上郷町」と名付けた。町は上郷町、庄戸一丁目に接する。

ほんこうだい  
本郷台一丁目〜五丁目〔平成元年八月二十一日〕(注)

平成元年の住居表示施行にともない飯島町、小菅ヶ谷町の各一部から新設した町。町は小菅ヶ谷町、飯島町、戸塚区下倉田町、舞岡町、港南区上永谷町に接する。

もとおほし  
元大橋一丁目・二丁目〔昭和四十八年六月十一日〕(注)

昭和四十八年の住居表示施行にともない鍛冶ヶ谷町、上郷町、中野町の各一部から新設した町。町名は字名「大橋谷戸」から「元大橋」と名付けた。既に南区に「大橋町」があるため「元」の字を冠した。町は鍛冶ヶ谷町、中野町、若竹町、港南区港南台九丁目に接する。

わかたけちよう  
若竹町〔昭和四十八年六月十一日〕(注)

昭和四十八年の住居表示施行にともない上郷町、中野町の各一部から新設した町。町名は、この地には新しい住民が多く、「若く、すくすくと竹のように町が育ってほしい」という地元の意見から「若竹町」と名付けた。町は元大橋一丁目・二丁目、上郷町、港南区港南台九丁目に接する。

#### いざ鎌倉

源頼朝が幕府を開いた鎌倉へ向かう道筋として整備された鎌倉街道や鎌倉道と呼ばれている道は、徳川家康が江戸に幕府を開くまでの間、政治的にも文化的にも重要な役割を果たしていた。その中で主要な道は、上道・中道・下道の三つの道であった。

上道は、鎌倉から柄沢（現藤沢市）を通り、俣野（戸塚区）・飯田（栄区）・瀬谷（瀬谷区）と境川に沿って北上し、府中（東京都）まで伸びていた。

中道は、鎌倉から新橋（現栄区笠間町）で、いたち川を渡り、花立の屋根道（現栄区小菅ヶ谷町から戸塚区柏尾町）を越え、上柏尾（戸塚区）から二俣川（旭区）を通って府中へつながっていたといわれている。

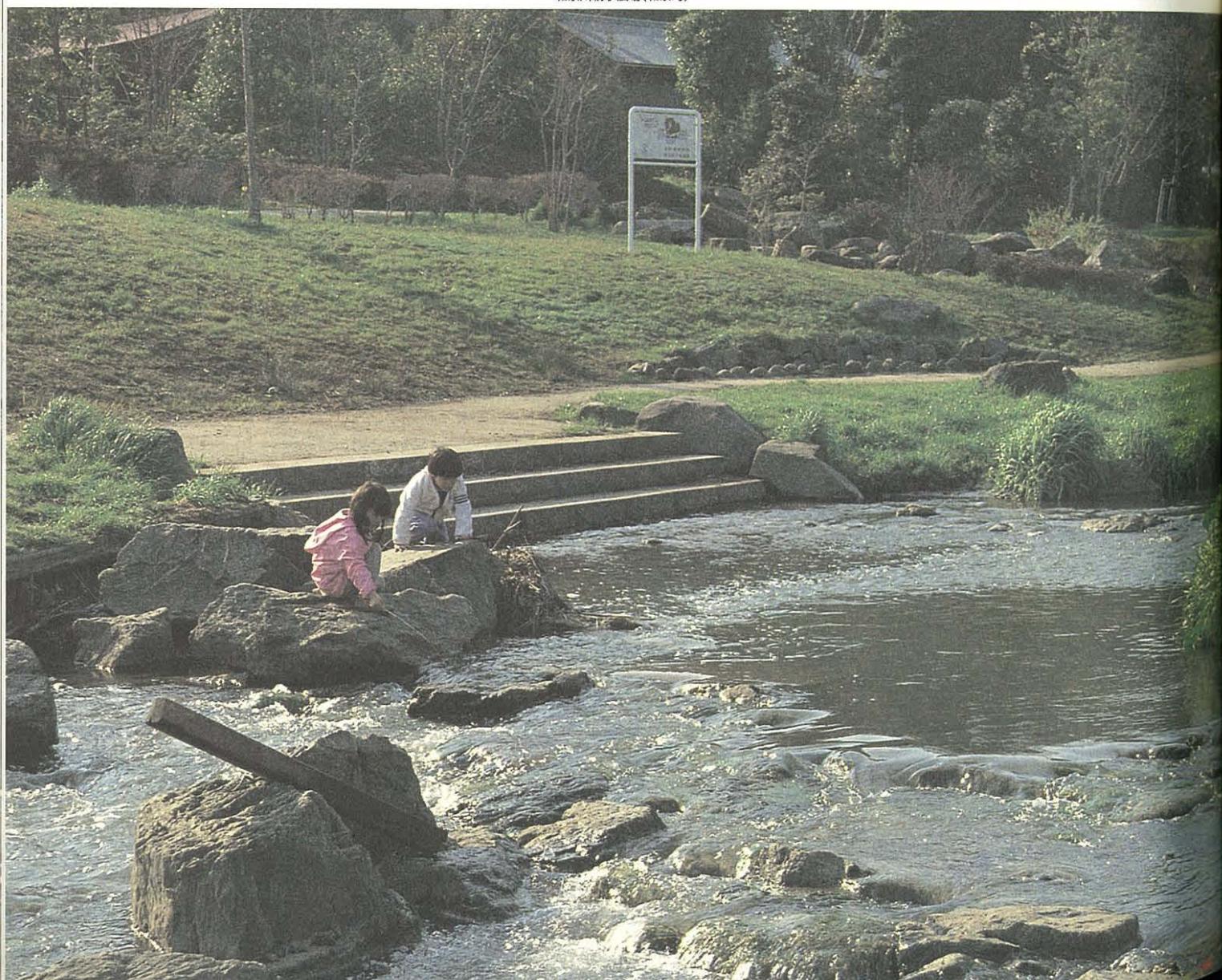
下道は、中道と花立のあたりで分かれ、日限山・もちい坂（港南区）を通って帷子（保土ヶ谷区）から鶴見方面へ通じていた。

また、時代の移り変わりとともに、これらの道から多くの枝道ができていった。

Y O K O H A M A

# 泉区

和泉川親水広場(和泉町)



# 泉区



泉区 (23.561km<sup>2</sup>)

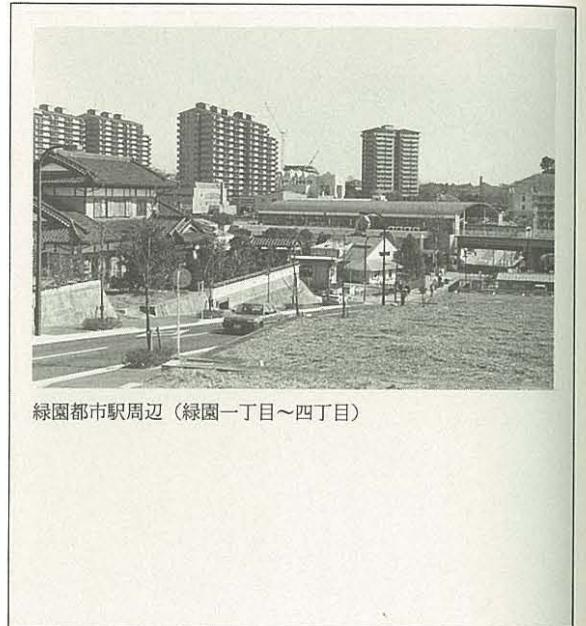
| 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|--------|-----------------------|----|-----------------------|----|-----------------------|
| 池の谷    | 0.425                 |    |                       |    |                       |
| 和泉町    | 8.519                 |    |                       |    |                       |
| 岡津町    | 1.680                 |    |                       |    |                       |
| 上飯田町   | 3.434                 |    |                       |    |                       |
| 下飯田町   | 1.396                 |    |                       |    |                       |
| 白百合一丁目 | 0.097                 |    |                       |    |                       |
| 白百合二丁目 | 0.076                 |    |                       |    |                       |
| 白百合三丁目 | 0.078                 |    |                       |    |                       |
| 新橋町    | 1.798                 |    |                       |    |                       |
| 中田町    | 3.564                 |    |                       |    |                       |
| 西が岡一丁目 | 0.174                 |    |                       |    |                       |
| 西が岡二丁目 | 0.120                 |    |                       |    |                       |
| 西が岡三丁目 | 0.127                 |    |                       |    |                       |
| 弥生台    | 0.474                 |    |                       |    |                       |
| 領家一丁目  | 0.091                 |    |                       |    |                       |
| 領家二丁目  | 0.070                 |    |                       |    |                       |
| 領家三丁目  | 0.099                 |    |                       |    |                       |
| 領家四丁目  | 0.113                 |    |                       |    |                       |
| 緑園一丁目  | 0.166                 |    |                       |    |                       |
| 緑園二丁目  | 0.158                 |    |                       |    |                       |
| 緑園三丁目  | 0.204                 |    |                       |    |                       |
| 緑園四丁目  | 0.203                 |    |                       |    |                       |
| 緑園五丁目  | 0.157                 |    |                       |    |                       |
| 緑園六丁目  | 0.219                 |    |                       |    |                       |
| 緑園七丁目  | 0.119                 |    |                       |    |                       |



## 泉区の区名とそのあゆみ

昭和六十一年十一月三日の行政区再編成にともない中川地区と中和田地区を中心とする地域から新設した。区名は公募により和泉区、泉区、いずみ区、弥生区、いずみ野区、富士見区、粉浜区、中和田区、西戸塚区、北戸塚区などの中から、泉が湧き出るように若い力を生み出し、未来に向けて発展する区であることを祈願し、清らかで、さわやかなイメージがあり、簡潔で、語調もよく、さわやかな泉区に決定した。横浜市の南西部に位置し、相模野台地と呼ばれる関東ローム層に覆われた比較的平坦な台地の一部で、区の西側を境川と和泉川が南北に流れ、北側を阿久和川が流れる。河川流域に農業地帯が開け、養蚕業が行われていた。昭和四十年以降に団地の建設があいついで行われ、昭和五十一年に相鉄いずみ野線が開通して、沿線沿いに宅地開発が行われた。都市基盤整備や市民利用施設の重点的整備が進められ、緑豊かな田園景観に恵まれた郊外区としての特性を生かした街づくりを進めている。

泉区内の町名は、和泉町、岡津町など横浜市に編入する前の鎌倉郡時代の旧村名を採ったものが多く、新しい町は弥生台、緑園など区内を通る相鉄いずみ野線の駅名を採ったものがある。



緑園都市駅周辺（緑園一丁目～四丁目）

## 池の谷いけのや「昭和六十一年四月六日」

昭和六十一年の土地区画整理事業の施行にともない岡津町、新橋町の各一部から新設した町。町名は、町の大部分を占めている岡津町の字名を採った。町は新橋町、緑園三丁目・六丁目、旭区善部町、柏町に接する。

## 和泉町いづみちやう「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡中和田村大字和泉から新設した町。古くは鎌倉郡和泉村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、中田村、上飯田村、下飯田村、高座郡今田村飛地、高座郡上和田村飛地を合併して中和田村大字和泉となる。町名は旧村名を採った。町区域内の和泉第六天社の南に「酒池」と呼ぶ池があって、昔、この池の水を酌んで父にすすめると甘露の美酒に変わっていたという伝説から「和泉」と呼ばれるようになったという。町は上飯田町、下飯田町、中田町、弥生台、新橋町、戸塚区俣野町、深谷町、汲沢町、瀬谷区阿久和町、宮沢町、南瀬谷二丁目に接する。町を相鉄いずみ野線が通り、いずみ野駅、いずみ中央駅がある。町内に泉区役所がある。

## 岡津町おかつちやう「昭和十四年四月一日」

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡中川村大字岡津から新設した町。古くは鎌倉郡岡津村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、阿久和村、上矢部村、秋葉村、名瀬村と合併して中川村大字岡津となる。町名は旧村名を採った。町は緑園一丁目・二丁目、新橋町、西が岡一丁目・三丁目、百合三丁目、領家一丁目・三丁目、戸塚区名瀬町、上矢部町に接する。町内に中川地区センターがある。

**上飯田町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡中和田村大字上飯田の区域のほか、高座郡上和田村の飛地字上和田を合わせて新設した町。古くは鎌倉郡上飯田村とい、明治二十二年の市町村制施行の際、中田村、和泉村、下飯田村、高座郡今田村の飛地、高座郡上和田村の飛地と合併して中和田村（中田の中、和泉の和、飯田の田から合成）大字上飯田となる。町名は旧村名を採った。町は和泉町、下飯田町、瀬谷区南瀬谷二丁目、下瀬谷一丁目・三丁目、大和市、藤沢市に接する。

**下飯田町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡中和田村大字下飯田の区域のほか、高座郡今田村の飛地字今田を合わせて新設した町。古くは鎌倉郡下飯田村とい、明治二十二年の市町村制施行の際、中田村、和泉村、上飯田村、高座郡今田村の飛地、高座郡上和田村の飛地と合併して中和田村大字下飯田となる。町名は旧村名を採った。町は上飯田町、和泉町、戸塚区俣野町、藤沢市に接する。

**白百合一丁目〜三丁目**〔昭和六十一年十一月三日〕(住)

昭和六十一年の住居表示施行にともない岡津町の一部から新設した町。町名は地元の強い要望により「白百合」と名付けた。町は中田町、岡津町、領家四丁目、戸塚区鳥が丘、矢部町に接する。

**新橋町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡中川村大字阿久和の字鎌取、東原、大原、運上野、宮沢台、向原、猪窪、吉

原、小金、宮之腰、細川、宮之下、西村、蟹沢、雨池、猪ノ窪、馬場畑、赤松堂、隼人、神山、藤ノ谷、中村、土橋、善光寺谷、大久保、原、三王塚、岡本の区域を除いた区域から新設した町。町名は小名（小字）「新橋」を採った。新橋は阿久和川に架けられている。町は和泉町、弥生台、西が岡一丁目、岡津町、緑園二丁目・三丁目、池の谷、旭区善部町、瀬谷区阿久和町に接する。町内を相鉄いずみ野線が通る。

**中田町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡中和田村大字中田から新設した町。古くは鎌倉郡中田村とい、明治二十二年の市町村制施行の際、和泉村、上飯田村、下飯田村、高座郡今田村の飛地、高座郡上和田村の飛地と合併して中和田村大字中田となる。町名は旧村名を採った。町は弥生台、和泉町、西ヶ谷一丁目、岡津町、白百合一丁目〜三丁目、戸塚区矢部町、汲沢二丁目・六丁目〜八丁目、汲沢町に接

する。町内に立場地区センターがある。

**西が岡一丁目〜三丁目**〔昭和六十三年一月十日〕

昭和六十三年の土地区画整理事業の施行にともない岡津町、新橋町、弥生台の各一部から新設した町。町名は町区域の字「西田耕地」が県道瀬谷柏尾線から分岐した大田道沿いにあることから、この大田道沿いの集落を「西田」と呼んでいた。この「西田」の「西」と「岡津町」の「岡」を組み合わせて「西が岡」と名付けた。町は弥生台、新橋町、岡津町、中田町に接する。

**弥生台**〔昭和五十五年一月二十六日〕

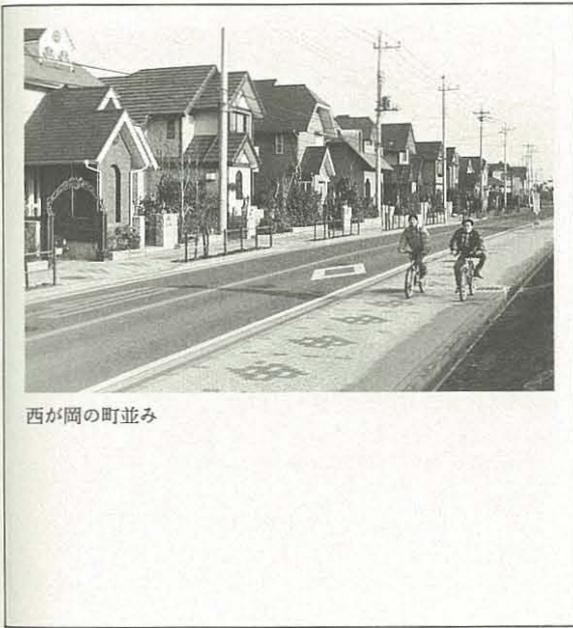
昭和五十五年の土地区画整理事業の施行にともない岡津町、新橋町、中田町の各一部から新設した町。町名は、相鉄いずみ野線の駅名から採った。駅付近に弥生時代の遺跡があることと、三月の弥生を意味して決定した。町は新橋町、西が岡一丁目、中田町、和泉町に接する。町を相鉄いずみ野線が通り、弥生台駅がある。

**領家一丁目〜四丁目**〔昭和六十三年一月十日〕

昭和六十三年の土地区画整理事業の施行にともない岡津町、戸塚区上矢部町、鳥が丘の各一部から新設した町。町名は古くから親しまれてきた通称「領家」を地元の要望により採った。昭和六十一年に開校した中学校も「領家中学校」と命名されている。町は岡津町、白百合一丁目・三丁目、戸塚区上矢部町、鳥が丘に接する。

**緑園一丁目〜七丁目**〔昭和六十一年四月六日〕

昭和六十一年の土地区画整理事業の施行にともない岡津町、新橋町、名瀬町の各一部から新設した町。町名は町区



西が岡の町並み

域内に相鉄いずみの線「緑園都市」駅があり、駅名が地元  
に定着していることと、地元の要望により「緑園」と名付  
けた。町は池の谷、新橋町、岡津町、旭区柏町、大池町、  
戸塚区名瀬町に接する。町内を相鉄いずみ野線が通り、緑  
園都市駅がある。

#### 猫の踊場

昔、戸塚宿に水本屋というしょうゆ屋があり、そこに吊しておいた  
手ぬぐいが毎晩一本ずつなくなっていたという。奇妙に思っていた主人は、  
ある晩のこと、商いで戸塚道（現長後街道）と岡津道の交差したあた  
りの山道を通りかかると、たくさん猫たちが輪になって踊っていた。  
よくよく見ると、自分の家で飼っている猫のトラが音頭をとっている  
うえ、見覚えのある手ぬぐいをかぶっていたので、なおさら驚いた。  
もちろん、手ぬぐいは、リーダー格のトラが我が家から拝借してきた  
ものである。

驚いた主人は、腰も抜けんばかりに坂道を駆け降り、家のものたち  
にそのありさまを告げたという。それ以来、人里遠く離れた淋しいこ  
のあたりを「踊場」と呼ぶようになったといわれている。

現在、バス停「踊場」の一角に、その昔猫のために建てたと伝えら  
れる供養塔がある。



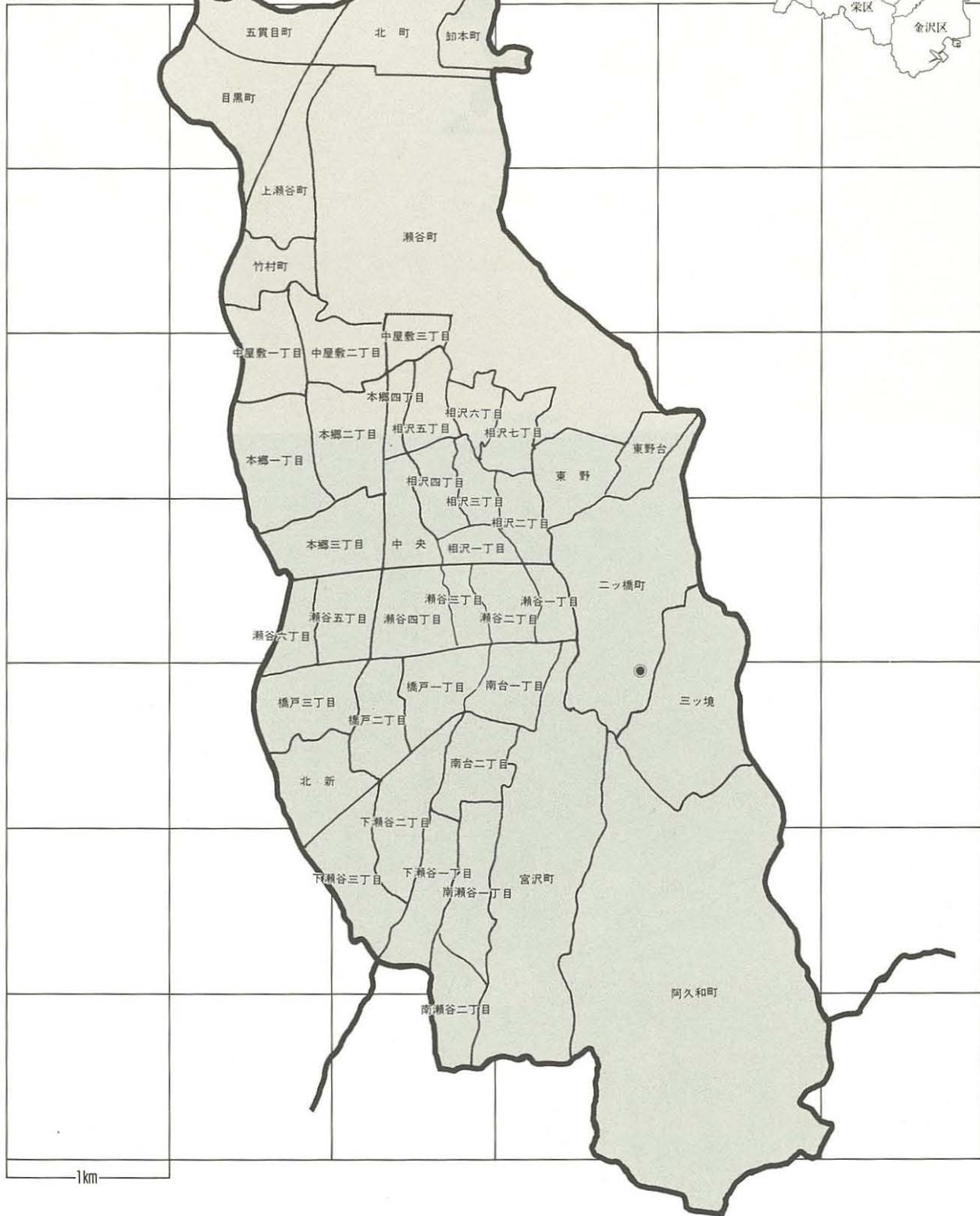
# 瀬谷区

海軍道路の桜並木





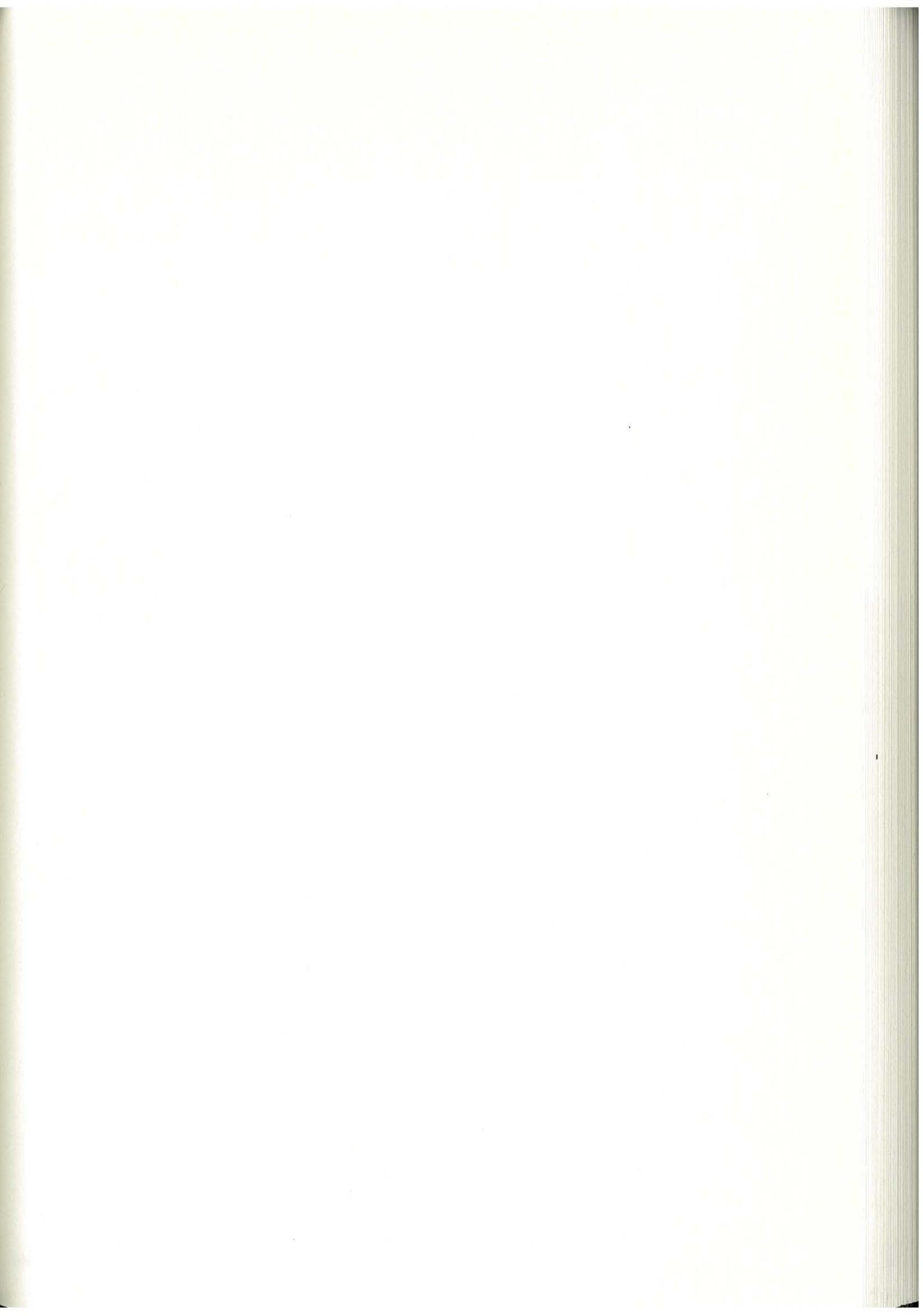
# 瀬谷区



1km

瀬谷区 (17.106km<sup>2</sup>)

| 町名     | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) | 町名 | 面積 (km <sup>2</sup> ) |
|--------|-----------------------|----|-----------------------|----|-----------------------|
| 相沢一丁目  | 0.103                 |    |                       |    |                       |
| 相沢二丁目  | 0.143                 |    |                       |    |                       |
| 相沢三丁目  | 0.110                 |    |                       |    |                       |
| 相沢四丁目  | 0.137                 |    |                       |    |                       |
| 相沢五丁目  | 0.142                 |    |                       |    |                       |
| 相沢六丁目  | 0.118                 |    |                       |    |                       |
| 相沢七丁目  | 0.143                 |    |                       |    |                       |
| 阿久和町   | 3.288                 |    |                       |    |                       |
| 東野     | 0.233                 |    |                       |    |                       |
| 東野台    | 0.149                 |    |                       |    |                       |
| 卸本町    | 0.179                 |    |                       |    |                       |
| 上瀬谷町   | 0.290                 |    |                       |    |                       |
| 北新     | 0.269                 |    |                       |    |                       |
| 北町     | 0.440                 |    |                       |    |                       |
| 五貫目町   | 0.283                 |    |                       |    |                       |
| 下瀬谷一丁目 | 0.218                 |    |                       |    |                       |
| 下瀬谷二丁目 | 0.272                 |    |                       |    |                       |
| 下瀬谷三丁目 | 0.279                 |    |                       |    |                       |
| 瀬谷一丁目  | 0.098                 |    |                       |    |                       |
| 瀬谷二丁目  | 0.160                 |    |                       |    |                       |
| 瀬谷三丁目  | 0.086                 |    |                       |    |                       |
| 瀬谷四丁目  | 0.237                 |    |                       |    |                       |
| 瀬谷五丁目  | 0.191                 |    |                       |    |                       |
| 瀬谷六丁目  | 0.117                 |    |                       |    |                       |
| 瀬谷町    | 2.558                 |    |                       |    |                       |
| 竹村町    | 0.193                 |    |                       |    |                       |
| 中央     | 0.166                 |    |                       |    |                       |
| 中屋敷一丁目 | 0.254                 |    |                       |    |                       |
| 中屋敷二丁目 | 0.232                 |    |                       |    |                       |
| 中屋敷三丁目 | 0.100                 |    |                       |    |                       |
| 橋戸一丁目  | 0.243                 |    |                       |    |                       |
| 橋戸二丁目  | 0.218                 |    |                       |    |                       |
| 橋戸三丁目  | 0.287                 |    |                       |    |                       |
| 二ッ橋町   | 0.973                 |    |                       |    |                       |
| 本郷一丁目  | 0.358                 |    |                       |    |                       |
| 本郷二丁目  | 0.283                 |    |                       |    |                       |
| 本郷三丁目  | 0.257                 |    |                       |    |                       |
| 本郷四丁目  | 0.085                 |    |                       |    |                       |
| 三ッ境    | 0.696                 |    |                       |    |                       |
| 南瀬谷一丁目 | 0.244                 |    |                       |    |                       |
| 南瀬谷二丁目 | 0.192                 |    |                       |    |                       |
| 南台一丁目  | 0.180                 |    |                       |    |                       |
| 南台二丁目  | 0.229                 |    |                       |    |                       |
| 宮沢町    | 1.207                 |    |                       |    |                       |
| 目黒町    | 0.466                 |    |                       |    |                       |



## 瀬谷区の区名とそのあゆみ

瀬谷区は、昭和四十四年十月一日の行政区再編成にともない戸塚区から分区して新設した。区名は、公募により、瀬谷区、西浜区から選定し、古くからの地域名である瀬谷を採った。横浜市の最西部に位置し、南北に細長い地形で、農業地帯として発展し、明治三十年代以降は養蚕業が盛んだった。大正十五年に神中鉄道（現、相模鉄道）が開通し、住宅地となって行った。昭和二十年代に公営住宅が建設され、田園・農村都市的性格に東京、横浜都心部のベッタウン的性格が加わった。「身近な自然環境を生かしたふれあいとやすらぎの街」を目指し、健康と文化あふれる街、緑豊かな自然環境の街、良好な生活環境を備えた活力ある街、助けあいとふれあいにみちた福祉の街、地域連帯と交流のある街づくりを進めている。

瀬谷区の町名は、瀬谷、二ツ橋など古くからよく知られた地名、そして本郷、中屋敷、五貫目など集落や田制に因む古い地名がみられる。字名には谷戸の名称も多く、古くから川沿いの低地や谷戸を中心にして開発が行われたことをうかがわせる。また、昭和四十九年から瀬谷町の町界町名地番整理で四十か町を新設した。



長屋門（阿久和町）

相沢一丁目、四丁目〔昭和六十年十一月五日〕  
相沢五丁目、七丁目〔昭和六十一年十月六日〕

昭和六十年と昭和六十一年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町の一部から新設した町。町名は地元の要望により字名を採った。『新篇相模国風土記稿』の「鎌倉郡瀬谷村」の小名に「相邊澤」の記録がある。町は瀬谷町、中屋敷三丁目、本郷四丁目、中央、瀬谷一丁目、三丁目、二ツ橋、東野に接する。

阿久和町〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡中川村大字阿久和の字鎌取東原、運上野、宮沢台、向原、猪窪、吉原、小金、宮之腰、細川、宮之下、西村、蟹沢、雨池、猪ノ窪、馬場畑、赤松堂、隼人、神山、藤ノ谷、中村、土橋、善光寺谷、大久保原、三王塚、岡本の区域から新設した町。古くは鎌倉郡阿久和村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、尾勝村、上矢部村、秋葉村、名瀬村と合併して中川村大字阿久和となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「アクワ」は「川の流れの曲がった様」を意味するという。町は三ツ境、宮沢町、旭区南希望が丘、泉区新橋町、和泉町に接する。町の中央を阿久和川が流れる。

東野〔昭和五十三年十二月二十日〕

昭和五十三年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町、二ツ橋町から新設した町。古くは鎌倉郡瀬谷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、二ツ橋村、宮沢村と合併して瀬谷村大字瀬谷となる。昭和十四年の横浜市編入の際、大字瀬谷の内、字連雀谷戸および二ツ橋谷戸の二字を二ツ橋町とし、その他の全区域を瀬谷町とする。町名は、町内

に東野中学校があり、字名が広い地域の名称になっているので「東野」と名付けた。町は瀬谷町、相沢二丁目・七丁目、二ツ橋、東野台に接する。

**東野台**〔昭和六十二年十月二十六日〕

昭和六十二年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町、二ツ橋町の一部から新設した町。町名は東野に隣接した高台であることから地元の要望により「東野台」と名付けた。町は東野台、瀬谷町、二ツ橋に接する。

**卸本町**〔昭和五十五年三月三十一日〕

昭和五十五年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町、旭区上川井町、緑区長津田町の各一部から新設した町。町名は、横浜市総合卸センターが設置されたため「卸本町」と名付けた。町は瀬谷町、北町、旭区上川井町、緑区長津田町に接する。

**上瀬谷町**〔昭和五十二年三月二十八日〕

昭和五十二年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町の一部から新設した町。古くは鎌倉郡瀬谷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、二ツ橋村、宮沢村と合併して瀬谷村大字瀬谷となる。昭和十四年の横浜市編入の際、大字瀬谷の内、字連雀谷戸および二ツ橋谷戸の二字を二ツ橋町とし、その他の全区域を瀬谷町とする。町名は地元の要望により、通称として定着していた字名を採った。町は瀬谷町、目黒町、北町、竹村町に接する。

**北新**〔昭和五十七年十月二十五日〕

昭和五十七年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町の一部から新設した町。町名は、「北村」、「新道」の字

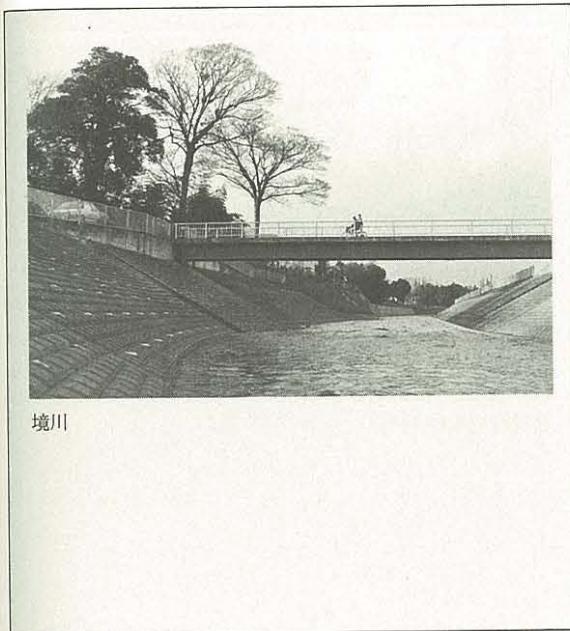
名があり、通称の「北新」を地元の要望により採った。町は橋戸二丁目・三丁目、下瀬谷二丁目・三丁目、大和市に接する。

**北町**〔昭和四十九年八月十二日〕

昭和四十九年の町界町名地番整理の施行にともない瀬谷町の一部から新設した町。町名は、瀬谷区の最も北部に位置することから名付けた。町は五貫目町、瀬谷町、卸本町、緑区長津田町、東京都町田市に接する。

**五貫目町**〔昭和四十九年八月十二日〕

昭和四十九年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町の一部から新設した町。町名は字名を採った。江戸時代の初期に年貢の石高が五貫目と定められ、それが字名となったという。町は目黒町、北町、東京都町田市に接する。町の北側を東名高速道路が通る。



境川

**下瀬谷一丁目〜三丁目**〔昭和五十六年十一月九日〕

昭和五十六年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町の一部から新設した町。町名は地元の要望により、通称として定着していた字名を採った。町は北新、橋戸一丁目・二丁目、南台二丁目、南瀬谷一丁目・二丁目、泉区上飯田町、大和市に接する。

**瀬谷一丁目〜三丁目**〔昭和五十九年十一月五日〕  
**瀬谷四丁目〜六丁目**〔昭和五十九年八月六日〕

昭和五十九年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町から新設した町。町名は「瀬谷」の名称を残したいとの地元要望により「瀬谷」を採った。町は本郷三丁目、中央、相沢一丁目・二丁目、二ツ橋町、宮沢町、南台一丁目、橋戸一丁目〜三丁目、大和市に接する。町の北側を相模鉄道が通り、瀬谷駅がある。

**瀬谷町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡瀬谷村大字瀬谷の内、字連雀谷戸と二ツ橋谷戸を合わせて二ツ橋町とし、これを除いた区域を瀬谷町として新設した町。古くは鎌倉郡瀬谷村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、二ツ橋村、宮沢村と合併して瀬谷村大字瀬谷となる。町名は旧村名を採った。地名研究で「セヤ」は「狭谷」を意味するという。町は上瀬谷町、北町、卸本町、竹村町、中屋敷一丁目〜三丁目、相沢五丁目〜七丁目、旭区上川井町に接する。町内に米軍上瀬谷通信隊がある。

**竹村町**〔昭和五十二年三月二十八日〕

昭和五十二年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町

の一部から新設した町。町名は、明治初期に字名「中村」、「下村」、「竹之内」の三つを合わせて「竹村」という通称が定着していたので地元の要望により「竹村」と名付けた。町は上瀬谷町、瀬谷町、中屋敷一丁目・二丁目、大和市に接する。

**中央**〔昭和六十年十一月五日〕

昭和六十年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町の一部から新設した町。町名は、町区域が昔、瀬谷村役場があった場所で、地理的に瀬谷区のはば中央にあたることから、地元の要望により「中央」と名付けた。町は本郷二丁目・四丁目、相沢一丁目・四丁目、瀬谷四丁目に接する。

**中屋敷一丁目・二丁目**〔昭和五十二年三月二十八日〕  
**中屋敷三丁目**〔昭和六十一年十月六日〕

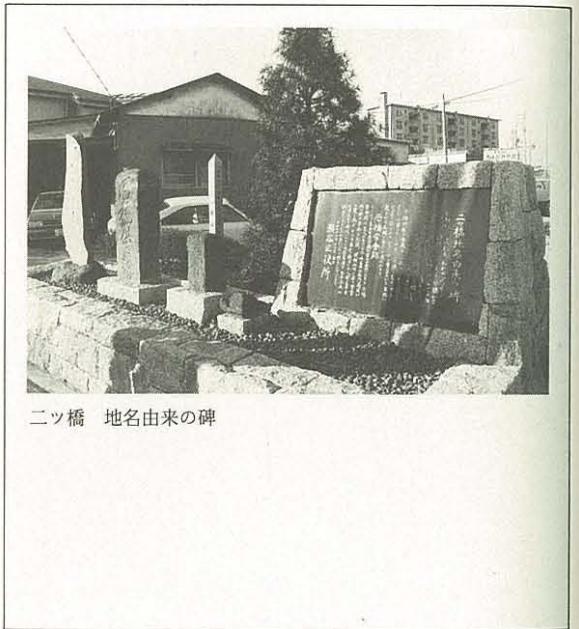
昭和五十二年と昭和六十一年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町の一部から新設した町。町名は通称として定着していた字名を地元の要望により採った。町は竹村町、瀬谷町、相沢五丁目、本郷一丁目・二丁目・四丁目、大和市に接する。

**橋戸一丁目・三丁目**〔昭和五十七年十月二十五日〕

昭和五十七年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町の一部から新設した町。町名は地元の要望により字名を採った。町は瀬谷三丁目・六丁目、南台一丁目・二丁目、下瀬谷二丁目、北新、大和市に接する。

**二ツ橋町**〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡瀬谷村大字二ツ橋



二ツ橋 地名由来の碑

の全区域のほか、大字瀬谷の内、字連雀谷戸および二ツ橋谷戸の二字から新設した町。古くは鎌倉郡二ツ橋村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、瀬谷村、宮沢村と合併して瀬谷村大字二ツ橋となる。町名は旧村名を採った。町区域に二か所の小橋があったことから「二ツ橋」と呼ぶようになったという。徳川家康が慶長十八年に詠んだという和歌「しみじみと清き流れの清水川 かけわたしたる二ツ橋かな」がある。町は東野台、東野、相沢二丁目、瀬谷一丁目、宮沢町、阿久和町、三ツ境、旭区矢指町、笹野台に接する。町内に瀬谷区役所がある。

**本郷一丁目・三丁目**〔昭和五十三年七月十七日〕  
**本郷四丁目**〔昭和六十一年十月六日〕

昭和五十三年と昭和六十一年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町から新設した町。町名は地元の要望により通称として定着していた字名を採った。町は中屋敷一丁目・三丁目、相沢五丁目、中央、瀬谷五丁目・六丁目、大

和市に接する。

**三ツ境**〔昭和三十七年五月一日〕

昭和三十七年の町界町名地番整理施行にともない阿久和町の一部から新設した町。古くは鎌倉郡阿久和村といい、明治二十二年の市町村制施行の際、尾勝村、上矢部村、秋葉村、名瀬村と合併して中川村大字阿久和となる。昭和十四年の横浜市編入の際、阿久和町となる。『新篇武蔵風土記稿』の「二俣川村」に「密経新田 小名 三経 東北の方なり」の記録がある。「三ツ境」のいわれについては、二俣川村、都岡村川井分、中川村阿久和分の三村の境を意味するとか、三ツ境の「境」は「橋」であるとか、旭区東希望が丘の三経山長楽寺に關係した仏教の「密経」に因むとかの諸説がある。町は二ツ橋町、阿久和町、旭区笹野台、中希望が丘に接する。町の北側を相模鉄道が通り、三ツ境駅がある。

**南瀬谷一丁目・二丁目**〔昭和五十四年八月二十日〕

昭和五十四年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町の一部から新設した町。町名は地元の要望により、瀬谷の南部に位置することから「南瀬谷」と名付けた。町は南台二丁目、宮沢町、下瀬谷一丁目、泉区和泉町に接する。

**南台一丁目・二丁目**〔昭和五十六年四月十三日〕

昭和五十六年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町、宮沢町の各一部から新設した町。町名は地元の要望により、通称として使われていた「南台」を採った。町は瀬谷一丁目・二丁目、宮沢町、橋戸一丁目、下瀬谷一丁目・二丁目、南瀬谷一丁目に接する。

みやざわちやう  
宮沢町〔昭和十四年四月一日〕

昭和十四年の横浜市編入の際、鎌倉郡瀬谷村大字宮沢から新設した町。古くは鎌倉郡宮沢村といい、鎌倉郡上矢部村から移住した人が田畑を開拓したという。明治二十二年の市町村制施行の際、二ツ橋村、瀬谷村と合併して瀬谷村大字宮沢となる。町名は旧村名を採った。町は瀬谷二丁目・二ツ橋町、阿久和町、南台二丁目・二丁目、南瀬谷二丁目・二丁目、泉区和泉町に接する。町の東側を和泉川が流れる。

めぐろちやう  
目黒町〔昭和四十九年八月十二日〕

昭和四十九年の町界町名地番整理施行にともない瀬谷町の一部から新設した町。町名は地元の要望により、通称として使われていた字名を採った。町は五貫目町、上瀬谷町、大和市に接する。町の東側を東名高速道路が通る。

鎌取池

三ツ境商店街付近は、阿久和川の源流となっており、開発されるまでは草深く生茂る森林の中に川の流れをくい止めるため灌漑用の溜め池があり、鎌取池と名付けられていた。

この池には、古くから次のような言い伝えがある。

「池のまわりの草を刈っていた村の若者の前に、それは美しい若い娘が現われ、涙ながらに草刈り鎌を預からせてもらいたいと懇願されたので、鎌を渡したところ、その娘はスウィーツと見えなくなった。そして、その跡には一筋の水の跡とキラリと光る鱗が残っていた。

若者は、この話を村の人々にしたところ、彼のほかにも鎌をとられたという村人が何人かいた。じつは、彼が会ったというその若い娘は、池の主である大蛇の化身であったのだ。それ以来、村人たちはこの池を鎌取池と呼ぶようになったという」

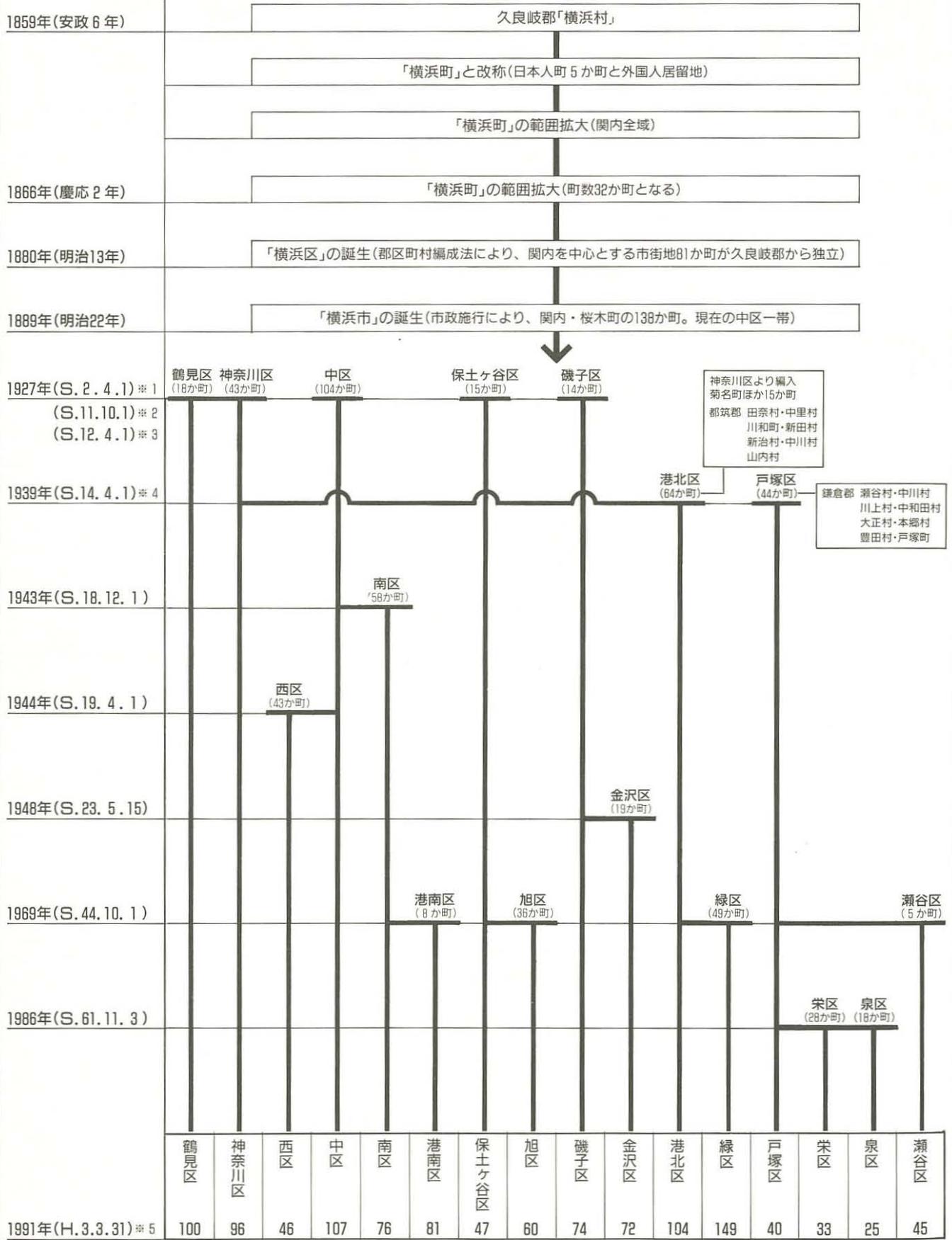
今では、もう、この池は埋立てられなくなっているが「鎌取池」の名だけが残されている。

資料編

## 「横浜」町の年表

| 年月           | 事項                       | 面積(km) | 人口(人)     | 拡張地域                                                                                                                                   |
|--------------|--------------------------|--------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1859(安政6年)   | 横浜開港                     |        | 482       | 久良岐郡「横浜村」                                                                                                                              |
|              |                          |        | 123       | 「横浜町」と改称(日本人町5か町と外国人居留地)                                                                                                               |
|              |                          |        |           | 「横浜町」の範囲拡大(関内全域)                                                                                                                       |
| 1866年(慶応2年)  |                          |        |           | 「横浜町」の範囲拡大(町数32か町で形成)                                                                                                                  |
| 1872年(明治5年)  | 横浜～新橋間に鉄道が開通             |        |           |                                                                                                                                        |
| 1880年(明治13年) | 郡区町村編成法                  |        |           | 久良岐郡より「横浜区」が独立<br>(関内を中心とする市街地81か町)                                                                                                    |
| 1889年(明治22年) | 市制施行                     | 5.4    | 116,193   | 市域は、関内・桜木町(現在の中区一帯)の138か町                                                                                                              |
| 1901年(明治34年) | 第一次市域拡張                  | 24.8   | 299,202   | 久良岐郡「戸太村」・「本牧村」・「中村」・「根岸村」<br>橋樹郡「神奈川町」・「保土ヶ谷町の一部」                                                                                     |
| 1909年(明治42年) | 開港50年記念祭、市歌、市章制定         |        |           |                                                                                                                                        |
| 1911年(明治44年) | 第二次市域拡張                  | 36.71  | 444,039   | 橋樹郡「保土ヶ谷町の一部」・「子安村の一部」、<br>久良岐郡「屏風浦村の一部」・「大岡川村の一部」                                                                                     |
| 1923年(大正12年) | 関東大震災                    |        |           |                                                                                                                                        |
| 1927年(昭和2年)  | 第三次市域拡張<br>区制施行<br>5区が誕生 | 133.88 | 535,332   | 橋樹郡「鶴見町」・「旭村」・「大綱村」・「城郷村」<br>「保土ヶ谷町」・「西谷村」、久良岐郡「大岡川村」<br>「日下村」・「屏風浦村」<br>鶴見区・神奈川区・中区・保土ヶ谷区・磯子区が誕生する                                    |
| 1931年(昭和6年)  | 鶴見河口埋立開始                 |        |           | (京浜工業地帯に発展)                                                                                                                            |
| 1936年(昭和11年) | 第四次市域拡張                  | 168.02 | 738,400   | 久良岐郡「金沢町」・「六浦荘村」、鎌倉郡「永野村」                                                                                                              |
| 1937年(昭和12年) | 第五次市域拡張                  | 173.18 | 759,700   | 橋樹郡「日吉村の一部」                                                                                                                            |
| 1939年(昭和14年) | 7区となる<br>第六次市域拡張         | 400.97 | 866,200   | 港北区・戸塚区が誕生する<br>都筑郡「新治村」・「田奈村」・「中里村」・「川和町」<br>「新田村」・「中川村」・「山内村」・「都岡村」・「二俣川村」<br>鎌倉郡「戸塚町」・「川上村」・「豊田村」・「大正村」・「中和田村」<br>「中川村」・「瀬谷村」・「本郷村」 |
| 1941年(昭和16年) | 太平洋戦争始まる                 |        |           |                                                                                                                                        |
| 1943年(昭和18年) | 8区となる                    | 400.97 | 1,028,661 | 南区が誕生する                                                                                                                                |
| 1944年(昭和19年) | 9区となる                    | 400.97 | 1,018,839 | 西区が誕生する                                                                                                                                |
| 1945年(昭和20年) | 横浜大空襲<br>太平洋戦争終わる        |        |           |                                                                                                                                        |
| 1948年(昭和23年) | 10区となる                   | 400.97 | 859,324   | 金沢区が誕生する                                                                                                                               |
| 1951年(昭和26年) | 人口100万人突破                |        |           |                                                                                                                                        |
| 1956年(昭和31年) | 政令指定都市となる                |        |           |                                                                                                                                        |
| 1958年(昭和33年) | 開港100年記念祭                |        |           |                                                                                                                                        |
| 1968年(昭和43年) | 人口200万人突破                |        |           |                                                                                                                                        |
| 1969年(昭和44年) | 14区となる                   | 417.29 | 2,143,820 | 港南区・旭区・緑区・瀬谷区が誕生する                                                                                                                     |
| 1970年(昭和45年) | 港北ニュータウン事業はじまる           |        |           |                                                                                                                                        |
| 1983年(昭和58年) | みなとみらい21事業はじまる           |        |           |                                                                                                                                        |
| 1985年(昭和60年) | 人口300万人突破                |        |           |                                                                                                                                        |
| 1986年(昭和61年) | 16区となる                   | 430.80 | 3,049,782 | 栄区・泉区が誕生する                                                                                                                             |
| 1989年(平成元年)  | 市政100周年・開港130周年          |        |           |                                                                                                                                        |

# 「横浜」の区系図



※1 鶴見・神奈川・中・保土ヶ谷・磯子各区の誕生時には、橋樹郡及び久良岐郡の一部をとり入れ市域拡張をした。  
 ※2 久良岐郡及び鎌倉郡の一部をとり入れ市域拡張をした。  
 ※3 橋樹郡の一部をとり入れ市域拡張をした。  
 ※4 港北区・戸塚区の誕生時には、都筑郡及び鎌倉郡の一部をとり入れ市域拡張をした。  
 ※5 1155か町のうち7か町が区界によって分断されているので、1155-7で、横浜の町の数は1148か町。

# 新旧変遷図



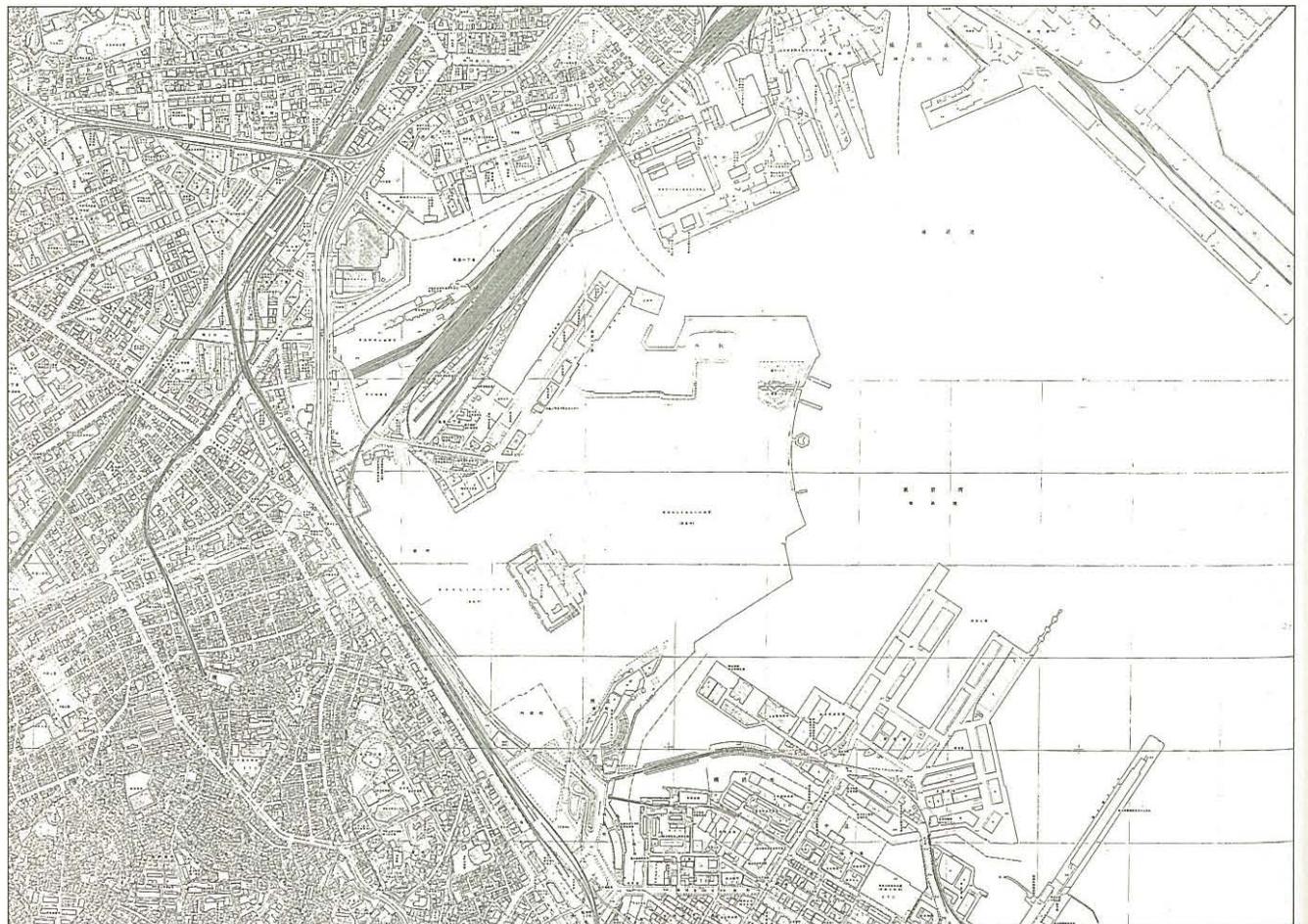
明治15年 海岸線に沿って鉄道が敷かれ、港の北側に神奈川砲台、南側に波止場が見える。



大正11年 沖に防波堤ができ、港としての整備が進んでいる。



昭和28年 埋立てで港が拡張され、ふ頭が次々と建設されていった様子がわかる。



平成2年 現在みなとみらい21地区の開発が進められている。

上大岡周辺



昭和16年 東側には湘南電気鉄道(現・京浜急行)が敷かれ、その周辺はほとんど田畑・山林で占められていた。

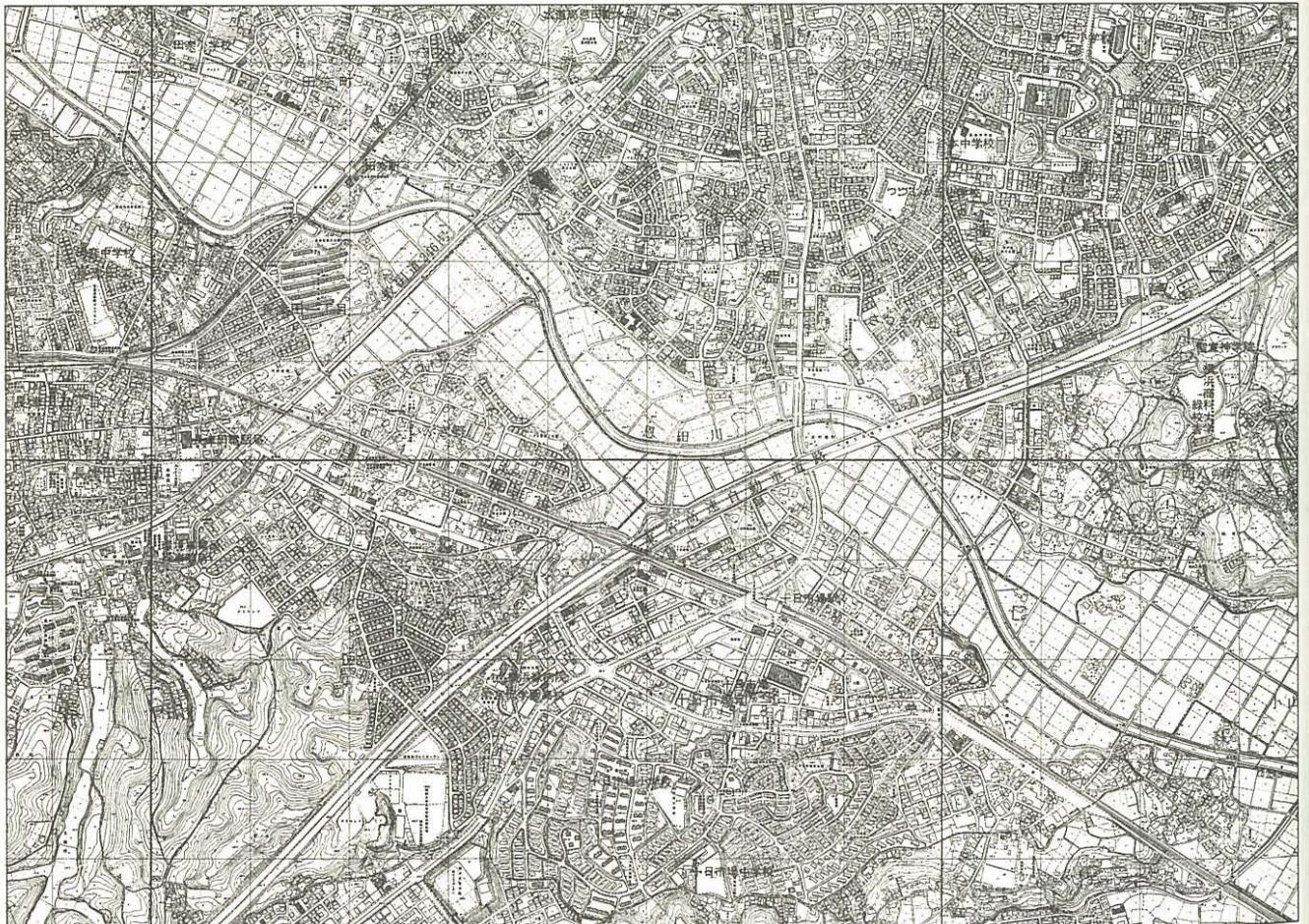


平成24年 上大岡周辺の市街化が進んだ様子がわかる。

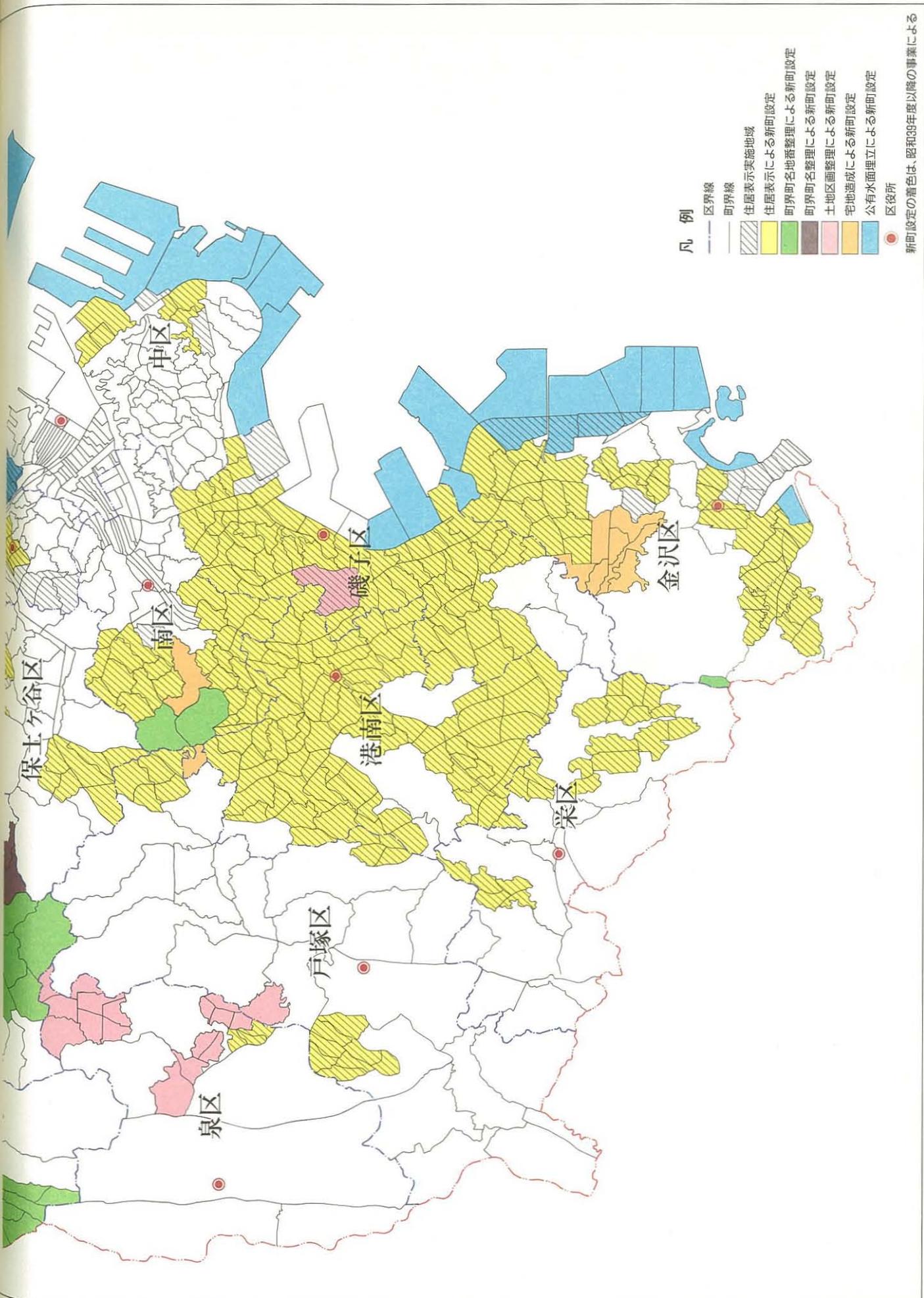
十日市場周辺



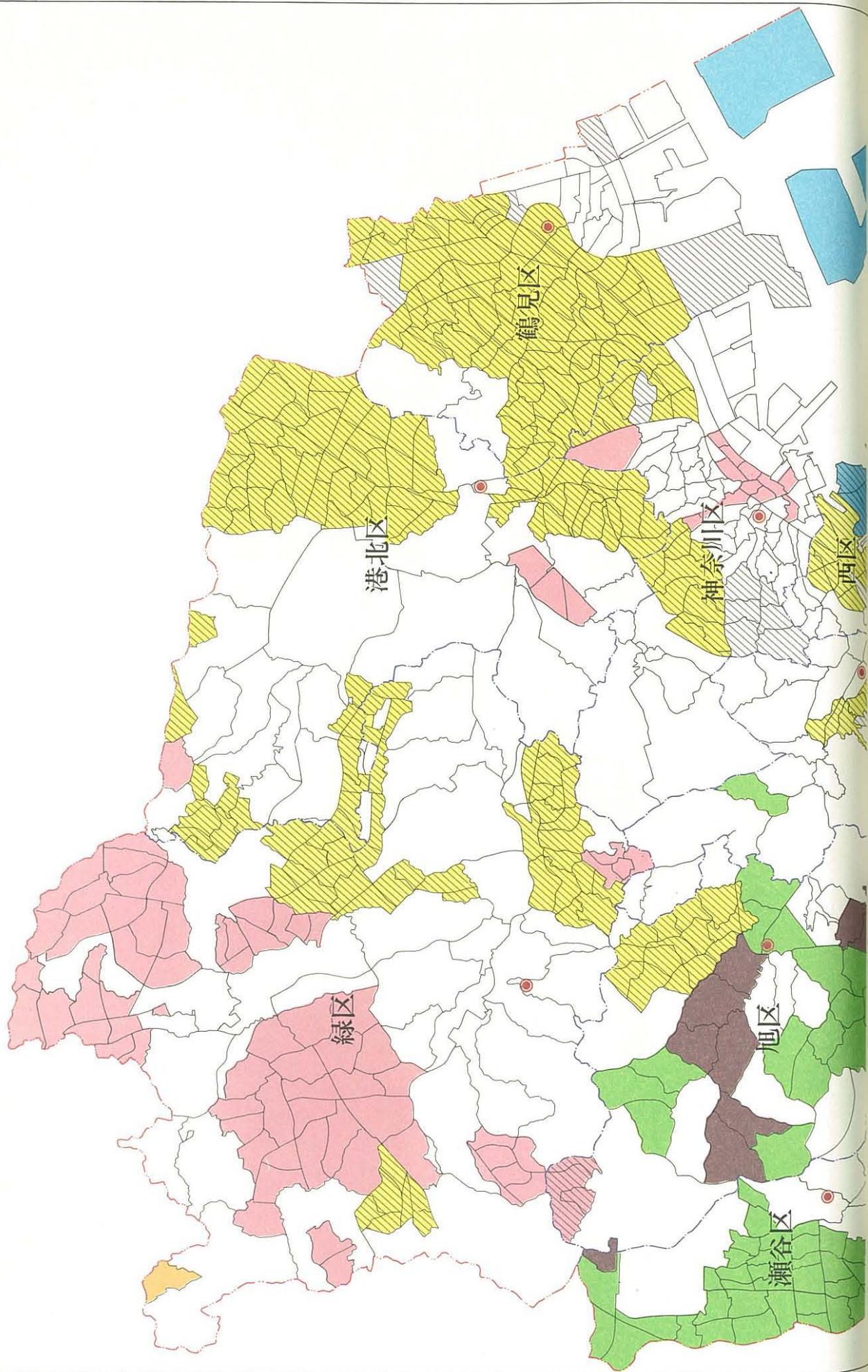
大正6年 中央に沿って現在のJR横浜線が敷かれ、その周辺はほとんど田畑・山林で占められていた。



平成2年 長津田駅から北東に東急田園都市線が敷かれ、その周辺が土地区画整理等により変貌していった様子がわかる。



事業別新町設定一覧図



# 住居表示整備事業と町界町名地番整理事業

1. 事業目的—— 市内には、住所を表す地番が混乱している地域、地番が数千番台にも及び大きな町、複雑に入り組んでいる町の境界など住所が分かりにくい地区があります。住所が分かりにくいと、家を訪ねたり品物を配達するときなど、みなさんの生活に支障を生じるばかりではありません。消防活動や救急活動など、一刻を争う緊急時に迅速かつ確実な対処ができなくなる恐れもあります。
- このような問題を解決するのが、住居表示整備事業と町界町名地番整理事業です。住居表示整備事業は主に市街地を対象としますが、町界町名地番整理事業は郊外の地域を対象として行います。どちらも住所をわかりやすくするという点では同じですが、事業の方法に違いがあります。

## 2. 事業内容——(1)住居表示整備事業

昭和37年に「住居表示に関する法律」が制定されたのに伴い、市街地における住所は、これに基づいて表示することになりました。

この法律により、町の大きさを適切な規模とするとともに、その境界は道路・河川・水路など分かりやすいもので定めます。そして、町名などを記した街区表示板を街かどの電柱等、目につきやすい場所に設置し住所をわかりやすくします。

また、土地の番号である地番によって表示されていた住所を、規則的に配置した建物番号を用いて住所を表します。

横浜市では、市街地の中で住所の混乱が著しい地区から順次、住居表示を実施しています。

## (2)町界町名地番整備事業

住居表示整備事業以外の方法で町区域等の整備を行う事業ですが、横浜市が直接行う場合と、土地区画整理事業や公有水面の埋立て事業など、それぞれ事業の原因者が申請し行うものがあります。

主として郊外を対象に横浜市が行う町界町名地番整理事業は、住居表示整備事業と同様に、町の規模・境界等の整理を行いますが、建物番号は用いずに順序よく整理し直した地番によって住所を表します。

土地区画整理事業や公有水面埋立て事業など開発が行われると地形が変わったり、新しく土地ができたりして市街地が形成されます。

このような大規模開発については、事業者の申請に基づく町区域の変更等を行います。

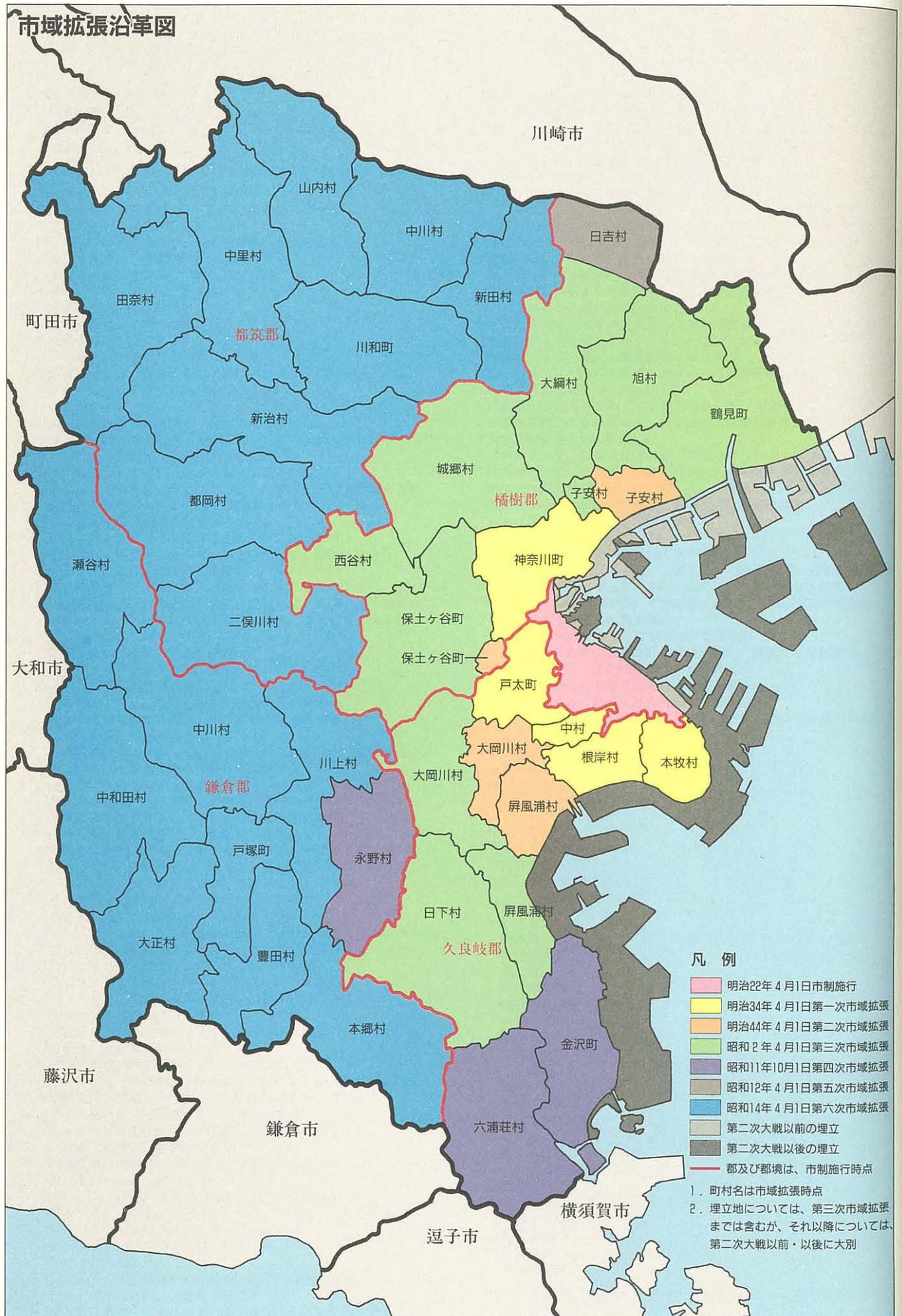
## 3. 住所の表示——●住所表示整理事業に基づくもの

横浜市〇〇〇一丁目 2番 3号  
町名 街区番号 住居番号  
(建物番号)

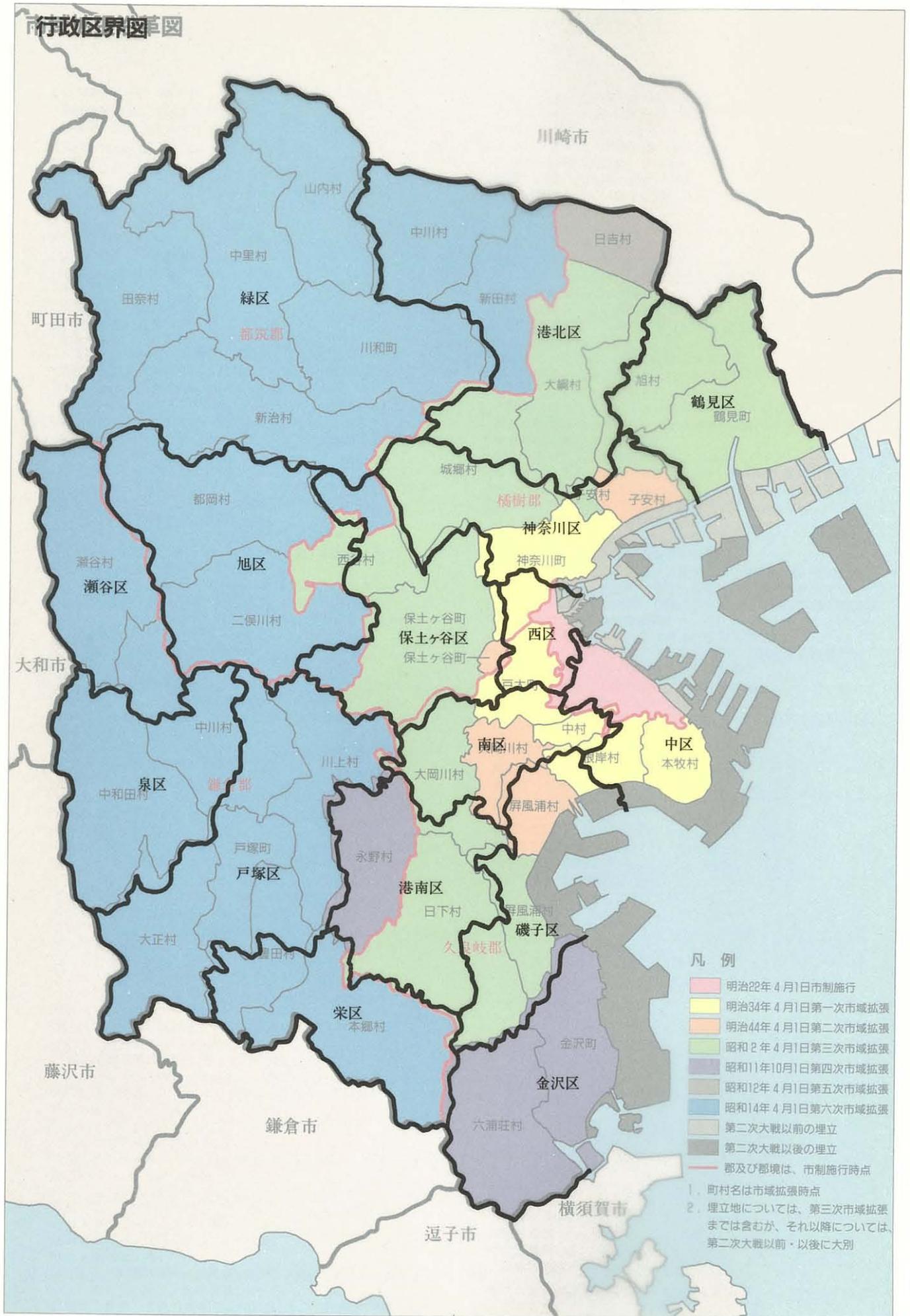
## ●町界町名地番整理事業に基づくもの

横浜市〇〇〇一丁目 2番地の3  
町名 土地の番号

# 市域拡張沿革図



行政区界図



凡例

- 明治22年4月1日市制施行
  - 明治34年4月1日第一次市域拡張
  - 明治44年4月1日第二次市域拡張
  - 昭和2年4月1日第三次市域拡張
  - 昭和11年10月1日第四次市域拡張
  - 昭和12年4月1日第五次市域拡張
  - 昭和14年4月1日第六次市域拡張
  - 第二次大戦以前の埋立
  - 第二次大戦以後の埋立
  - 郡及び郡境は、市制施行時点
1. 町村名は市域拡張時点
  2. 埋立地については、第三次市域拡張までは含むが、それ以降については、第二次大戦以前・以後に大別



## 参考文献・協力機関一覧

### \*参考文献一覧(順不同)

- 『横濱地名案内』／田友昇著  
『横濱沿革誌』／太田久好著
- 『Glimpses of unfamiliar Japan.』  
／by Lafcadio Hearn. (Boston and New York,  
Houghton Mifflin Company, c1894.)
- 『神奈川県橋本郡案内』／神奈川県橋本郡役所刊  
『都田村誌』 都筑郡都田村役場刊  
『金川砂子附神奈川県要』／石野瑛編 武相考古會刊  
『鶴見興隆誌』／川崎市 自由新聞社刊  
『横濱市史稿 地理編』／横濱市役所刊  
『横濱復興録 第二編』／横濱市役所刊  
『横濱市町名一覽』／横濱市刊  
『地名の研究』／柳田國男著 古今書院刊  
『横濱市町名一覽 昭和十一年十二月調査』  
／横濱史料調査委員会編 横濱市刊  
『多摩田園都市 開発35年の記録』／東京急行電鉄株式会社編  
『神奈川県誌』／横濱市神奈川県役所刊  
『神奈川県誌』／神奈川県誌編さん刊行実行委員会刊  
『かねさきは物語』／関靖著 横濱土地新報社刊  
『保土ヶ谷區郷土史 下巻』／磯貝正編 保土ヶ谷區郷土史刊行委員会刊  
『横濱市町名沿革誌』／横濱市文書課刊  
『横濱経済文化事典』／横濱市立大学経済研究所刊  
『日本地名学研究』／中島利一郎著 京都市日本地名学研究所刊  
『横濱市町名沿革調(未定稿) 昭和34年5月15日現在』  
／横濱市総務局総合企画室調査課刊  
『田奈の郷土誌』／『田奈の郷土誌』編集委員会刊  
『続・田奈の郷土誌』／『続・田奈の郷土誌』編集委員会刊  
『われらの港北』／横濱港北新報社刊  
『江戸名所図会』／鈴木棠三、朝倉治彦校注 角川文庫刊  
『戸塚郷土誌』／戸塚区郷土誌編纂委員会編 戸塚区観光協会刊  
『中里郷土史』／中里郷土史編纂委員会編 中里農業協同組合刊  
『新篇相模國風土記稿』／雄山閣刊  
『新篇武蔵風土記稿』／雄山閣刊  
『横濱郷土双書 第三巻 横濱の新田と埋立』  
／内田四方蔵編 横濱市図書館刊  
『中和田郷土誌』／中和田郷土誌編纂委員会編  
横濱市立中和田小学校創立80周年記念事業委員会刊  
『戸塚郷土誌』／戸塚郷土研究会刊  
『ものがたり西区の今昔』／西区の今昔・編集委員会編 西区観光協会刊  
『港北百話 — 古老を囲んで港北を語る』  
／編集委員会編 港北区老人 クラブ連合会、港北区役所刊  
『南区の歴史』／南区の歴史発行実行委員会刊  
『武蔵野の地名』／中島利一郎著 新人物往来社刊  
『横濱市町名変遷概要図』／横濱市図書館刊  
『日本の唱歌(上) 明治篇』／金田一春彦、安西愛子編 講談社刊  
『磯子の史話』／磯子区制50周年記念事業委員会  
「磯子の史話」出版部会刊  
『港南の歴史』／港南の歴史発行実行委員会刊  
『旭区郷土史』／旭区郷土史刊行委員会刊  
『佐江戸誌』／佐江戸誌編纂委員会編 横濱市緑区佐江戸町内会刊  
『鶴見区史』／鶴見区史編纂委員会編 鶴見区史刊行委員会刊  
『横濱の町名』／横濱市市民局刊(昭和57年版)  
『角川日本地名大事典 14 神奈川県』  
／「角川日本地名大事典」編纂委員会編 角川書店刊  
『神奈川県地名』／平凡社刊  
『港北区史』／港北区郷土史編さん刊行委員会刊  
『緑区史 資料編 第一・二巻』  
／緑区史編纂委員会編 緑区史刊行委員会刊  
『中区わが街 中区地区沿革外史』／中区わが街刊行委員会刊  
『影印 横濱文書』／石井光太郎編 横濱市教育委員会刊  
『戸塚の歴史』／大橋俊雄著 文華堂書店刊  
『昭和61年11月3日施行 横濱市行政区再編成の記録』  
／横濱市総務局区連絡調整課刊  
『横濱市町区域要覧』／横濱市市民局住居表示課編 横濱市役所刊  
『翔べ金沢』／金沢区・市政100周年・区制40周年記念事業  
実行委員会出版部会編 同実行委員会刊  
『戸塚区史』／戸塚区史刊行委員会編 戸塚区史刊行委員会刊  
『市民クラブ・ヨコハマ』／横濱市市民局編  
『横濱絵地図』／岩壁義光編 有隣堂刊  
『金沢とところどころ』  
／金沢区・市政100周年・区制40周年記念事業実行委員会出版部会編  
『わたしたちの金沢』／金沢区役所刊  
『横濱歴史散歩—金沢八景から金沢文庫へ』／横濱郷土研究会編

- 『金沢』／金沢区役所・金沢観光協会編  
『金沢発の本』／金沢区政推進課編  
『港北ニュータウン・ガイドマップ』／(財)港北ニュータウン生活対策協会  
『ヨコハマ散歩』／森篤男編 横濱市観光協会刊  
『港町横濱の都市形成史』／横濱市企画調整局編  
『舞岡の民俗』／舞岡水と緑の会編  
『戸塚の散歩みち』／郷土戸塚区歴史の会編  
「みんなで探ろう郷土の歴史」実行委員会刊  
『ふるさと戸塚』／郷土戸塚区歴史の会編 戸塚区老人クラブ連合会刊  
『12万人の田園・交響曲—泉区ふるさと白書』／泉区政推進課刊  
『港南20歳のアルバム—区制20周年記念誌』  
／港南区市政100周年・区制20周年記念事業実行委員会編  
『港南こどもまちづくり絵本』／港南区政推進課編  
『フォトアルバム思い出の保土ヶ谷』  
／市政百周年記念事業保土ヶ谷区実行委員会編  
『ほどがやっ子に伝えたい』／保土ヶ谷区政推進課編  
『瀬谷ふるさと白書』／瀬谷区政推進課編  
『新・田園物語 緑区ふるさと白書』／緑区役所編  
『鶴見の歴史と人々の暮らし』  
／鶴見の歴史と人々の暮らし編集委員会編 同刊行委員会刊  
『神奈川県歴史あらかると』／神奈川県地域問題研究会編  
『神奈川県宿歴史の道[改定]』  
／神奈川県工学部建築学科編 神奈川県役所刊  
『鶴見まち物語—鶴見ふるさと白書』／鶴見区政推進課編  
『かながわ区物語—海・緑・街・人』／神奈川県政推進課編  
『ふるさと磯子のむかしはなし』／磯子区政推進課編  
『あさひ区内散見』／旭区区民相談室編  
『STAMP RALLY—あさひ探検スタンプラリー』  
／旭区政推進課あさひ探検倶楽部編  
『わが街五十五選スケッチ画集』／磯子まつり実行委員会 出版部会編  
『浜・海・道 あの時、そして今…磯子は』／磯子区総務課編  
『街なか ひと仲 はまの中 中区ふるさと白書』／中区政推進課編  
『みなみ歴史とまちなみ散歩道』  
／みなみ歴史とまちなみ散歩道発行委員会編  
『南区ふるさと白書 まちとひとの万華鏡』／南区政推進課編  
『横濱のあゆみ』／横濱開港資料普及協会編  
『東京周辺1万分の1地形図集成』／柏書房編  
『瀬谷区の歴史』／瀬谷の歴史を知る会編  
『保土ヶ谷ものがたり』／保土ヶ谷区制50周年記念事業実行委員会編

### \*協力機関一覧(順不同)

神奈川県立博物館  
神戸市立博物館  
東京都埋蔵文化財センター

神奈川県新聞社  
東京急行電鉄株式会社  
日本通運株式会社  
帆船日本丸記念財団

横浜市都市計画局  
道路局  
港湾局  
教育委員会  
図書館  
開港資料館  
埋蔵文化財センター  
鶴見区役所  
神奈川区役所  
西区役所  
中区役所  
南区役所  
港南区役所  
保土ヶ谷区役所  
旭区役所  
磯子区役所  
金沢区役所  
港北区役所  
緑区役所  
戸塚区役所  
栄区役所  
泉区役所  
瀬谷区役所

●そのほか関係各機関をはじめ、多くの方々からご協力をいただきました。



|                        |     |
|------------------------|-----|
| 広台太田町(神奈川区)ひろだいおおたまち   | 44  |
| 広地町(磯子区)ひろちちよう         | 133 |
| <b>ふ</b>               |     |
| 深谷町(戸塚区)ふかやちよう         | 182 |
| 福浦一丁目～三丁目(金沢区)ふくら      | 143 |
| 福富町仲通(中区)ふくとみちようなかどおり  | 72  |
| 福富町西通(中区)ふくとみちようにしどおり  | 72  |
| 福富町東通(中区)ふくとみちようひがしどおり | 72  |
| 藤が丘一丁目・二丁目(緑区)ふじがおか    | 171 |
| 藤棚町(西区)ふじだなちよう         | 55  |
| 富士塚一丁目・二丁目(港北区)ふじづか    | 155 |
| 藤塚町(保土ヶ谷区)ふじつかちよう      | 110 |
| 富士見が丘(緑区)ふじみがおか        | 171 |
| 伏見町(南区)ふしみちよう          | 88  |
| 富士見町(中区)ふじみちよう         | 72  |
| 二ツ橋町(瀬谷区)ふたつばしちよう      | 208 |
| 二ツ谷町(神奈川区)ふたつやちよう      | 44  |
| 二葉町(南区)ふたばちよう          | 88  |
| 二俣川1丁目・2丁目(旭区)ふたまたがわ   | 122 |
| 仏向町(保土ヶ谷区)ぶつこうちよう      | 110 |
| 太尾町(港北区)ふとおちよう         | 155 |
| 不老町(中区)ふろうちよう          | 72  |

|                     |    |
|---------------------|----|
| <b>へ</b>            |    |
| 平安町(鶴見区)へいあんちよう     | 28 |
| 平楽(南区)へいらく          | 89 |
| 別所一丁目～七丁目(南区)べっしょ   | 89 |
| 別所中里台(南区)べっしょなかざとだい | 89 |
| 弁天町(鶴見区)べんてんちよう     | 28 |
| 弁天通(中区)べんてんどおり      | 72 |

|                      |     |
|----------------------|-----|
| <b>ほ</b>             |     |
| 法泉一丁目～三丁目(保土ヶ谷区)ほうせん | 110 |
| 蓬萊町(中区)ほうらいちよう       | 73  |
| 星川一丁目～三丁目(保土ヶ谷区)ほしかわ | 111 |
| 星野町(神奈川区)ほしのちよう      | 44  |
| 保土ヶ谷町(保土ヶ谷区)ほどがやちよう  | 111 |
| 堀口(金沢区)ほりぐち          | 144 |
| 堀ノ内町(南区)ほりのうちちよう     | 89  |
| 本郷一丁目～四丁目(瀬谷区)ほんごう   | 208 |
| 本郷台一丁目～五丁目(栄区)ほんごうだい | 192 |
| 本郷町(中区)ほんごうちよう       | 73  |
| 本宿町(旭区)ほんじゅくちよう      | 122 |
| 本町(中区)ほんちよう          | 73  |
| 本町通(鶴見区)ほんちようどおり     | 28  |
| 本村町(旭区)ほんむらちよう       | 122 |
| 本牧荒井(中区)ほんもくあらい      | 73  |
| 本牧大里町(中区)ほんもくおおさとちよう | 73  |
| 本牧三之谷(中区)ほんもくさんのたに   | 73  |
| 本牧十二天(中区)ほんもくじゅうにてん  | 73  |
| 本牧町(中区)ほんもくちよう       | 73  |
| 本牧原(中区)ほんもくはら        | 74  |
| 本牧ふ頭(中区)ほんもくふとう      | 74  |
| 本牧満坂(中区)ほんもくまんざか     | 74  |
| 本牧緑ヶ丘(中区)ほんもくみどりがおか  | 74  |
| 本牧宮原(中区)ほんもくみやばら     | 74  |
| 本牧元町(中区)ほんもくもとまち     | 74  |
| 本牧和田(中区)ほんもくわだ       | 74  |

|                 |     |
|-----------------|-----|
| <b>ま</b>        |     |
| 舞岡町(戸塚区)まいおかちよう | 182 |
| 蒔田町(南区)まいたちちよう  | 89  |
| 前里町(南区)まえさとちよう  | 90  |
| 前田町(戸塚区)まえだちよう  | 182 |
| 間門町(中区)まかどちよう   | 75  |
| 真金町(南区)まがねちよう   | 90  |

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 万騎が原(旭区)まきがはら         | 122 |
| 真砂町(中区)まさごちよう         | 75  |
| 俣野町(戸塚区)またのちよう        | 182 |
| 町屋町(金沢区)まちやちよう        | 144 |
| 松ヶ丘(神奈川区)まつがおか        | 44  |
| 松影町(中区)まつかげちよう        | 75  |
| 松風台(緑区)まつかぜだい         | 172 |
| 松見町(神奈川区)まつみちよう       | 45  |
| 松本町(神奈川区)まつもとちよう      | 45  |
| 豆口台(中区)まめぐちだい         | 75  |
| 大豆戸町(港北区)まめどちよう       | 155 |
| 丸山一丁目・二丁目(磯子区)まるやま    | 133 |
| 丸山台一丁目～四丁目(港南区)まるやまだい | 100 |
| 万世町(南区)まんせいちよう        | 90  |

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| <b>み</b>              |     |
| みず木町(金沢区)みずきちよう       | 144 |
| みたけ台(緑区)みたけだい         | 172 |
| 三ツ池公園(鶴見区)みついけこうえん    | 28  |
| 三ツ境(瀬谷区)みつぎょう         | 208 |
| 三ツ沢上町(神奈川区)みつざわかみまち   | 45  |
| 三ツ沢下町(神奈川区)みつざわしもまち   | 45  |
| 三ツ沢中町(神奈川区)みつざわなかまち   | 45  |
| 三ツ沢西町(神奈川区)みつざわにしまち   | 45  |
| 三ツ沢東町(神奈川区)みつざわひがしまち  | 45  |
| 三ツ沢南町(神奈川区)みつざわみなみまち  | 46  |
| 瑞穂町(神奈川区)みづほちよう       | 46  |
| 緑町(西区)みどりちよう          | 56  |
| 緑山(緑区)みどりやま           | 172 |
| 港町(中区)みなとちよう          | 75  |
| みなとみらい一丁目～五丁目(西区)     |     |
| みなとみらい                | 56  |
| 南太田町(南区)みなみおおたまち      | 90  |
| 南軽井沢(西区)みなみかるいざわ      | 56  |
| 南希望が丘(旭区)みなみきぼうがおか    | 123 |
| 南幸一丁目・二丁目(西区)みなみさいわい  | 56  |
| 南瀬谷一丁目・二丁目(瀬谷区)みなみせや  | 208 |
| 南浅間町(西区)みなみせんげんちよう    | 56  |
| 南台一丁目・二丁目(瀬谷区)みなみだい   | 208 |
| 南仲通(中区)みなみなかどおり       | 75  |
| 南本宿町(旭区)みなみほんじゅくちよう   | 123 |
| 南舞岡一丁目～四丁目(戸塚区)       |     |
| みなみまいおか               | 182 |
| 南山田町(港北区)みなみやまたちよう    | 155 |
| 南吉田町(南区)みなみやよしだちよう    | 90  |
| 峰岡町(保土ヶ谷区)みねおかちよう     | 111 |
| 峰沢町(保土ヶ谷区)みねざわちよう     | 111 |
| 峰町(磯子区)みねちよう          | 133 |
| 箕沢(中区)みのさわ            | 75  |
| 箕輪町一丁目～三丁目(港北区)みのわちよう | 155 |
| 見花山(緑区)みはなやま          | 172 |
| 三春台(南区)みはるだい          | 90  |
| 三保町(緑区)みほちよう          | 172 |
| 宮ヶ谷(西区)みやがや           | 56  |
| 宮川町(中区)みやがわちよう        | 76  |
| 宮崎町(西区)みやざきちよう        | 56  |
| 宮沢町(瀬谷区)みやざわちよう       | 209 |
| 宮田町(保土ヶ谷区)みやたちちよう     | 111 |
| 宮元町(南区)みやもとちよう        | 90  |
| 妙香寺台(中区)みょうこうじだい      | 76  |
| 明神台(保土ヶ谷区)みょうじんだい     | 111 |
| 三吉町(中区)みやしちよう         | 76  |

|                    |     |
|--------------------|-----|
| <b>む</b>           |     |
| 向井町(鶴見区)むかいちよう     | 28  |
| 麦田町(中区)むぎたちちよう     | 76  |
| 六浦一丁目～四丁目(金沢区)むつうら | 144 |
| 六浦町(金沢区)むつうらちよう    | 144 |
| 六ツ川一丁目～四丁目(南区)むつかわ | 91  |

|                |     |
|----------------|-----|
| 睦町(南区)むつみちよう   | 91  |
| <b>め</b>       |     |
| 目黒町(瀬谷区)めぐろちよう | 209 |

|                      |     |
|----------------------|-----|
| <b>も</b>             |     |
| もえぎ野(緑区)もえぎの         | 172 |
| 元石川町(緑区)もといしかわちよう    | 172 |
| 元大橋一丁目・二丁目(栄区)もとおおはし | 192 |
| 元久保町(西区)もとくぼちよう      | 57  |
| 元浜町(中区)もとはまちちよう      | 76  |
| 元町(中区)もとまち           | 76  |
| 元宮一丁目・二丁目(鶴見区)もとみや   | 28  |
| 紅葉ヶ丘(西区)もみじがおか       | 57  |
| もみの木台(緑区)もみのきだい      | 173 |
| 森一丁目～六丁目(磯子区)もり      | 134 |
| 森が丘一丁目・二丁目(磯子区)もりがおか | 134 |
| 守屋町(神奈川区)もりやちよう      | 46  |
| 師岡町(港北区)もろおかちよう      | 156 |

|                   |     |
|-------------------|-----|
| <b>や</b>          |     |
| 矢口台(中区)やぐちだい      | 76  |
| 矢向一丁目～六丁目(鶴見区)やこう | 28  |
| 矢指町(旭区)やさしちよう     | 123 |
| 谷津町(金沢区)やつちよう     | 144 |
| 柳町(金沢区)やなぎちよう     | 144 |
| 矢部町(戸塚区)やべちよう     | 182 |
| 山下町(中区)やましたちよう    | 76  |
| 山田町(中区)やまだちよう     | 77  |
| 山手町(中区)やまてちよう     | 77  |
| 大和町(中区)やまとちよう     | 77  |
| 山内町(神奈川区)やまのうちちよう | 46  |
| 山吹町(中区)やまぶきちよう    | 77  |
| 山元町(中区)やまもとちよう    | 77  |
| 弥生台(泉区)やよいだい      | 198 |
| 弥生町(中区)やよいちよう     | 77  |

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| <b>よ</b>              |     |
| 洋光台一丁目～六丁目(磯子区)ようこうだい | 134 |
| 横浜公園(中区)よこはまこうえん      | 78  |
| 吉田町(戸塚区)よしだちよう        | 183 |
| 吉田町(中区)よしだまち          | 78  |
| 吉野町(南区)よしのちよう         | 91  |
| 吉浜町(中区)よしはまちちよう       | 78  |

|                    |     |
|--------------------|-----|
| <b>り</b>           |     |
| 領家一丁目～四丁目(泉区)りょうけ  | 198 |
| 緑園一丁目～七丁目(泉区)りょくえん | 198 |

|                        |    |
|------------------------|----|
| <b>ろ</b>               |    |
| 六角橋一丁目～六丁目(神奈川区)ろくかくばし | 46 |

|                     |     |
|---------------------|-----|
| <b>わ</b>            |     |
| 若草台(緑区)わかぐさだい       | 173 |
| 若竹町(栄区)わかたけちよう      | 192 |
| 若葉台一丁目～四丁目(旭区)わかばだい | 123 |
| 若葉町(中区)わかばちよう       | 78  |
| 若宮町(南区)わかみやちよう      | 91  |
| 和田一丁目・二丁目(保土ヶ谷区)わだ  | 112 |
| 和田山(中区)わだやま         | 78  |

ち

茅ヶ崎町(港北区)ちがさきちょう 152
茅ヶ崎南一丁目・三丁目～五丁目(港北区)ちがさきみなみ 153
千草台(緑区)ちぐさだい 169
千歳町(中区)ちとせちょう 68
千鳥町(中区)ちどりちょう 68
中央(瀬谷区)ちゅうおう 208
中央一丁目・二丁目(西区)ちゅうおう 54
長者町(中区)ちようじゃまち 68
千代崎町(中区)ちよざきちょう 69
千若町(神奈川区)ちわかちょう 42

つ

都岡町(旭区)つおかちょう 121
塚越(中区)つかごし 69
月見台(保土ヶ谷区)つきみだい 109
佃野町(鶴見区)つくのちょう 25
つつじが丘(緑区)つつじがおか 169
綱島上町(港北区)つなしまかみちょう 153
綱島台(港北区)つなしまだい 153
綱島西一丁目～六丁目(港北区)つなしまにし 153
綱島東一丁目～六丁目(港北区)つなしまひがし 153
鶴ヶ峰一丁目・二丁目(旭区)つるがみね 121
鶴ヶ峰本町(旭区)つるがみねほんちょう 121
鶴見一丁目・二丁目(鶴見区)つるみ 26
鶴見中央一丁目～五丁目(鶴見区)つるみちゅうおう 26
鶴屋町(神奈川区)つるやちょう 42

て

泥亀一丁目・二丁目(金沢区)ていき 141
寺久保(中区)てらくぼ 69
寺前一丁目・二丁目(金沢区)てらまえ 141
寺谷一丁目・二丁目(鶴見区)てらや 26
寺山町(緑区)てらやまちょう 169
天王町(保土ヶ谷区)てんのうちょう 109

と

十日市場町(緑区)とおかいちばちょう 169
通町(南区)とおりちょう 86
常盤台(保土ヶ谷区)とさわだい 109
常盤町(中区)とさわちょう 69
戸塚町(戸塚区)とつかちょう 181
戸部町(西区)とべちょう 54
戸部本町(西区)とべほんちょう 54
富岡西一丁目～七丁目(金沢区)とみおかにし 142
富岡東一丁目～六丁目(金沢区)とみおかひがし 142
富家町(神奈川区)とみやちょう 42
豊浦町(中区)とようらちょう 69
豊岡町(鶴見区)とよおかちょう 26
鳥が丘(戸塚区)とりがおか 181
鳥越(神奈川区)とりごえ 43
鳥浜町(金沢区)とりはまちょう 142
鳥山町(港北区)とりやまちょう 153

な

仲尾台(中区)なかおだい 69
長尾台町(栄区)ながおだいちょう 191
中尾町(旭区)なかおちょう 121
中川一丁目～五丁目(港北区)なかがわ 153
中川町(港北区)なかがわちょう 153
中希望が丘(旭区)なかきぼうがおか 121
長倉町(栄区)ながくらちょう 191
中里一丁目～四丁目(南区)なかざと 86
中里町(南区)なかざとちょう 87

中沢町(旭区)なかざわちょう 121
中島町(南区)なかじまちょう 87
中白根一丁目～四丁目(旭区)なかしらね 122
永田北一丁目～三丁目(南区)ながたきた 87
永田山王台(南区)ながたさんのうだい 87
永田台(南区)ながただい 87
中田町(泉区)なかたちょう 198
永田東一丁目～三丁目(南区)ながたひがし 87
永田南一丁目・二丁目(南区)ながたみなみ 87
永田みなみ台(南区)ながたみなみだい 87
長津田一丁目～七丁目(緑区)ながつた 169
長津田町(緑区)ながつたちょう 170
仲手原一丁目・二丁目(港北区)なかくはら 154
仲通(鶴見区)なかどおり 26
長沼町(栄区)ながぬまちょう 191
中野町(栄区)なかのちょう 191
長浜(金沢区)ながはま 142
長浜一丁目・二丁目(金沢区)ながはま 142
中浜町(磯子区)なかはまちょう 132
中原一丁目～四丁目(磯子区)なかはら 132
仲町台二丁目～四丁目(緑区)なかまちだい 170
中丸(神奈川区)なかまる 43
中村町(南区)なかむらちょう 88
中屋敷一丁目～三丁目(瀬谷区)なかやしき 208
中山町(緑区)なかやまちょう 170
名瀬町(戸塚区)なせちょう 181
七島町(神奈川区)ななしまちょう 43
生麦一丁目～五丁目(鶴見区)なまむぎ 26
並木一丁目～三丁目(金沢区)なみき 142
奈良町(緑区)ならちょう 170
成合町(緑区)なりあいちょう 170

に

新治町(緑区)にいほるちょう 170
西大口(神奈川区)にしおおぐち 43
西が岡一丁目～三丁目(泉区)にしがおか 198
西神奈川一丁目～三丁目(神奈川区)にしかながわ 43
西川島町(旭区)にしかわしまちょう 122
錦が丘(港北区)にしきがおか 154
錦町(中区)にしきちょう 69
西久保町(保土ヶ谷区)にしくぼちょう 109
西柴一丁目～四丁目(金沢区)にししば 142
西竹之丸(中区)にしたけのまる 69
西町(磯子区)にしちょう 132
西寺尾一丁目～四丁目(神奈川区)にしてらお 43
西戸部町(西区)にしとべちょう 54
西中町(南区)にしなちょう 88
西之谷町(中区)にしやちょう 70
西八朔町(緑区)にしはっさくちょう 170
西平沼町(西区)にしひらぬまちょう 54
西前町(西区)にしまえちょう 55
西谷町(保土ヶ谷区)にしやちょう 110
新羽町(港北区)にっぽちょう 154
新羽町(緑区)にっぽちょう 170
二の丸(緑区)にのまる 171
二本榎(神奈川区)にほんえのき 43
日本大通(中区)にほんおどおり 70

ね

根岸旭台(中区)ねぎしあさひだい 70
根岸加曾台(中区)ねぎしかぞうだい 70
根岸台(中区)ねぎしだい 70
根岸町(中区)ねぎしちょう 70

の

能見台一丁目～六丁目(金沢区)のうけんだい 143
能見台通(金沢区)のうけんだいでおり 143
能見台森(金沢区)のうけんだいまり 143

野毛町(中区)のげちょう 71
野七里一丁目・二丁目(栄区)のしちり 191
野島町(金沢区)のじまちょう 143
野庭町(港南区)のぼちょう 99

は

白山一丁目～四丁目(緑区)はくさん 171
白楽(神奈川区)はくらく 43
羽衣町(中区)はごろもちょう 71
羽沢町(神奈川区)はさわちょう 44
橋戸一丁目～三丁目(瀬谷区)はしど 208
橋本町(神奈川区)はしもとちょう 44
八幡町(南区)はちまんちょう 88
八景島(金沢区)はっけいじま 143
初音ヶ丘(保土ヶ谷区)はつねがおか 110
初音町(中区)はつねちょう 71
花咲町(西区)はなさきちょう 55
花咲町(中区)はなさきちょう 71
花之木町(南区)はなのきちょう 88
英町(中区)はなぶさちょう 71
花見台(保土ヶ谷区)はなみだい 110
馬場一丁目～七丁目(鶴見区)ばば 27
馬場町(磯子区)ばばちょう 132
浜町(鶴見区)はまちょう 27
浜松町(西区)はまつちょう 55
原宿町(戸塚区)はらじゅくちょう 181
原町(磯子区)はらまち 133
万代町(中区)ばんだいちょう 71

ひ

日枝町(南区)ひえちょう 88
東朝比奈一丁目～三丁目(金沢区)ひがしあさひな 143
東方町(港北区)ひがしがたちょう 171
東方町(緑区)ひがしがたちょう 154
東神奈川一丁目・二丁目(神奈川区)ひがしかながわ 44
東上郷町(栄区)ひがしかみごうちょう 191
東川島町(保土ヶ谷区)ひがしかわしまちょう 110
東希望が丘(旭区)ひがしきぼうがおか 122
東久保町(西区)ひがしくぼちょう 55
東芹が谷(港南区)ひがしせりがや 99
東町(磯子区)ひがしちょう 133
東寺尾一丁目～六丁目(鶴見区)ひがしてらお 27
東寺尾北台(鶴見区)ひがしてらおきただい 27
東寺尾中台(鶴見区)ひがしてらおなかだい 28
東寺尾東台(鶴見区)ひがしてらおひがしだい 28
東永谷一丁目～三丁目(港南区)ひがしながや 99
東本郷一丁目～六丁目(緑区)ひがしほんごう 171
東本郷町(緑区)ひがしほんごうちょう 171
東蒔田町(南区)ひがしまいたちょう 88
東俣野町(戸塚区)ひがしまたのちょう 181
東山田四丁目(港北区)ひがしやまた 154
東山田町(港北区)ひがしやまたちょう 154
日限山一丁目～四丁目(港南区)ひざりやま 100
久木町(磯子区)ひさきちょう 133
水取沢町(磯子区)ひとりざわちょう 133
日野一丁目～九丁目(港南区)ひの 100
日野町(港南区)ひのちょう 100
日ノ出町(中区)ひのでちょう 72
日野南一丁目～七丁目(港南区)ひのみなみ 100
日吉一丁目～七丁目(港北区)ひよし 154
日吉本町一丁目～六丁目(港北区)ひよしほんちょう 155
平湯町(金沢区)ひらがたちょう 143
平川町(神奈川区)ひらかわちょう 44
平台(緑区)ひらだい 171
平戸一丁目～五丁目(戸塚区)ひらど 182
平戸町(戸塚区)ひらどちょう 182
平沼一丁目・二丁目(西区)ひらぬま 55

き

菊名一丁目～七丁目(港北区)きくな 150
岸根町(港北区)きしねちょう 150
岸谷一丁目～四丁目(鶴見区)きしや 23
北方町(中区)きたがたちょう 66
北軽井沢(西区)きたかるいざわ 52
北幸一丁目・二丁目(西区)きたさいわい 52
北新(瀬谷区)きたしん 207
北寺尾一丁目～七丁目(鶴見区)きたてらお 23
北仲通(中区)きたなかどおり 66
北八朔町(緑区)きたはっさくちょう 166
北町(瀬谷区)きたまち 207
北山田六丁目(港北区)きたやまた 151
北山田町(港北区)きたやまたちょう 151
共進町(南区)きょうしんちょう 85
霧が丘一丁目～六丁目(緑区)きりがおか 166
桐が作(旭区)きりがさく 119
桐畑(神奈川区)きりばたけ 38
金港町(神奈川区)きんこうちょう 38

く

葛が谷(緑区)くずがや 166
楠町(西区)くすのきちょう 52
公田町(栄区)くでんちょう 190
久保町(西区)くぼちょう 53
汲沢一丁目～八丁目(戸塚区)ぐみざわ 180
汲沢町(戸塚区)ぐみざわちょう 180
弘明寺町(南区)ぐみょうじちょう 85
栗木一丁目～三丁目(磯子区)くりき 130
栗田谷(神奈川区)くりたや 39
鉄町(緑区)くろがねちょう 166
黒須田(緑区)くろすだ 167
黒須田町(緑区)くろすだちょう 167

こ

幸ヶ谷(神奈川区)こうがや 39
神戸町(保土ヶ谷区)こうどちょう 108
港南一丁目～六丁目(港南区)こうなん 98
港南台一丁目～九丁目(港南区)こうなんだい 98
港南中央通(港南区)こうなんちゅうおうどおり 98
黄金町(中区)こがねちょう 66
五貫目町(瀬谷区)ごかんめちょう 207
御所山町(西区)ごしよやまちょう 53
小菅ヶ谷町(栄区)こすがやちょう 191
小雀町(戸塚区)こすずめちょう 180
小机町(港北区)こづえちょう 151
寿町(中区)ことぶきちょう 66
駒岡町(鶴見区)こまおかちょう 24
小港町(中区)こみなとちょう 67
子安台一丁目・二丁目(神奈川区)こやすだい 39
子安通(神奈川区)こやすどおり 39
小山町(緑区)こやまちょう 167
権太坂一丁目～三丁目(保土ヶ谷区)ごんたざか 108

さ

最戸一丁目・二丁目(港南区)さいど 98
斎藤分町(神奈川区)さいとうぶんちょう 39
佐江戸町(緑区)さえどちょう 167
境木町(保土ヶ谷区)さかいぎちょう 108
境木本町(保土ヶ谷区)さかいぎほんちょう 109
境之谷(西区)さかいのたに 53
栄町(神奈川区)さかえちょう 39
栄町通(鶴見区)さかえちょうどおり 24
坂下町(磯子区)さかしたちょう 130
坂本町(保土ヶ谷区)さかもとちょう 109
鷺山(中区)さぎやま 67

桜ヶ丘(保土ヶ谷区)さくらがおか 109
桜木町(西区)さくらぎちょう 53
桜木町(中区)さくらぎちょう 67
桜台(緑区)さくらだい 167
桜並木(緑区)さくらなみき 167
左近山(旭区)さこんやま 120
笹下一丁目～七丁目(港南区)ささげ 99
笹野台(旭区)ささのだい 120
幸浦一丁目・二丁目(金沢区)さちうら 140
さちが丘(旭区)さちがおか 120
さつきが丘(緑区)さつきがおか 167
沢渡(神奈川区)さわたり 39
三反田町(旭区)さんたんだちょう 120
山王町(南区)さんのうちょう 85
三枚町(神奈川区)さんまいちょう 40
山谷(南区)さんや 85

し

汐入町(鶴見区)しおいりちょう 24
汐見台(磯子区)しおみだい 130
四季見台(旭区)しきみだい 120
寺家町(緑区)じけちょう 167
獅子ヶ谷町(鶴見区)ししがやちょう 24
下野谷町(鶴見区)したのやちょう 24
尻手一丁目～三丁目(鶴見区)しって 24
品濃町(戸塚区)しなのちょう 181
篠原北一丁目・二丁目(港北区)しのはらきた 151
篠原台町(港北区)しのはらだいまち 151
篠原町(港北区)しのはらちょう 151
篠原西町(港北区)しのはらにしちょう 151
篠原東一丁目～三丁目(港北区)しのはらひがし 151
柴町(金沢区)しばちょう 140
清水ヶ丘(南区)しみずがおか 85
下飯田町(泉区)しもいだちょう 198
下川井町(旭区)しもかわいちょう 120
下倉田町(戸塚区)しもくらたちょう 181
下末吉一丁目～六丁目(鶴見区)しもすえよし 24
下瀬谷一丁目～三丁目(瀬谷区)しもせや 207
下田町一丁目～六丁目(港北区)しもだちょう 151
下町(磯子区)しもちょう 131
下永谷一丁目～四丁目(港南区)しもながや 99
下永谷町(港南区)しもながやちょう 99
下谷本町(緑区)しもやもとちょう 168
宿町(南区)しゆくちょう 85
庄戸一丁目～五丁目(栄区)しょうど 191
昭和町(金沢区)しょうわまち 141
しらとり台(緑区)しらとりだい 168
白根一丁目～八丁目(旭区)しらね 120
白根町(旭区)しらねちょう 120
白幡上町(神奈川区)しらはたかみちょう 40
白幡町(神奈川区)しらはたちょう 40
白幡仲町(神奈川区)しらはたなかちょう 40
白幡西町(神奈川区)しらはたにしちょう 40
白幡東町(神奈川区)しらはたひがしちょう 40
白幡南町(神奈川区)しらはたみなみちょう 40
白幡向町(神奈川区)しらはたむかいちょう 40
白百合一丁目～三丁目(泉区)しらゆり 198
白金町(南区)しろがねちょう 86
白妙町(南区)しろたえちょう 86
新石川一丁目～四丁目(緑区)しんいしかわ 168
新磯子町(磯子区)しんいそごちょう 131
新浦島町(神奈川区)しんうらしまちょう 41
新栄町(港北区)しんえいちょう 152
新川町(南区)しんかわちょう 86
新港町(中区)しんこうちょう 67
新子安一丁目・二丁目(神奈川区)しんこやす 41
新杉田町(磯子区)しんすぎたちょう 131
新中原町(磯子区)しんなかはらちょう 131
新橋町(泉区)しんばしちょう 198
新町(神奈川区)しんまち 41

新森町(磯子区)しんもりちょう 131
新山下一丁目～三丁目(中区)しんやました 67
新横浜一丁目～三丁目(港北区)しんよこはま 152
新吉田町(港北区)しんよしだちょう 152

す

末広町(鶴見区)すえひろちょう 25
末広町(中区)すえひろちょう 67
末吉町(中区)すえよしちょう 67
菅沢町(鶴見区)すがさわちょう 25
杉田一丁目～九丁目(磯子区)すぎた 131
杉田坪谷(磯子区)すぎたつぼのみ 131
菅田町(神奈川区)すがたちょう 41
洲崎町(金沢区)すさきちょう 141
すすき野一丁目～三丁目(緑区)すすきの 168
鈴繁町(神奈川区)すずしげちょう 41
すみよし台(緑区)すみよしだい 168
住吉町(中区)すみよしちょう 67
すみれが丘(港北区)すみれがおか 152
諏訪坂(鶴見区)すわさか 25
諏訪町(中区)すわちょう 68

せ

瀬戸(金沢区)せと 141
瀬戸ヶ谷町(保土ヶ谷区)せとがやちょう 109
瀬谷一丁目～六丁目(瀬谷区)せや 207
瀬谷町(瀬谷区)せやちょう 207
芹が谷一丁目～五丁目(港南区)せりがや 99
浅間台(西区)せんげんだい 53
浅間町(西区)せんげんちょう 53
善部町(旭区)ぜんぶちょう 121

た

大黒町(鶴見区)だいこくちょう 25
大黒ふ頭(鶴見区)だいこくふとう 25
大道一丁目・二丁目(金沢区)だいでう 141
大東町(鶴見区)だいでうちょう 25
台町(神奈川区)だいまち 41
台村町(緑区)だいむらちょう 168
高砂町(南区)たかさごちょう 86
高島一丁目・二丁目(西区)たかしま 53
高島台(神奈川区)たかしまだい 42
高田町(港北区)たかたちょう 152
高根町(南区)たかねちょう 86
高舟台一丁目・二丁目(金沢区)たかふねだい 141
宝町(神奈川区)たからちょう 42
滝頭一丁目～三丁目(磯子区)たきがしら 132
滝之上(中区)たきのうえ 68
竹之丸(中区)たけのまる 68
竹村町(瀬谷区)たけむらちょう 207
竹山一丁目～四丁目(緑区)たけやま 168
たちばな台一丁目・二丁目(緑区)たちばなだい 169
立野(中区)たての 68
立町(神奈川区)たてまち 42
田中一丁目・二丁目(磯子区)たなか 132
田奈町(緑区)たなちょう 169
田谷町(栄区)たやちょう 191
樽町一丁目～四丁目(港北区)たるまち 152
反町(神奈川区)たんまち 42

町名索引

あ

相生町(中区)あいおいちょう 63
相沢一丁目〜七丁目(瀬谷区)あいざわ 206
青木町(神奈川区)あおきちょう 35
青砥町(緑区)あおとちょう 161
青葉台一丁目・二丁目(緑区)あおばだい 161
あかね台一丁目・二丁目(緑区)あかねだい 162
赤門町(西区)あかもんちょう 51
赤門町(中区)あかもんちょう 63
秋葉町(戸塚区)あきばちょう 179
阿久和町(瀬谷区)あくわちょう 206
曙町(中区)あけぼのちょう 63
旭ヶ丘(神奈川区)あさひがおか 35
朝日町(鶴見区)あさひちょう 21
朝比奈町(金沢区)あさひなちょう 139
あざみ野一丁目〜四丁目(緑区)あざみの 162
東野(瀬谷区)あずまの 206
東野台(瀬谷区)あずまのだい 207
東ヶ丘(西区)あづまがおか 51
新井町(保土ヶ谷区)あらいちょう 105
安善町(鶴見区)あんぜんちょう 21

い

飯島町(栄区)いいじまちょう 189
池の谷(泉区)いけのや 197
池袋(中区)いけぶくろ 64
池辺町(緑区)いこのべちょう 162
石川町(中区)いしかわちょう 64
伊勢佐木町(中区)いせざきちょう 64
伊勢町(西区)いせちょう 51
磯子一丁目〜八丁目(磯子区)いそご 129
磯子台(磯子区)いそごだい 129
市ヶ尾町(緑区)いちがおちょう 162
市沢町(旭区)いちざわちょう 117
市場上町(鶴見区)いちばかみちょう 21
市場下町(鶴見区)いちばしもちょう 22
市場西中町(鶴見区)いちばにしなちょう 22
市場東中町(鶴見区)いちばひがしなちょう 22
市場富士見町(鶴見区)いちばふじみちょう 22
市場大和町(鶴見区)いちばやまとちょう 22
出田町(神奈川区)いづたちょう 36
泉町(神奈川区)いづみちょう 36
和泉町(泉区)いづみちょう 197
井土ヶ谷上町(南区)いどがやかみまち 83
井戸ヶ谷下町(南区)いどがやしもまち 83
井戸ヶ谷中町(南区)いどがやなかまち 83
犬山町(栄区)いのやまちょう 189
いぶき野(緑区)いぶきの 162
今井町(保土ヶ谷区)いまいちょう 105
今川町(旭区)いまがわちょう 117
今宿町(旭区)いまじゅくちょう 117
今宿西町(旭区)いまじゅくにしちょう 117
今宿東町(旭区)いまじゅくひがしちょう 118
今宿南町(旭区)いまじゅくみなみちょう 118
入江一丁目・二丁目(神奈川区)いりえ 36
岩井町(保土ヶ谷区)いわいちょう 105
岩崎町(保土ヶ谷区)いわさきちょう 106
岩間町(保土ヶ谷区)いわまちょう 106

う

上野町(中区)うえのちょう 64
潮田町(鶴見区)うしおだちょう 22
牛久保二丁目(港北区)うしくぼ 149
牛久保町(港北区)うしくぼちょう 149
牛久保西二丁目・四丁目(港北区)うしくぼにし 149
打越(中区)うちこし 65

内田町(中区)うちだちょう 65
美しが丘一丁目〜五丁目(緑区)うつくしがおか 162
美しが丘西一丁目〜三丁目(緑区)うつくしがおかにし 163
海の公園(金沢区)うみのこうえん 139
梅が丘(緑区)うめがおか 163
浦島丘(神奈川区)うらしまおか 36
浦島町(神奈川区)うらしまちょう 36
浦舟町(南区)うらふねちょう 84

え

永楽町(南区)えいらくちょう 84
江ヶ崎町(鶴見区)えがさきちょう 22
荏子田一丁目〜三丁目(緑区)えこだ 163
荏田北一丁目〜三丁目(緑区)えだきた 163
荏田町(港北区)えだちょう 150
荏田町(緑区)えだちょう 163
荏田西一丁目〜五丁目(緑区)えだにし 163
荏田東一丁目〜四丁目(緑区)えだひがし 163
荏田南一丁目〜五丁目(緑区)えだみなみ 163
榎が丘(緑区)えのきがおか 164
榎町(南区)えのきちょう 84
恵比須町(神奈川区)えびすちょう 36

お

老松町(西区)おいまつちょう 52
大池町(旭区)おおいけちょう 118
大岡一丁目〜五丁目(南区)おおおか 84
大川(金沢区)おおかわ 139
扇島(鶴見区)おおぎしま 23
扇町(中区)おおぎちょう 65
大口通(神奈川区)おおぐちどおり 36
大口仲町(神奈川区)おおぐちなかまち 36
大久保一丁目〜三丁目(港南区)おおくぼ 97
大熊町(緑区)おおくまちょう 164
大芝台(中区)おおしばだい 65
大曾根一丁目〜三丁目(港北区)おおそね 150
大曾根台(港北区)おおそねだい 150
大棚町(港北区)おおだちょう 150
太田町(中区)おたまち 65
鳳町(磯子区)おとりちょう 129
大野町(神奈川区)おおのちょう 37
大橋町(南区)おほしちょう 84
大場町(緑区)おおばちょう 164
大平町(中区)おおひらちょう 65
大丸(緑区)おおまる 164
岡沢町(保土ヶ谷区)おがざわちょう 106
岡津町(泉区)おかつちょう 197
岡野一丁目・二丁目(西区)おかのちょう 52
岡村一丁目〜八丁目(磯子区)おかむら 130
翁町(中区)おきなちょう 65
小高町(旭区)おたかちょう 118
尾月(栄区)おづき 189
乙舩町(金沢区)おつともちょう 140
尾上町(中区)おのえちょう 65
小野町(鶴見区)おのちょう 23
折本町(緑区)おりもとちょう 164
卸本町(瀬谷区)おろしほんちょう 207
恩田町(緑区)おんだちょう 164

か

海岸通(中区)かいがんどおり 66
加賀原一丁目・二丁目(緑区)かがはら 164
柿の木台(緑区)かきのきだい 164
影取町(戸塚区)かげとりちょう 179
笠間町(栄区)かさまちょう 189
柏尾町(戸塚区)かしおちょう 179

鍛冶ヶ谷町(栄区)かじがやちょう 190
梶山一丁目・二丁目(鶴見区)かじやま 23
柏町(旭区)かしわちょう 118
柏葉(中区)かしわば 66
霞ヶ丘(西区)かすみがおか 52
霞台(保土ヶ谷区)かすみだい 106
片倉一丁目(神奈川区)かたくら 37
片倉町(神奈川区)かたくらちょう 37
帷子町(保土ヶ谷区)かたびらちょう 106
片吹(金沢区)かたぶき 140
勝田町(港北区)かちだちょう 150
勝田町(緑区)かちだちょう 165
勝田南一丁目・二丁目(港北区)かちだみなみ 150
桂台一丁目・二丁目(緑区)かつらだい 165
桂町(栄区)かつらちょう 190
金井町(栄区)かないちょう 190
神奈川一丁目・二丁目(神奈川区)かながわ 37
神奈川本町(神奈川区)かながわほんちょう 37
金沢町(金沢区)かなざわちょう 140
金が谷(旭区)かねがや 118
庚台(南区)かのえだい 84
釜台町(保土ヶ谷区)かまだいちょう 107
鎌谷町(保土ヶ谷区)かまやちょう 107
釜利谷町(金沢区)かまりやちょう 140
上飯田町(泉区)かみいだいちょう 198
上大岡西一丁目〜三丁目(港南区)かみおおおかにし 97

上大岡東一丁目〜三丁目(港南区)かみおおおかひがし 98
上柏尾町(戸塚区)かみかしおちょう 180
上川井町(旭区)かみかわいちょう 119
上倉田町(戸塚区)かみくらたちょう 180
上郷町(栄区)かみごうちょう 190
上白根一丁目〜三丁目(旭区)かみしらね 119
上白根町(旭区)かみしらねちょう 119
上末吉一丁目〜五丁目(鶴見区)かみすえよし 23
上菅田町(保土ヶ谷区)かみすげだちょう 107
上瀬谷町(瀬谷区)かみせやちょう 207
上反町(神奈川区)かみたんまち 38
上町(磯子区)かみちょう 130
上中里町(磯子区)かみなかざとちょう 130
上永谷一丁目〜六丁目(港南区)かみながや 98
上永谷町(港南区)かみながやちょう 98
神之木台(神奈川区)かみのきだい 38
神之木町(神奈川区)かみのきちょう 38
上之町(栄区)かみのちょう 190
上の宮一丁目・二丁目(鶴見区)かみのみや 23
上星川町(保土ヶ谷区)かみほしかわちょう 107
上矢部町(戸塚区)かみやべちょう 180
上山町(緑区)かみやまちょう 165
上谷本町(緑区)かみやもとちょう 165
亀井町(栄区)かめいちょう 190
亀住町(神奈川区)かめずみちょう 38
鴨居一丁目〜七丁目(緑区)かもい 165
鴨居町(緑区)かもいちょう 165
鴨志田町(緑区)かもしだちょう 165
かもめ町(中区)かもめちょう 66
唐沢(南区)からさわ 85
狩場町(保土ヶ谷区)かりばちょう 107
川井宿町(旭区)かわいしゅくちょう 119
川井本町(旭区)かわいほんちょう 119
川上町(戸塚区)かわかみちょう 180
川島町(保土ヶ谷区)かわしまちょう 107
川島町(旭区)かわしまちょう 119
川辺町(保土ヶ谷区)かわべちょう 108
川向町(緑区)かわむこうちょう 166
川和町(緑区)かわわちょう 166
寛政町(鶴見区)かんせいちょう 23
神大寺一丁目〜四丁目(神奈川区)かんだいじ 38



## 横浜の町名

平成3年3月31日印刷

平成3年3月31日発行

発行者：横浜市市民局

編集兼発行責任者：市民局総務部住居表示課

調査原稿協力：桜井澄夫

本文執筆：半澤正時

印刷：株式会社野毛印刷社

横浜市南区新川町1-2

TEL (045) 252-2511

禁複写転載

横浜市広報印刷物登録 第020493号  
類別・分類 A-DA020





# 『横浜の町名』 正誤表

〈本文の訂正〉

|            | 誤                      | 正                       |
|------------|------------------------|-------------------------|
| 63 ページ 下段  | 曙 町                    | ・<br>曙 町                |
| 73 ページ 上段  | 蓬萊 町                   | ・ ・<br>蓬萊 町             |
| 88 ページ 下段  | ひがしまい た ちよう<br>東 蒔 田 町 | ひがしまい た ・ まち<br>東 蒔 田 町 |
| 110 ページ 上段 | にし や ちよう<br>西 谷 町      | にし や ・ まち<br>西 谷 町      |
| 152 ページ 下段 | 樽 町                    | ・<br>樽 町                |
| 165 ページ 上段 | 勝 田 町                  | 削除                      |

〈トピックスの訂正〉

|                               | 誤                  | 正                       |
|-------------------------------|--------------------|-------------------------|
| 53 ページ 「類似した町名」<br>13行目       | ふ じ<br>富 士 塚 一 丁 目 | ふ じ ・ づか<br>富 士 塚 一 丁 目 |
| 55 ページ<br>「同一名称の町と町数の多い区」 1行目 | 千五百五十五             | ・<br>千百五十五              |
| //<br>3行目                     | 八例                 | ・<br>七例                 |
| //<br>4行目                     | 勝田町 [港北区と緑区]       | 削除                      |
| 77 ページ<br>「読み方のむずかしい町名」9行目    | 都町                 | ・<br>都岡町                |